

福生市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査

令和6年3月

福 生 市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果（有効回収数）	1
4 調査結果の表示方法	2
5 本調査における生活困窮世帯の定義	2
II 調査結果	3
1 就学前保護者	3
(1) お子さんご家族の状況について	3
(2) 子育ての環境について	6
(3) お子さんの保護者の就労状況について	11
(4) お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	21
(5) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	34
(6) お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	50
(7) お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	55
(8) お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	66
(9) お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	75
(10) すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	87
(11) あなたの子育てについて	102
(12) 子どもの権利について	116
2 小学生保護者	118
(1) 封筒のお子さんご家族の状況について	118
(2) 子育ての環境について	121
(3) お子さんの保護者の就労状況について	124
(4) お子さんの病気の際の対応について	134
(5) お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	145
(6) お子さんの放課後の過ごし方について	150
(7) あなたの子育てについて	158
(8) 子どもの権利について	174
3 中学生保護者	176
(1) 封筒のお子さんご家族の状況について	176
(2) 子育ての環境について	179

(3) お子さんの保護者の就労状況について	181
(4) お子さんの放課後の過ごし方について	190
(5) あなたの子育てについて	193
(6) 子どもの権利について	207
4 小学生本人	209
(1) あなたのふだんの家庭や学校での生活について	209
(2) あなたの考えについて	226
5 中学生本人	250
(1) あなたのふだんの家庭や学校での生活について	250
(2) あなたの考えについて	266
自由回答	290
1 就学前保護者	290
2 小学生保護者	304
3 中学生保護者	314
6 子どもの権利	322
(1) 回答者属性	322
(2) 「あなたの気持ち」について	323
(3) 困っていること、つらいことの相談について	326
(4) 「あなたの意見を言ったりする機会」について	327
(5) あなたの生活のことについて	331
(6) あなたの将来について	334
(7) その他について	336
自由回答	337
子どもの権利	337
IV 調査票	340
1 未就学児保護者	340
2 小学生保護者	352
3 小学生本人	360
4 中学生保護者	362
5 中学生本人	368
6 子どもの権利（小中学生）	370
7 子どもの権利（高校生）	373

I 調査の概要

1 調査目的

第三期（令和7年度～令和11年度）計画の策定にあたり、子育て支援に関するサービスの利用状況や今後の利用希望等を把握するため、アンケート調査を実施するものです。

2 調査設計

(1) 調査対象者

令和5年11月1日時点において、福生市在住の0歳から15歳までの子どもの保護者、小学生高学年と中学生本人

(2) 配布数

- ①就学前児童の保護者 1,200人
- ②小学生本人及び保護者 1,200人（本人分は小学4年生から小学6年生のみ）
- ③中学生本人及び保護者 600人

(3) 調査方法

郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

(4) 抽出方法

住民基本台帳から無作為に抽出

(5) 調査票発送日

令和5年12月8日（金）

(6) 書面上提出締切日

令和5年12月28日（木）

3 回収結果（有効回収数）

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童の保護者	1,200人	521人	43.4%
小学生保護者	1,200人	348人	29.0%
中学生保護者	600人	214人	35.7%
小学生本人	600人	155人	25.8%
中学生本人	600人	209人	34.8%
計	4,200人	1,447人	34.5%

4 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・ 回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

5 本調査における生活困窮世帯の定義

本調査では、貧困と非貧困の差異のみならず、所得の程度による差異を把握することができるよう、令和4年国民生活基礎調査の等価可処分所得の中央値254万円と中央値2分の1である貧困線の127万円を基準として、「中央値以上」「中央値の2分の1以上中央値未満」「中央値の2分の1未満」の3つの所得区分を設定しました。

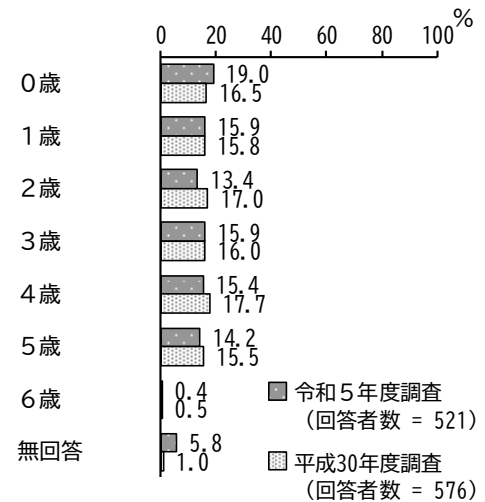
II 調査結果

1 就学前保護者

(1) お子さんご家族の状況について

問2 お子さんの生年月をご記入ください。

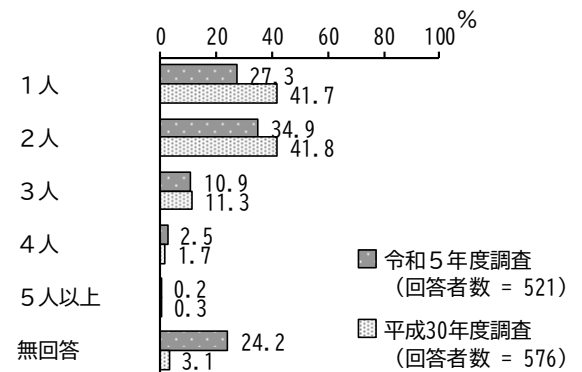
「0歳」の割合が19.0%と最も高く、次いで「1歳」、「3歳」の割合が15.9%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数

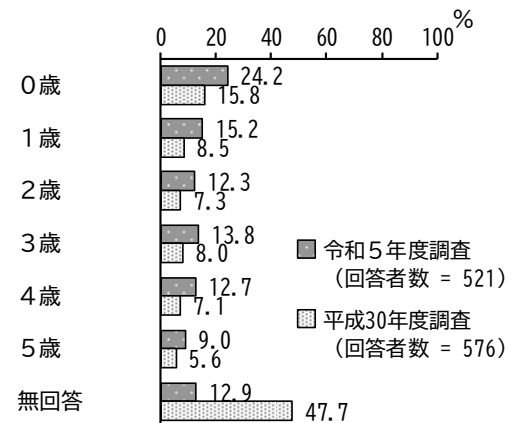
「2人」の割合が34.9%と最も高く、次いで「1人」の割合が27.3%、「3人」の割合が10.9%となっています。平成30年度調査と比較すると、「1人」「2人」の割合が減少しています。



末子の年齢

「0歳」の割合が24.2%と最も高く、次いで「1歳」の割合が15.2%、「3歳」の割合が13.8%となっています。

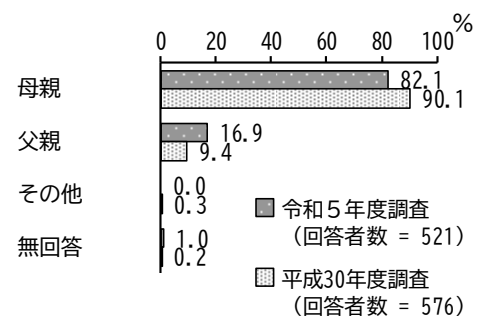
平成30年度調査と比較すると、「0歳」「1歳」「2歳」「3歳」「4歳」の割合が増加しています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が82.1%、「父親」の割合が16.9%となっています。

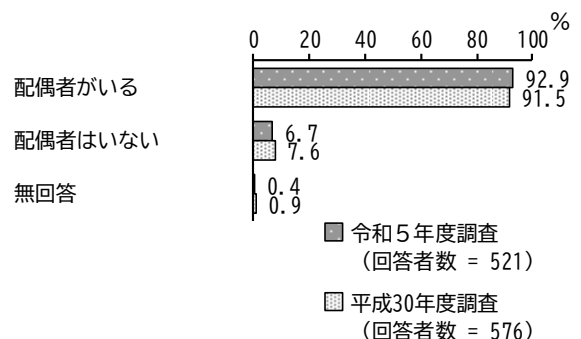
平成30年度調査と比較すると、「父親」の割合が増加しています。一方、「母親」の割合が減少しています。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が92.9%、「配偶者がいない」の割合が6.7%となっています。

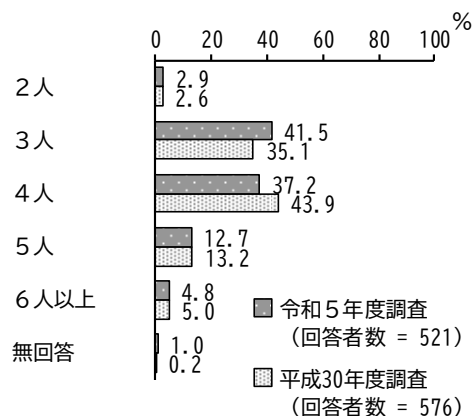
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 お子さんを含めて家族は何人ですか。※単身赴任・入院・入所の方など、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族の人数に含めて回答してください。

「3人」の割合が41.5%と最も高く、次いで「4人」の割合が37.2%、「5人」の割合が12.7%となっています。

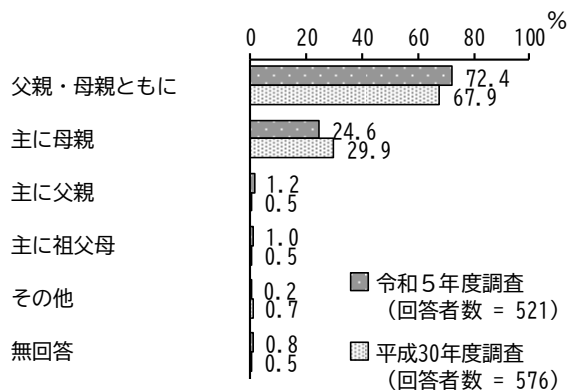
平成30年度調査と比較すると、「3人」の割合が増加しています。一方、「4人」の割合が減少しています。



問7 お子さんの子育て（教育を含む）を行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父親・母親ともに」の割合が72.4%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が24.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「主に母親」の割合が減少しています。

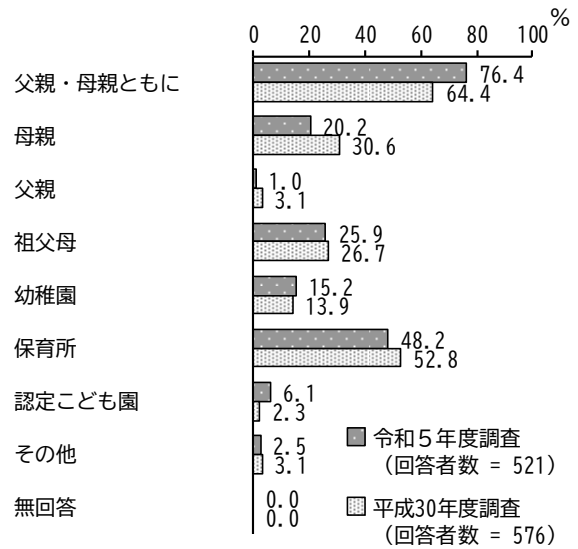


(2) 子育ての環境について

問8 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「父親・母親ともに」の割合が76.4%と最も高く、次いで「保育所」の割合が48.2%、「祖父母」の割合が25.9%となっています。

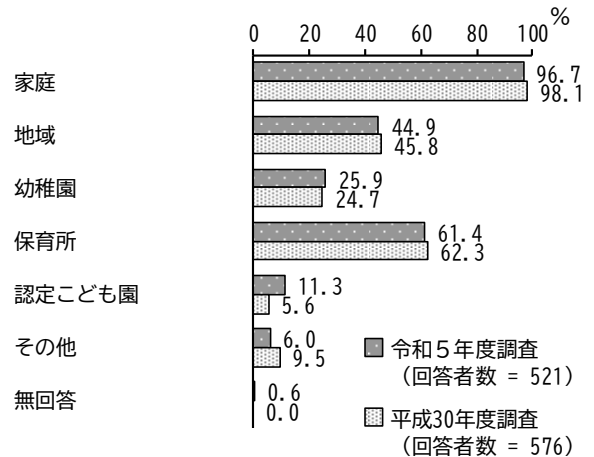
平成30年度調査と比較すると、「父親・母親ともに」の割合が増加しています。一方、「母親」の割合が減少しています。



問9 お子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」の割合が96.7%と最も高く、次いで「保育所」の割合が61.4%、「地域」の割合が44.9%となっています。

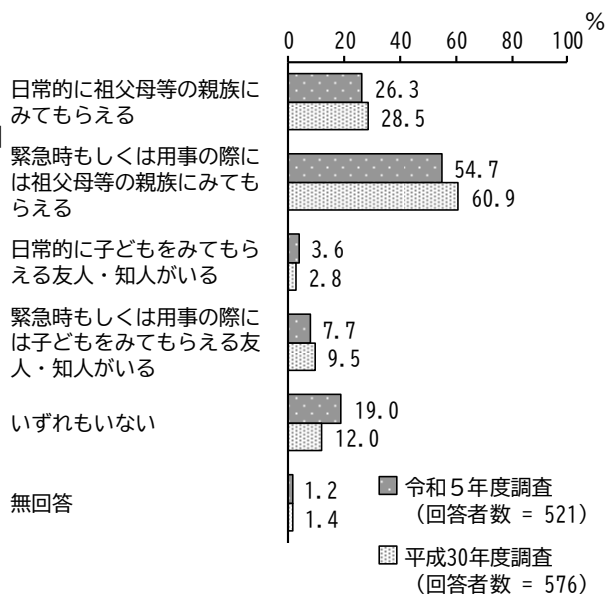
平成30年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。



問10 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が54.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が26.3%、「いずれもない」の割合が19.0%となっています。

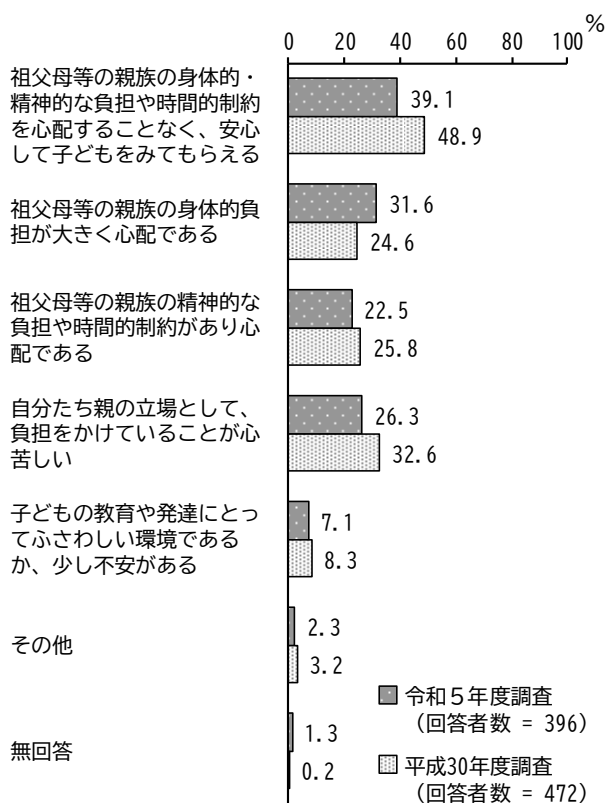
平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。一方、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が減少しています。



問10-1 問10で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」の割合が39.1%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が31.6%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が26.3%となっています。

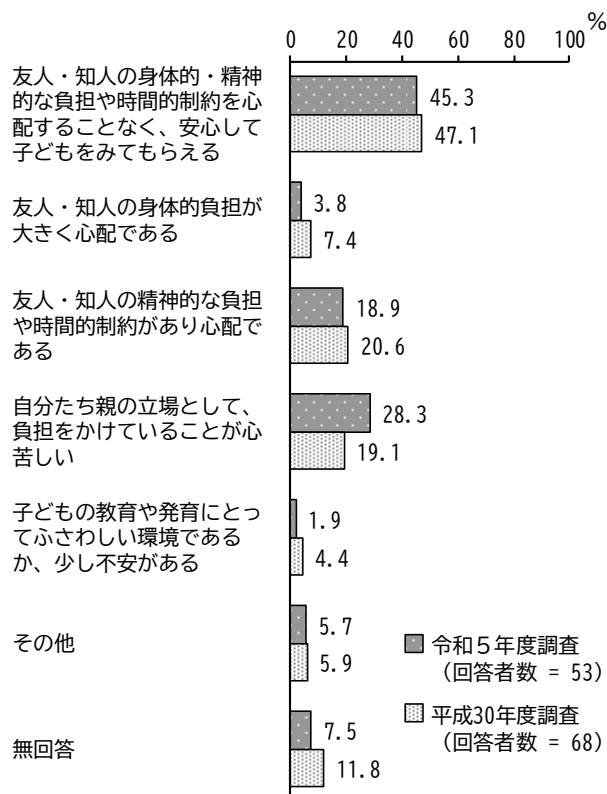
平成30年度調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が増加しています。一方、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が減少しています。



問10-2 問10で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が45.3%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が28.3%、「友人・知人の精神的な負担や時間的制約があり心配である」の割合が18.9%となっています。

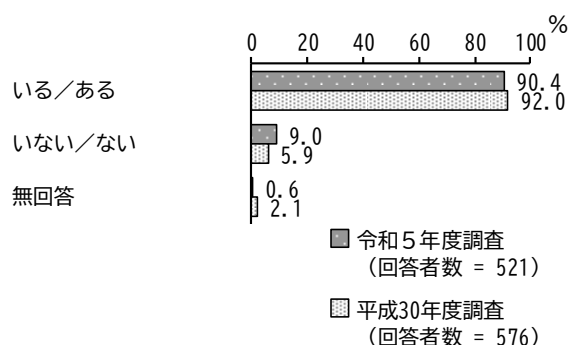
平成30年度調査と比較すると、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が増加しています。



問11 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が90.4%、「いない／ない」の割合が9.0%となっています。

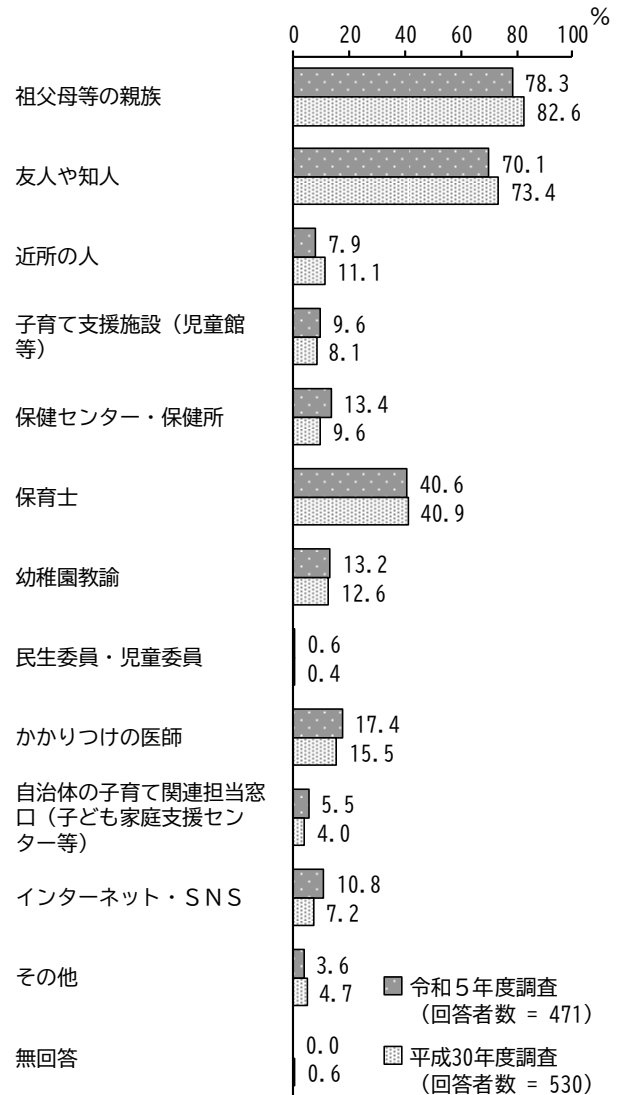
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問11-1 問11で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」の割合が78.3%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が70.1%、「保育士」の割合が40.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

- ・ 気軽にいつでも子供を預けられる場所があり、母親が自分の時間を確保できることが大切だと思う。
- ・ 定期的な面談等で関係を築くこと。日頃接点がないと相談しにくい。
- ・ ほんの少しの間、1時間でも2時間でも気軽にみてくれる人がいると有難いと思う。ちょっとした買い物やクリニック受診など、キッズスペースがない所がまだまだ多いので。
- ・ 急用などで子供を連れて行けない時に、事前連絡（予約など）なしでも預けて行けるような所があると良い。
- ・ 別々の相手が良いので、「話を聞いてくれる人」と「専門的な見解を教えてくれる人」がいると良いと思います。
- ・ 公園や児童館・子育て広場など、子どもと日常的に出掛けられて、管理者の目が行き届いた場所が近隣にあり、そこで他の保護者との交流や施設職員へ育児相談等を気軽に行えること。
- ・ 気軽に相談できる窓口を増やしてほしい。ネットやLINE等でも良いと思う。
- ・ 平均的な数字で良いので、何歳までに何ができていた方が良いという目安を知れると良い。小学校入学までに数字などは読み書き出来れば大丈夫と言われても、知能検査などでは足し算引き算を求められたりするもので、親として子どもにどこまで出来るようにしてあげたら良いのか分からない。
- ・ 悩みや迷いがあっても自ら相談に出向くまたは電話をするのは、気が引けてしまうところがあります。定期的に連絡をくれたりする制度があったらもう少し気軽に相談ができるように感じます。
- ・ 未就学児が入れるレストランなどが増えると便利だと思います。
- ・ 病児保育、病後児保育の施設がもっと近くに欲しい。
- ・ 保育園などでの日頃の様子がもう少しわかるといい。
- ・ こどもの体調が悪い時などに、休みやすい職場環境づくり。時短勤務の推奨など。
- ・ 保育所へ入れていない子供は、集団生活を経験することが難しい。0～1才児でも、保育士等の資格者に子供をみてもらえる機会があるとよい。多数の目から子供の発育状況を確認するため。

など

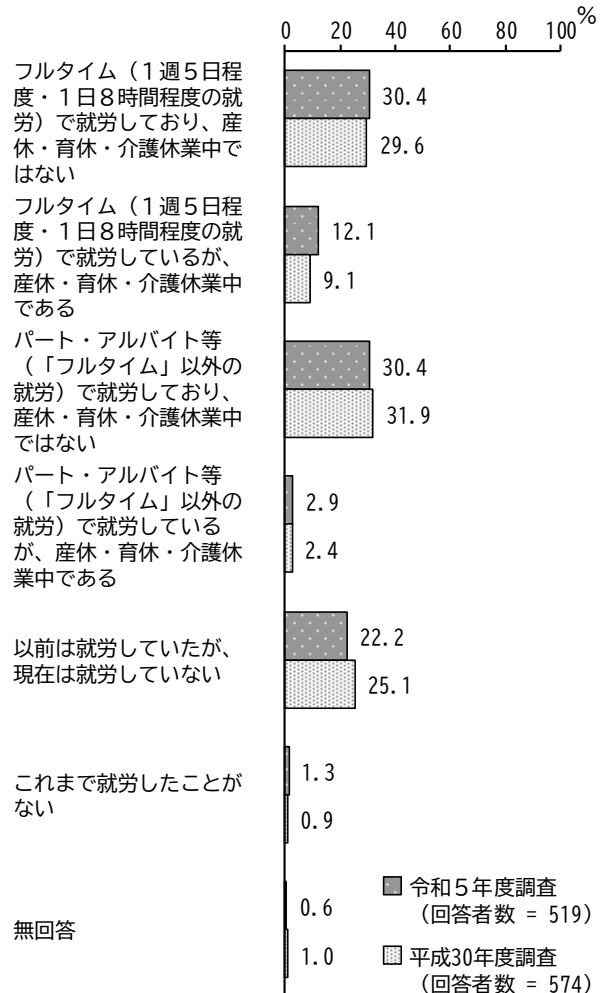
(3) お子さんの保護者の就労状況について

問 13 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が30.4%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が22.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

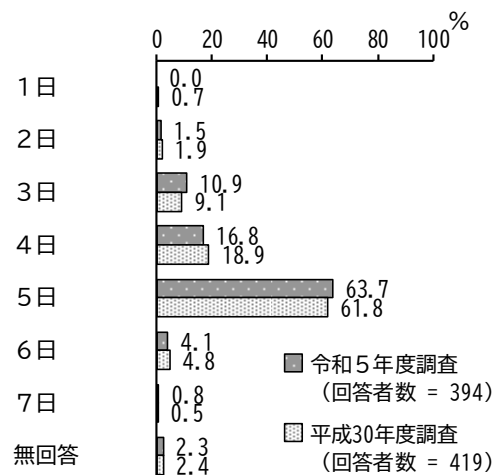


(1) - 1 (1) で「1~4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

1 週当たりの就労日数

「5日」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「4日」の割合が 16.8%、「3日」の割合が 10.9%となっています。

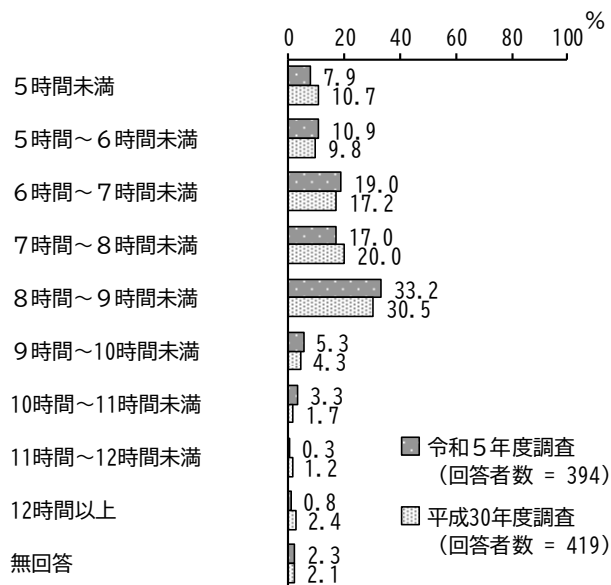
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 日当たりの就労時間

「8時間~9時間未満」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「6時間~7時間未満」の割合が 19.0%、「7時間~8時間未満」の割合が 17.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

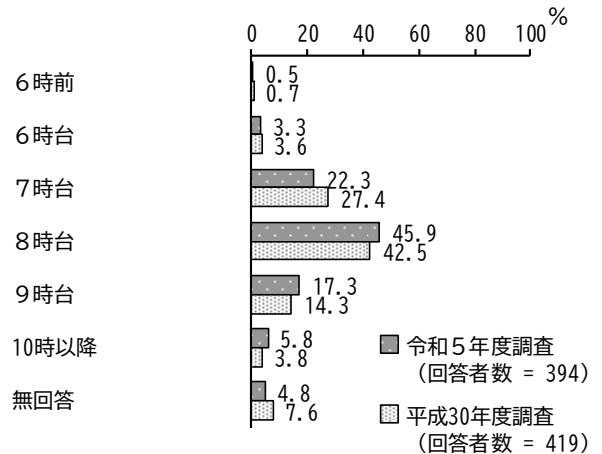


(1) - 2 (1) で「1~4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例) 8時~18時のように、24時間表記でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「8時台」の割合が45.9%と最も高く、次いで「7時台」の割合が22.3%、「9時台」の割合が17.3%となっています。

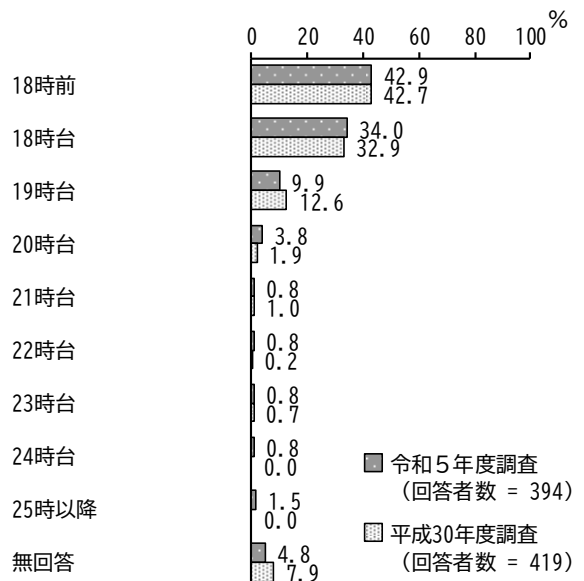
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が減少しています。



帰宅時刻

「18時前」の割合が42.9%と最も高く、次いで「18時台」の割合が34.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が92.2%と最も高くなっています。

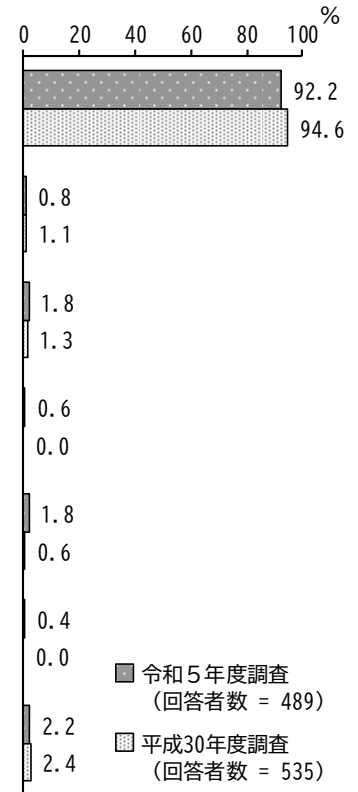
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答

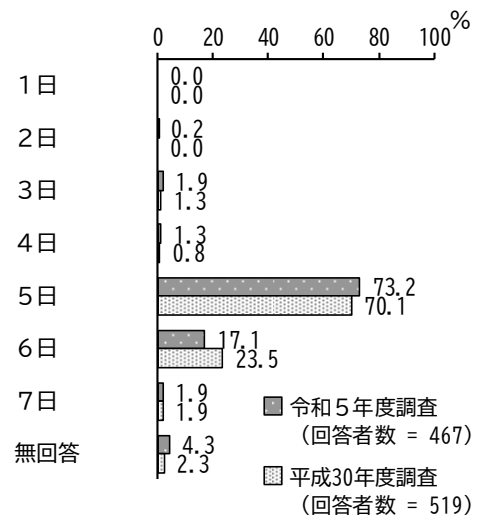


(2) - 1 (2) で「1~4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

1週当たりの就労日数

「5日」の割合が73.2%と最も高く、次いで「6日」の割合が17.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「6日」の割合が減少しています。

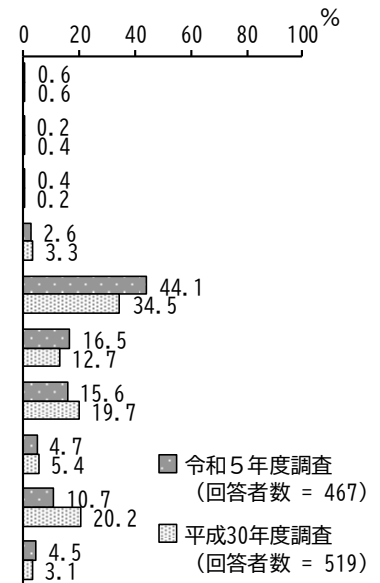


1日当たりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が44.1%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が16.5%、「10時間～11時間未満」の割合が15.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「12時間以上」の割合が減少しています。

5時間未満
5時間～6時間未満
6時間～7時間未満
7時間～8時間未満
8時間～9時間未満
9時間～10時間未満
10時間～11時間未満
11時間～12時間未満
12時間以上
無回答



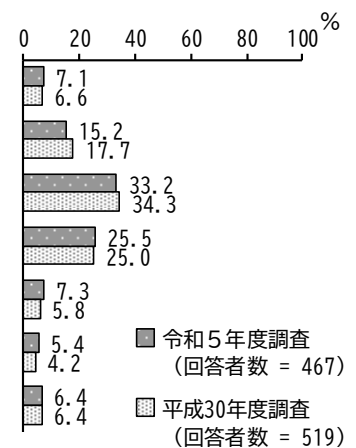
(2) - 2 (2) で「1～4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例) 8時～18時のように、24時間表記でお答えください。() 内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「7時台」の割合が33.2%と最も高く、次いで「8時台」の割合が25.5%、「6時台」の割合が15.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

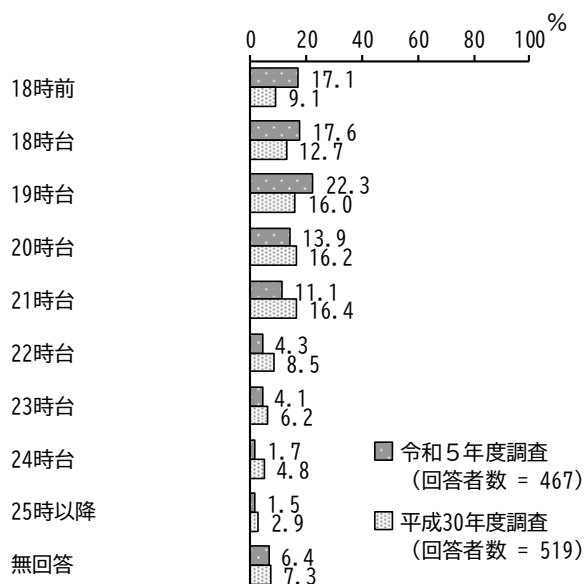
6時前
6時台
7時台
8時台
9時台
10時以降
無回答



帰宅時刻

「19 時台」の割合が 22.3%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 17.6%、「18 時前」の割合が 17.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「18 時前」「19 時台」の割合が増加しています。一方、「21 時台」の割合が減少しています。

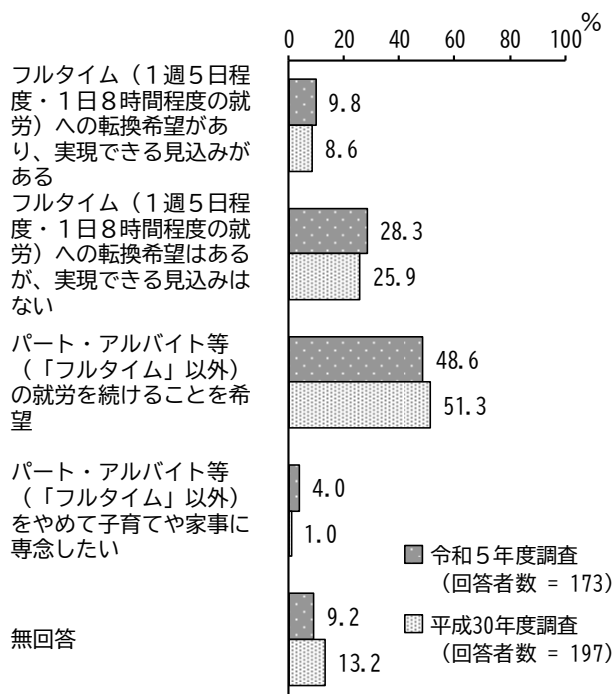


問 14 問 13 の (1) または (2) で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「フルタイム(1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 28.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

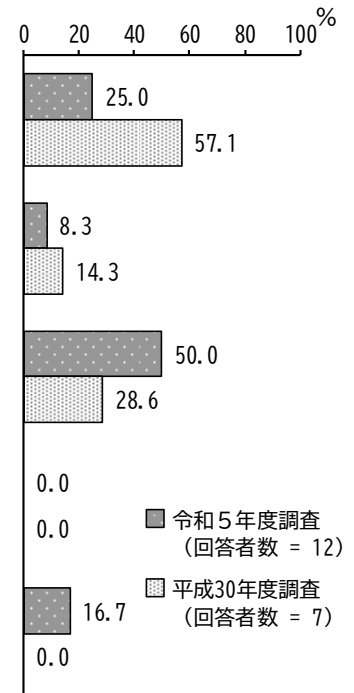


(2) 父親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が50.0%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が25.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。一方、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が減少しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい
 無回答



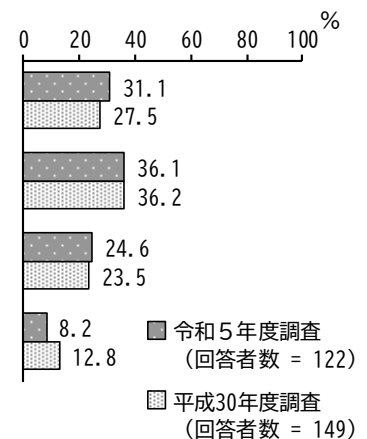
問15 問13の(1)または(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 母親

「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が36.1%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が31.1%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が24.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

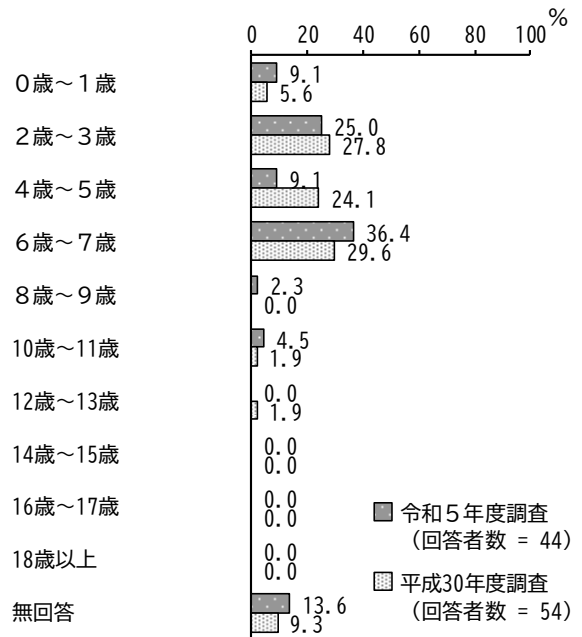
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい
 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 無回答



1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい

「6歳～7歳」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2歳～3歳」の割合が25.0%となっています。

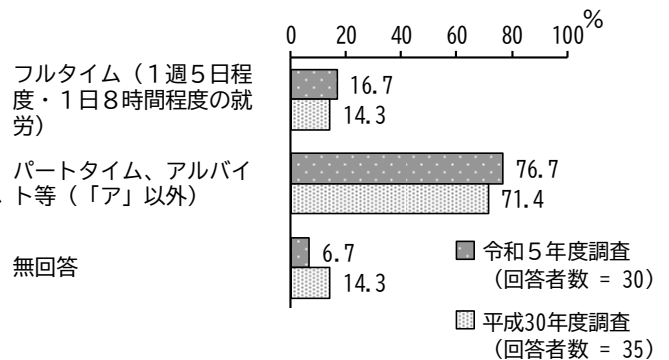
平成30年度調査と比較すると、「6歳～7歳」の割合が増加しています。一方、「4歳～5歳」の割合が減少しています。



希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が16.7%、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が76.7%となっています。

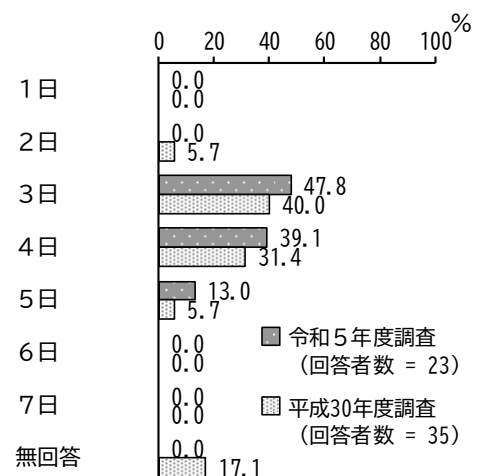
平成30年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が増加しています。



1週当たりの希望就労日数

「3日」の割合が47.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が39.1%、「5日」の割合が13.0%となっています。

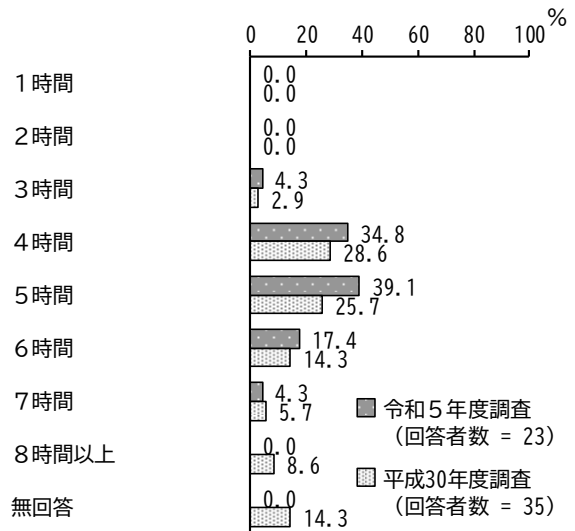
平成30年度調査と比較すると、「3日」「4日」「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



パートタイム、アルバイト等の1日当たりの就労時間

「5時間」の割合が39.1%と最も高く、次いで「4時間」の割合が34.8%、「6時間」の割合が17.4%となっています。

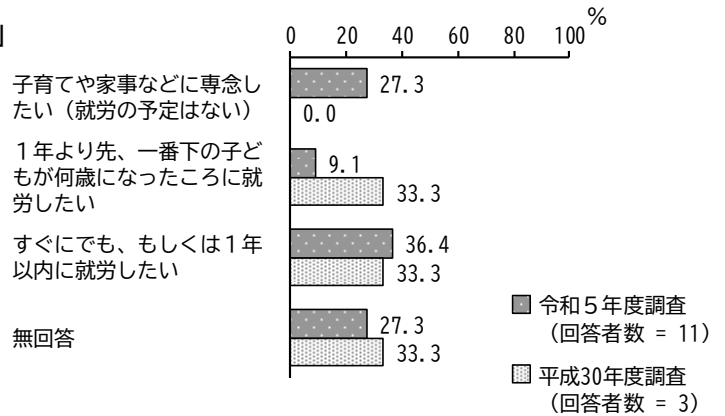
平成30年度調査と比較すると、「4時間」「5時間」の割合が増加しています。一方、「8時間以上」の割合が減少しています。



(2) 父親

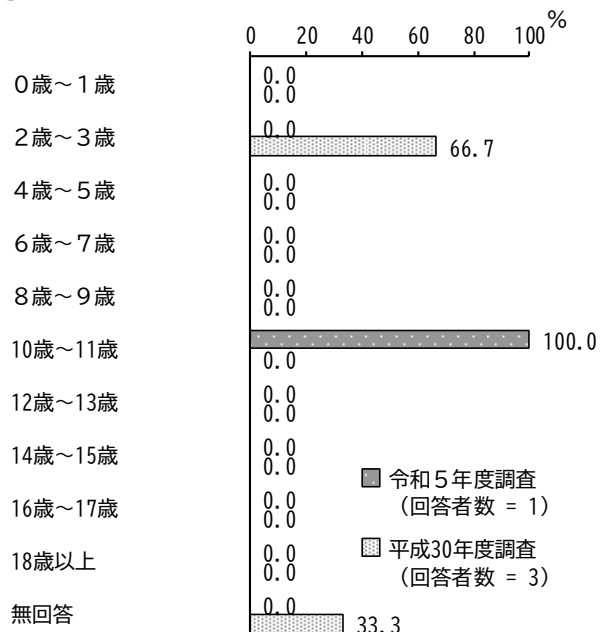
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が36.4%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が27.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が増加しています。一方、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が減少しています。



1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい

「10歳～11歳」が1件となっています。



希望する就労形態

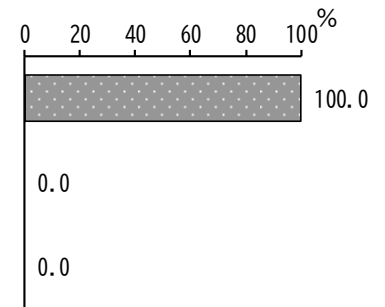
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が3件となっています。

回答者数 = 4

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

無回答



1週当たり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

パートタイム、アルバイト等の1日当たりの就労時間

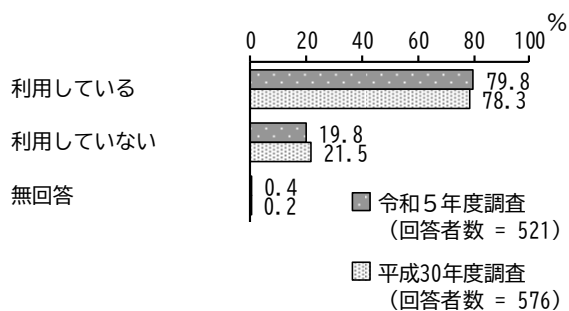
有効回答がありませんでした。

(4) お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 16 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が79.8%、「利用していない」の割合が19.8%となっています。

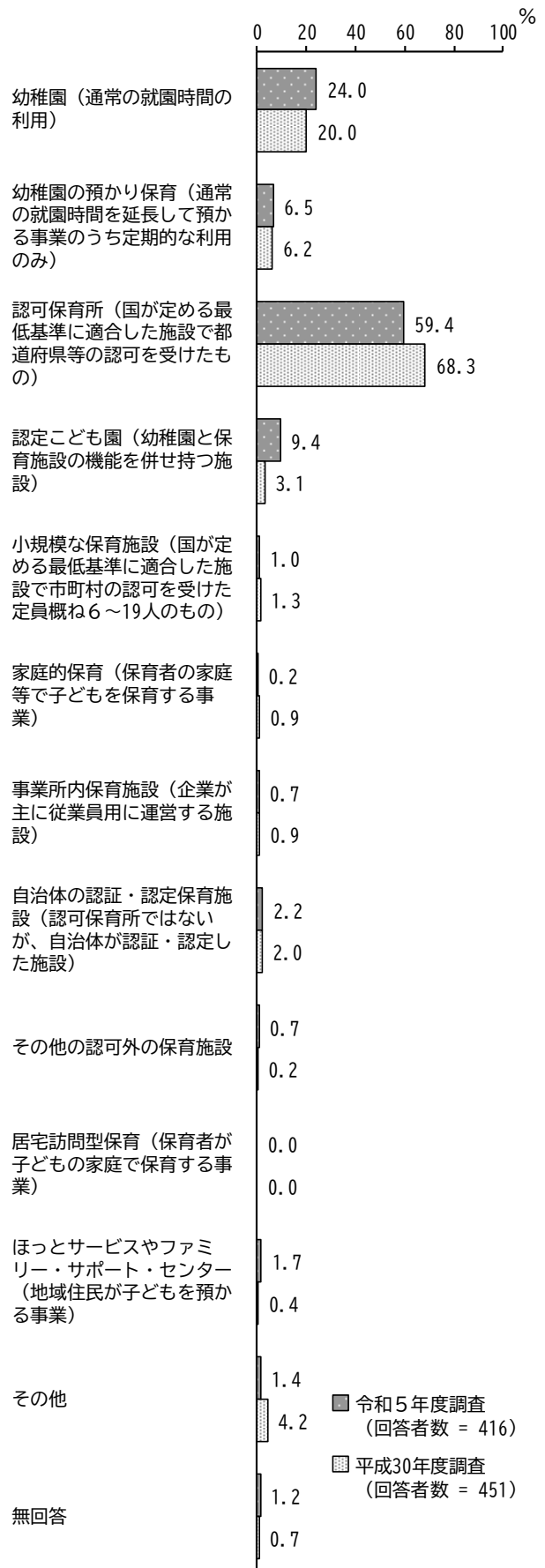
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 16-1 問 16-1～問 16-4は、問 16で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が59.4%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が24.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が増加しています。一方、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、1歳・2歳で「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園(通常の就園時間の利用)	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	家庭的保育(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業)	ほっとサービスやファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	その他	無回答
全体	416	24.0	6.5	59.4	9.4	1.0	0.2	0.7	2.2	0.7	—	1.7	1.4	1.2
0歳	29	6.9	—	62.1	17.2	6.9	—	3.4	—	—	—	—	—	3.4
1歳・2歳	124	15.3	—	71.8	7.3	1.6	—	—	3.2	—	—	—	0.8	0.8
3～5歳	235	28.9	11.1	54.0	10.2	—	—	0.9	2.1	1.3	—	2.6	1.7	0.9

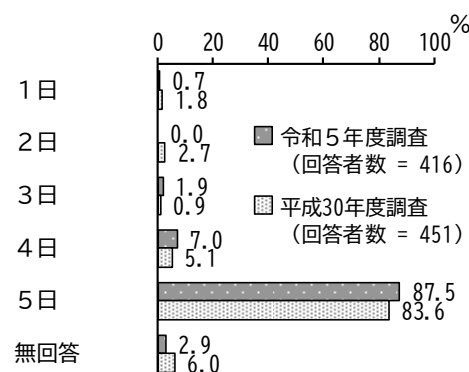
問 16-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、()内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)9時～18時のように24時間表記でご記入ください。

(1) 現在

1週当たりの利用日数

「5日」の割合が87.5%と最も高くなっています。

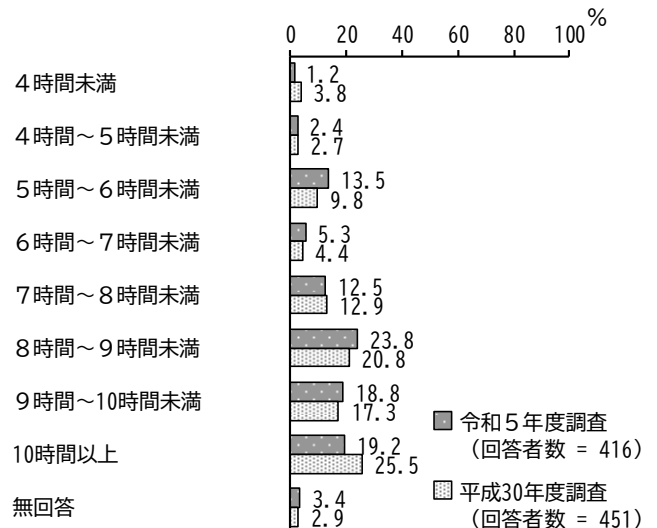
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日当たりの利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が23.8%と最も高く、次いで「10時間以上」の割合が19.2%、「9時間～10時間未満」の割合が18.8%となっています。

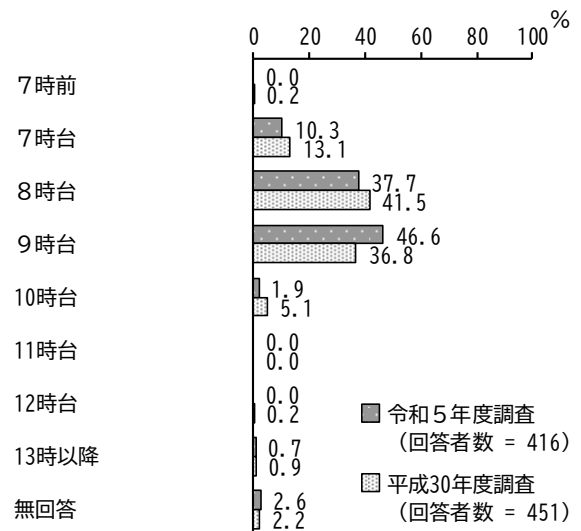
平成30年度調査と比較すると、「10時間以上」の割合が減少しています。



利用開始時刻

「9時台」の割合が46.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が37.7%、「7時台」の割合が10.3%となっています。

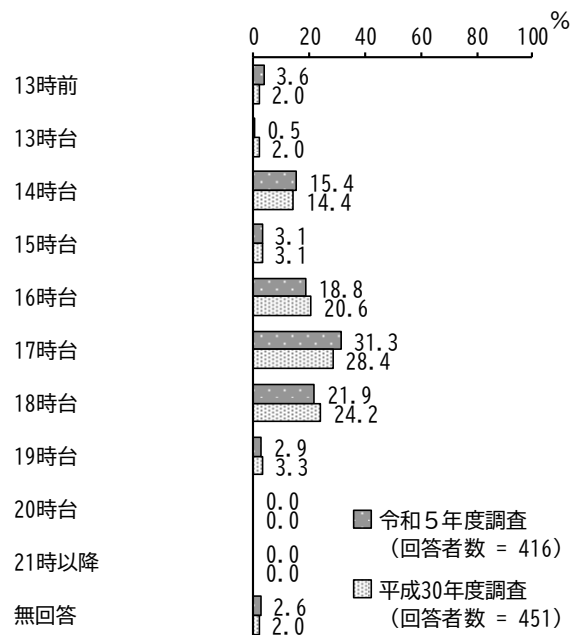
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が増加しています。



利用終了時刻

「17時台」の割合が31.3%と最も高く、次いで「18時台」の割合が21.9%、「16時台」の割合が18.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

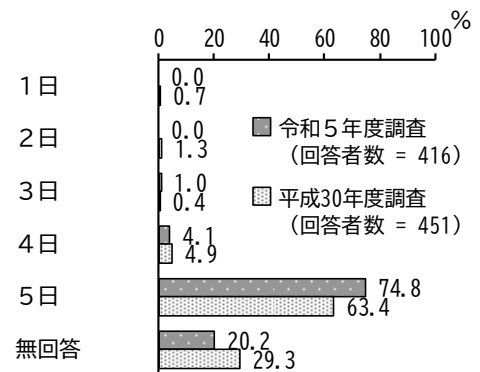


(2) 希望

1週あたり利用日数

「5日」の割合が74.8%と最も高くなっています。

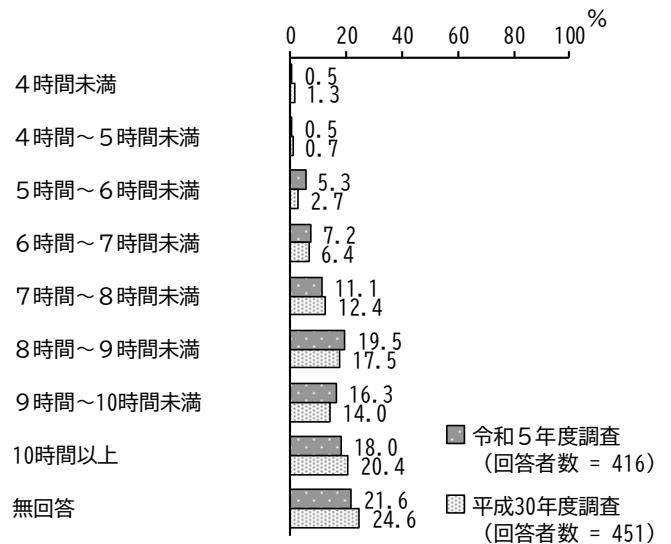
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



1日当たりの利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が19.5%と最も高く、次いで「10時間以上」の割合が18.0%、「9時間～10時間未満」の割合が16.3%となっています。

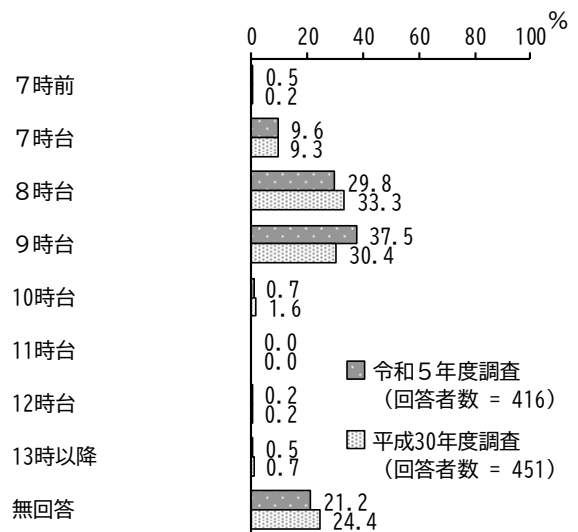
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用開始時刻

「9時台」の割合が37.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が29.8%となっています。

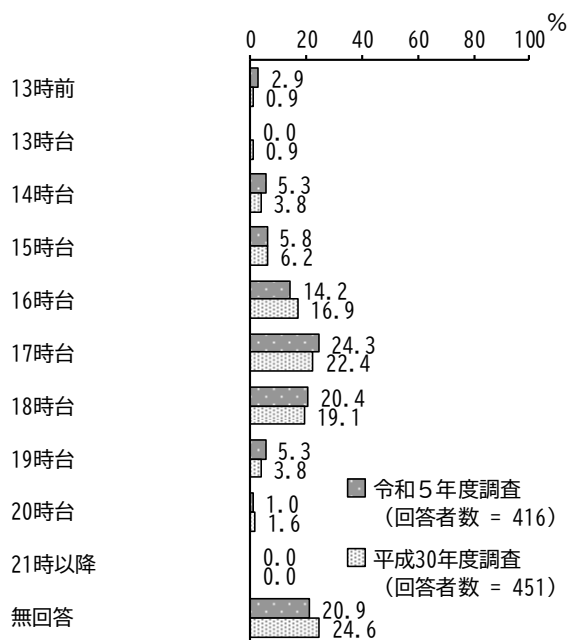
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が増加しています。



利用終了時刻

「17 時台」の割合が 24.3%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 20.4%、「16 時台」の割合が 14.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

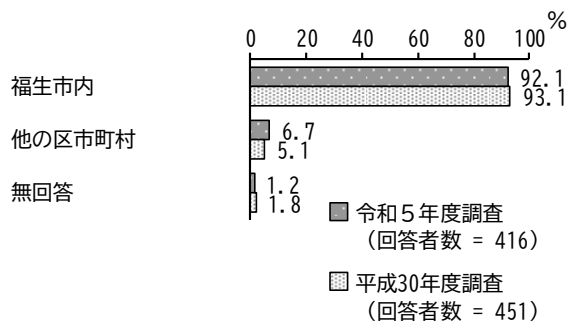


問 16-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

「1」「2」のいずれかに○をつけてください。「2」に○をつけた方は利用している区市町村名をご記入ください。

「福生市内」の割合が 92.1%、「他の区市町村」の割合が 6.7%となっています。

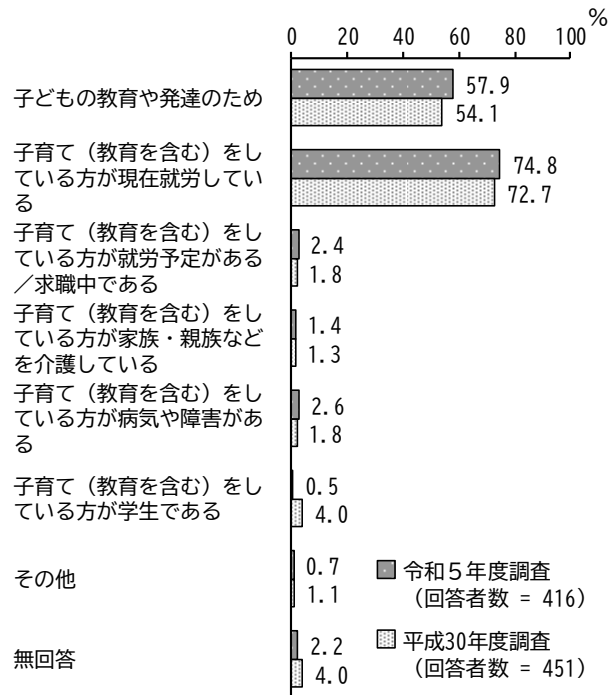
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 16-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が 74.8%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 57.9%となっています。

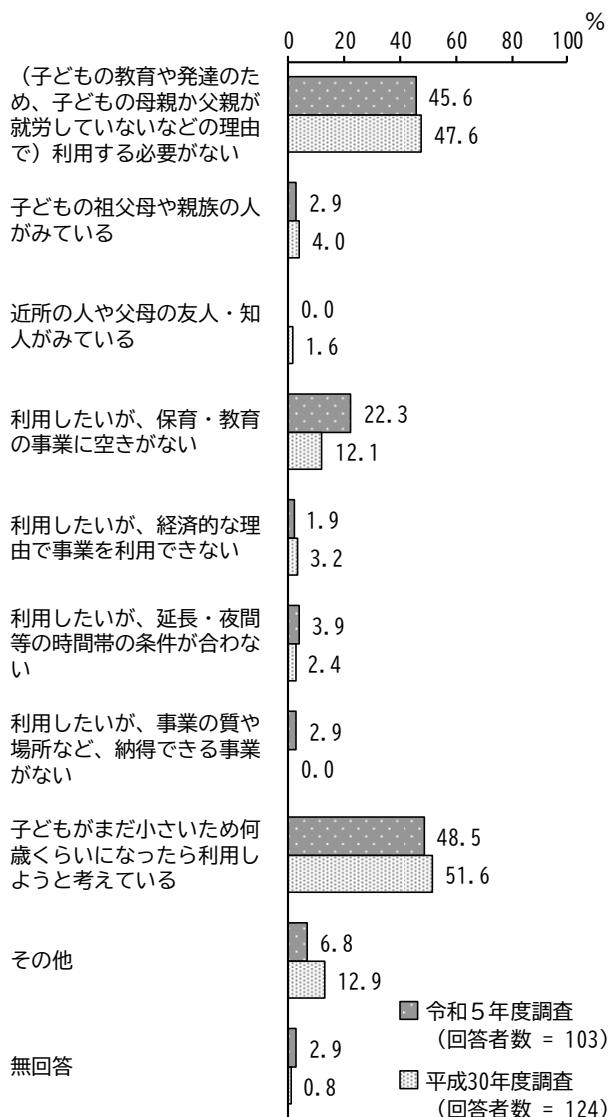
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 16-5 問 16 で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」の割合が 45.6%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が 22.3%となっています。

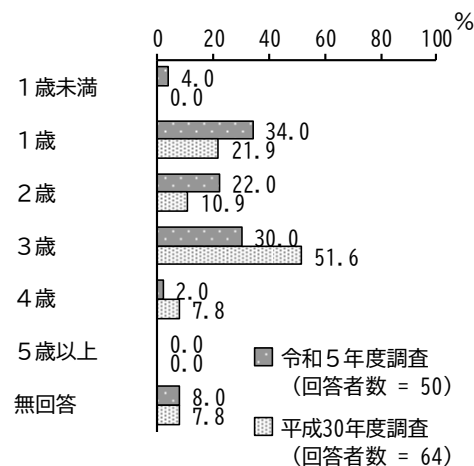
平成 30 年度調査と比較すると、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が増加しています。



子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えている

「1歳」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「3歳」の割合が 30.0%、「2歳」の割合が 22.0%となっています。

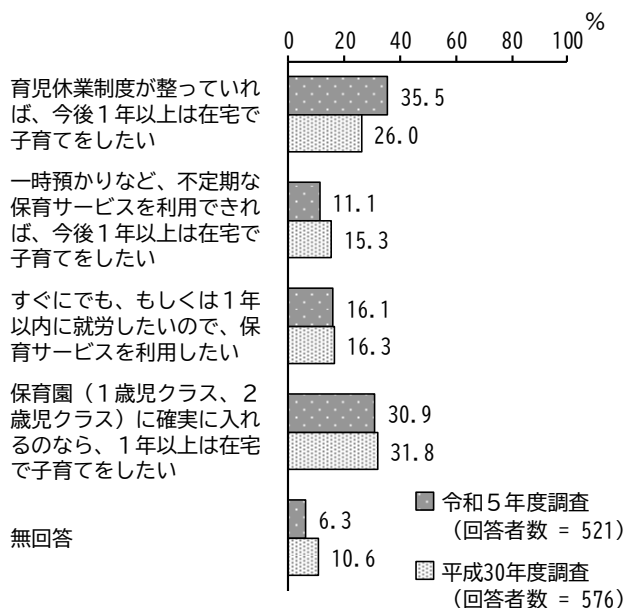
平成 30 年度調査と比較すると、「1歳」「2歳」の割合が増加しています。一方、「3歳」「4歳」の割合が減少しています。



問 17 すべての方にうかがいます。現在のあなたの考えに最も近いものをお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。対象のお子さんが1歳児以上のときは、0歳児だったときのことを振り返り、お答えください。

「育児休業制度が整っていれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい」の割合が35.5%と最も高く、次いで「保育園（1歳児クラス、2歳児クラス）に確実に入れるのなら、1年以上は在宅で子育てをしたい」の割合が30.9%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいので、保育サービスを利用したい」の割合が16.1%となっています。

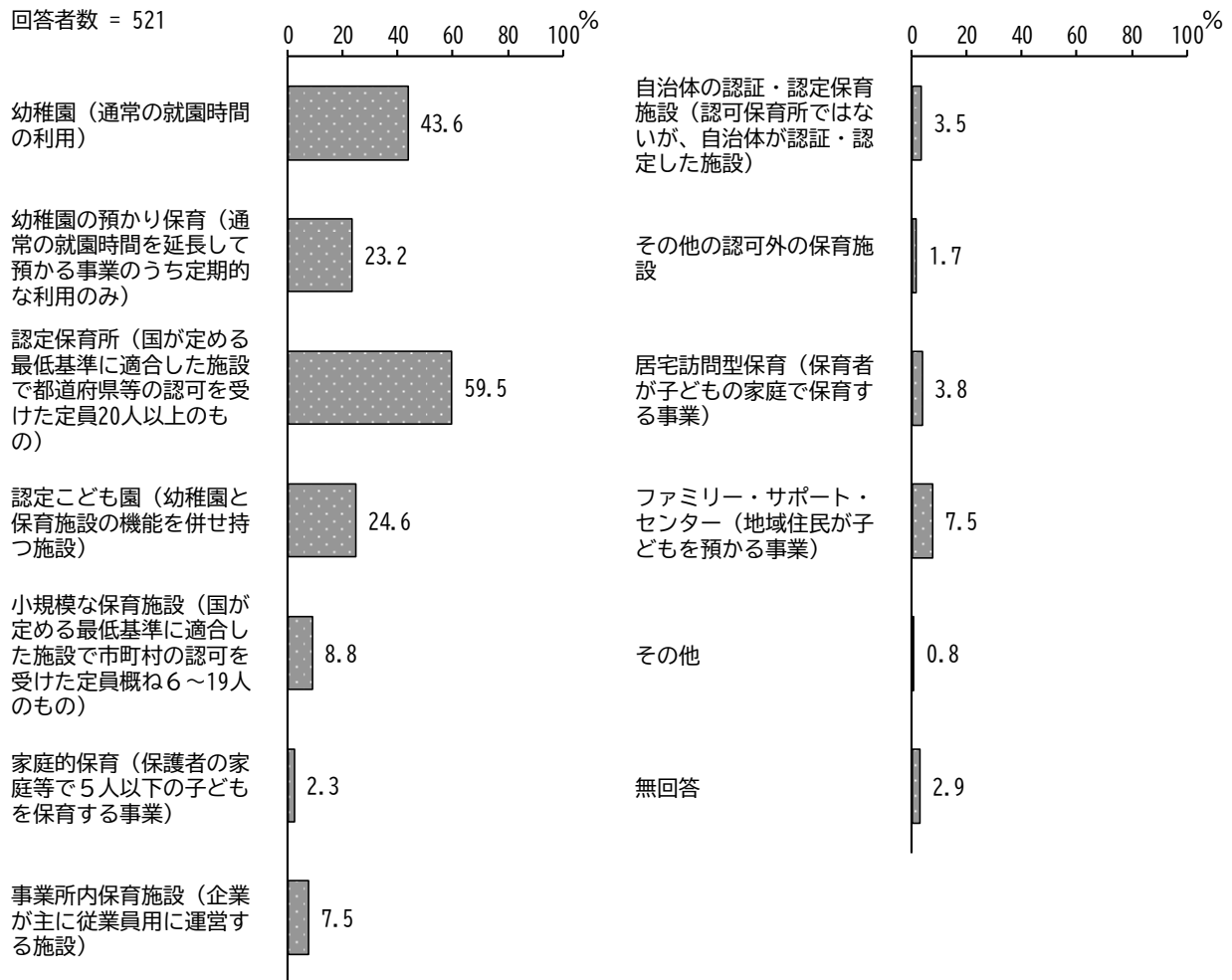
平成30年度調査と比較すると、「育児休業制度が整っていれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい」の割合が増加しています。



問 18 すべての方に向かってあります。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認定保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

「認定保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が 43.6%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が 24.6%となっています。

回答者数 = 521



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳で「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認定保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）	家庭的保育（保護者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育する事業）	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
全体	521	43.6	23.2	59.5	24.6	8.8	2.3	7.5	3.5	1.7	3.8	7.5	0.8	2.9
0歳	99	43.4	26.3	63.6	41.4	21.2	7.1	9.1	8.1	3.0	6.1	5.1	—	5.1
1歳・2歳	153	42.5	20.9	64.7	23.5	5.9	0.7	9.2	3.9	2.0	5.2	5.2	2.0	1.3
3～5歳	237	43.9	24.9	55.3	20.7	6.8	1.7	6.8	1.7	1.3	2.5	10.5	0.4	2.1

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、産休・育休・介護休業中であるで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園 (通常の就園時間の 利用)	幼稚園の預かり保育(通常 の就園時間を延長して預か る事業のうち定期的な利用 のみ)	認定保育所(国が定める最 低基準に適合した施設で都 道府県等の認可を受けた定 員20人以上のもの)	認定こども園(幼稚園と保 育施設の機能を併せ持つ施 設)	小規模な保育施設(国が定 める最低基準に適合した施 設で市町村の認可を受けた 定員概ね6～19人のもの)	家庭的保育(保護者の家庭 等で5人以下の子どもを保 育する事業)
全 体	519	43.5	23.3	59.5	24.7	8.9	2.3
フルタイム(1週5日 程度・1日8時間程 度の就労)で就労し ており、産休・育休 ・介護休業中では ない	158	28.5	19.0	72.2	25.3	7.6	1.9
フルタイム(1週5日 程度・1日8時間程 度の就労)で就労し ているが、産休・育 休・介護休業中 である	63	30.2	22.2	74.6	36.5	19.0	3.2
パート・アルバイト 等(「フルタイム」 以外の就労)で就 労しており、産休 ・育休・介護休業 中ではない	158	35.4	22.2	65.2	20.9	6.3	3.2
パート・アルバイト 等(「フルタイム」 以外の就労)で就 労しているが、 産休・育休・介護 休業中である	15	40.0	13.3	53.3	20.0	6.7	—
産休・育休・介護 休業中である	115	80.9	33.9	31.3	21.7	8.7	1.7
以前は就労してい たが、現在は就 労していない	7	85.7	14.3	14.3	28.6	14.3	—

単位：%

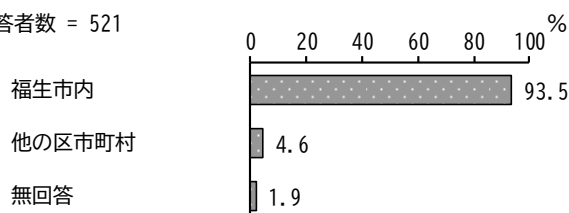
区分	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育する事業）	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
全 体	7.5	3.5	1.7	3.9	7.3	0.8	2.9
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	8.2	3.2	0.6	5.7	10.8	1.3	1.3
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6.3	3.2	3.2	4.8	4.8	1.6	3.2
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	7.0	2.5	3.2	2.5	4.4	—	3.8
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	—	—	—	—	6.7	—	6.7
産休・育休・介護休業中である	8.7	6.1	0.9	3.5	7.8	0.9	2.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	14.3	—	—	—	14.3	—	—

（前ページの表 続き）

問 18-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。「2」に○をつけた方は利用したい区市町村名をご記入ください。

「福生市内」の割合が93.5%、「他の区市町村」の割合が4.6%となっています。

回答者数 = 521

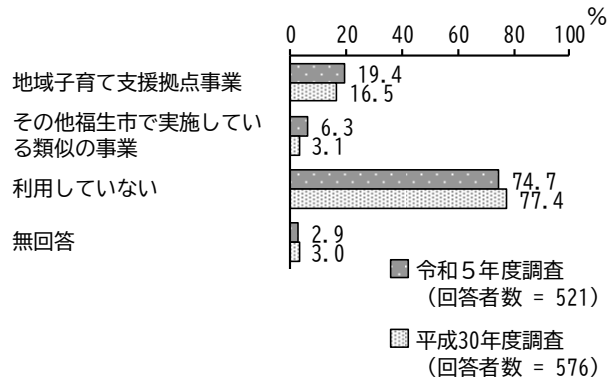


(5) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 19 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場です。）を利用していますか。次の中から、利用されているものに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。※保健センター・公民館などは、「2」に当てはまります。

「利用していない」の割合が 74.7%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」の割合が 19.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳で「地域子育て支援拠点事業」の割合が高くなっています。

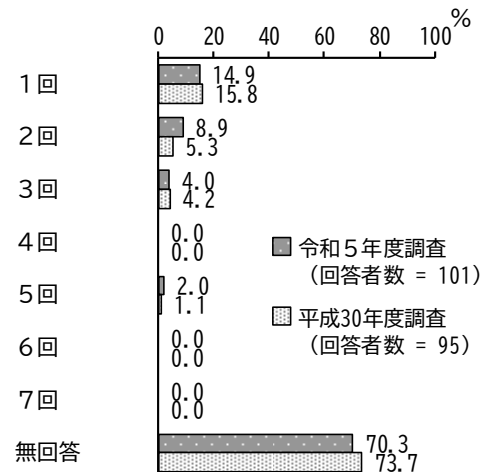
単位：%

区分	回答者数 (件)	地域子育て支援拠点事業	その他福生市で実施している類似の事業	利用していない	無回答
全 体	521	19.4	6.3	74.7	2.9
0歳	99	38.4	9.1	55.6	2.0
1歳・2歳	153	19.6	9.2	74.5	1.3
3～5歳	237	10.5	4.2	84.4	3.0

1. 地域子育て支援拠点事業の週当たりの利用回数

「1回」の割合が 14.9%と最も高くなっています。

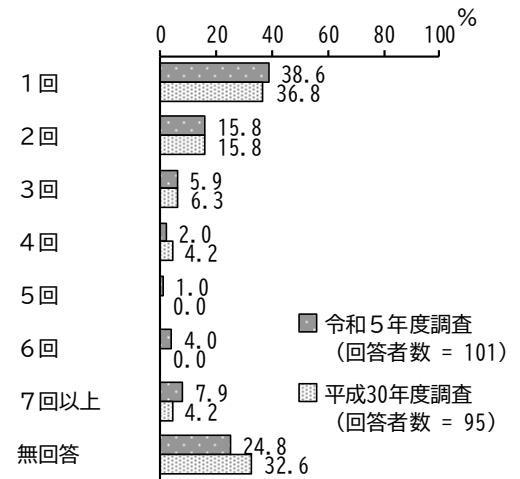
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



月当たりの利用回数

「1回」の割合が38.6%と最も高く、次いで「2回」の割合が15.8%となっています。

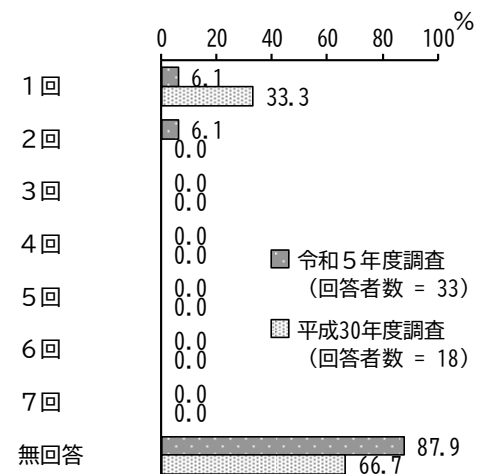
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2. その他福生市で実施している類似の事業の週当たりの利用回数

「1回」、「2回」の割合が6.1%と最も高くなっています。

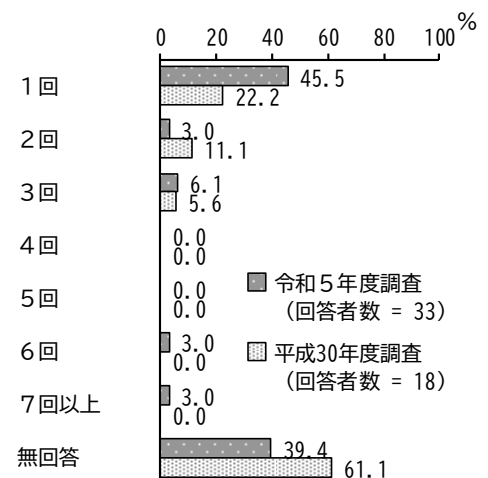
平成30年度調査と比較すると、「2回」の割合が増加しています。一方、「1回」の割合が減少しています。



月当たりの利用回数

「1回」の割合が45.5%と最も高くなっています。

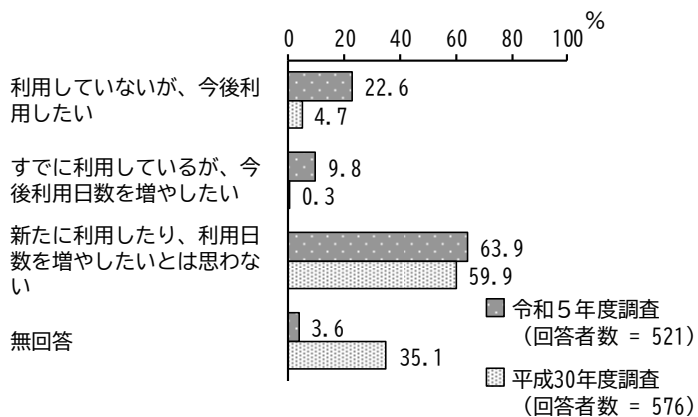
平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が増加しています。一方、「2回」の割合が減少しています。



問 20 問 19 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 22.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

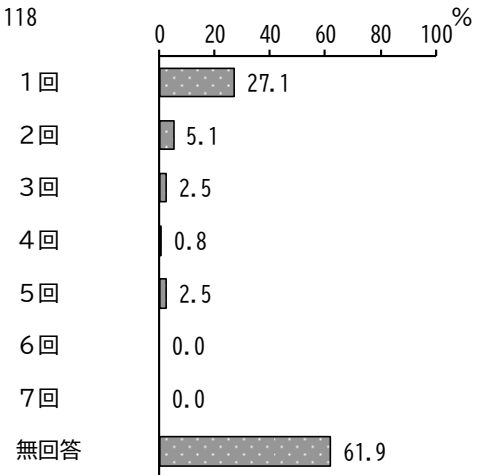
子どもの年齢別にみると、3～5歳で「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
全体	521	22.6	9.8	63.9	3.6
0歳	99	21.2	24.2	48.5	6.1
1歳・2歳	153	24.8	9.2	62.7	3.3
3～5歳	237	21.1	4.2	72.6	2.1

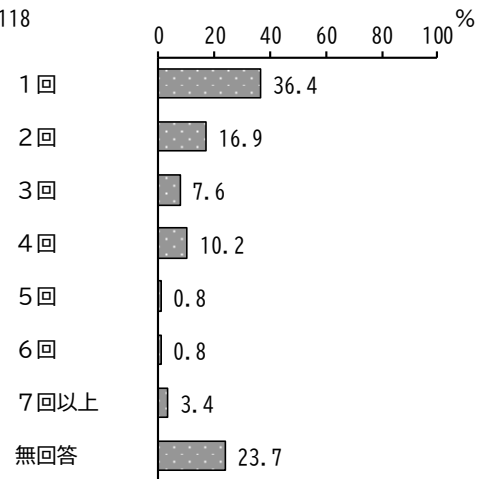
1. 利用していないが、今後利用したい1週当たりの利用希望回数

「1回」の割合が27.1%と最も高くなっています。 回答者数 = 118



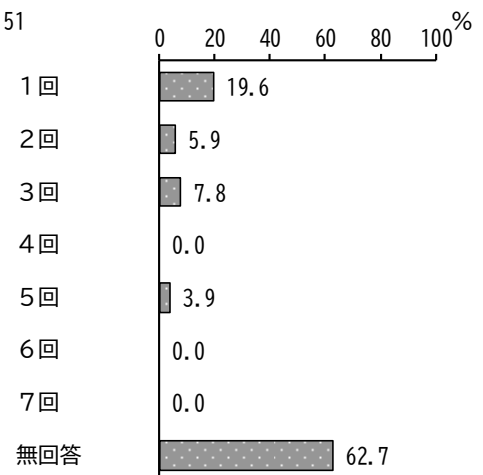
1ヶ月当たりの利用希望回数

「1回」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が16.9%、「4回」の割合が10.2%となっています。 回答者数 = 118



2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい1週当たりの利用希望回数

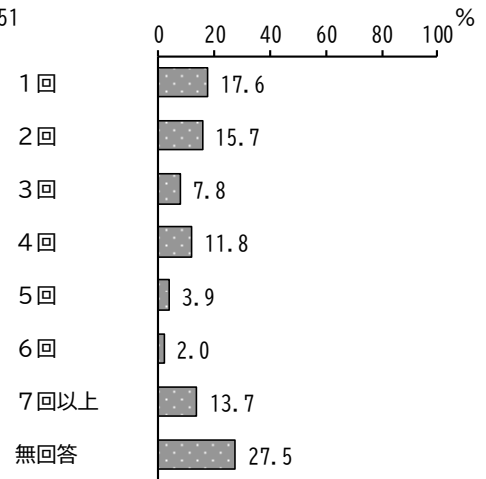
「1回」の割合が19.6%と最も高くなっています。 回答者数 = 51



1ヶ月当たりの利用希望回数

「1回」の割合が17.6%と最も高く、次いで「2回」の割合が15.7%、「7回以上」の割合が13.7%となっています。

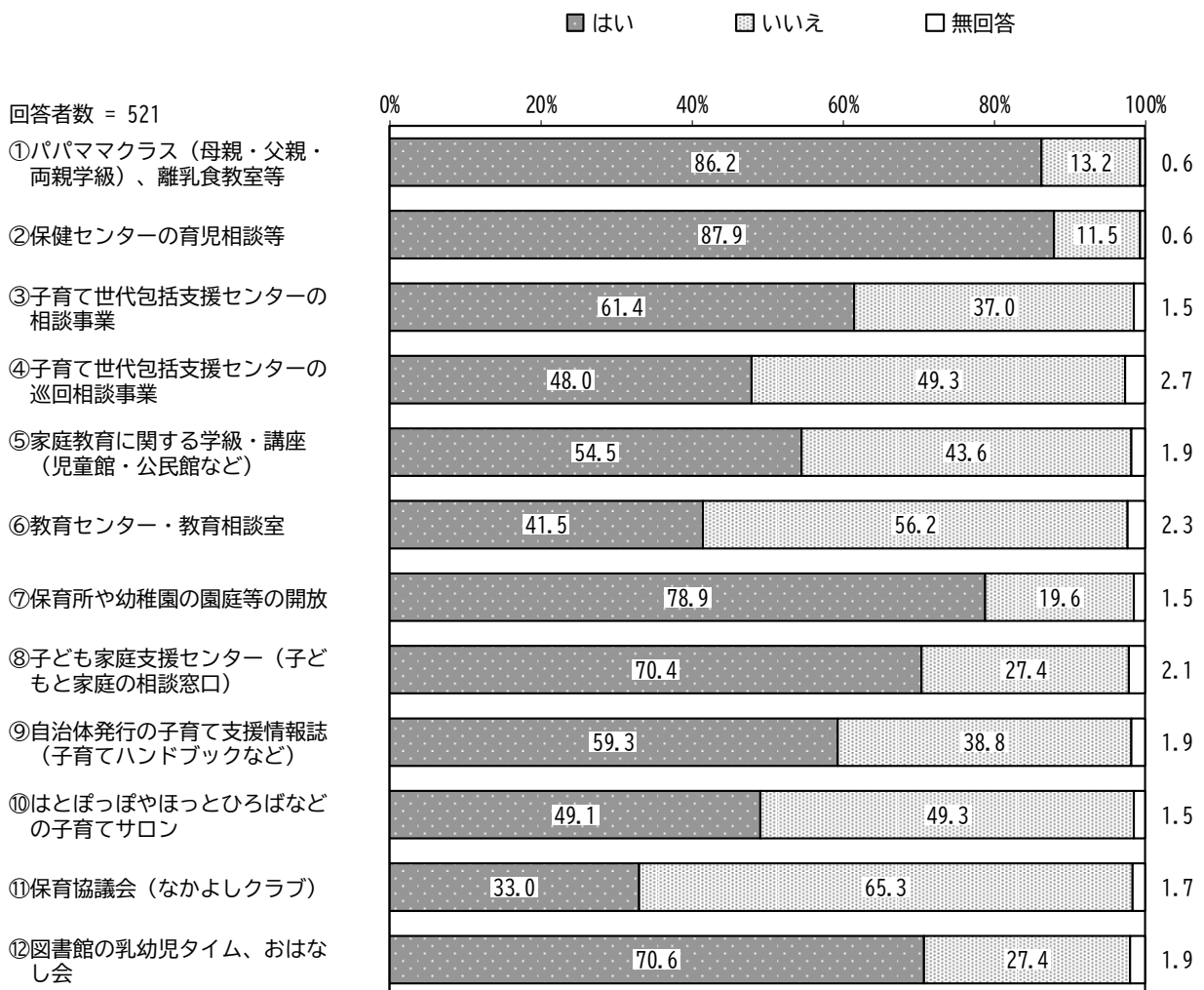
回答者数 = 51



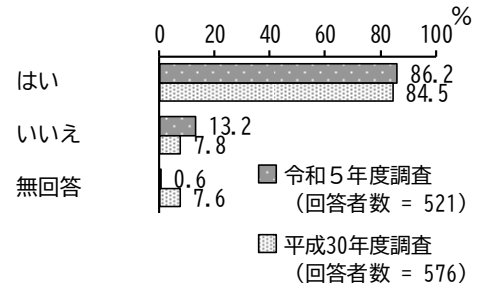
問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑫の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

A知っている

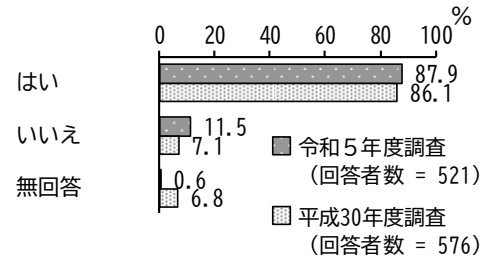
『②保健センターの育児相談等』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑪保育協議会（なかよしクラブ）』で「いいえ」の割合が高くなっています。



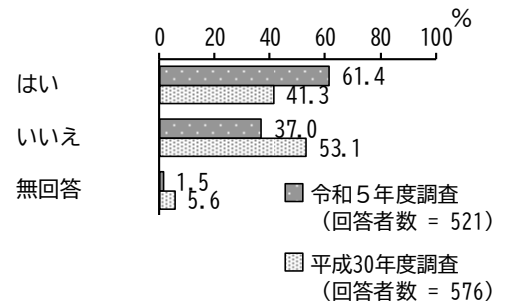
①パパママクラス（母親・父親・両親学級）、離乳食教室等
平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



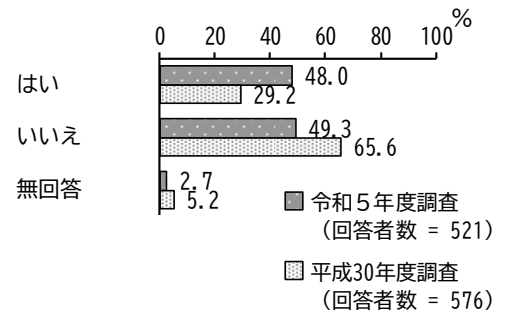
②保健センターの育児相談等
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



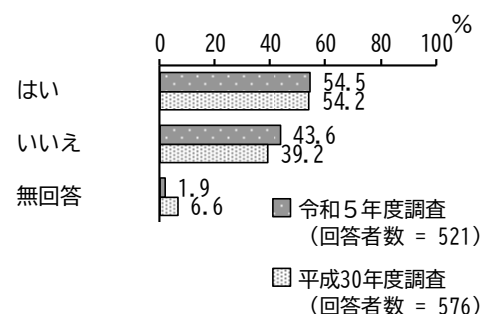
③子育て世代包括支援センターの相談事業
平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



④子育て世代包括支援センターの巡回相談事業
平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。

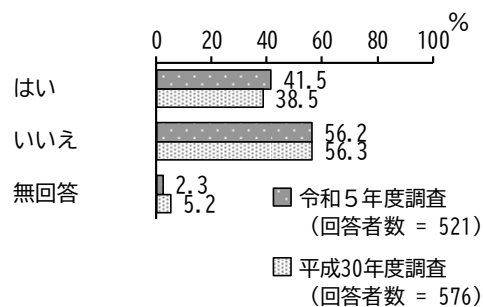


⑤家庭教育に関する学級・講座（児童館・公民館など）
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



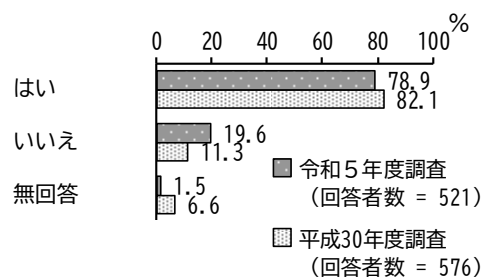
⑥教育センター・教育相談室

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



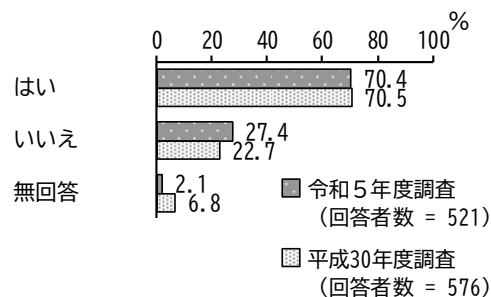
⑦保育所や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



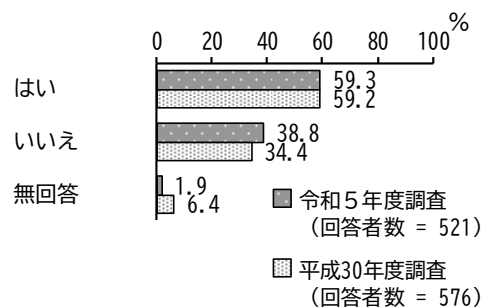
⑧子ども家庭支援センター（子どもと家庭の相談窓口）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



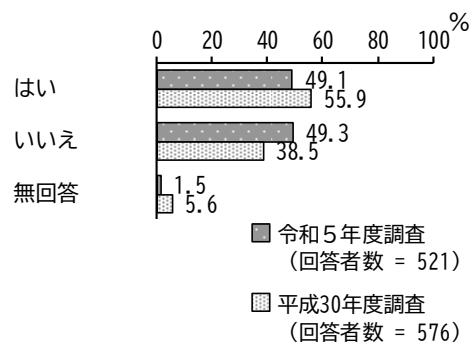
⑨自治体発行の子育て支援情報誌（子育てハンドブックなど）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



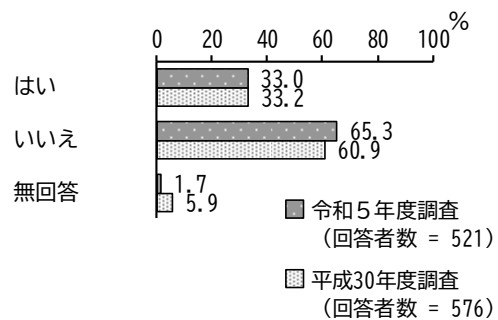
⑩はとぼっぼやほっとひろばなどの子育てサロン

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



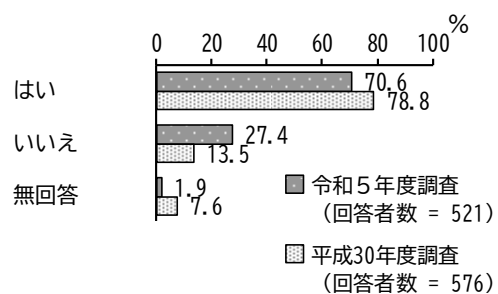
⑪保育協議会（なかよしクラブ）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



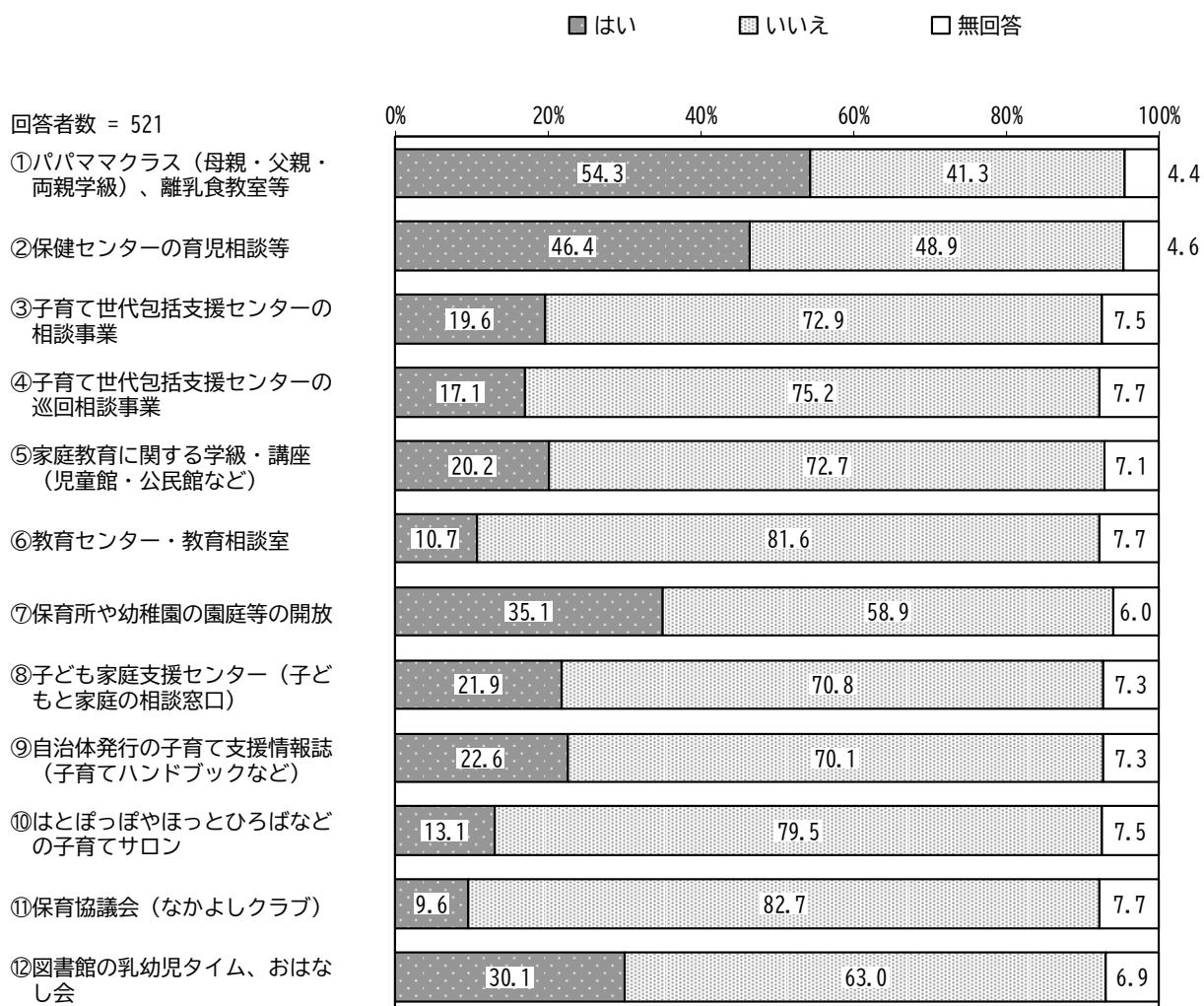
⑫図書館の乳幼児タイム、おはなし会

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



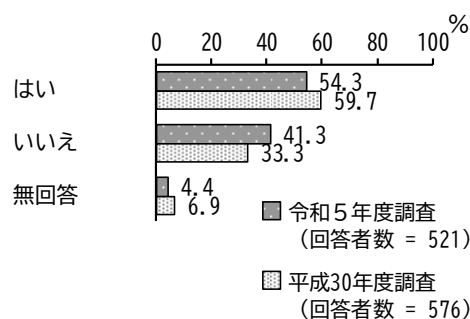
B これまでに利用したことがある

『①パパママクラス（母親・父親・両親学級）、離乳食教室等』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑩保育協議会（なかよしクラブ）』で「いいえ」の割合が高くなっています。



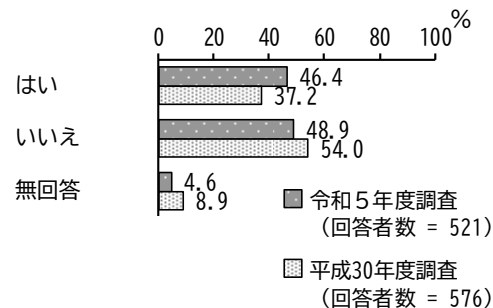
①パパママクラス（母親・父親・両親学級）、離乳食教室等

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



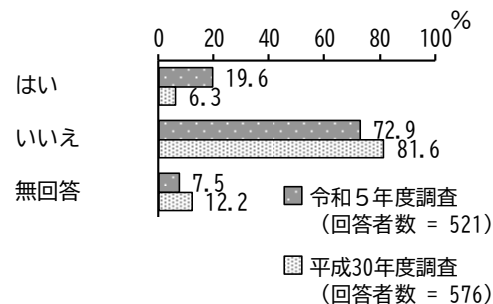
②保健センターの育児相談等

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



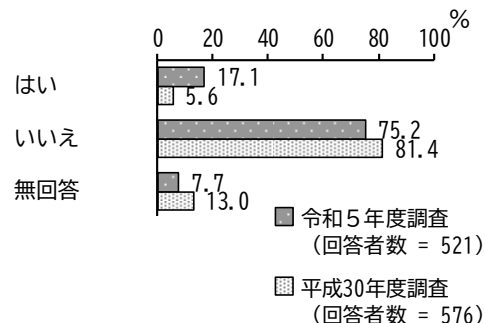
③子育て世代包括支援センターの相談事業

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



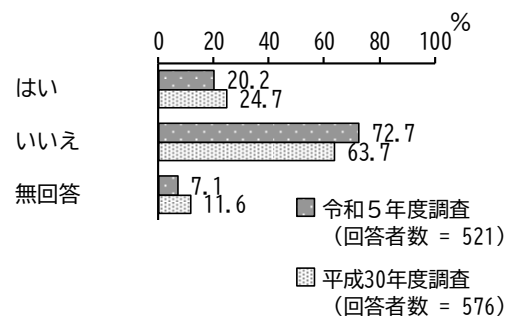
④子育て世代包括支援センターの巡回相談事業

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



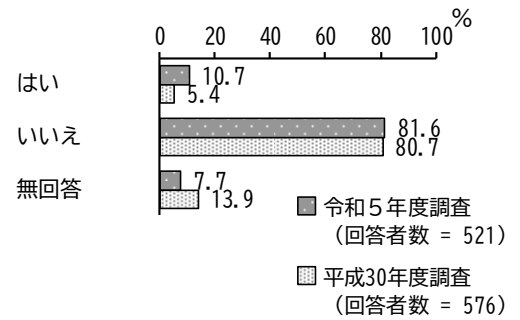
⑤家庭教育に関する学級・講座（児童館・公民館など）

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



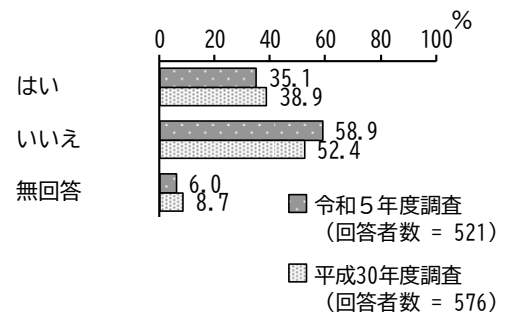
⑥教育センター・教育相談室

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



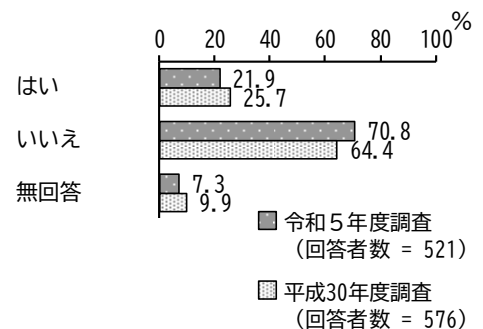
⑦保育所や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



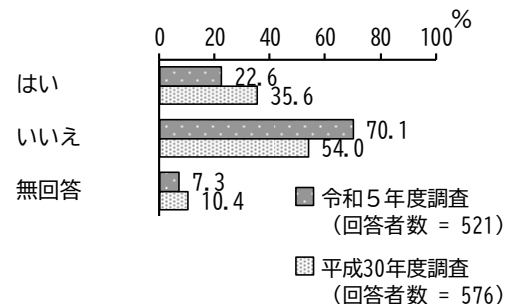
⑧子ども家庭支援センター（子どもと家庭の相談窓口）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



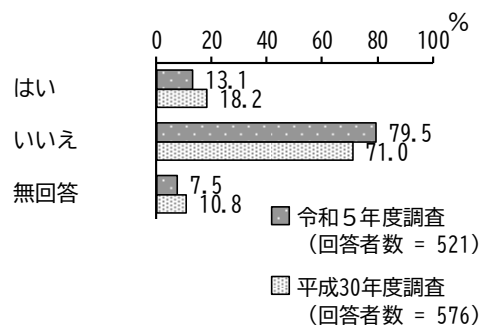
⑨自治体発行の子育て支援情報誌（子育てハンドブックなど）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



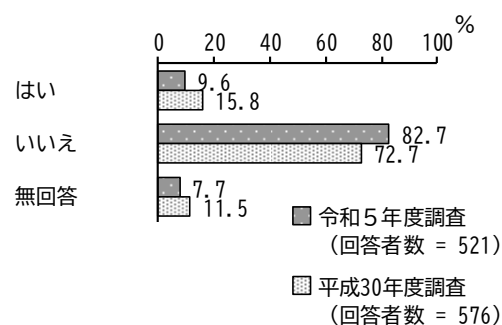
⑩はとぽっぽやほっとひろばなどの子育てサロン

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



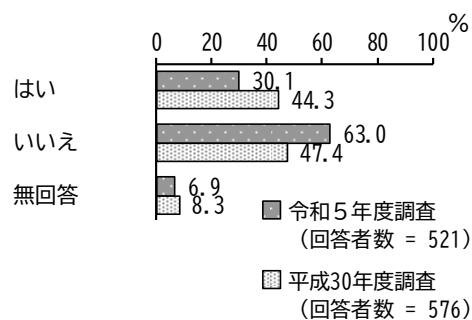
⑪保育協議会（なかよしクラブ）

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



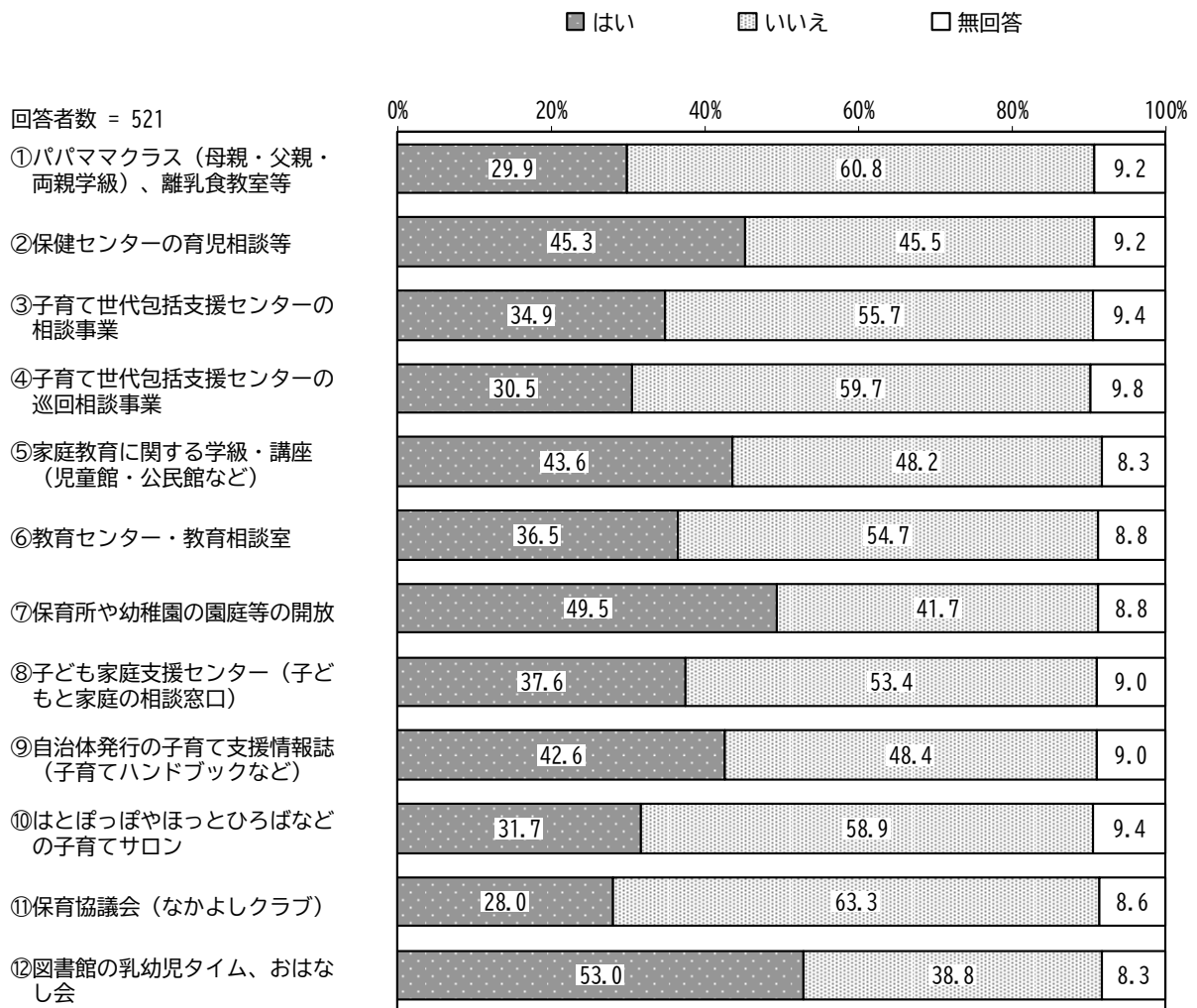
⑫図書館の乳幼児タイム、おはなし会

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



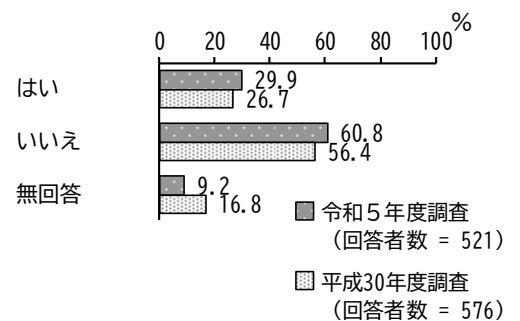
C 今後利用したい

『⑪保育協議会（なかよしクラブ）』で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、『⑫図書館の乳幼児タイム、おはなし会』で「はい」の割合が高くなっています。



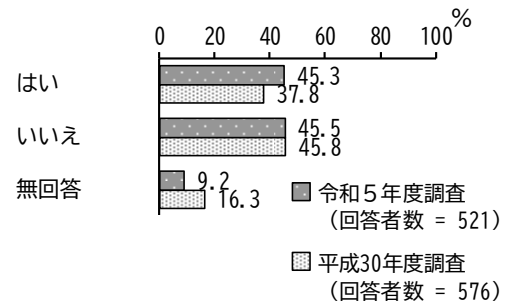
①パパママクラス（母親・父親・両親学級）、離乳食教室等

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



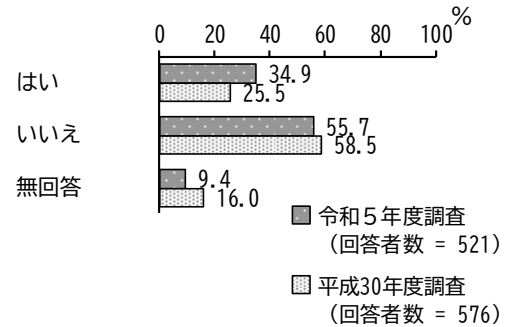
②保健センターの育児相談等

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



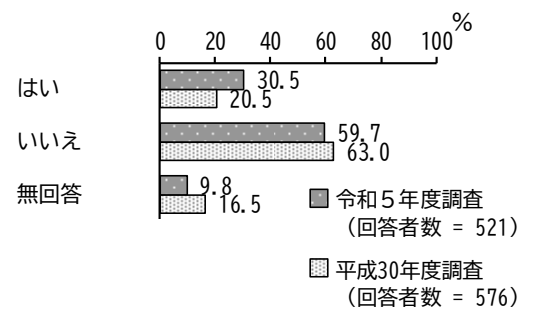
③子育て世代包括支援センターの相談事業

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



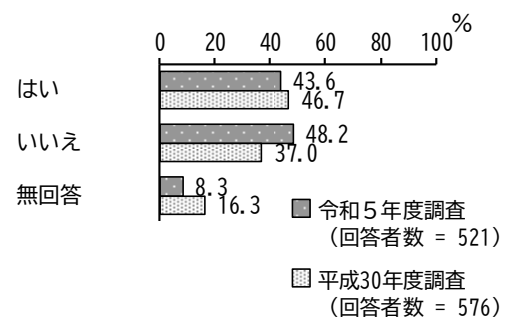
④子育て世代包括支援センターの巡回相談事業

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



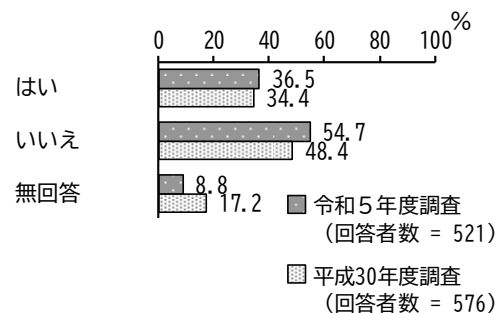
⑤家庭教育に関する学級・講座（児童館・公民館など）

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



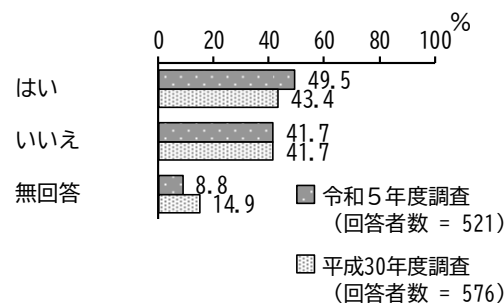
⑥教育センター・教育相談室

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



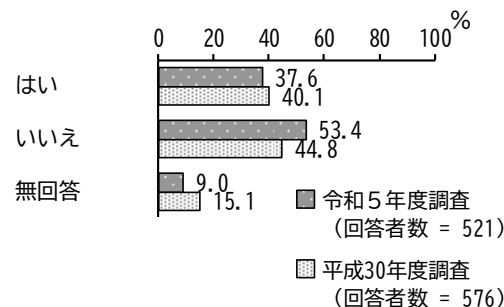
⑦保育所や幼稚園の園庭等の開放

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



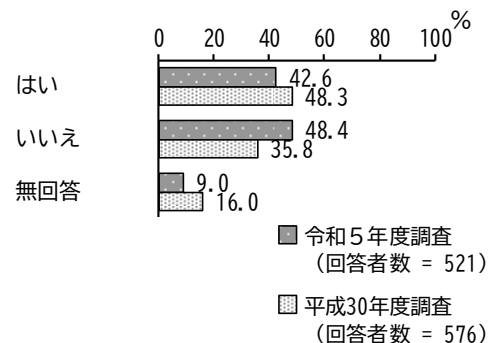
⑧子ども家庭支援センター（子どもと家庭の相談窓口）

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



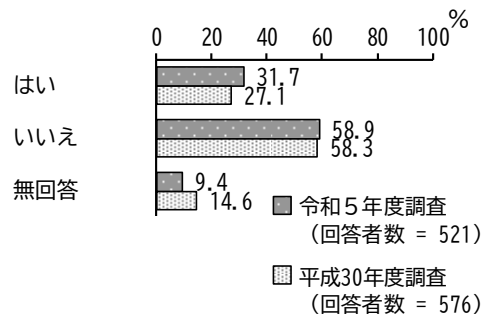
⑨自治体発行の子育て支援情報誌（子育てハンドブックなど）

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



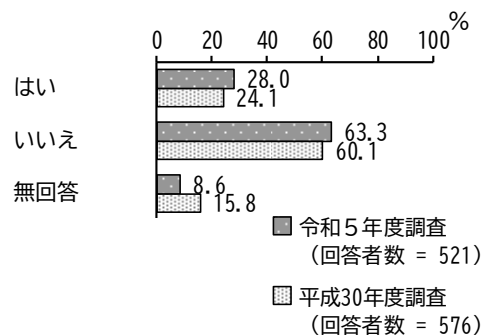
⑩はとぽっぽやほっとひろばなどの子育てサロン

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



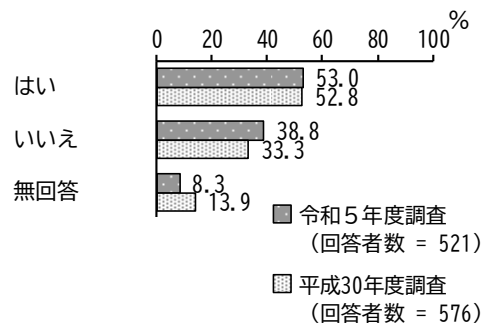
⑪保育協議会（なかよしクラブ）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑫図書館の乳幼児タイム、おはなし会

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



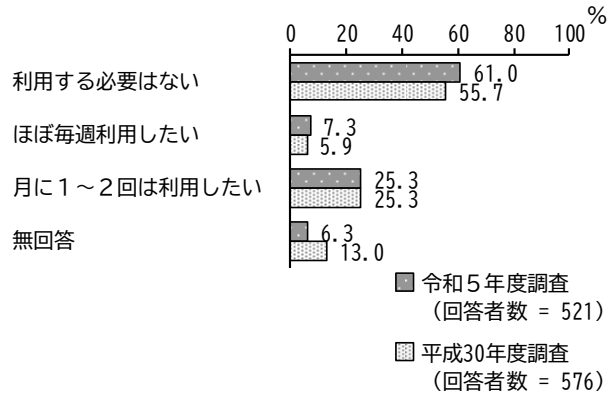
(6) お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 22 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます。)希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時~18時のように24時間表記でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日(注)現在利用している方は除きます。

「利用する必要はない」の割合が61.0%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」の割合が25.3%となっています。

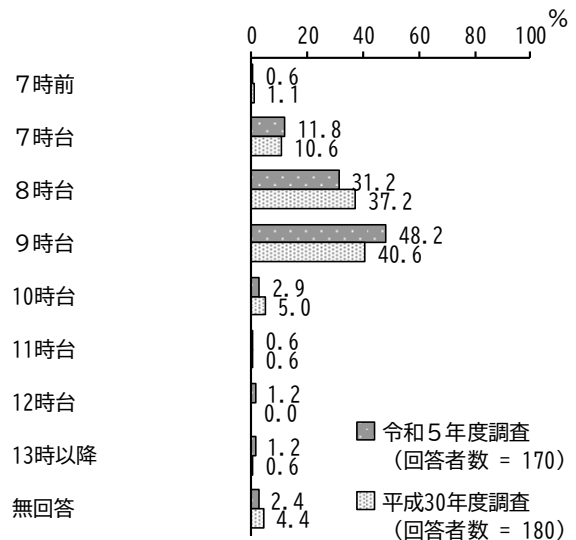
平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。



開始時刻

「9時台」の割合が48.2%と最も高く、次いで「8時台」の割合が31.2%、「7時台」の割合が11.8%となっています。

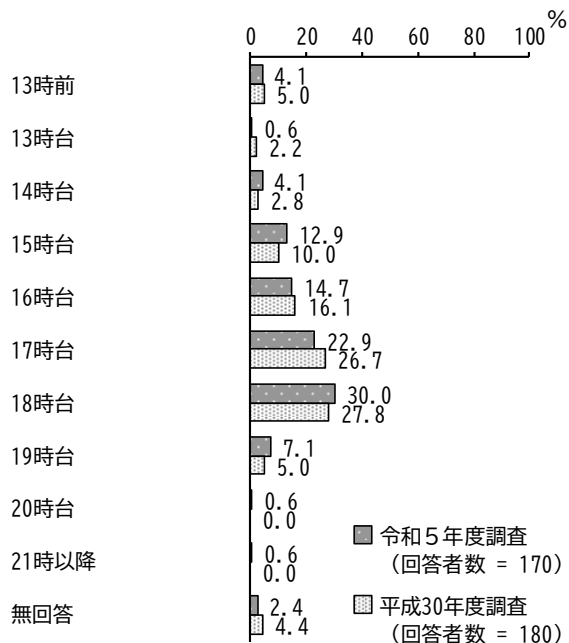
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が増加しています。一方、「8時台」の割合が減少しています。



終了時刻

「18 時台」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 22.9%、「16 時台」の割合が 14.7%となっています。

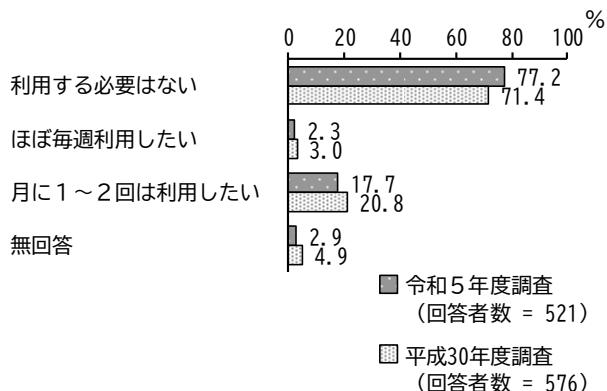
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が 77.2%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 17.7%となっています。

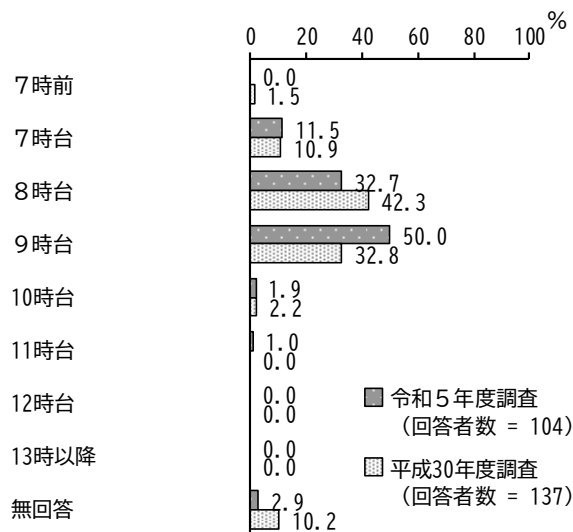
平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。



開始時刻

「9 時台」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 32.7%、「7 時台」の割合が 11.5%となっています。

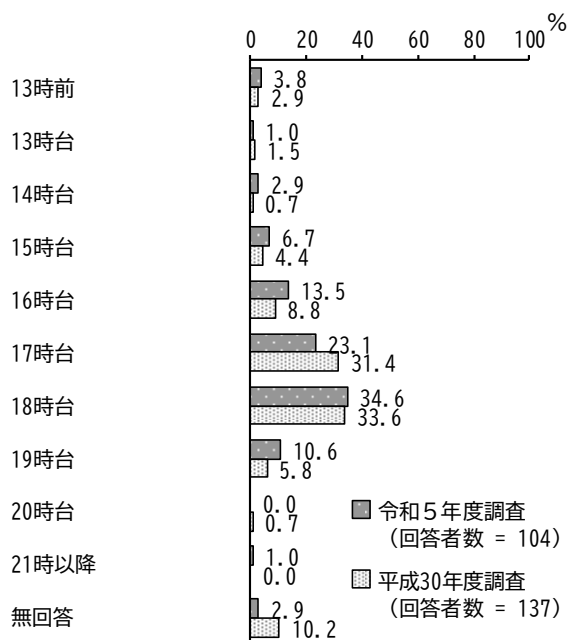
平成 30 年度調査と比較すると、「9 時台」の割合が増加しています。一方、「8 時台」の割合が減少しています。



終了時刻

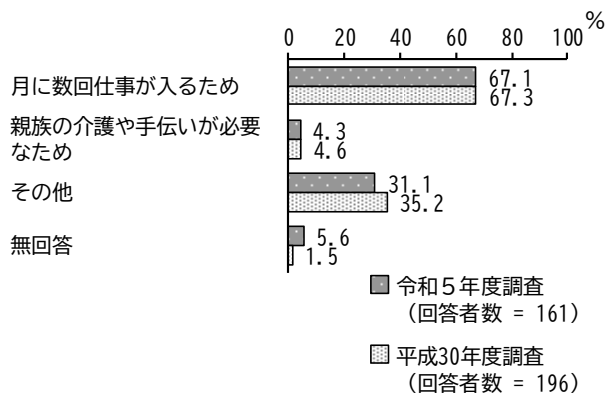
「18 時台」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 23.1%、「16 時台」の割合が 13.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が減少しています。



問 22-1 問 22 の (1) もしくは (2) で、「月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、月に 1～2 回は利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

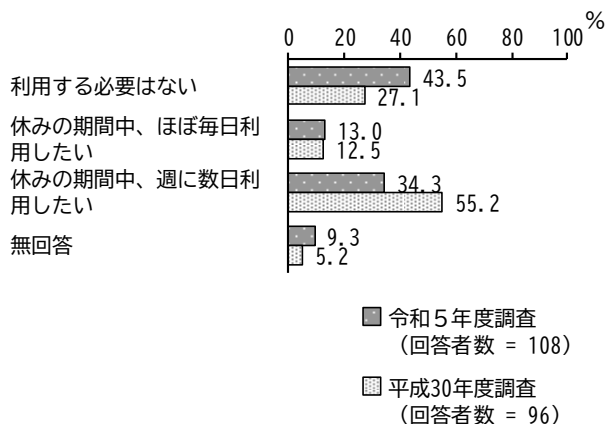
「月に数回仕事が入るため」の割合が 67.1%、「親族の介護や手伝いが必要なため」の割合が 4.3%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 23 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間表記でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「利用する必要はない」の割合が43.5%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が34.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が13.0%となっています。

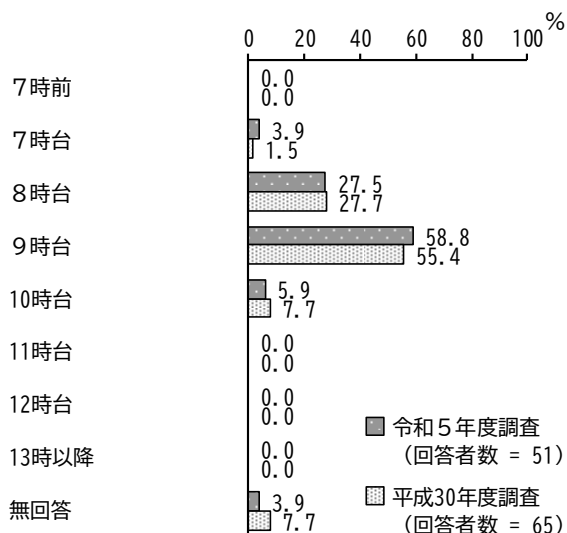
平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が減少しています。



開始時刻

「9時台」の割合が58.8%と最も高く、次いで「8時台」の割合が27.5%となっています。

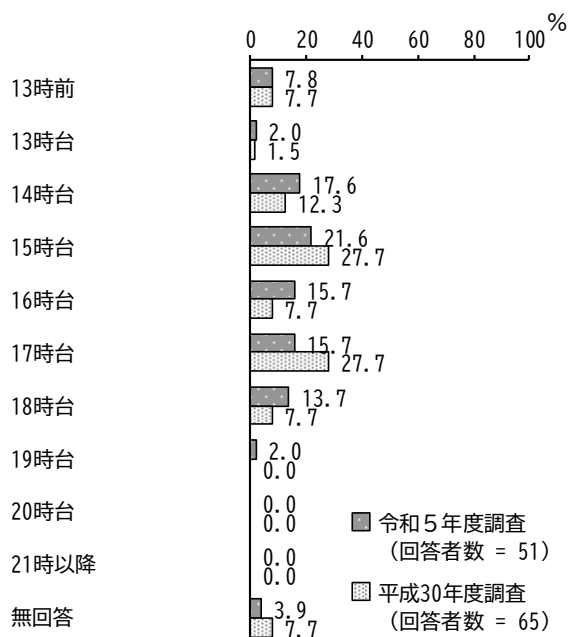
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



終了時刻

「15 時台」の割合が 21.6%と最も高く、次いで「14 時台」の割合が 17.6%、「16 時台」、「17 時台」の割合が 15.7%となっています。

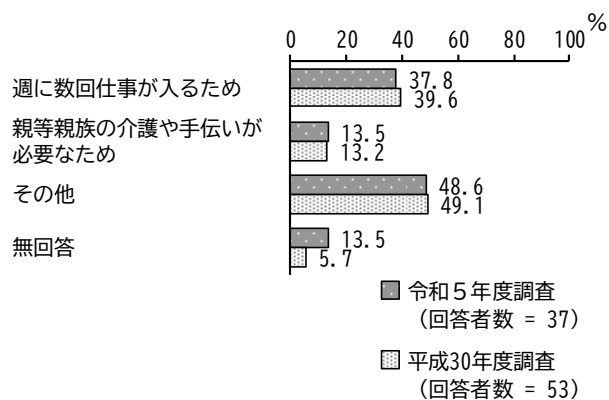
平成 30 年度調査と比較すると、「14 時台」「16 時台」「18 時台」の割合が増加しています。一方、「15 時台」「17 時台」の割合が減少しています。



問 23-1 問 23 で、「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「週に数回仕事が入るため」の割合が 37.8%、「親等親族の介護や手伝いが必要なため」の割合が 13.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

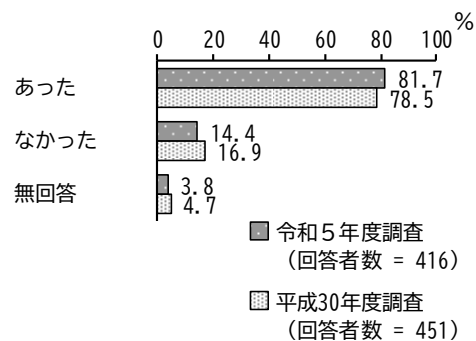


(7) お子さんの病気の際の対応について
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 24 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 16 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 25 にお進みください。この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」の割合が81.7%、「なかった」の割合が14.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、1歳・2歳で「あった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	416	81.7	14.4	3.8
0歳	29	86.2	10.3	3.4
1歳・2歳	124	89.5	7.3	3.2
3～5歳	235	78.3	17.4	4.3

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「なかった」の割合が高くなっています。

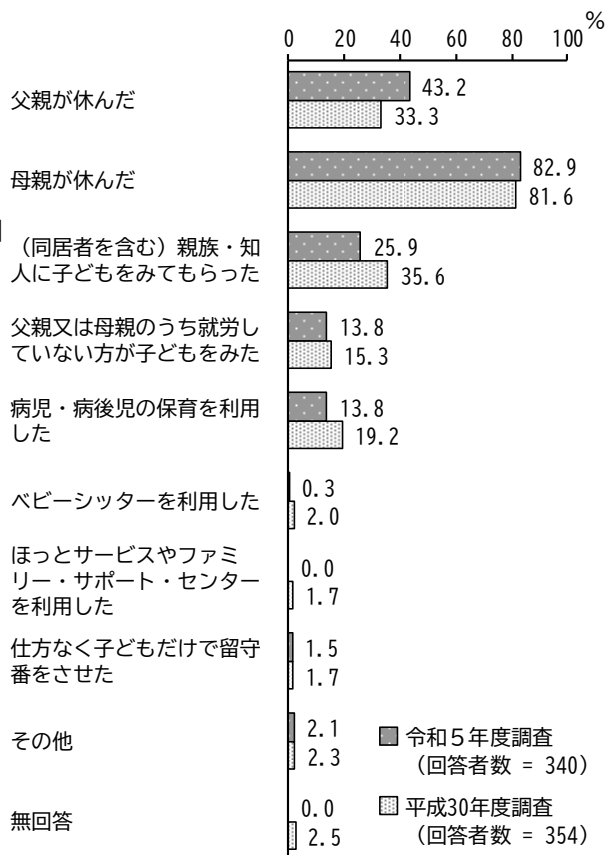
単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	414	81.6	14.5	3.9
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	156	84.0	11.5	4.5
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	22	81.8	18.2	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	150	84.0	12.7	3.3
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10	80.0	20.0	—
産休・育休・介護休業中である	69	76.8	18.8	4.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	5	40.0	60.0	—

問 24-1 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数についても()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日と数えてください。)

「母親が休んだ」の割合が82.9%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が43.2%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が25.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」「病児・病後児の保育を利用した」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳で「病児・病後児の保育を利用した」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ほっとサービスやファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	340	43.2	82.9	25.9	13.8	13.8	0.3	—	1.5	2.1	—
0歳	25	52.0	96.0	24.0	8.0	32.0	—	—	—	—	—
1歳・2歳	111	45.9	84.7	34.2	12.6	15.3	—	—	0.9	0.9	—
3～5歳	184	39.7	79.3	22.3	16.8	10.9	0.5	—	2.2	3.3	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、産休・育休・介護休業中であるで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

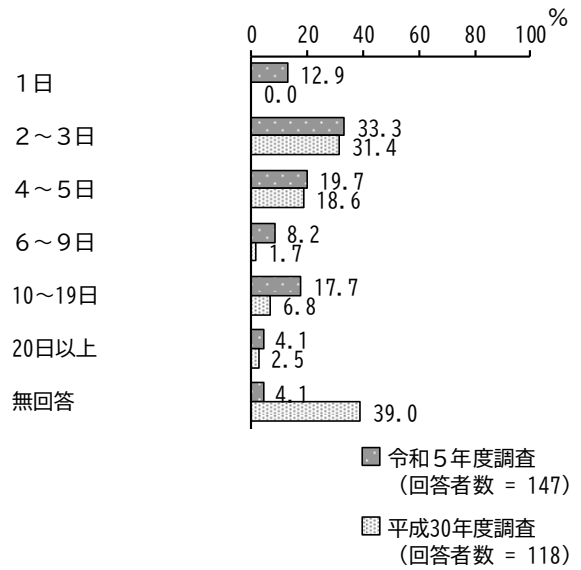
単位：％

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ほっとサービスマリリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	338	42.9	83.4	26.0	13.9	13.6	0.3	—	1.5	2.1	—
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	131	48.9	94.7	36.6	3.1	20.6	0.8	—	3.1	3.1	—
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	18	72.2	88.9	33.3	16.7	5.6	—	—	—	—	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	126	41.3	96.0	23.0	3.2	10.3	—	—	0.8	2.4	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	8	25.0	87.5	25.0	12.5	12.5	—	—	—	—	—
産休・育休・介護休業中である	53	24.5	24.5	5.7	64.2	7.5	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	2	50.0	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—	—

1. 父親が休んだ日数

「2～3日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が19.7%、「10～19日」の割合が17.7%となっています。

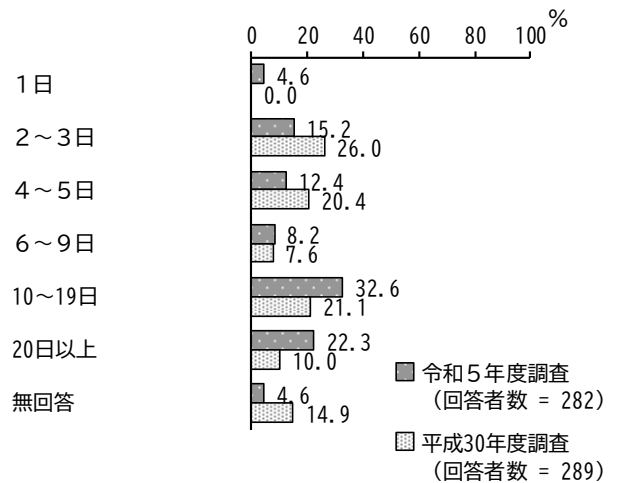
平成30年度調査と比較すると、「1日」「6～9日」「10～19日」の割合が増加しています。



2. 母親が休んだ日数

「10～19日」の割合が32.6%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が22.3%、「2～3日」の割合が15.2%となっています。

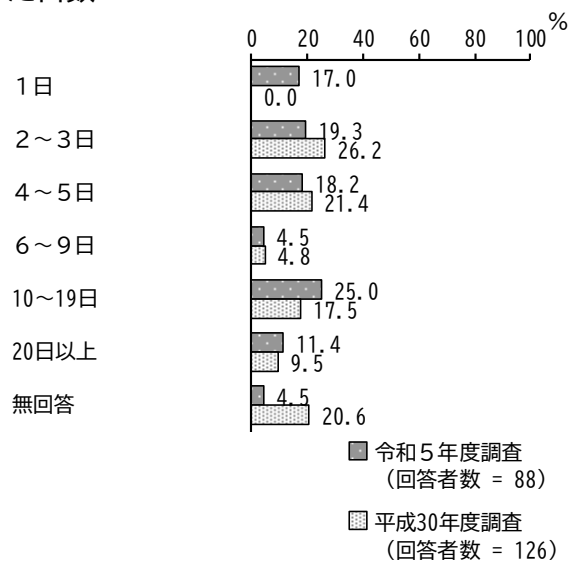
平成30年度調査と比較すると、「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「2～3日」「4～5日」の割合が減少しています。



3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数

「10～19日」の割合が25.0%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が19.3%、「4～5日」の割合が18.2%となっています。

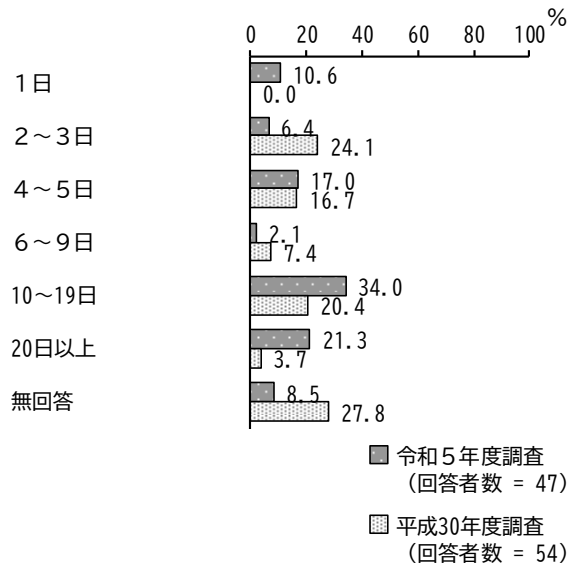
平成30年度調査と比較すると、「1日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「2～3日」の割合が減少しています。



4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

「10～19日」の割合が34.0%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が21.3%、「4～5日」の割合が17.0%となっています。

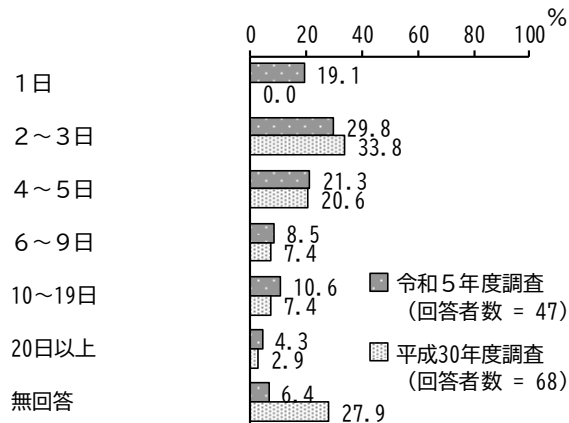
平成30年度調査と比較すると、「1日」「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「2～3日」「6～9日」の割合が減少しています。



5. 病児・病後児の保育を利用した日数

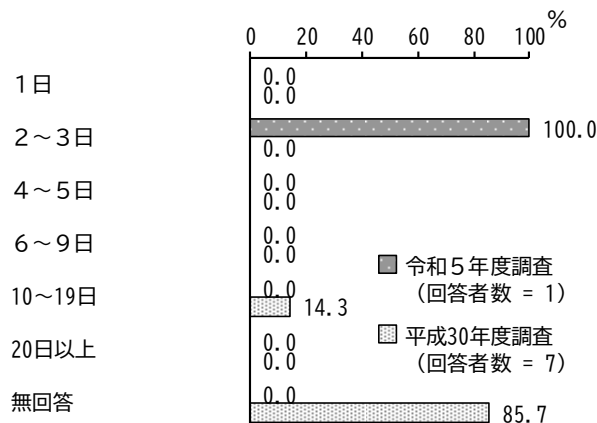
「2～3日」の割合が29.8%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が21.3%、「1日」の割合が19.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。



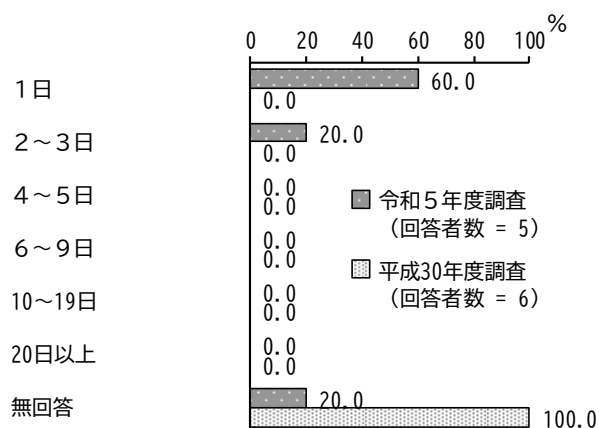
6. ベビーシッターを利用した日数

「2～3日」が1件となっています。

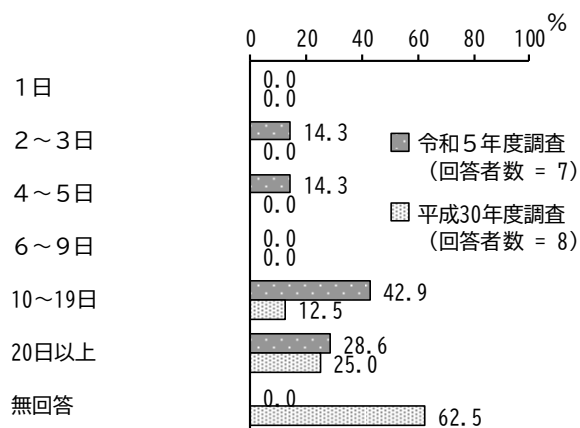


7. ほっとサービスやファミリー・サポート・センターを利用した日数
有効回答がありませんでした。

8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数
「1日」が3件となっています。「2～3日」
が1件となっています。



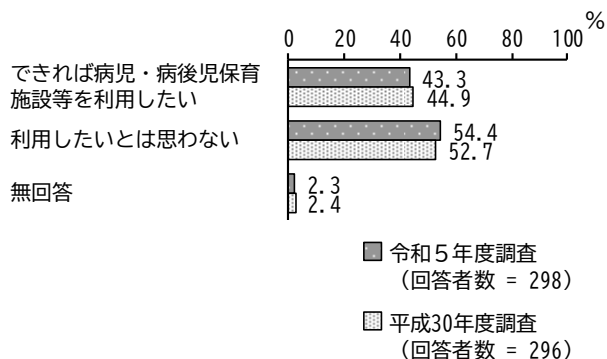
9. その他の日数
「10～19日」が3件となっています。「20日以上」
が2件、「2～3日」、「4～5日」が1件と
なっています。



問 24-2 問 24-1 で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当ではまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が43.3%、「利用したいとは思わない」の割合が54.4%となっています。

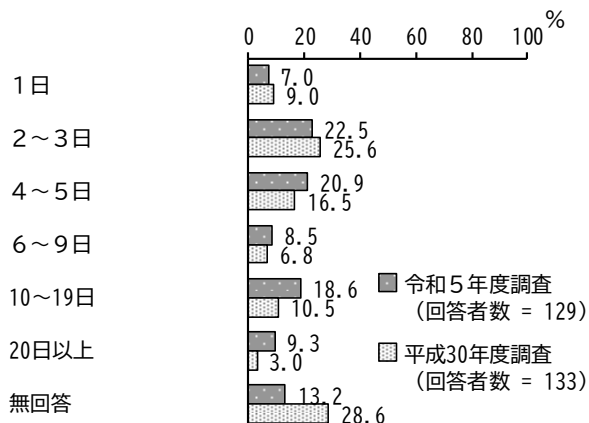
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「2～3日」の割合が22.5%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が20.9%、「10～19日」の割合が18.6%となっています。

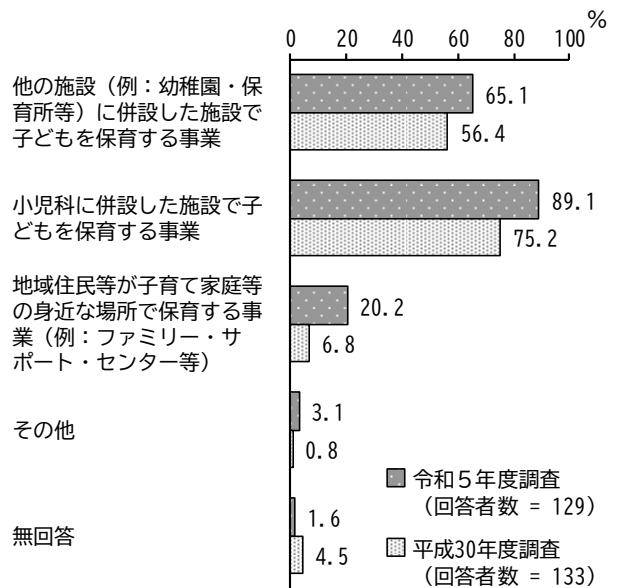
平成30年度調査と比較すると、「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。



問 24-3 問 24-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が89.1%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が65.1%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が20.2%となっています。

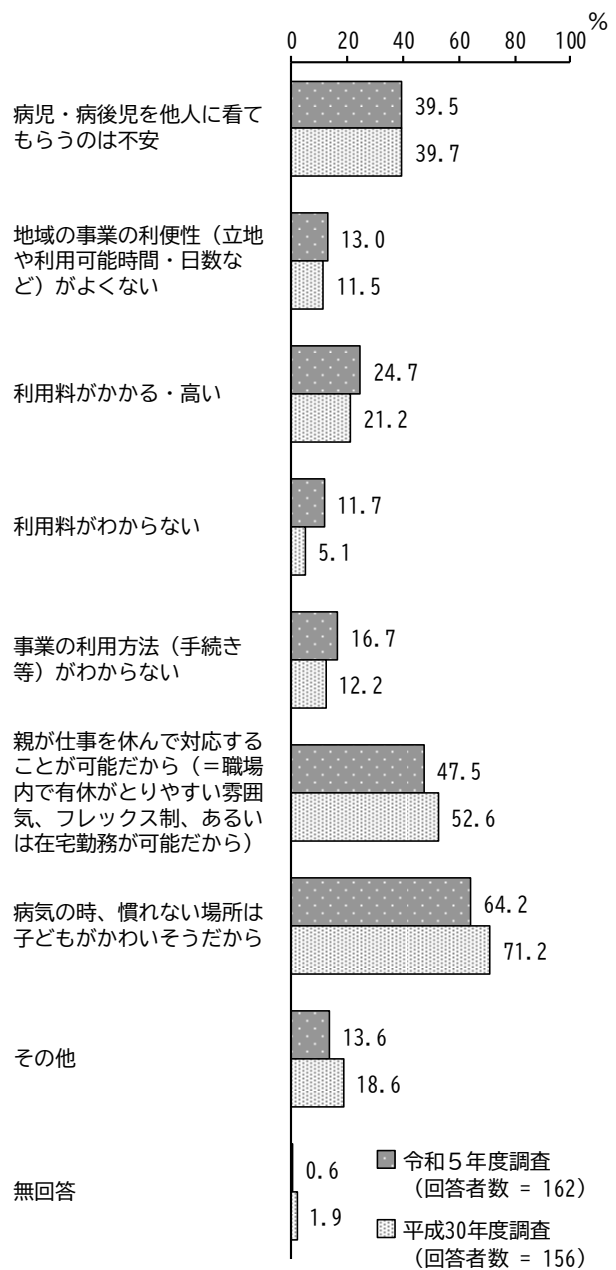
平成30年度調査と比較すると、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が増加しています。



問 24-4 問 24-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方いかがいます。そう
思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病気の時、慣れない場所は子どもがかわいそ
うだから」の割合が 64.2%と最も高く、次いで
「親が仕事を休んで対応することが可能だから
(=職場内で有休がとりやすい雰囲気、フレック
ス制、あるいは在宅勤務が可能だから)」の割合
が 47.5%、「病児・病後児を他人に看てもらうの
は不安」の割合が 39.5%となっています。

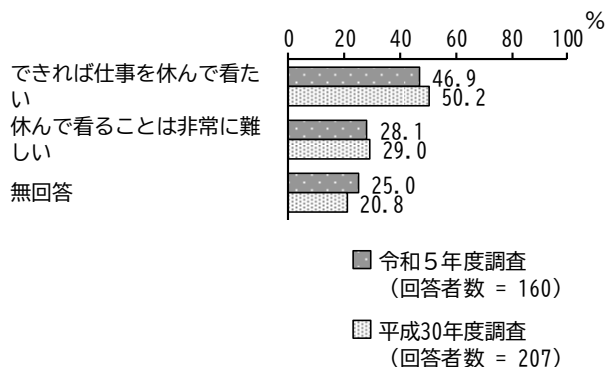
平成 30 年度調査と比較すると、「利用料がわか
らない」の割合が増加しています。一方、「親が仕
事を休んで対応することが可能だから (=職場内
で有休がとりやすい雰囲気、フレックス制、ある
いは在宅勤務が可能だから)」「病気の時、慣れな
い場所は子どもがかわいそうだから」の割合が減
少しています。



問 24-5 問 24-1で「3」から「9」のいずれかに回答した方にかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「3」から「9」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が46.9%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が28.1%となっています。

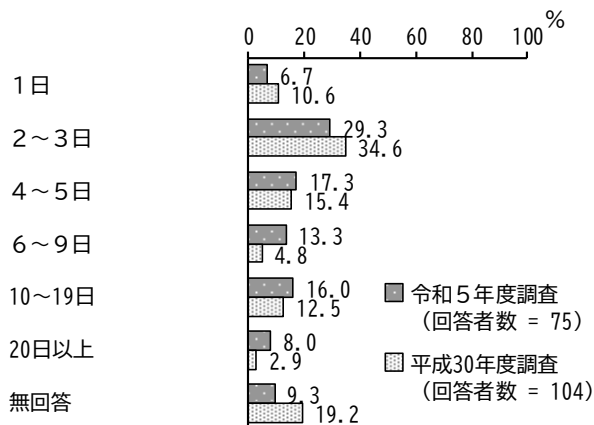
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



できれば仕事を休んで看たい日数

「2～3日」の割合が29.3%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が17.3%、「10～19日」の割合が16.0%となっています。

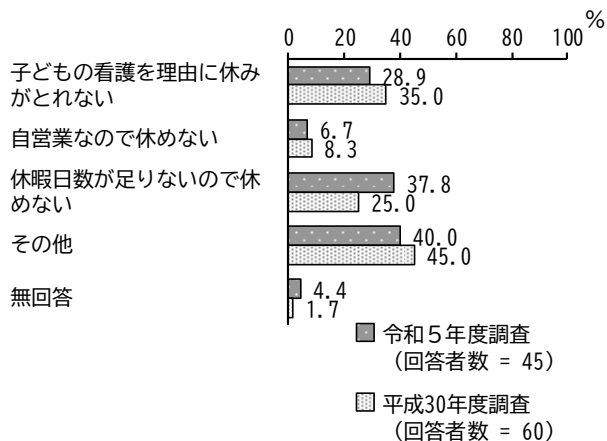
平成30年度調査と比較すると、「6～9日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「2～3日」の割合が減少しています。



問 24-6 問 24-5で「休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「休暇日数が足りないので休めない」の割合が37.8%と最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が28.9%となっています。

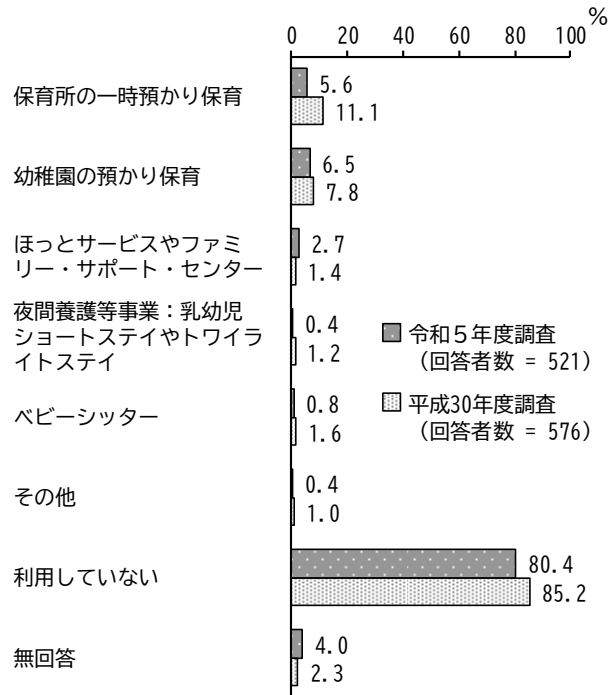
平成30年度調査と比較すると、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が増加しています。一方、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が減少しています。



(8) お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 25 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

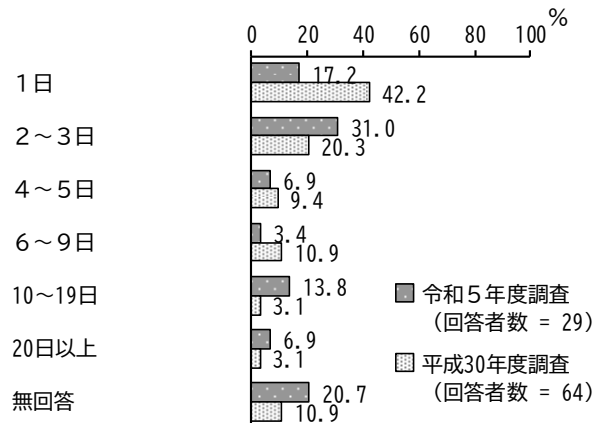
「利用していない」の割合が80.4%と最も高くなっています。
平成30年度調査と比較すると、「保育所の一時預かり保育」の割合が減少しています。



1. 保育所の一時預かり保育の日数

「2～3日」の割合が31.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が17.2%、「10～19日」の割合が13.8%となっています。

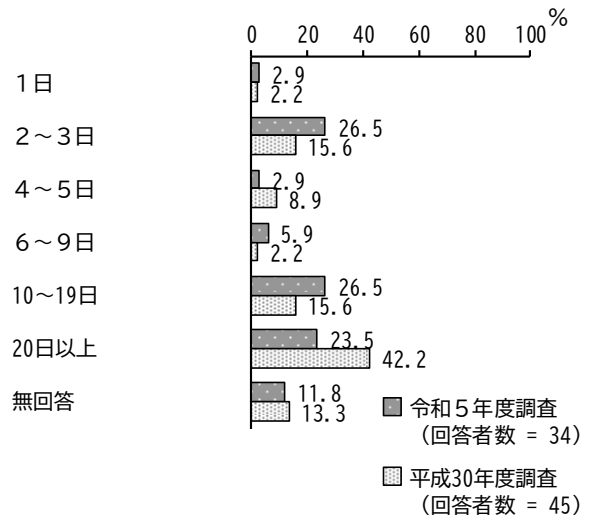
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」「6～9日」の割合が減少しています。



2. 幼稚園の預かり保育の日数

「2～3日」、「10～19日」の割合が26.5%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が23.5%となっています。

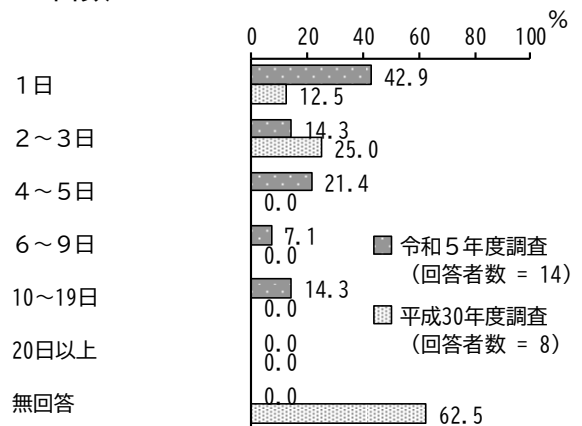
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「4～5日」「20日以上」の割合が減少しています。



3. ほっとサービスやファミリー・サポート・センターの日数

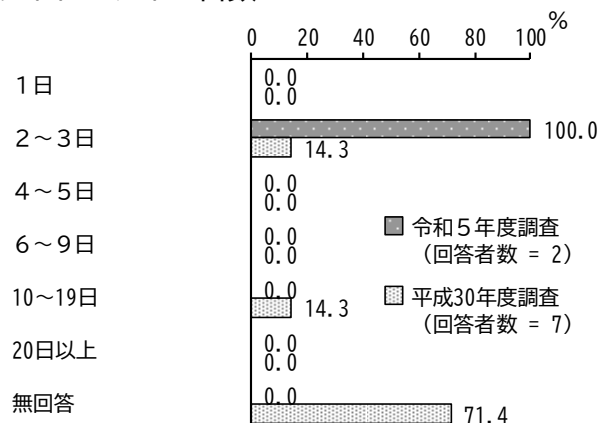
「1日」の割合が42.9%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が21.4%、「2～3日」、「10～19日」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「4～5日」「6～9日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「2～3日」の割合が減少しています。



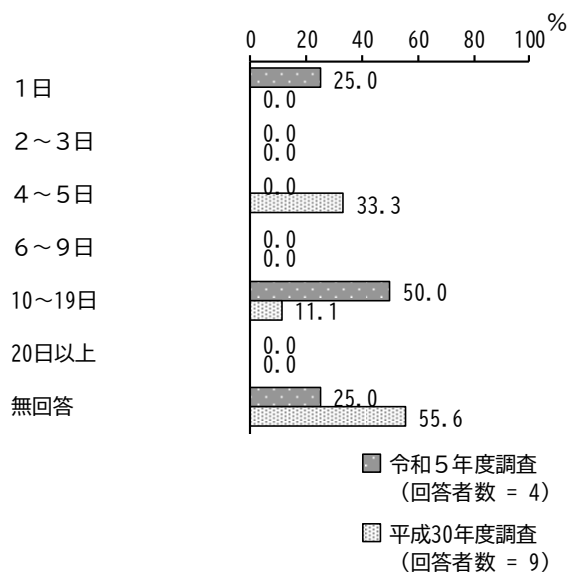
4. 夜間養護等事業：乳幼児ショートステイやトワイライトステイの日数

「2～3日」が2件となっています。



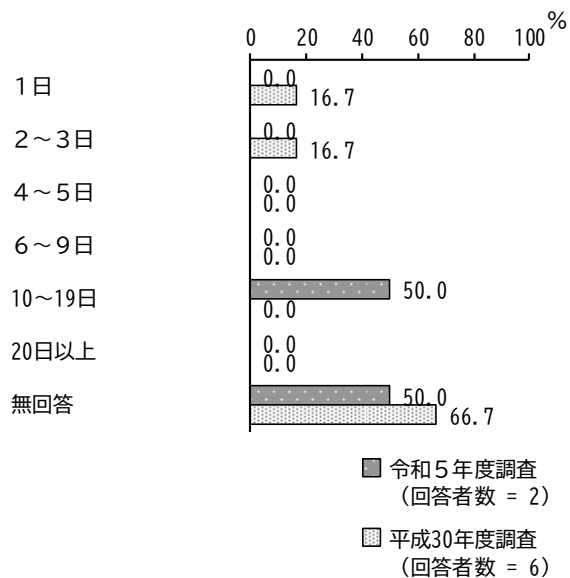
5. ベビーシッターの日数

「10～19日」が2件となっています。「1日」が1件となっています。



6. その他の日数

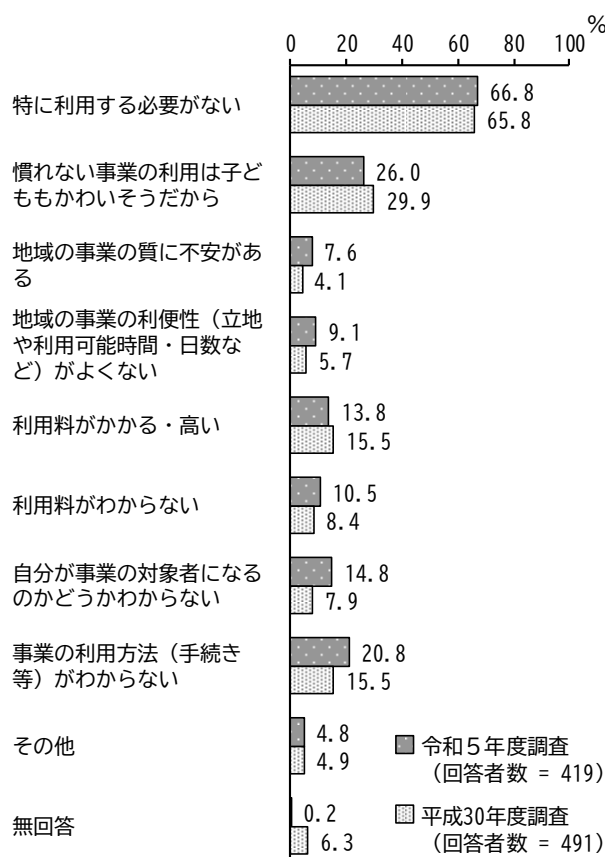
「10～19日」が1件となっています。



問 25－1 問 25 で「利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「慣れない事業の利用は子どももかわいそうだから」の割合が 26.0%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 20.8%となっています。

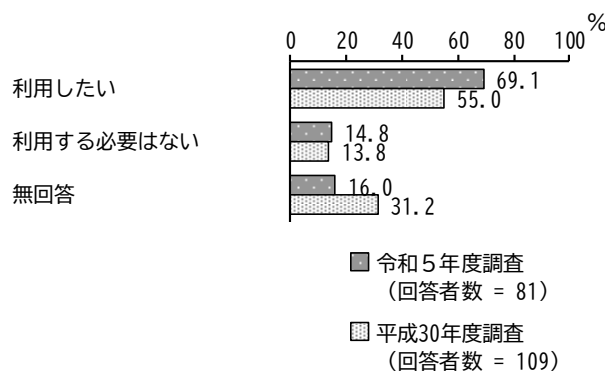
平成 30 年度調査と比較すると、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が増加しています。



問 26 問 25 で「1.」から「6.」の選択肢を選んだ方にうかがいます。お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 69.1%、「利用する必要はない」の割合が 14.8%となっています。

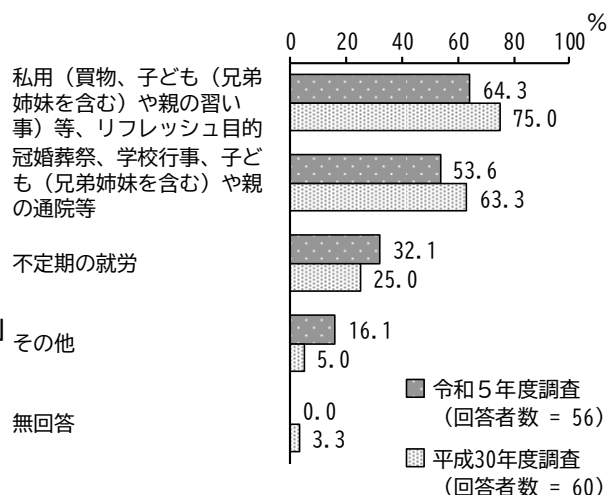
平成 30 年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。



利用目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事）等、リフレッシュ目的」の割合が 64.3% と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 53.6%、「不定期の就労」の割合が 32.1%となっています。

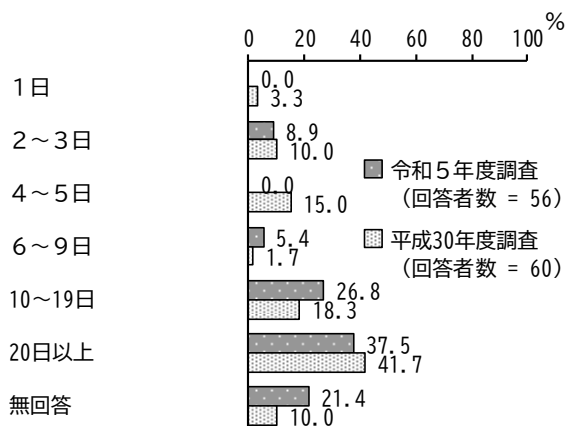
平成 30 年度調査と比較すると、「不定期の就労」の割合が増加しています。一方、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事）等、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が減少しています。



合計日数

「20 日以上」の割合が 37.5% と最も高く、次いで「10～19 日」の割合が 26.8% となっています。

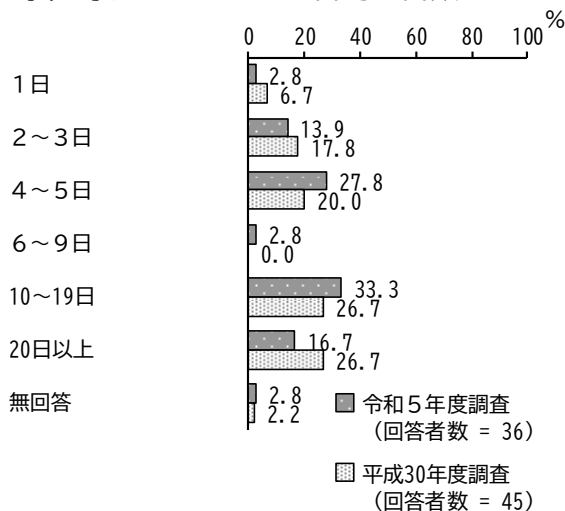
平成 30 年度調査と比較すると、「10～19 日」の割合が増加しています。一方、「4～5 日」の割合が減少しています。



1. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事）等、リフレッシュ目的の日数

「10～19 日」の割合が 33.3% と最も高く、次いで「4～5 日」の割合が 27.8%、「20 日以上」の割合が 16.7% となっています。

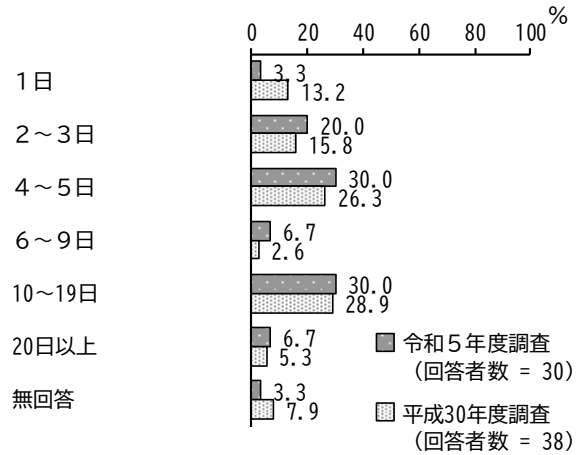
平成 30 年度調査と比較すると、「4～5 日」「10～19 日」の割合が増加しています。一方、「20 日以上」の割合が減少しています。



2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等の日数

「4～5日」、「10～19日」の割合が30.0%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が20.0%となっています。

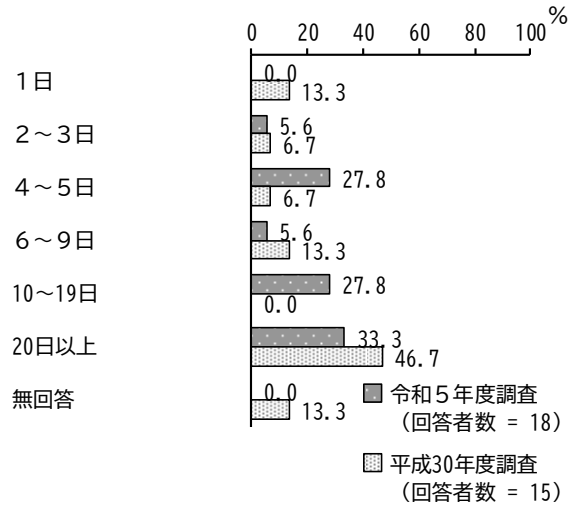
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。



3. 不定期の就労の日数

「20日以上」の割合が33.3%と最も高く、次いで「4～5日」、「10～19日」の割合が27.8%となっています。

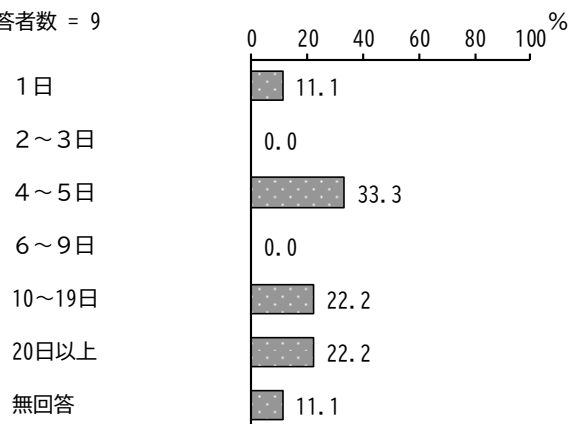
平成30年度調査と比較すると、「4～5日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」「6～9日」「20日以上」の割合が減少しています。



4. その他の日数

「4～5日」が3件となっています。「10～19日」、「20日以上」が2件となっています。

回答者数 = 9

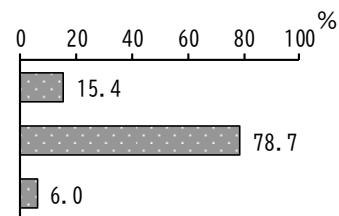


問 27 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹を含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を数字でご記入ください）。なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 15.4%、「利用する必要はない」の割合が 78.7%となっています。

回答者数 = 521

利用したい
利用する必要はない
無回答

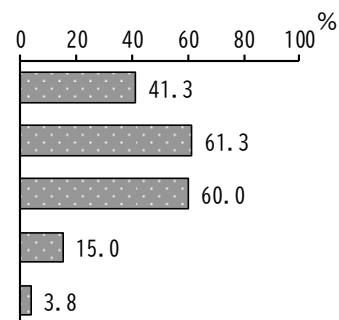


利用目的

「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が 60.0%、「冠婚葬祭」の割合が 41.3%となっています。

回答者数 = 80

冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答

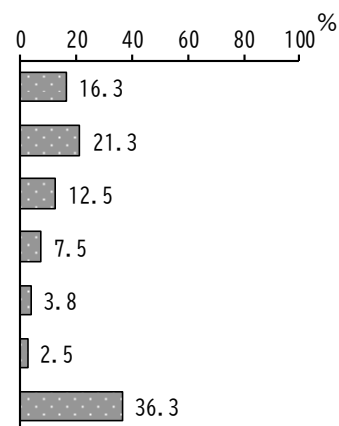


合計泊数

「2～3泊」の割合が 21.3%と最も高く、次いで「1泊」の割合が 16.3%、「4～5泊」の割合が 12.5%となっています。

回答者数 = 80

1泊
2～3泊
4～5泊
6～9泊
10～19泊
20泊以上
無回答

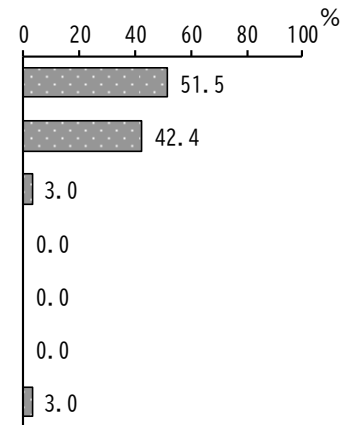


ア 冠婚葬祭の泊数

「1泊」の割合が51.5%と最も高く、次いで「2～3泊」の割合が42.4%となっています。

回答者数 = 33

1泊
2～3泊
4～5泊
6～9泊
10～19泊
20泊以上
無回答

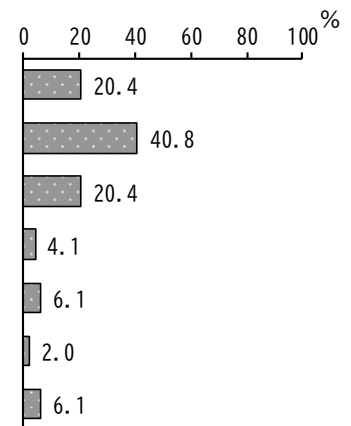


イ 保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数

「2～3泊」の割合が40.8%と最も高く、次いで「1泊」、「4～5泊」の割合が20.4%となっています。

回答者数 = 49

1泊
2～3泊
4～5泊
6～9泊
10～19泊
20泊以上
無回答

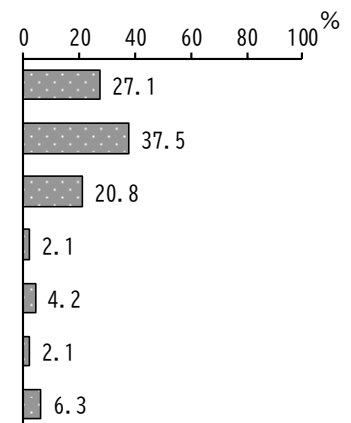


ウ 保護者や家族の病気の泊数

「2～3泊」の割合が37.5%と最も高く、次いで「1泊」の割合が27.1%、「4～5泊」の割合が20.8%となっています。

回答者数 = 48

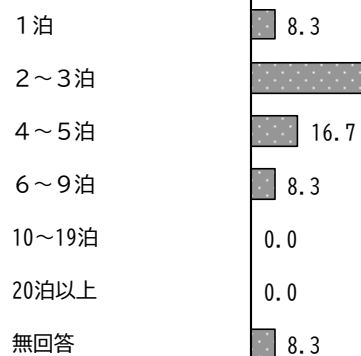
1泊
2～3泊
4～5泊
6～9泊
10～19泊
20泊以上
無回答



エ その他の泊数

「2～3泊」の割合が58.3%と最も高く、次いで「4～5泊」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 12

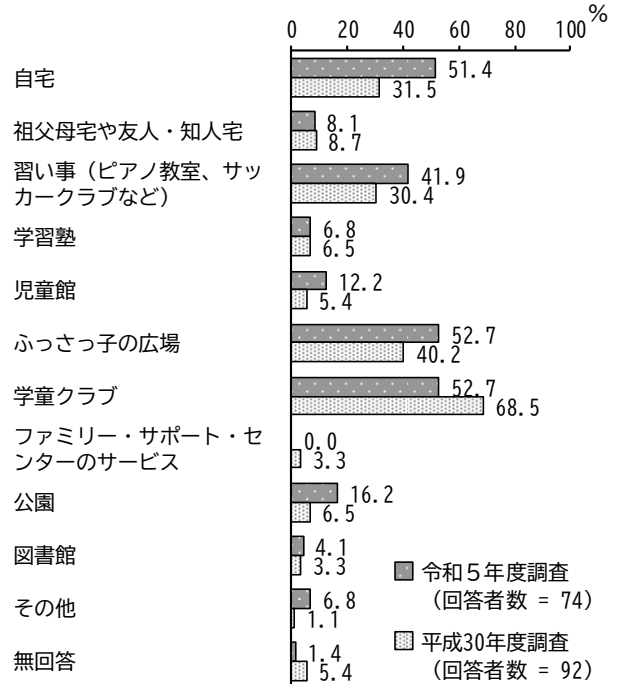


(9) お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 28 お子さんについて、低・中学年（1～4年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間表記でご記入ください。

「ふっさっ子の広場」、「学童クラブ」の割合が52.7%と最も高く、次いで「自宅」の割合が51.4%となっています。

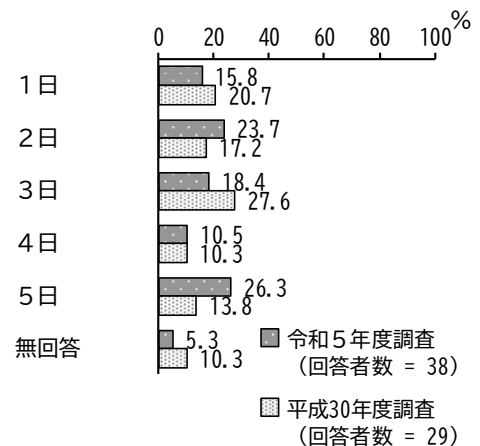
平成30年度調査と比較すると、「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」「児童館」「ふっさっ子の広場」「公園」の割合が増加しています。一方、「学童クラブ」の割合が減少しています。



1. 自宅の日数

「5日」の割合が26.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.7%、「3日」の割合が18.4%となっています。

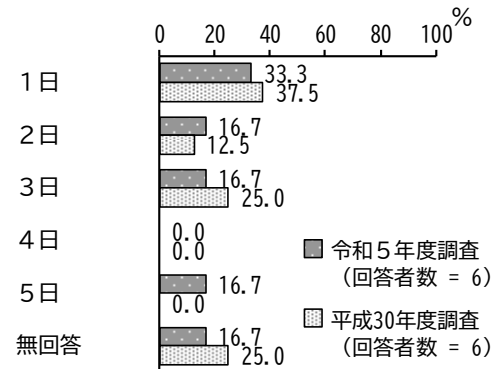
平成30年度調査と比較すると、「2日」「5日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



2. 祖父母宅や友人・知人宅の日数

「1日」が2件となっています。「2日」、「3日」、「5日」が1件となっています。

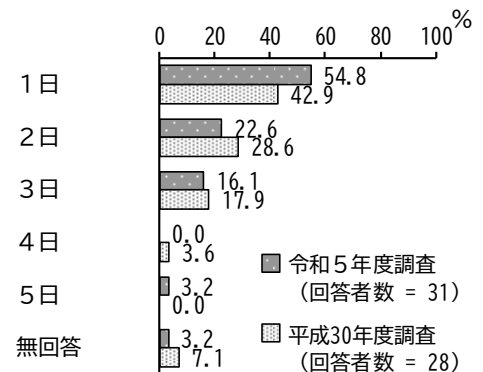
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）の日数

「1日」の割合が54.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.6%、「3日」の割合が16.1%となっています。

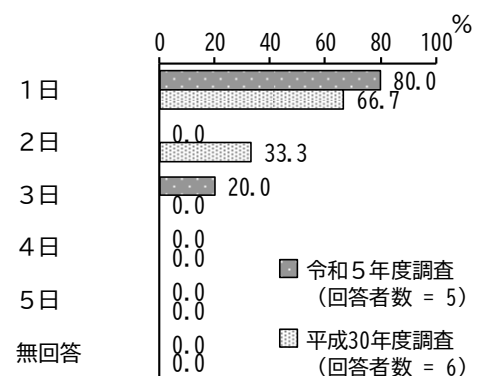
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



4. 学習塾の日数

「1日」が4件となっています。「3日」が1件となっています。

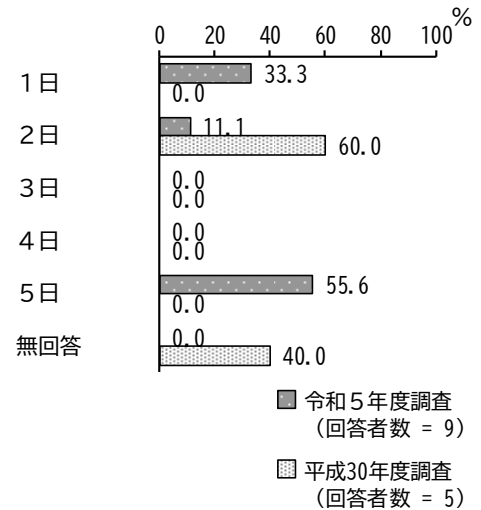
平成30年度調査と比較すると、「1日」「3日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



5. 児童館の日数

「5日」が5件となっています。「1日」が3件、「2日」が1件となっています。

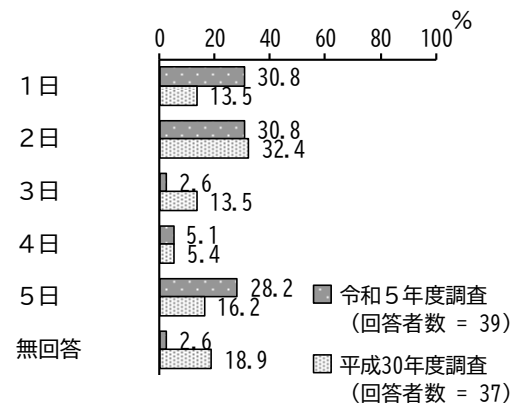
平成30年度調査と比較すると、「1日」「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



6. ふっさっ子の広場の日数

「1日」「2日」の割合が30.8%と最も高く、次いで「5日」の割合が28.2%となっています。

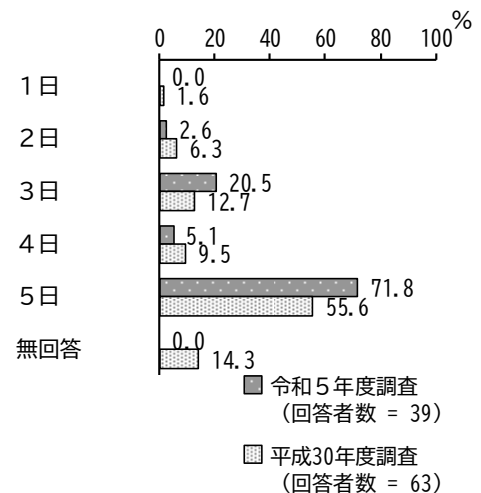
平成30年度調査と比較すると、「1日」「5日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



7. 学童クラブの日数

「5日」の割合が71.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.5%となっています。

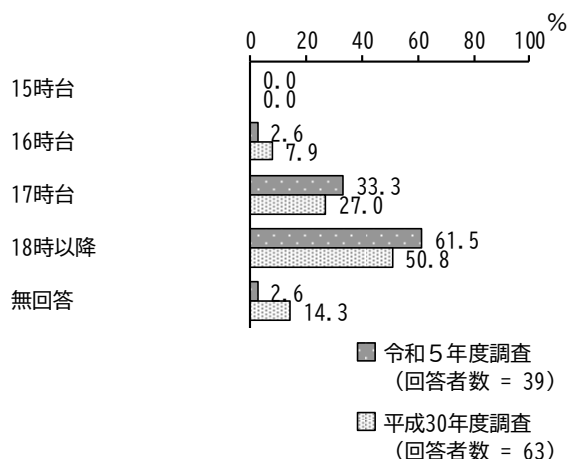
平成30年度調査と比較すると、「3日」「5日」の割合が増加しています。



利用終了時間

「18 時以降」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 33.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」「18 時以降」の割合が増加しています。一方、「16 時台」の割合が減少しています。

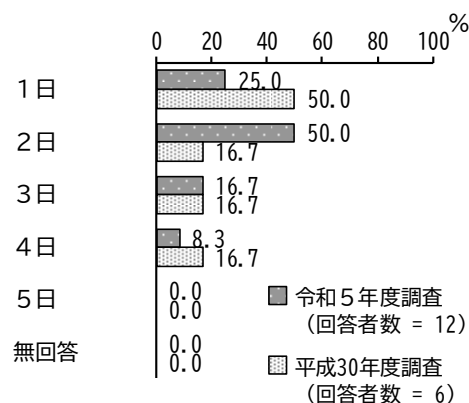


8. ファミリー・サポート・センターのサービスの日数 有効回答がありませんでした。

9. 公園の日数

「2 日」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「1 日」の割合が 25.0%、「3 日」の割合が 16.7%となっています。

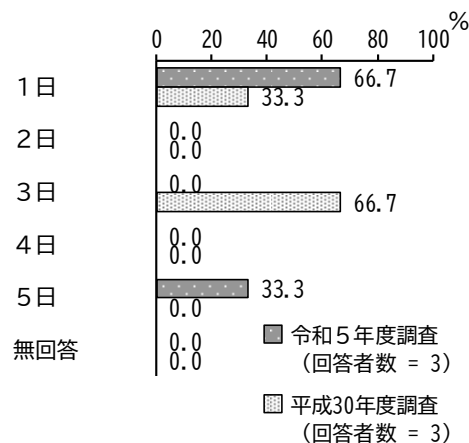
平成 30 年度調査と比較すると、「2 日」の割合が増加しています。一方、「1 日」「4 日」の割合が減少しています。



10. 図書館の日数

「1 日」が 2 件となっています。「5 日」が 1 件となっています。

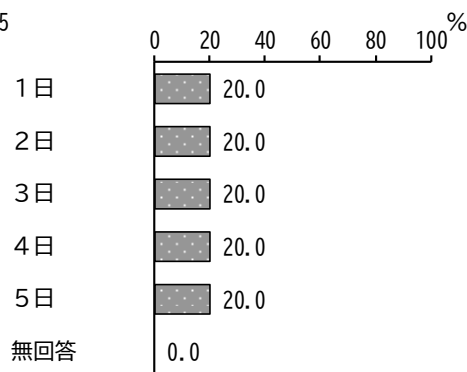
平成 30 年度調査と比較すると、「1 日」「5 日」の割合が増加しています。一方、「3 日」の割合が減少しています。



11. その他の日数

「1日」、「2日」、「3日」、「4日」、「5日」が1件となっています。

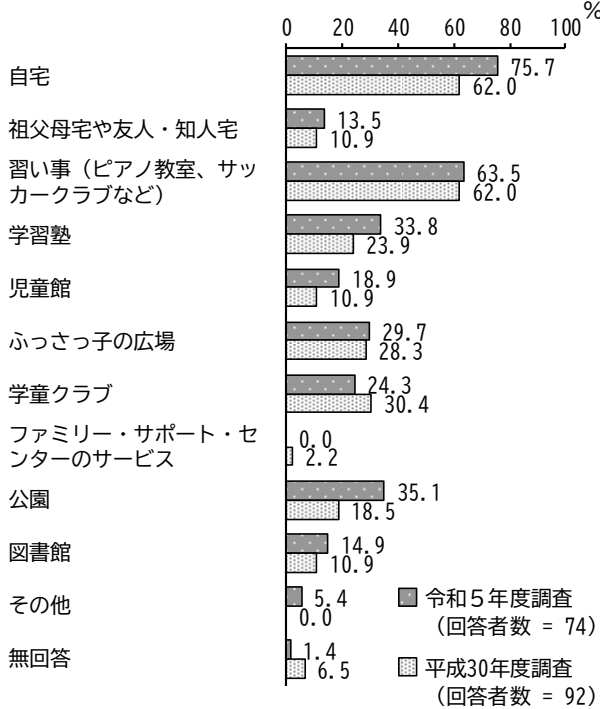
回答者数 = 5



問 29 宛名のお子さんについて、高学年（5～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間表記でご記入ください。
※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

「自宅」の割合が75.7%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」の割合が63.5%、「公園」の割合が35.1%となっています。

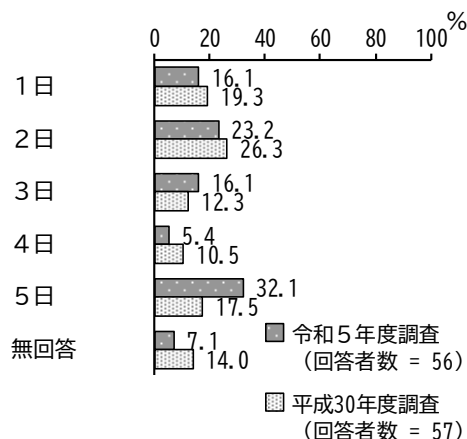
平成30年度調査と比較すると、「自宅」「学習塾」「児童館」「公園」の割合が増加しています。一方、「学童クラブ」の割合が減少しています。



1. 自宅の日数

「5日」の割合が32.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.2%、「1日」、「3日」の割合が16.1%となっています。

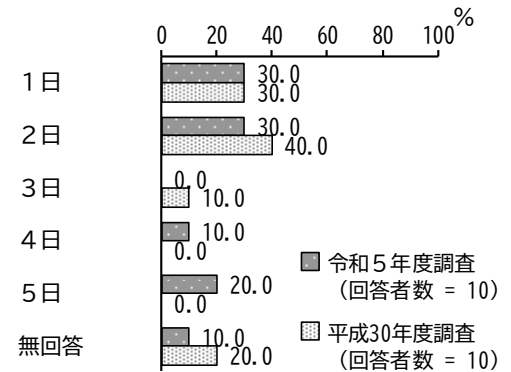
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。



2. 祖父母宅や友人・知人宅の日数

「1日」、「2日」の割合が30.0%と最も高く、次いで「5日」の割合が20.0%となっています。

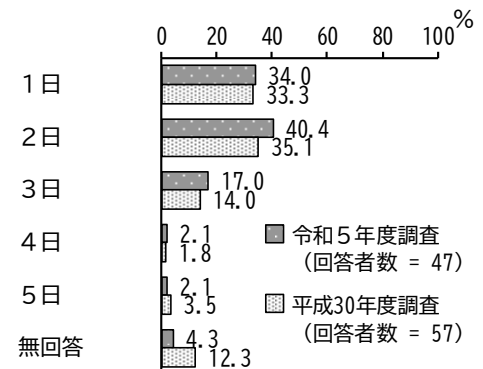
平成30年度調査と比較すると、「4日」「5日」の割合が増加しています。一方、「2日」「3日」の割合が減少しています。



3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）の日数

「2日」の割合が40.4%と最も高く、次いで「1日」の割合が34.0%、「3日」の割合が17.0%となっています。

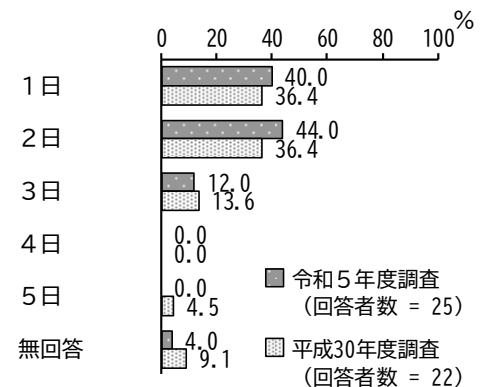
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。



4. 学習塾の日数

「2日」の割合が44.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が40.0%、「3日」の割合が12.0%となっています。

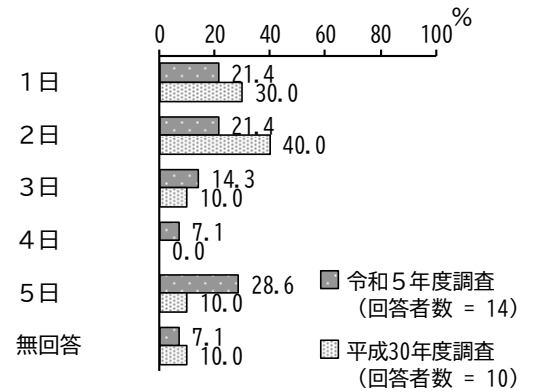
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。



5. 児童館の日数

「5日」の割合が28.6%と最も高く、次いで「1日」「2日」の割合が21.4%となっています。

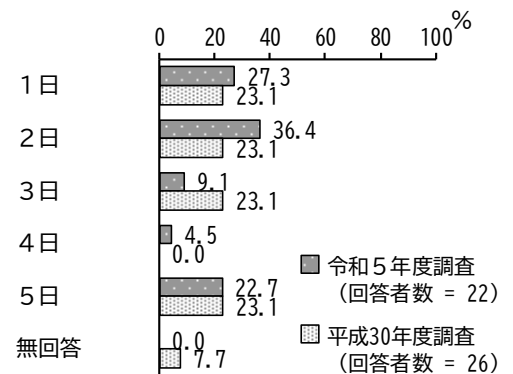
平成30年度調査と比較すると、「4日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」の割合が減少しています。



6. ふっさっ子の広場の日数

「2日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「1日」の割合が27.3%、「5日」の割合が22.7%となっています。

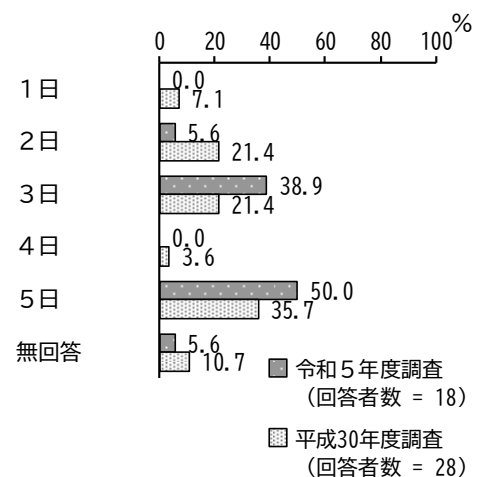
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



7. 学童クラブの日数

「5日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が38.9%となっています。

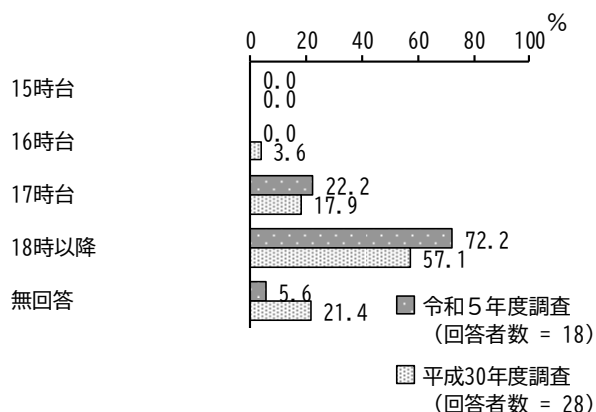
平成30年度調査と比較すると、「3日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」の割合が減少しています。



利用終了時間

「18 時以降」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 22.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「18 時以降」の割合が増加しています。

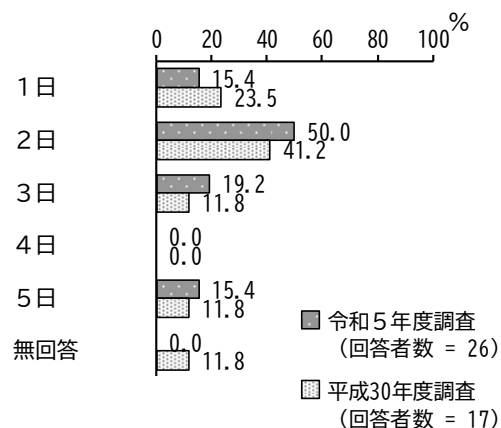


8. ファミリー・サポート・センターのサービスの日数 有効回答がありませんでした。

9. 公園の日数

「2日」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が 19.2%、「1日」、「5日」の割合が 15.4%となっています。

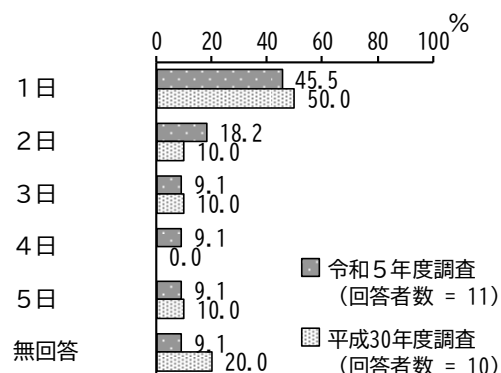
平成 30 年度調査と比較すると、「2日」「3日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



10. 図書館の日数

「1日」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が 18.2%となっています。

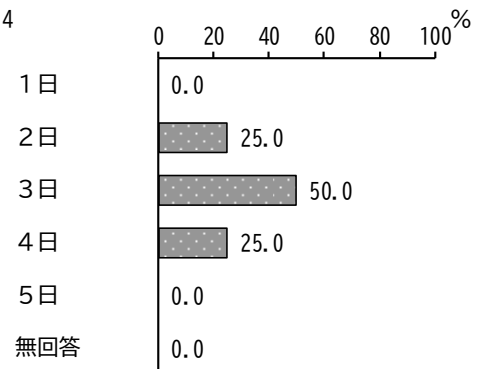
平成 30 年度調査と比較すると、「2日」「4日」の割合が増加しています。



11. その他の日数

「3日」が2件となっています。「2日」、「4日」が1件となっています。

回答者数 = 4



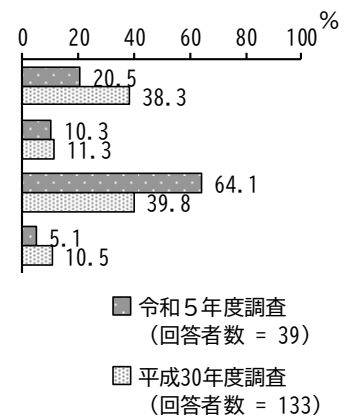
問30 問28または問29で「学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に(例)9時～18時のように24時間表記でご記入ください。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が64.1%と最も高く、次いで「低・中学年(1～4年生)の間は利用したい」の割合が20.5%、「高学年(5～6年生)になっても利用したい」の割合が10.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「低・中学年(1～4年生)の間は利用したい」の割合が減少しています。

低・中学年(1～4年生)の間は利用したい
高学年(5～6年生)になっても利用したい
利用する必要はない
無回答

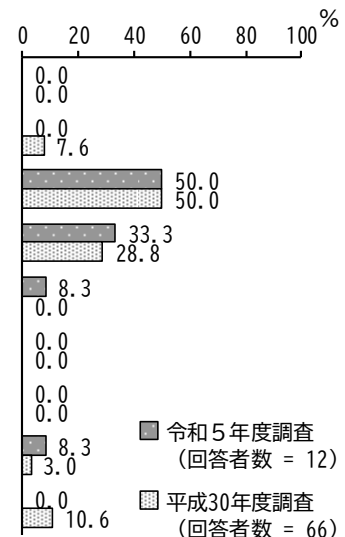


利用開始時間

「8時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が33.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10時台」「13時以降」の割合が増加しています。一方、「7時台」の割合が減少しています。

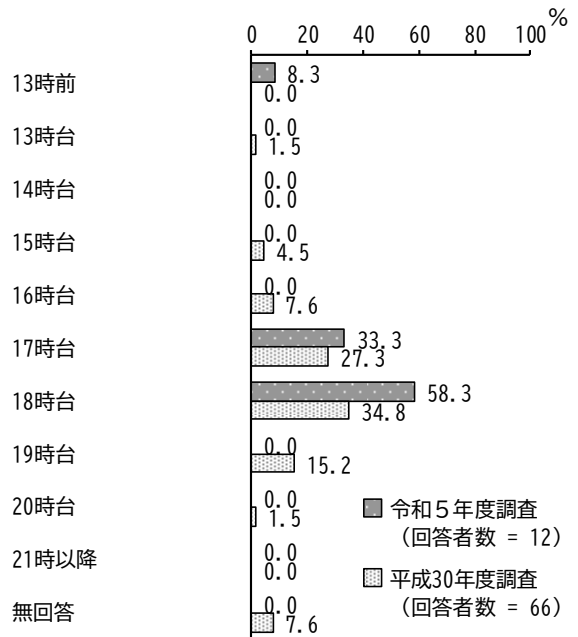
7時前
7時台
8時台
9時台
10時台
11時台
12時台
13時以降
無回答



利用終了時間

「18 時台」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 33.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「13 時前」「17 時台」「18 時台」の割合が増加しています。一方、「16 時台」「19 時台」の割合が減少しています。

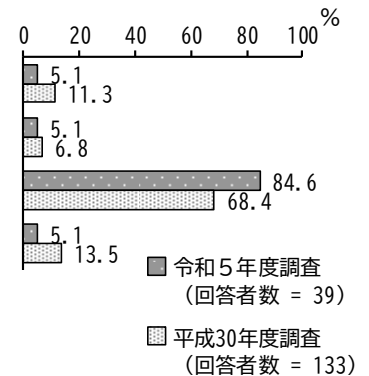


(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が 84.6%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「低・中学年（1～4年生）の間は利用したい」の割合が減少しています。

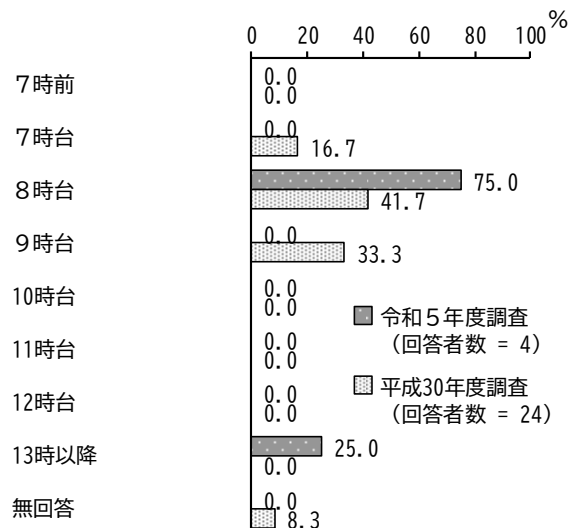
低・中学年（1～4年生）の間は利用したい
 高学年（5～6年生）になっても利用したい
 利用する必要はない
 無回答



利用開始時間

「8 時台」が 3 件となっています。「13 時以降」が 1 件となっています。

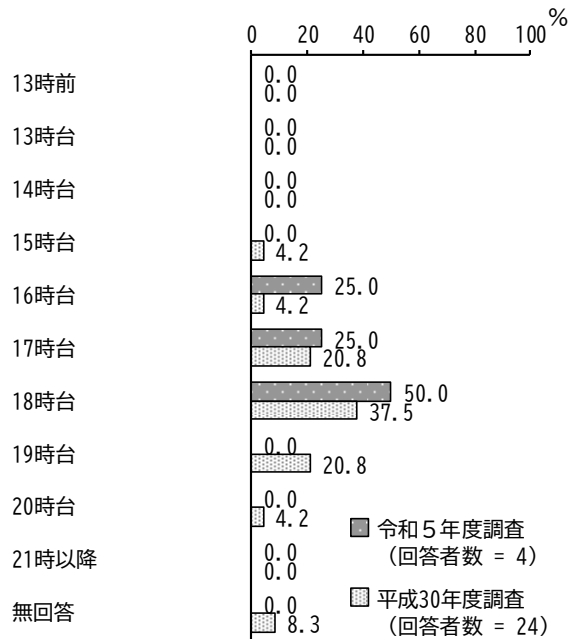
平成 30 年度調査と比較すると、「8 時台」「13 時以降」の割合が増加しています。一方、「7 時台」「9 時台」の割合が減少しています。



利用終了時間

「18 時台」が 2 件となっています。「16 時台」、
「17 時台」が 1 件となっています。

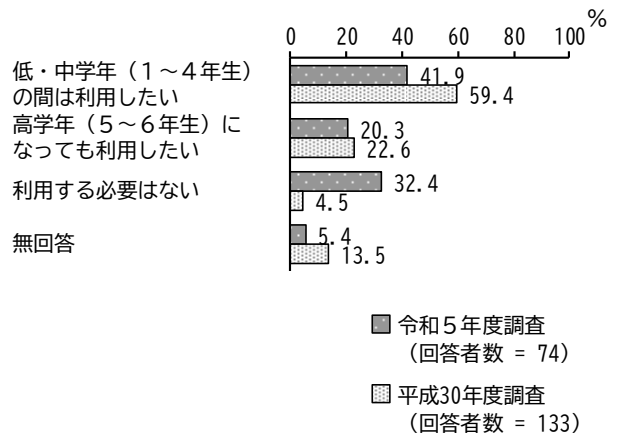
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」「18 時台」の割合が増加しています。一方、「19 時台」の割合が減少しています。



問 31 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に (例) 9 時～18 時のように 24 時間表記でご記入ください。

「低・中学年(1～4年生)の間は利用したい」の割合が 41.9% と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 32.4%、「高学年(5～6年生)になっても利用したい」の割合が 20.3% となっています。

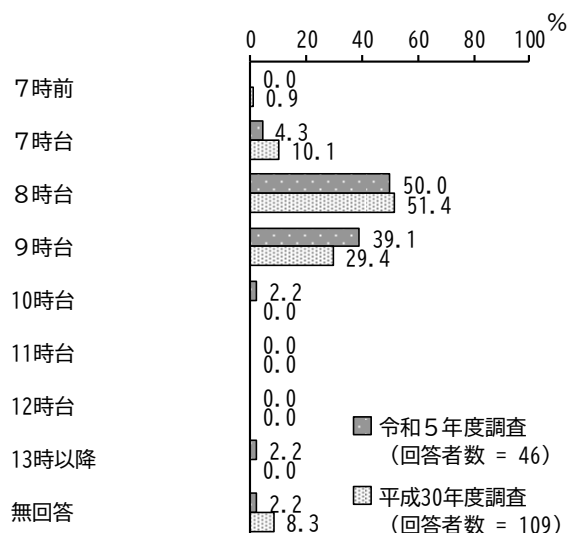
平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「低・中学年(1～4年生)の間は利用したい」の割合が減少しています。



開始時刻

「8時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が39.1%となっています。

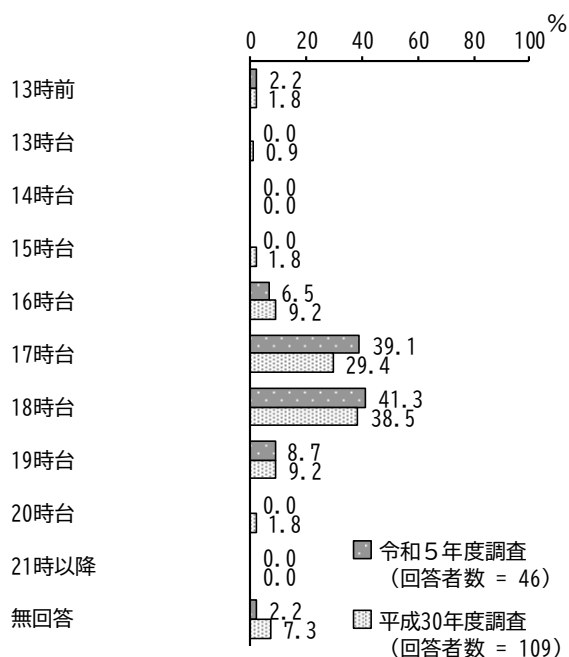
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」の割合が減少しています。



終了時刻

「18時台」の割合が41.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が39.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。



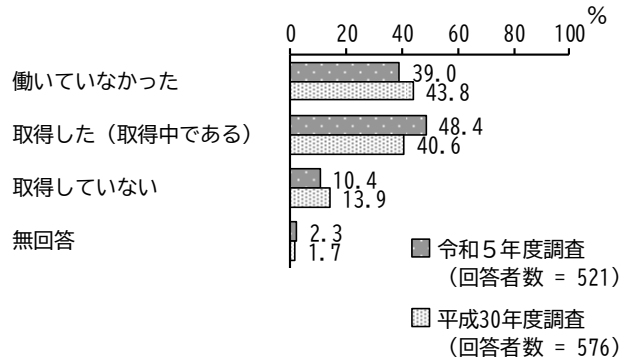
(10) すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 32 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親

「取得した(取得中である)」の割合が48.4%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が39.0%、「取得していない」の割合が10.4%となっています。

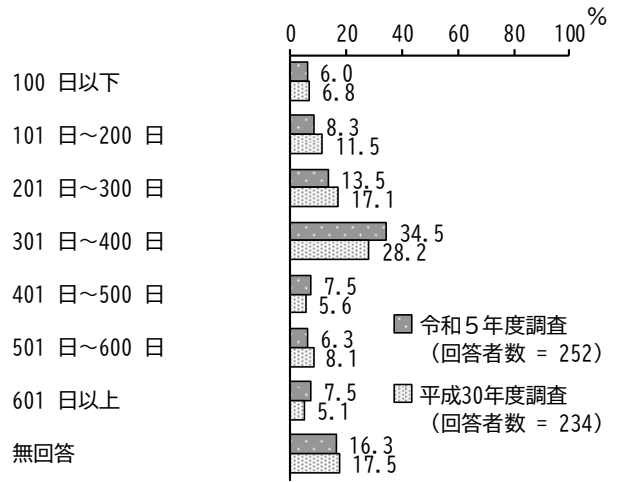
平成30年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。



取得期間日数

「301日～400日」の割合が34.5%と最も高く、次いで「201日～300日」の割合が13.5%となっています。

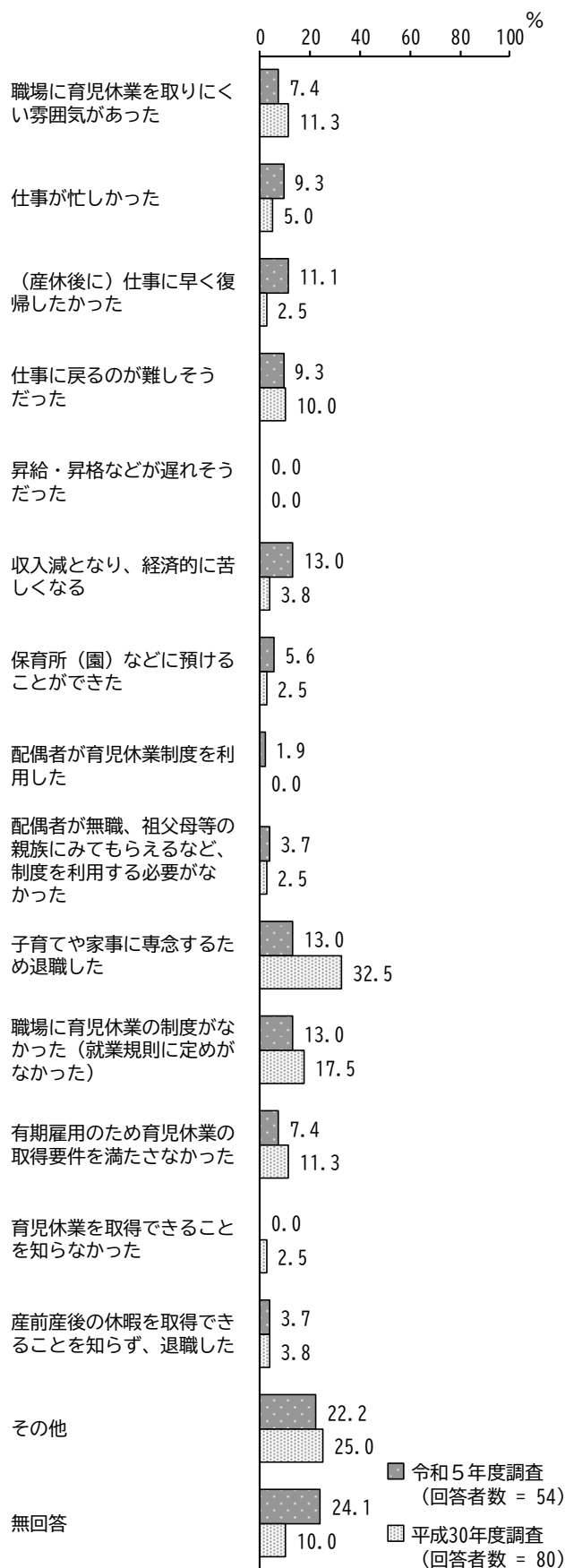
平成30年度調査と比較すると、「301日～400日」の割合が増加しています。



取得していない理由

「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「子育てや家事に専念するため退職した」、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が13.0%と最も高くなっています。

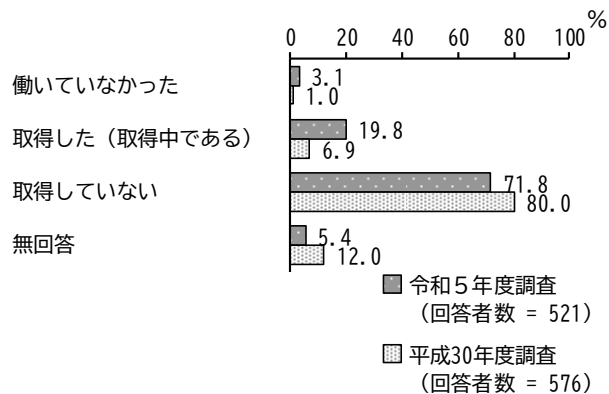
平成30年度調査と比較すると、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が増加しています。一方、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が減少しています。



(2) 父親

「取得していない」の割合が 71.8%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が 19.8%となっています。

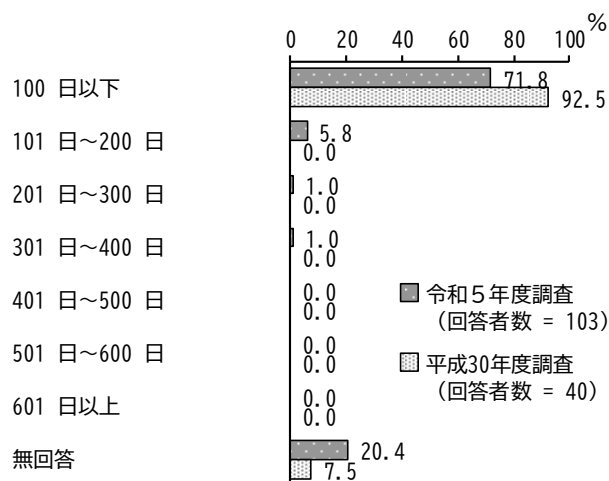
平成 30 年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。



取得期間日数

「100 日以下」の割合が 71.8%と最も高くなっています。

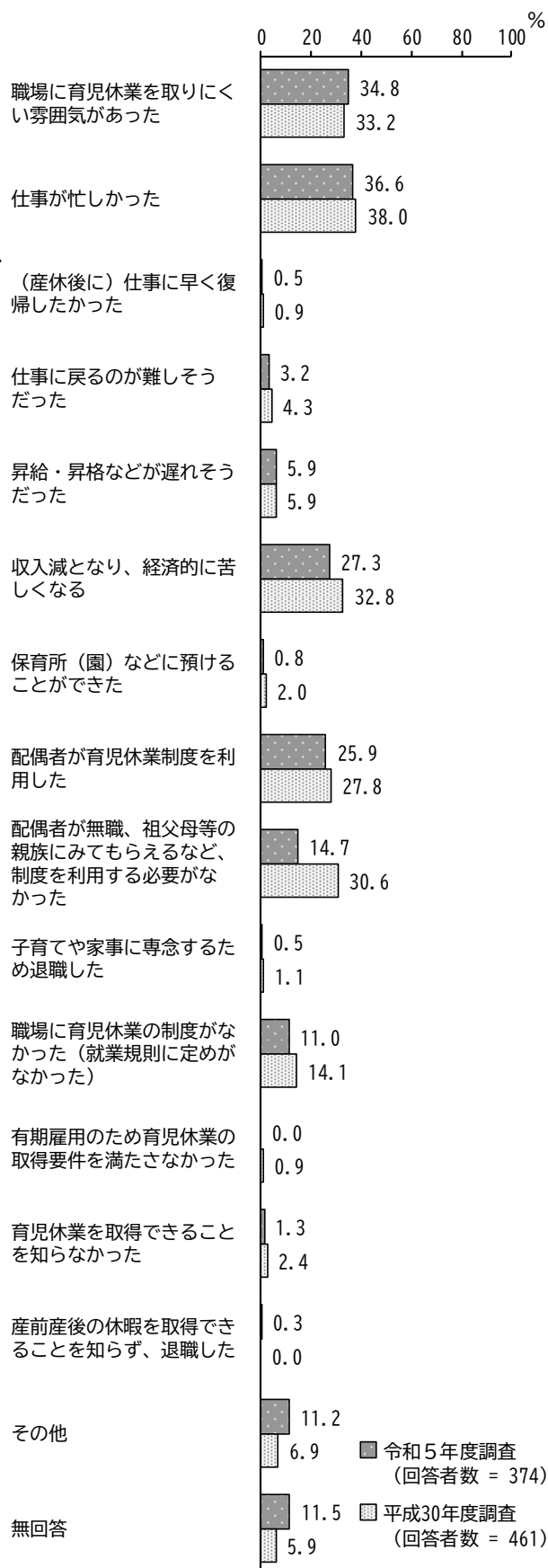
平成 30 年度調査と比較すると、「101 日～200 日」の割合が増加しています。一方、「100 日以下」の割合が減少しています。



取得していない理由

「仕事が忙しかった」の割合が36.6%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が34.8%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が27.3%となっています。

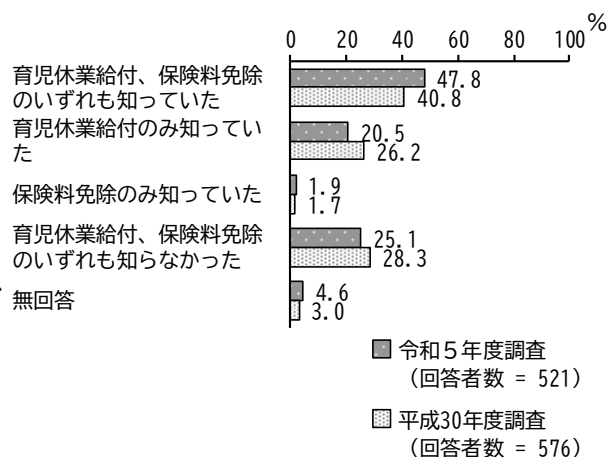
平成30年度調査と比較すると、「収入減となり、経済的に苦しくなる」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



問 32-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことを知っていましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が47.8%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が25.1%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が20.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が増加しています。一方、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が減少しています。

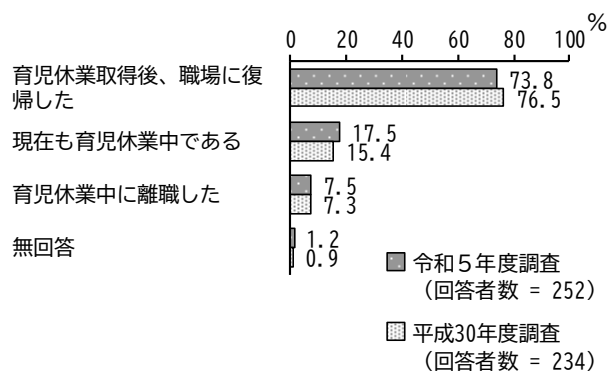


問 32-2 問 32 で「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が73.8%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が17.5%となっています。

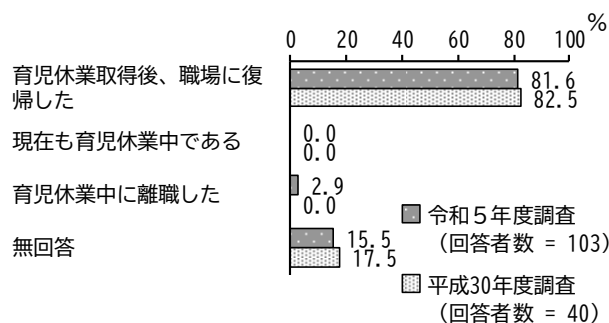
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が81.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

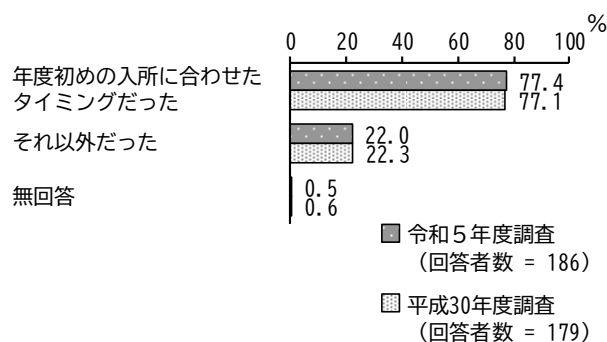


問 32-3 問 32-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。(年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して、一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。)

(1) 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が77.4%、「それ以外だった」の割合が22.0%となっています。

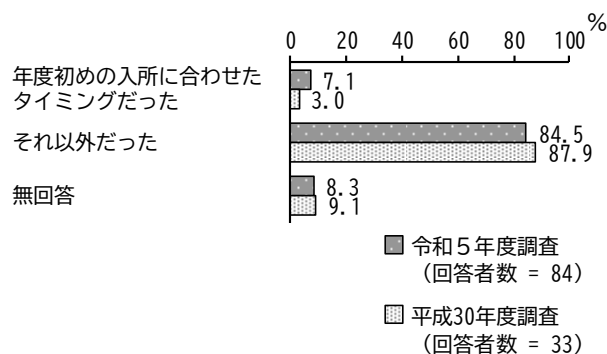
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が7.1%、「それ以外だった」の割合が84.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



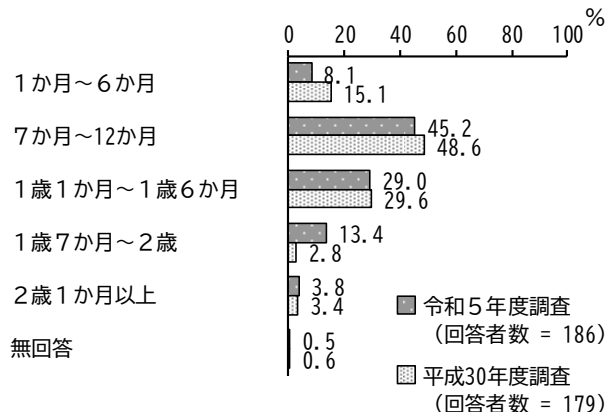
問 32-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間

「7か月～12か月」の割合が45.2%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が29.0%、「1歳7か月～2歳」の割合が13.4%となっています。

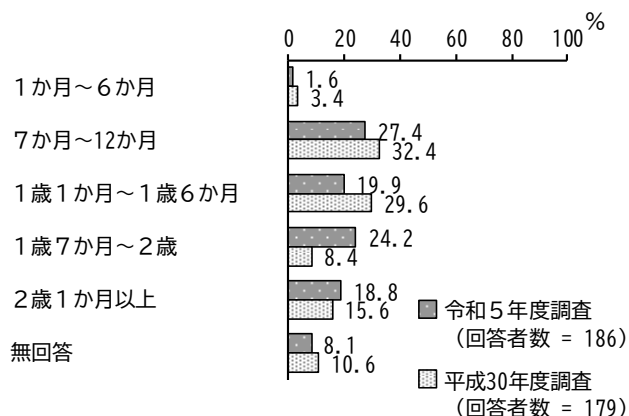
平成30年度調査と比較すると、「1歳7か月～2歳」の割合が増加しています。一方、「1か月～6か月」の割合が減少しています。



希望の取得期間

「7か月～12か月」の割合が27.4%と最も高く、次いで「1歳7か月～2歳」の割合が24.2%、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が19.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳7か月～2歳」の割合が増加しています。一方、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が減少しています。



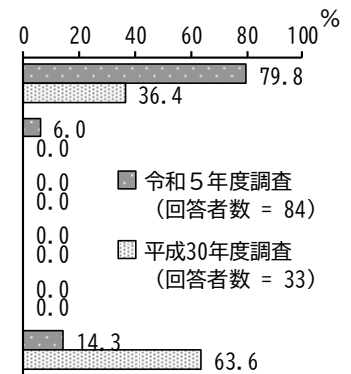
(2) 父親

実際の取得期間

「1か月～6か月」の割合が79.8%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1か月～6か月」「7か月～12か月」の割合が増加しています。

1か月～6か月	79.8
7か月～12か月	36.4
1歳1か月～1歳6か月	6.0
1歳7か月～2歳	0.0
2歳1か月以上	0.0
無回答	14.3

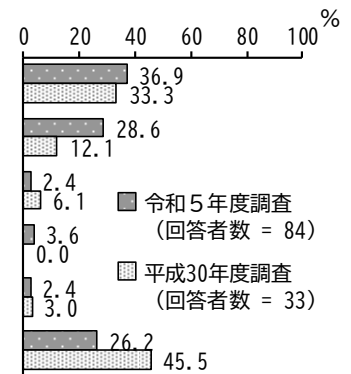


希望の取得期間

「1か月～6か月」の割合が36.9%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が28.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7か月～12か月」の割合が増加しています。

1か月～6か月	36.9
7か月～12か月	33.3
1歳1か月～1歳6か月	28.6
1歳7か月～2歳	12.1
2歳1か月以上	2.4
無回答	6.1

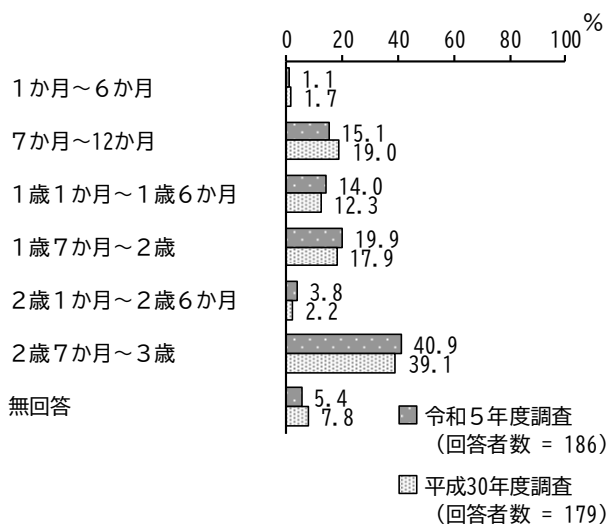


問 32-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

(1) 母親

「2歳7か月～3歳」の割合が40.9%と最も高く、次いで「1歳7か月～2歳」の割合が19.9%、「7か月～12か月」の割合が15.1%となっています。

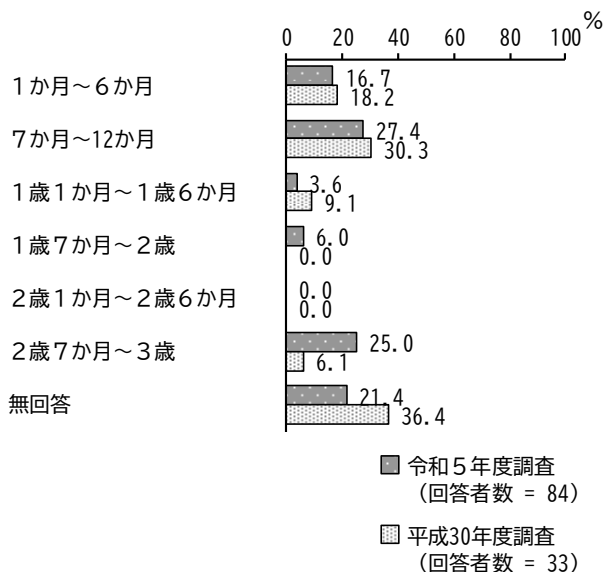
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

「7か月～12か月」の割合が27.4%と最も高く、次いで「2歳7か月～3歳」の割合が25.0%、「1か月～6か月」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳7か月～2歳」「2歳7か月～3歳」の割合が増加しています。一方、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が減少しています。



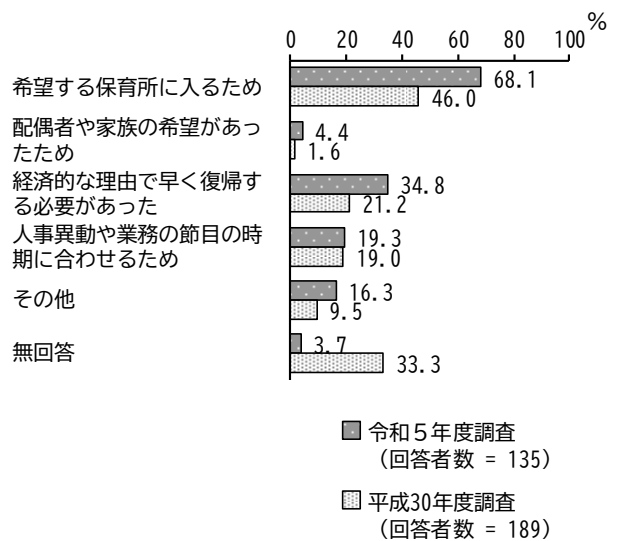
問 32-6 問 32-4 で実際の復帰と希望が異なる方がいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

「希望する保育所に入るため」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 34.8%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 19.3%となっています。

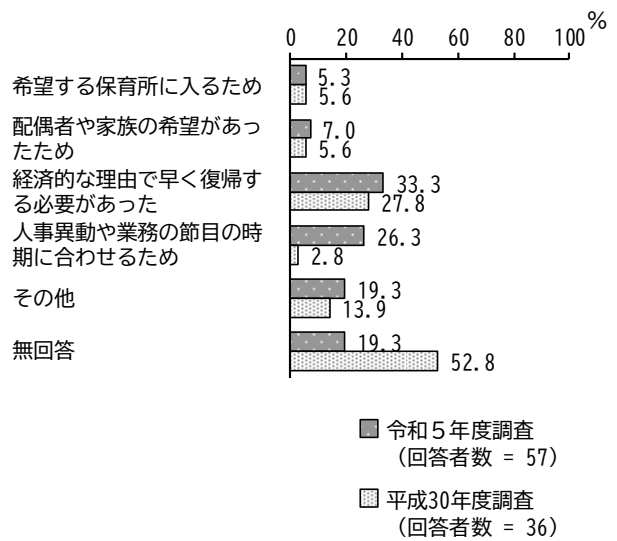
平成 30 年度調査と比較すると、「希望する保育所に入るため」「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が増加しています。



②父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 26.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が増加しています。

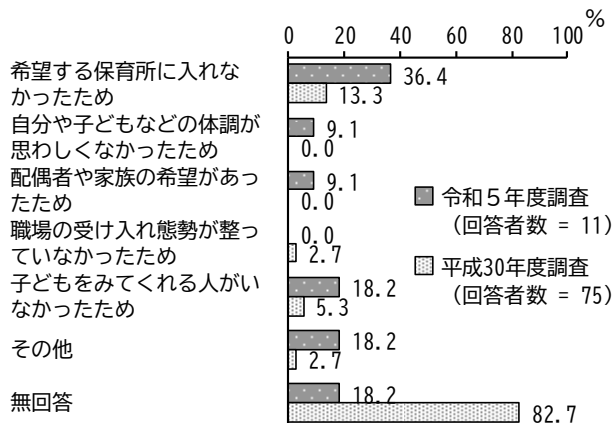


(2)「希望」より遅く復帰した方※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

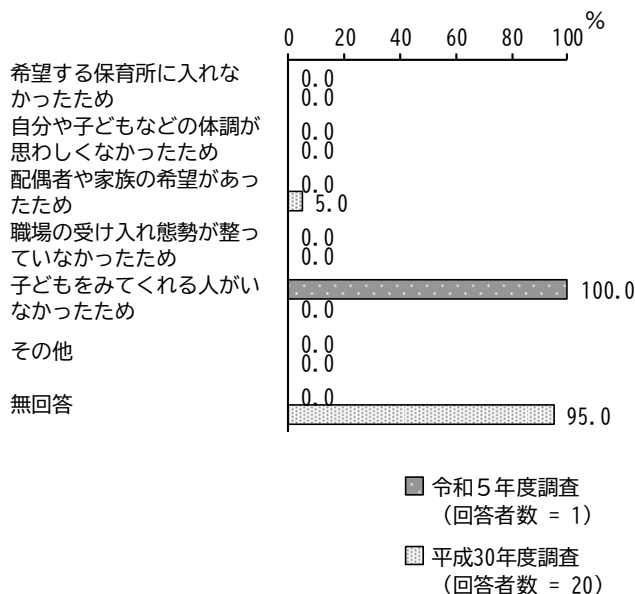
「希望する保育所に入れなかったため」の割合が36.4%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「希望する保育所に入れなかったため」「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」「配偶者や家族の希望があったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が増加しています。



②父親

「子どもをみてくれる人がいなかったため」が1件となっています。

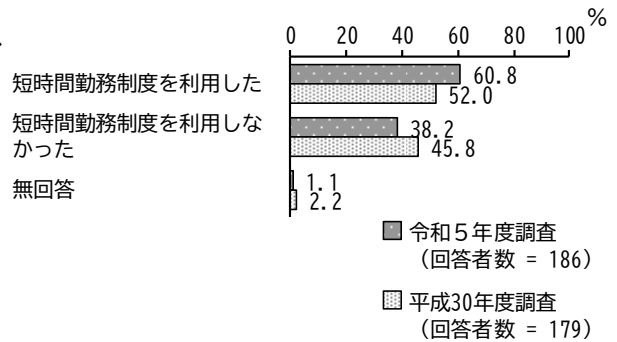


問 32-7 問 32-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「短時間勤務制度を利用した」の割合が60.8%、
「短時間勤務制度を利用しなかった」の割合が38.2%となっています。

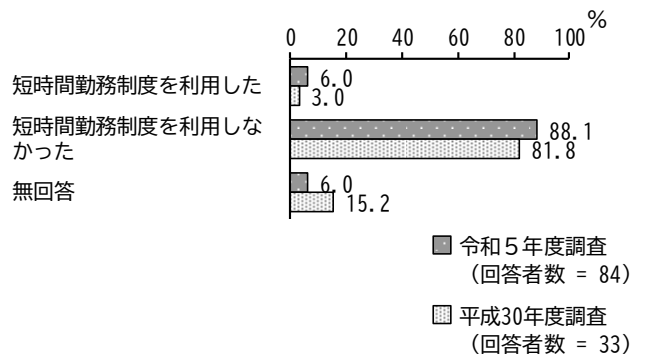
平成30年度調査と比較すると、「短時間勤務制度を利用した」の割合が増加しています。一方、「短時間勤務制度を利用しなかった」の割合が減少しています。



(2) 父親

「短時間勤務制度を利用した」の割合が6.0%、
「短時間勤務制度を利用しなかった」の割合が88.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「短時間勤務制度を利用しなかった」の割合が増加しています。

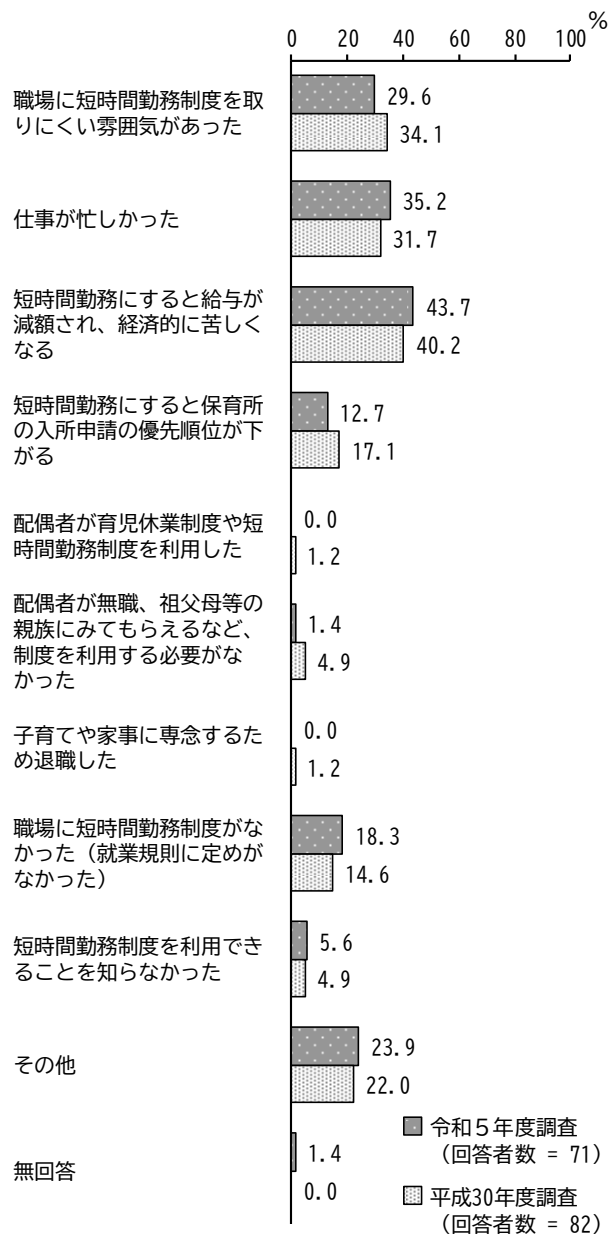


問 32-8 問 32-7で「短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

(1) 母親

「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が43.7%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が35.2%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が29.6%となっています。

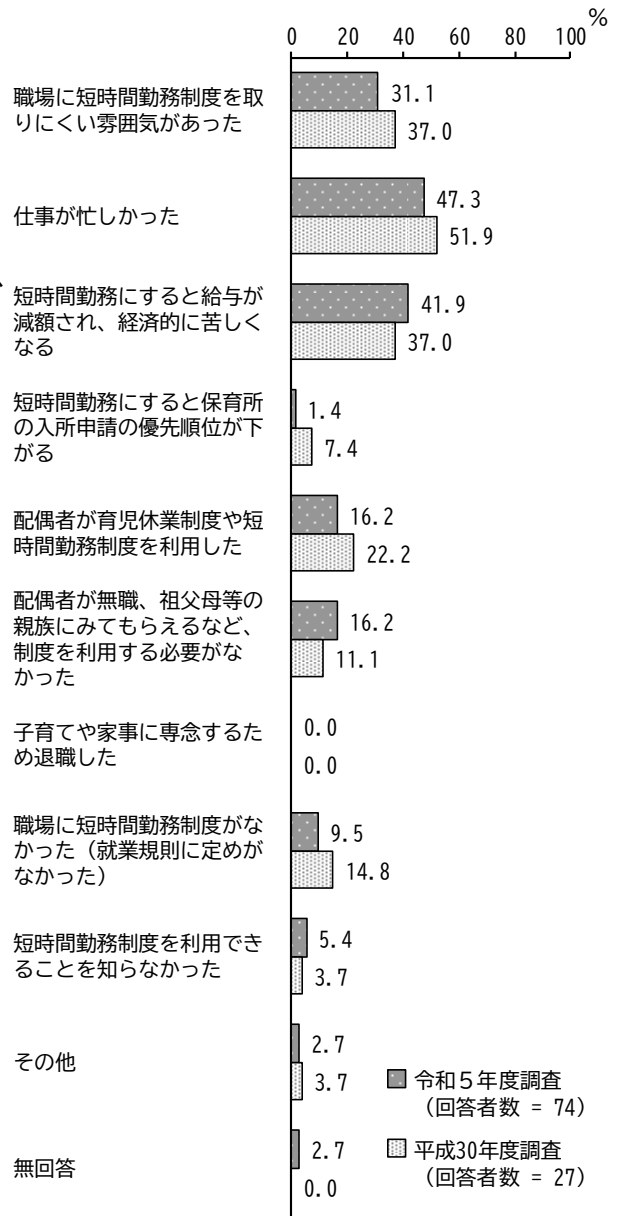
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

「仕事が忙しかった」の割合が47.3%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が41.9%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が31.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が増加しています。一方、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が減少しています。

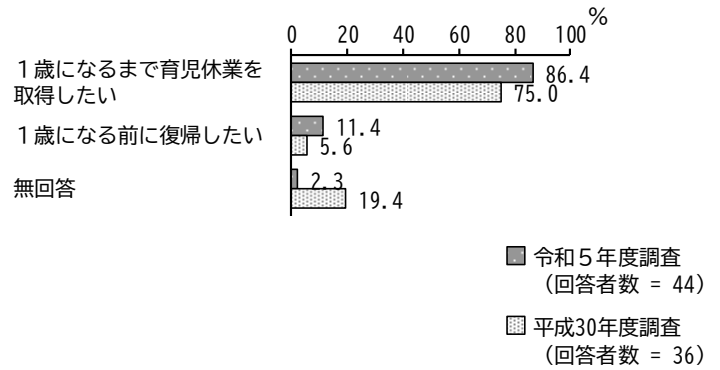


問 32-9 問 32-2で「現在も育児休業中である」と回答した方にかかっています。お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が86.4%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が11.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」「1歳になる前に復帰したい」の割合が増加しています。



(2) 父親

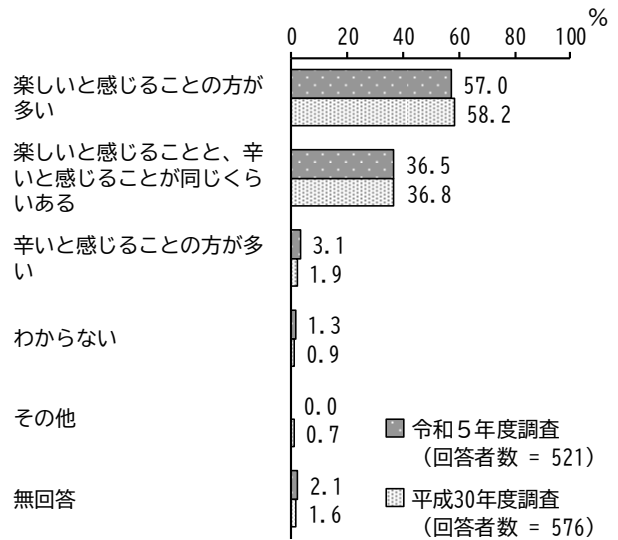
有効回答がありませんでした。

(11) あなたの子育てについて

問33 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか、それとも辛いと感じていることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が57.0%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」の割合が36.5%となっています。

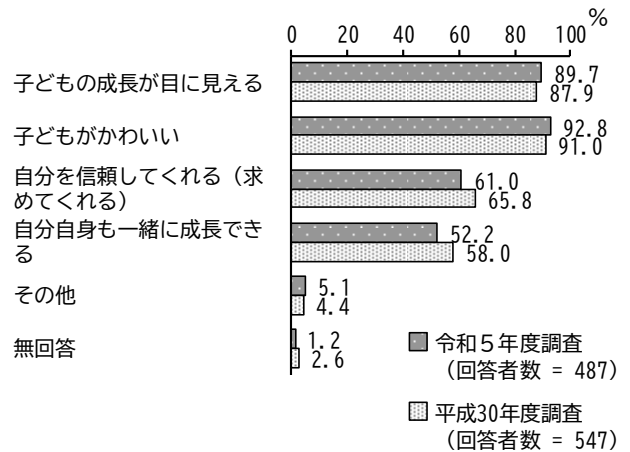
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問33-1 問33で「楽しいと感じることの方が多い」「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」と回答した方にうかがいます。子育てが楽しいと思う理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがかわいい」の割合が92.8%と最も高く、次いで「子どもの成長が目に見える」の割合が89.7%、「自分を信頼してくれる（求めてくれる）」の割合が61.0%となっています。

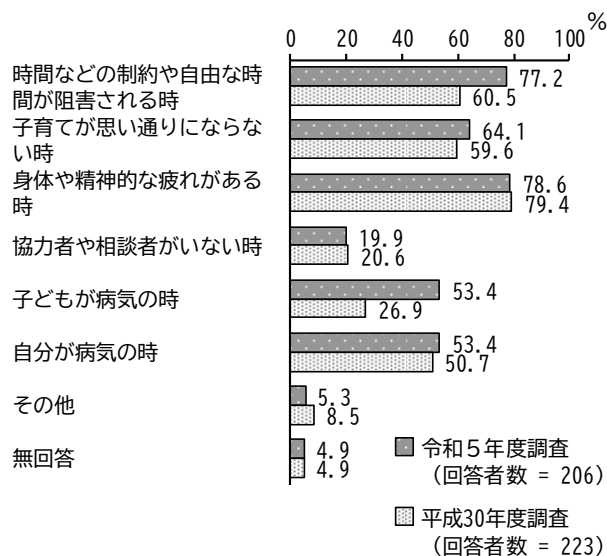
平成30年度調査と比較すると、「自分自身も一緒に成長できる」の割合が減少しています。



問33-2 問33で「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」「辛いと感じることの方が多い」と回答した方にうかがいます。子育てが辛いと思う時は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「身体や精神的な疲れがある時」の割合が78.6%と最も高く、次いで「時間などの制約や自由な時間が阻害される時」の割合が77.2%、「子育てが思い通りにならない時」の割合が64.1%となっています。

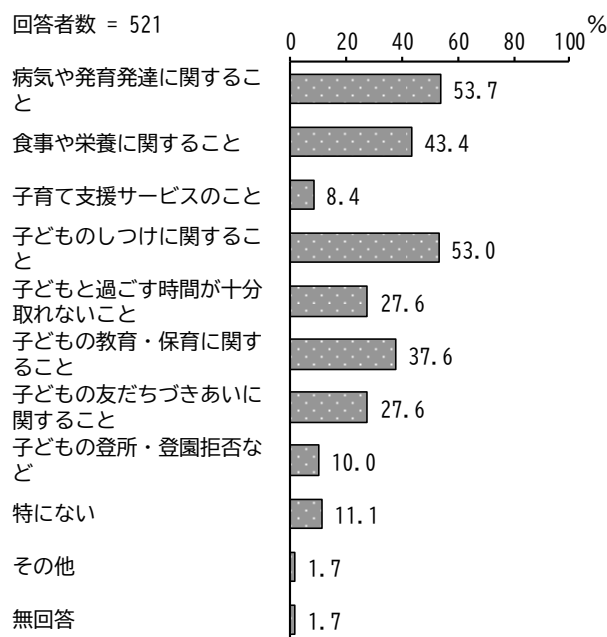
平成30年度調査と比較すると、「時間などの制約や自由な時間が阻害される時」「子どもが病気の時」の割合が増加しています。



問34 子育てに関して、不安や負担などを感じることはありますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

「病気や発育発達に関すること」の割合が53.7%と最も高く、次いで「子どものしつけに関すること」の割合が53.0%、「食事や栄養に関すること」の割合が43.4%となっています。

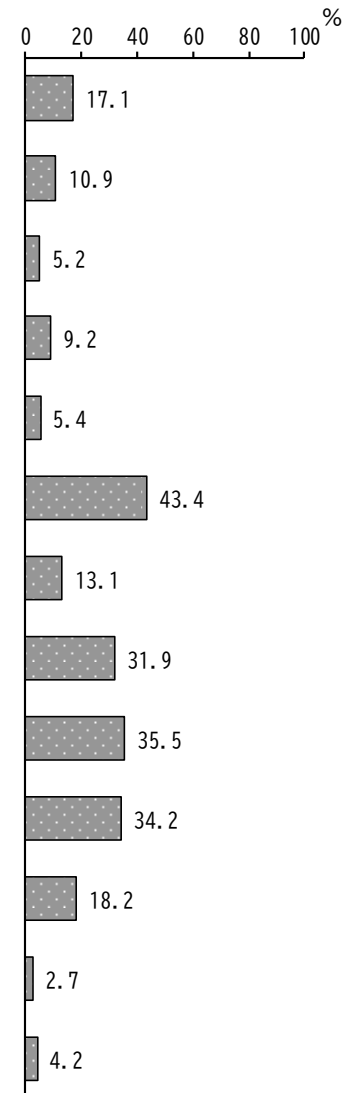


(2) ご自身に関すること

「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が 35.5%、「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が 34.2%となっています。

回答者数 = 521

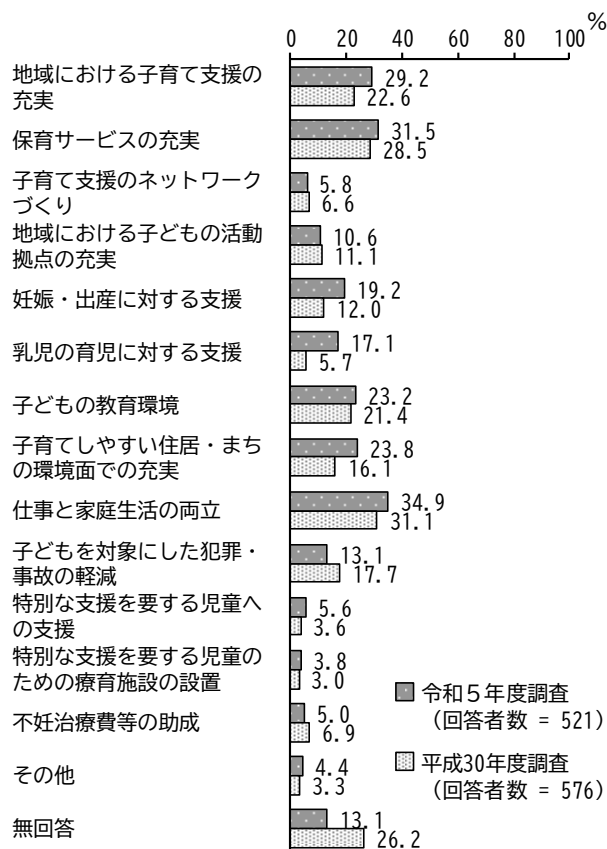
子育てに関して配偶者（パートナー）の協力が少ないこと
配偶者（パートナー）と子育てに関して意見が合わないこと
子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと
ご自身の子育てについて、身近な人の見目が気になること
子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
配偶者（パートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
子育てによる身体の疲れが大きいこと
子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること
特にな
その他
無回答



問 35 子育てをやる中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「仕事と家庭生活の両立」の割合が34.9%と最も高く、次いで「保育サービスの充実」の割合が31.5%、「地域における子育て支援の充実」の割合が29.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「地域における子育て支援の充実」「妊娠・出産に対する支援」「乳児の育児に対する支援」「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」の割合が増加しています。



【生活困窮別】

生活困窮別にみると、中央値（254万円）の1/2以上中央値未満で「乳児の育児に対する支援」の割合が高くなっています。

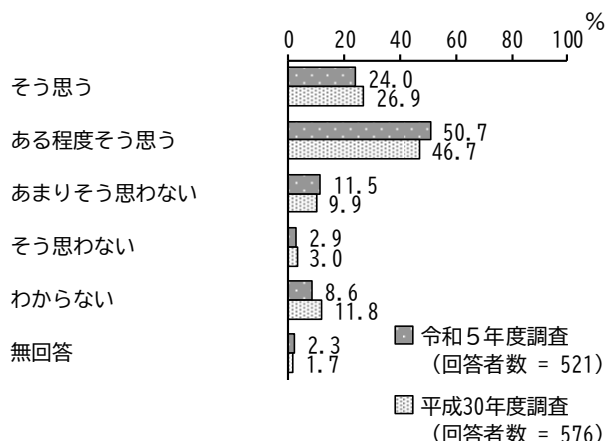
単位：%

区分	回答者数(件)	地域における子育て支援の充実	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実	妊娠・出産に対する支援	乳児の育児に対する支援	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の両立	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	特別な支援を要する児童への支援	特別な支援を要する児童のための療育施設の設置	不妊治療費等の助成	その他	無回答
全体	521	29.2	31.5	5.8	10.6	19.2	17.1	23.2	23.8	34.9	13.1	5.6	3.8	5.0	4.4	13.1
中央値の1/2未満	17	29.4	41.2	11.8	—	23.5	23.5	41.2	35.3	41.2	11.8	5.9	5.9	—	5.9	—
中央値の1/2以上中央値未満	21	28.6	52.4	14.3	9.5	28.6	38.1	14.3	23.8	23.8	14.3	—	4.8	4.8	—	4.8
中央値以上	427	29.5	30.9	5.6	12.2	18.3	15.7	22.0	24.8	37.2	12.6	5.2	3.0	4.9	5.2	12.2

問 36 福生市は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。その理由もご記入ください。

「ある程度そう思う」の割合が50.7%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が24.0%、「あまりそう思わない」の割合が11.5%となっています。

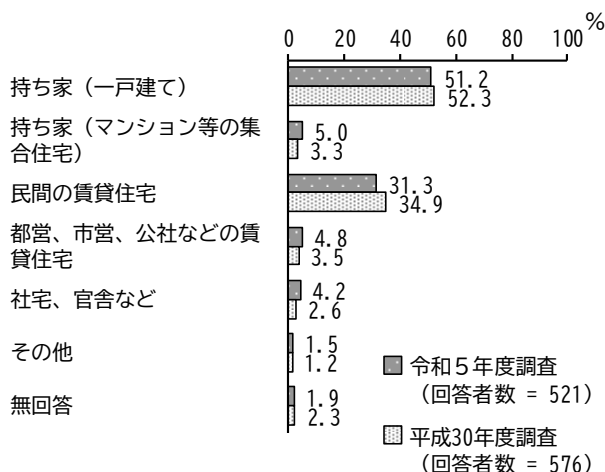
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 37 お住まいの住居の状況をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「持ち家（一戸建て）」の割合が51.2%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」の割合が31.3%となっています。

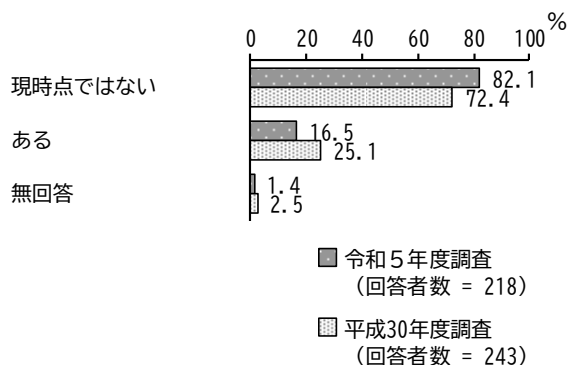
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 37-1 問 37 で「民間の賃貸住宅」「都営、市営、公社などの賃貸住宅」「社宅、官舎など」「その他」と回答した方にうかがいます。今後、他市町村に引っ越す予定はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「現時点ではない」の割合が82.1%、「ある」の割合が16.5%となっています。

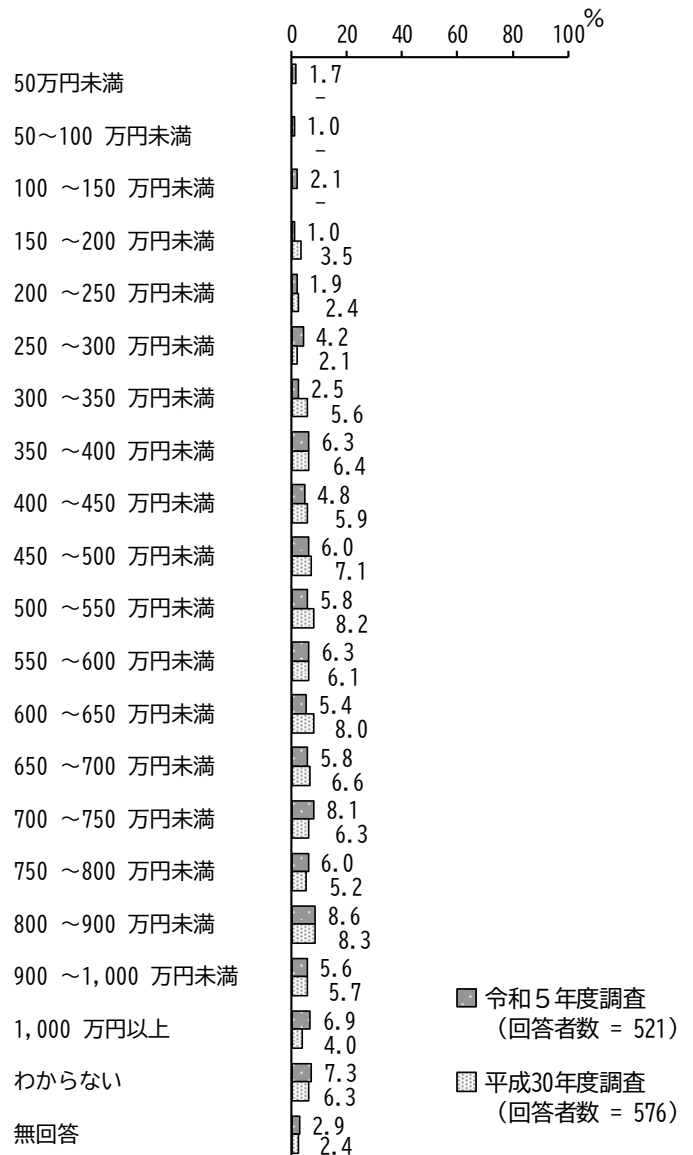
平成30年度調査と比較すると、「現時点ではない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。



問 38 ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年（令和4年）1年間の、家族全員の収入の合計額は、込みでおよそいくらでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「800～900万円未満」の割合が8.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

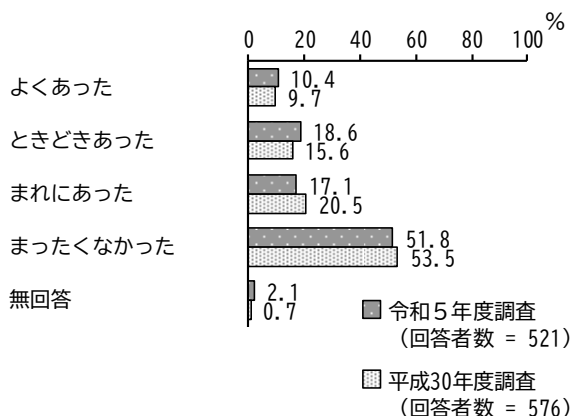


※平成30年度調査では、「50万円未満」、「50～100万円未満」、「100～150万円未満」の選択肢がありませんでした。

問 39 あなたの世帯では、過去1年の間に、急な出費などで家計のやりくりができないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が51.8%と最も高く、次いで「ときどきあった」の割合が18.6%、「まれにあった」の割合が17.1%となっています。

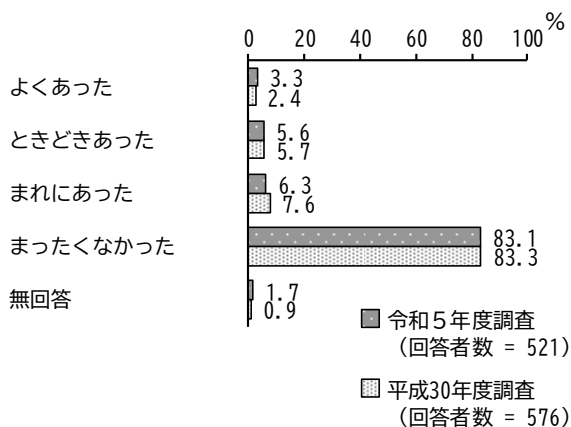
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 40 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で、月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が83.1%と最も高くなっています。

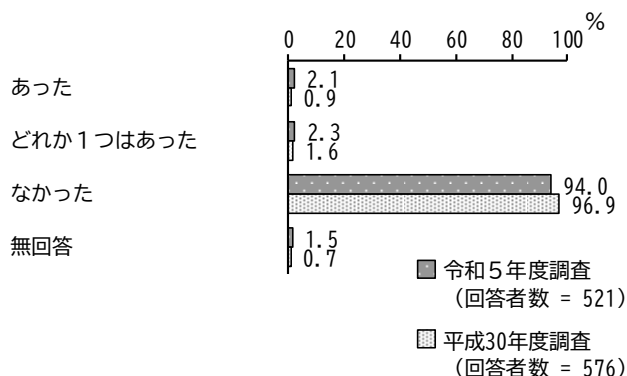
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 41 あなたの世帯では、過去5年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

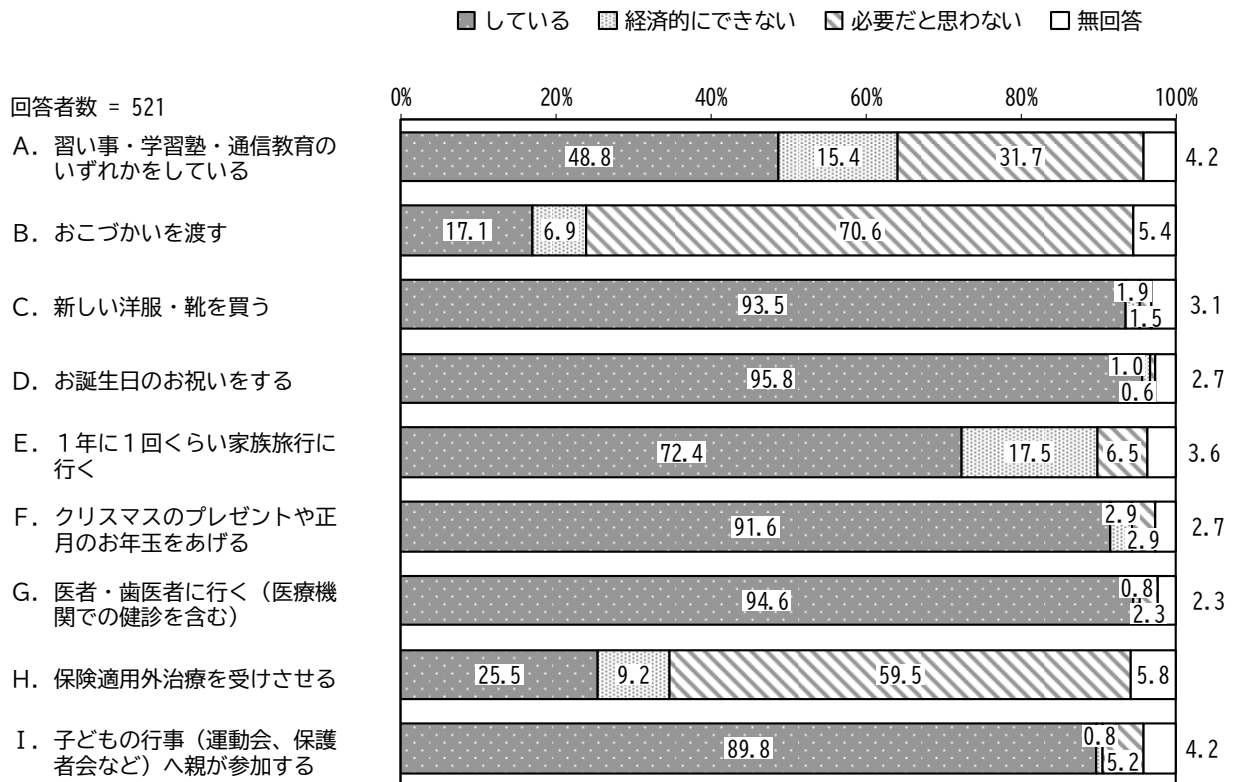
「なかった」の割合が94.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

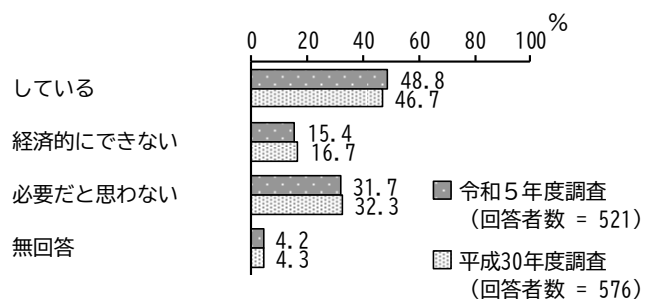


問 42 次のA～Iのそれぞれの項目について、あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

『D. お誕生日のお祝いをする』で「している」の割合が、『E. 1年に1回くらい家族旅行に行く』で「経済的にできない」の割合が高くなっています。また、『H. 保険適用外治療を受けさせる』で「必要だと思わない」の割合が高くなっています。

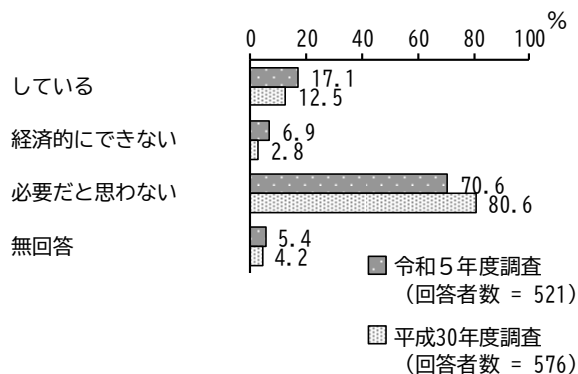


A. 習い事・学習塾・通信教育のいずれかをしている
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



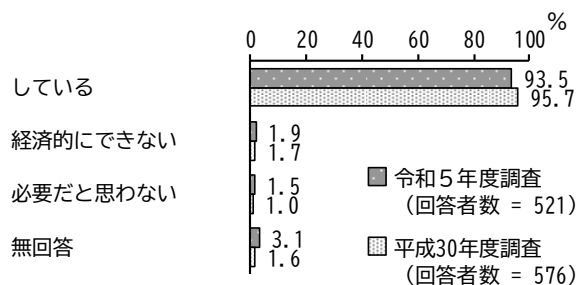
B. おこづかいを渡す

平成 30 年度調査と比較すると、「必要だと思わない」の割合が減少しています。



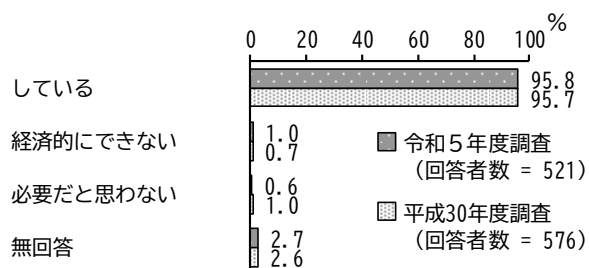
C. 新しい洋服・靴を買う

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



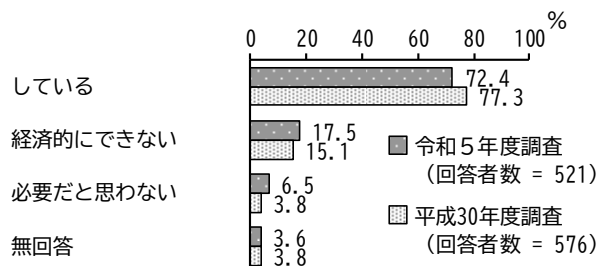
D. お誕生日のお祝いをする

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

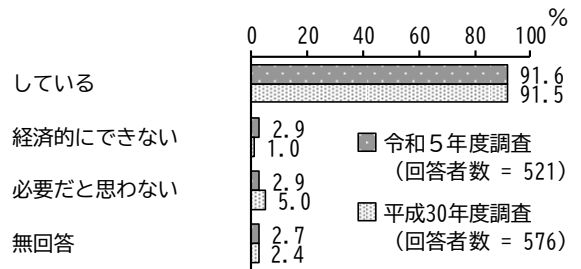


E. 1年に1回くらい家族旅行に行く

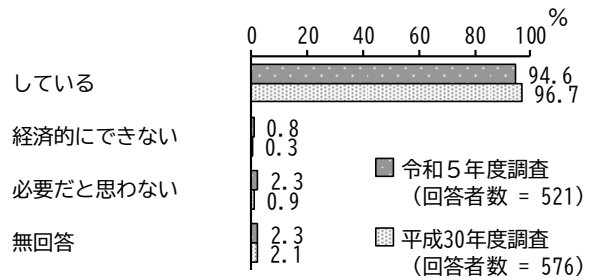
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



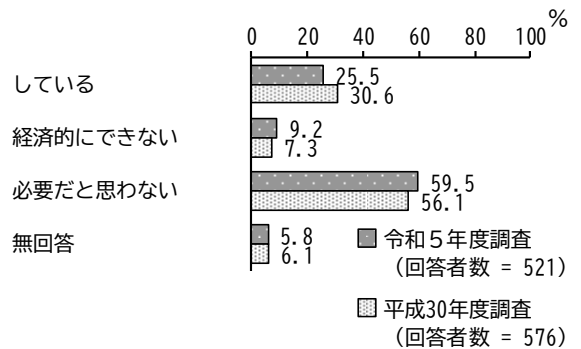
F. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる
 平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
 みられません。



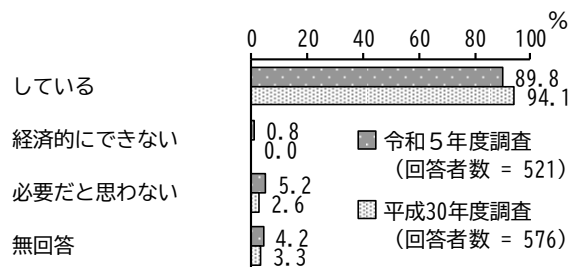
G. 医者・歯医者に行く（医療機関での健診を含む）
 平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
 みられません。



H. 保険適用外治療を受けさせる
 平成 30 年度調査と比較すると、「している」の
 割合が減少しています。



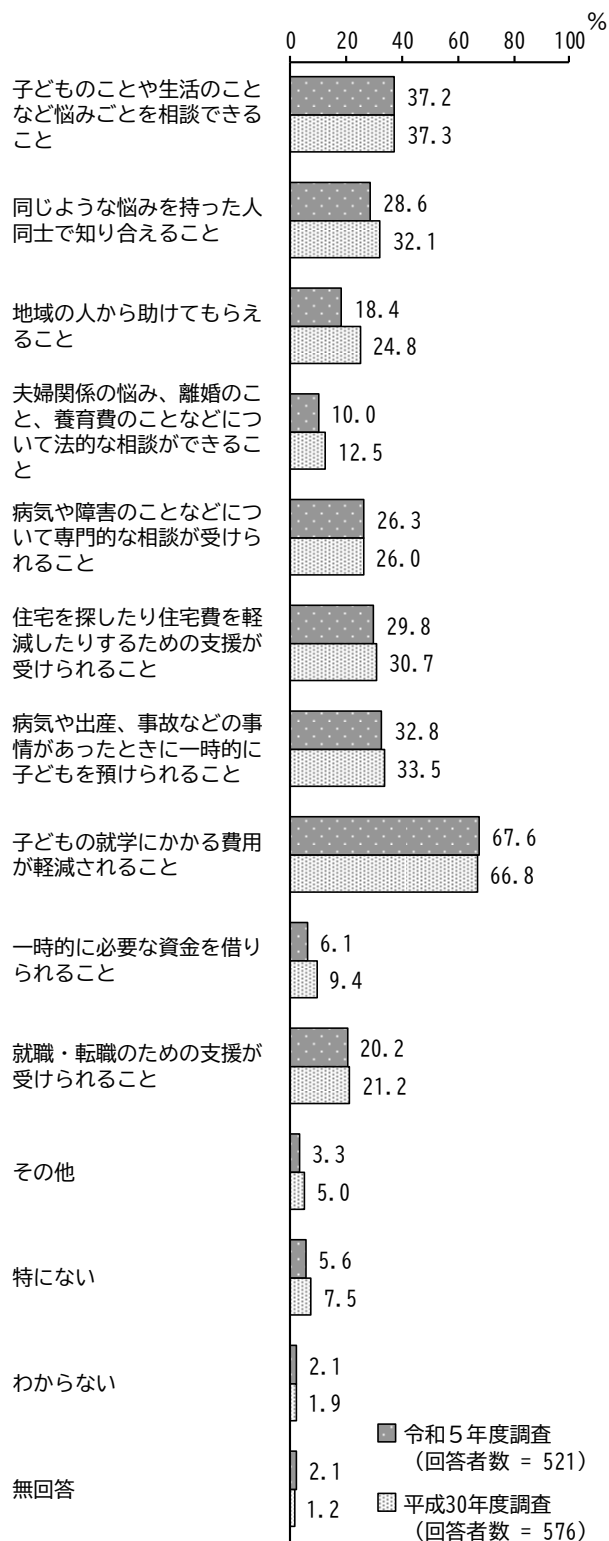
I. 子どもの行事（運動会、保護者会など）へ親が参加する
 平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
 みられません。



問 43 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が67.6%と最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が37.2%、「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」の割合が32.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「地域の人から助けられること」の割合が減少しています。



【生活困窮別】

生活困窮別にみると、中央値の1 / 2以上中央値未満で「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」の割合が高くなっています。

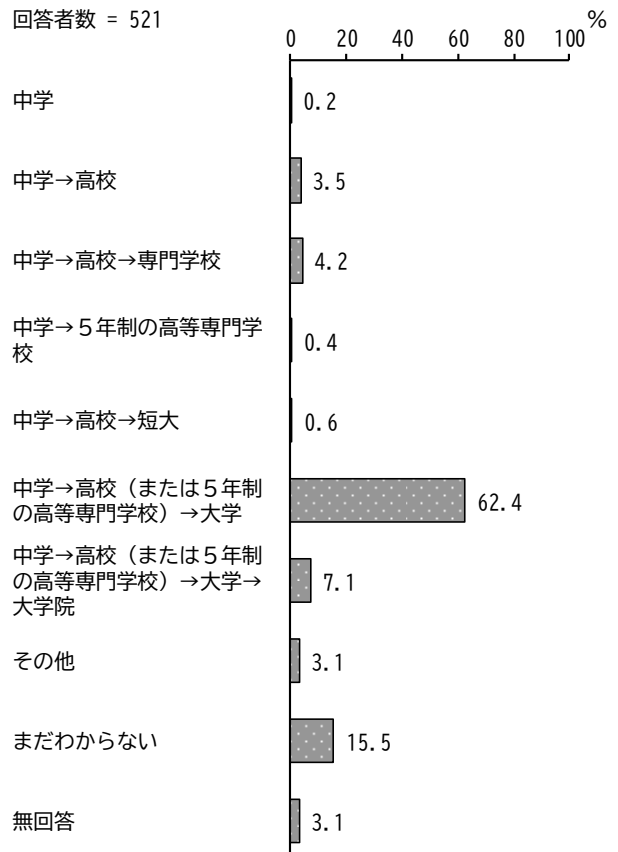
単位：％

区分	回答者数(件)	子どものことや生活のことなど悩みことを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	地域の人から助けってもらえること	夫婦関係の悩み、離婚のこと、養育費のことなどについて法的な相談ができること	病気や障害のことなどについて専門的な相談が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	一時的に必要な資金を借りられること	就職・転職のための支援が受けられること	その他	特にない	わからない	無回答
全体	521	37.2	28.6	18.4	10.0	26.3	29.8	32.8	67.6	6.1	20.2	3.3	5.6	2.1	2.1
中央値の1 / 2未満	17	23.5	5.9	11.8	5.9	11.8	17.6	5.9	47.1	5.9	11.8	-	17.6	11.8	-
中央値の1 / 2以上中央値未満	21	38.1	38.1	19.0	9.5	23.8	52.4	23.8	76.2	19.0	23.8	4.8	9.5	4.8	-
中央値以上	427	38.4	29.0	19.2	10.3	26.0	29.0	33.5	68.6	5.9	20.4	3.3	4.7	1.6	0.9

問 44 あなたはお子さんに、将来、どの学校まで進学してほしいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学」の割合が62.4%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が15.5%となっています。

回答者数 = 521



【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

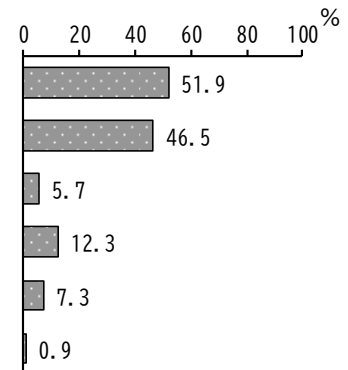
区分	回答者数(件)	中学	中学→高校	中学→高校→専門学校	学校 中学→5年制の高等専門学校	中学→高校→短大	学 制の高等専門学校)→大	中学→高校(または5年 制の高等専門学校)→大 学→大学院	中学→高校(または5年 制の高等専門学校)→大 学	その他	まだわからない	無回答
全 体	521	0.2	3.5	4.2	0.4	0.6	62.4	7.1	3.1	15.5	3.1	
中央値の1/2未満	17	—	5.9	5.9	—	—	35.3	35.3	5.9	11.8	—	
中央値の1/2以上中央値未満	21	—	—	14.3	—	—	38.1	23.8	4.8	19.0	—	
中央値以上	427	0.2	3.7	3.5	0.5	0.7	66.7	5.9	3.0	14.1	1.6	

問 45 問 44 で「中学」「中学→高校」「中学→高校→専門学校」「中学→5年制の高等専門学校」「中学→高校→短大」「中学→高校(または5年制の高等専門学校)→大学」「中学→高校(または5年制の高等専門学校)→大学→大学院」「その他」に○をつけた方にうかがいます。その理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「お子さんが幸せになれると思うから」の割合が51.9%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」の割合が46.5%となっています。

回答者数 = 424

- お子さんが幸せになれると思うから
- 一般的な進路だと思うから
- 家庭の経済的な状況から考えて
- その他
- 特に理由はない
- 無回答

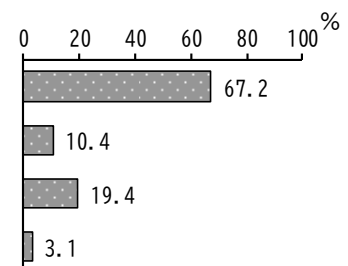


問 46 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「言葉も内容も知っている」の割合が67.2%と最も高く、次いで「知らない」の割合が19.4%、「言葉は聞いたことがある」の割合が10.4%となっています。

回答者数 = 521

- 言葉も内容も知っている
- 言葉は聞いたことがある
- 知らない
- 無回答

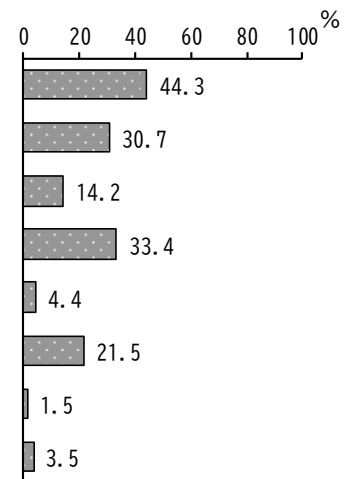


問 47 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「本人に様子を聞く」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「関係機関に相談する」の割合が 33.4%、「家族、知人、友人に相談する」の割合が 30.7%となっています。

回答者数 = 521

本人に様子を聞く
家族、知人、友人に相談する
先生や部活の顧問等に相談する
関係機関に相談する
何もしない
わからない
その他
無回答



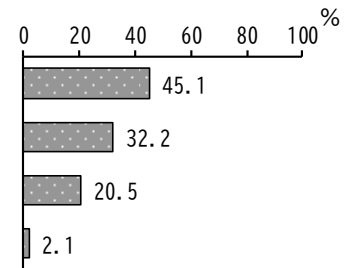
(12) 子どもの権利について

問 48 あなたは、『子どもの権利』を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前も内容も知っている」の割合が45.1%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が32.2%、「知らなかった」の割合が20.5%となっています。

回答者数 = 521

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答

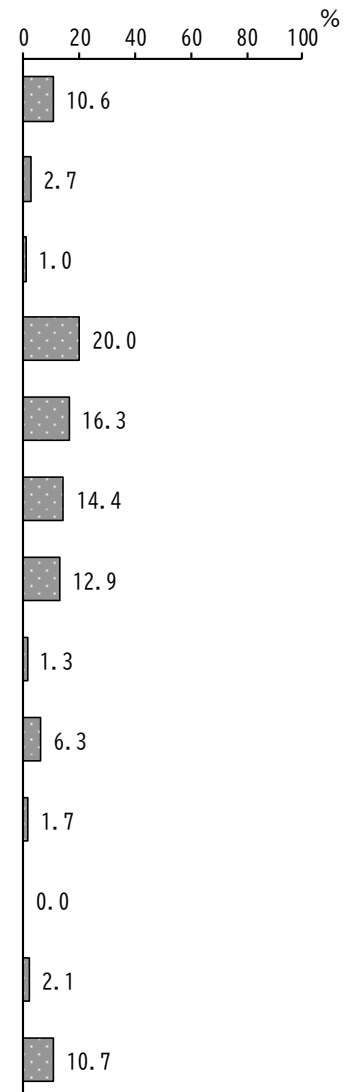


問 49 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が20.0%と最も高く、次いで「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が16.3%、「自分の考えを自由に言えること」の割合が14.4%となっています。

回答者数 = 521

人種や性別、宗教などで差別されないこと
障がいのある子が差別されないこと
子どもが知りたいことを隠さないこと
暴力や言葉で傷つけないこと
家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
自分の考えを自由に言えること
人と違う自分らしさが認められること
自分の秘密が守られること
自分のことは自分で決められること
自由な時間をもつこと
自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられる
無回答

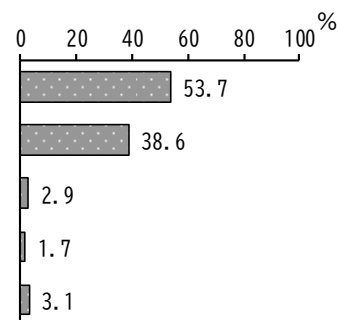


問 50 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「常にしている」の割合が53.7%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が38.6%となっています。

回答者数 = 521

常にしている
ときどきしている
あまりしていない
まったくしたことがない
無回答

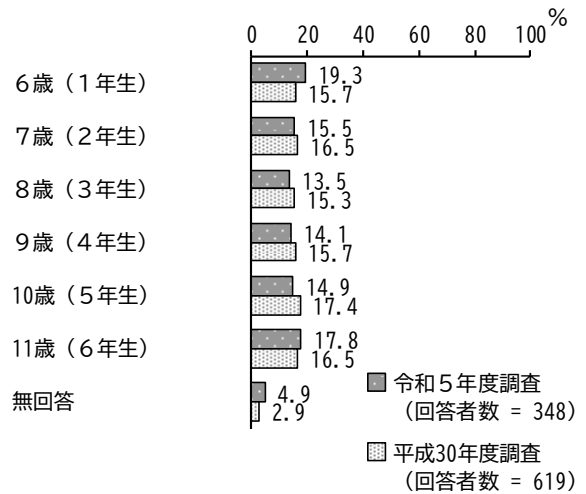


2 小学生保護者

(1) 封筒のお子さんご家族の状況について

問2 お子さんの生年月をご記入ください。() 内に数字でご記入ください。

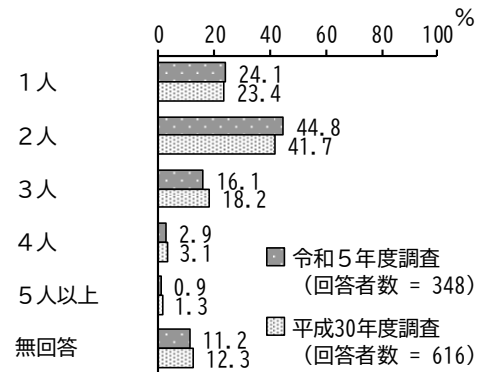
「6歳(1年生)」の割合が19.3%と最も高く、次いで「11歳(6年生)」の割合が17.8%、「7歳(2年生)」の割合が15.5%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を() 内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数

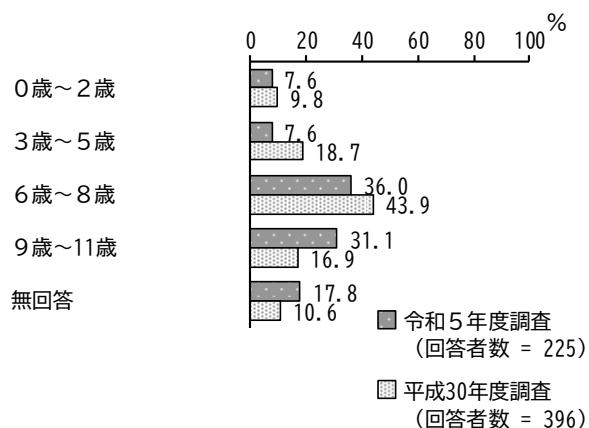
「2人」の割合が44.8%と最も高く、次いで「1人」の割合が24.1%、「3人」の割合が16.1%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



末子の年齢

「6歳～8歳」の割合が36.0%と最も高く、次いで「9歳～11歳」の割合が31.1%となっています。

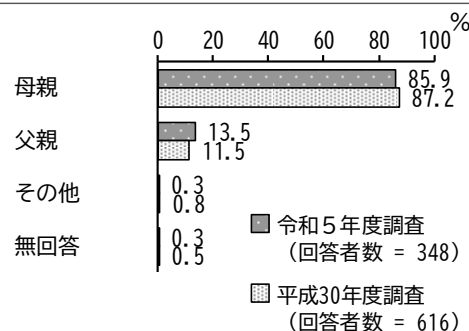
平成30年度調査と比較すると、「9歳～11歳」の割合が増加しています。一方、「3歳～5歳」「6歳～8歳」の割合が減少しています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が85.9%、「父親」の割合が13.5%となっています。

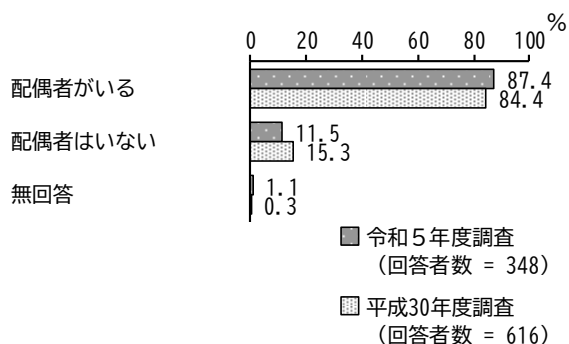
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が87.4%、「配偶者がいない」の割合が11.5%となっています。

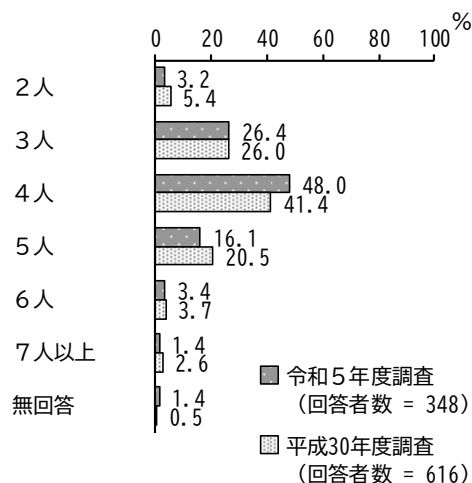
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 お子さんを含めて家族は何人ですか。※単身赴任・入院・入所の方など、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族の人数に含めて回答してください。

「4人」の割合が48.0%と最も高く、次いで「3人」の割合が26.4%、「5人」の割合が16.1%となっています。

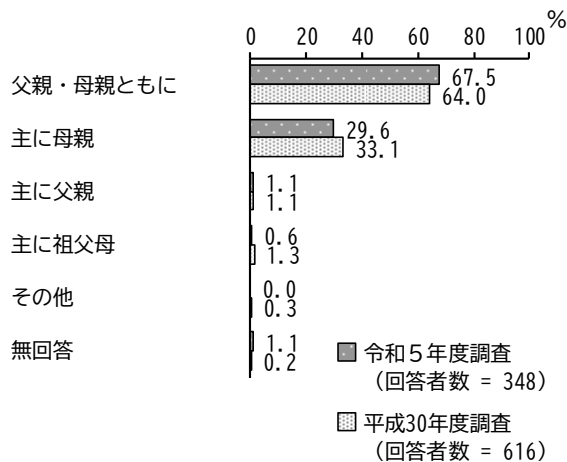
平成30年度調査と比較すると、「4人」の割合が増加しています。



問7 お子さんの子育て（教育を含む）を行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父親・母親ともに」の割合が67.5%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が29.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

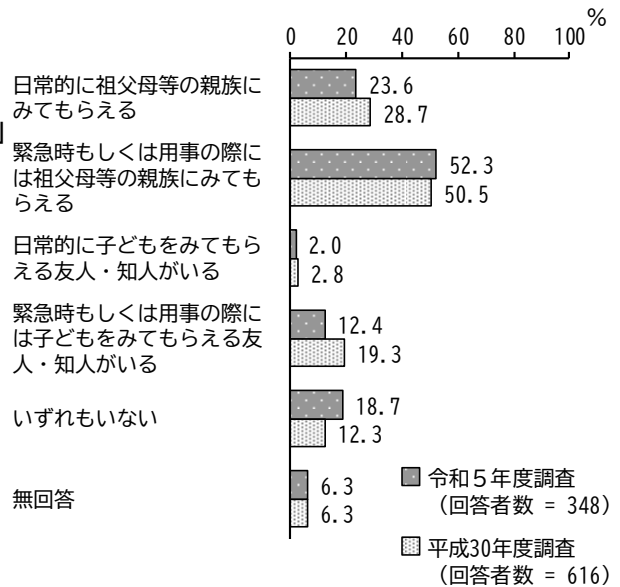


(2) 子育ての環境について

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が52.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が23.6%、「いずれもない」の割合が18.7%となっています。

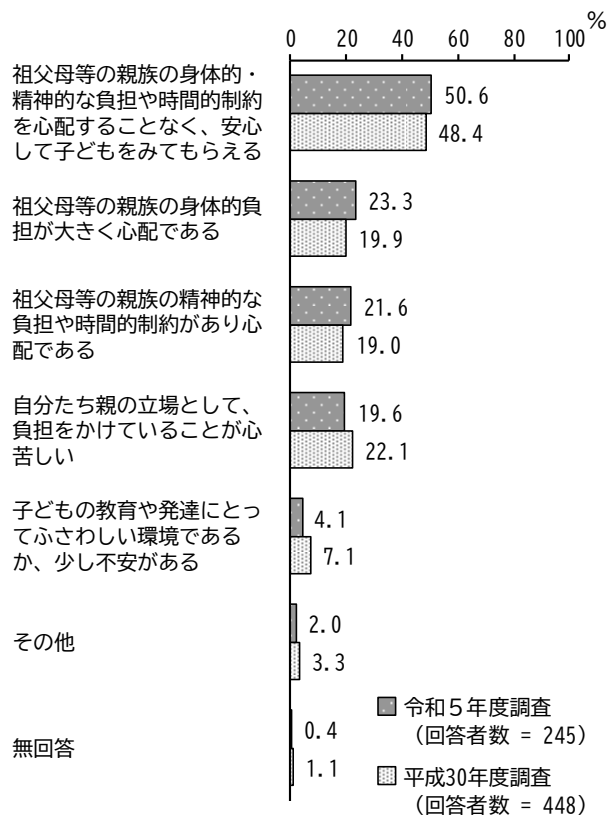
平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。一方、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が減少しています。



問8-1 問8で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が50.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が23.3%、「祖父母等の親族の精神的な負担や時間的制約があり心配である」の割合が21.6%となっています。

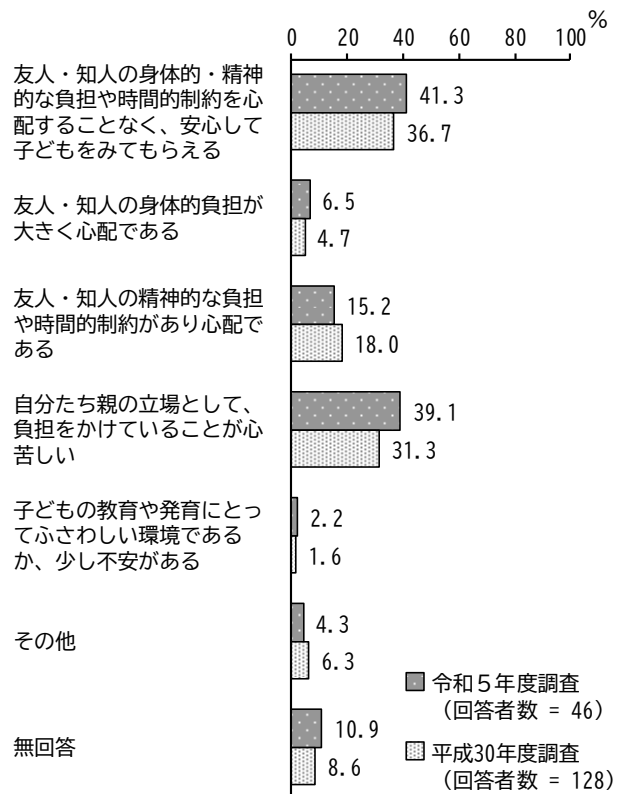
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8-2 問8で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が41.3%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が39.1%、「友人・知人の精神的な負担や時間的制約があり心配である」の割合が15.2%となっています。

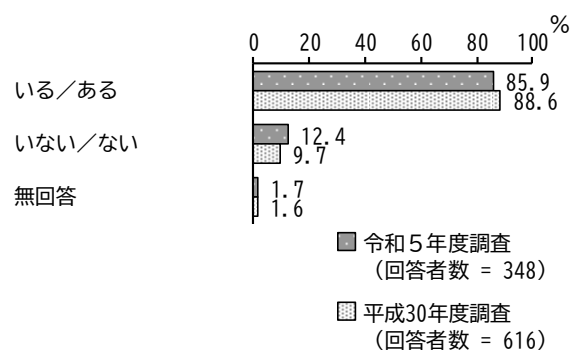
平成30年度調査と比較すると、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が増加しています。



問9 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が85.9%、「いない／ない」の割合が12.4%となっています。

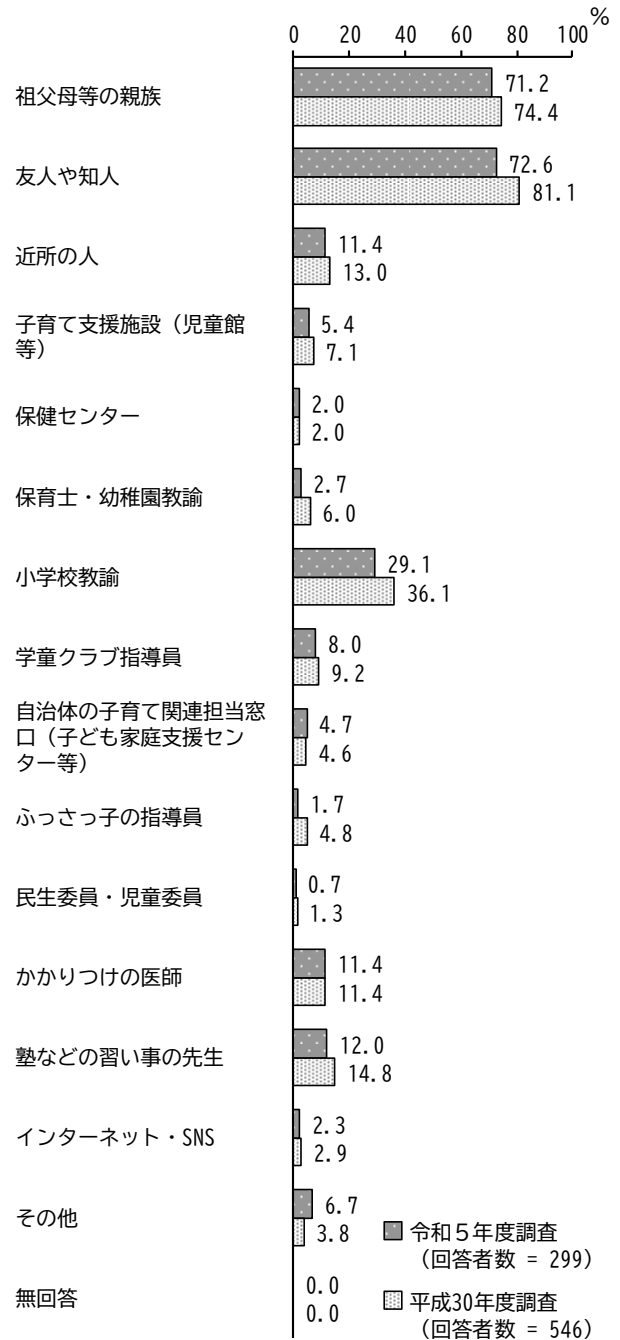
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」の割合が72.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が71.2%、「小学校教諭」の割合が29.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「友人や知人」「小学校教諭」の割合が減少しています。



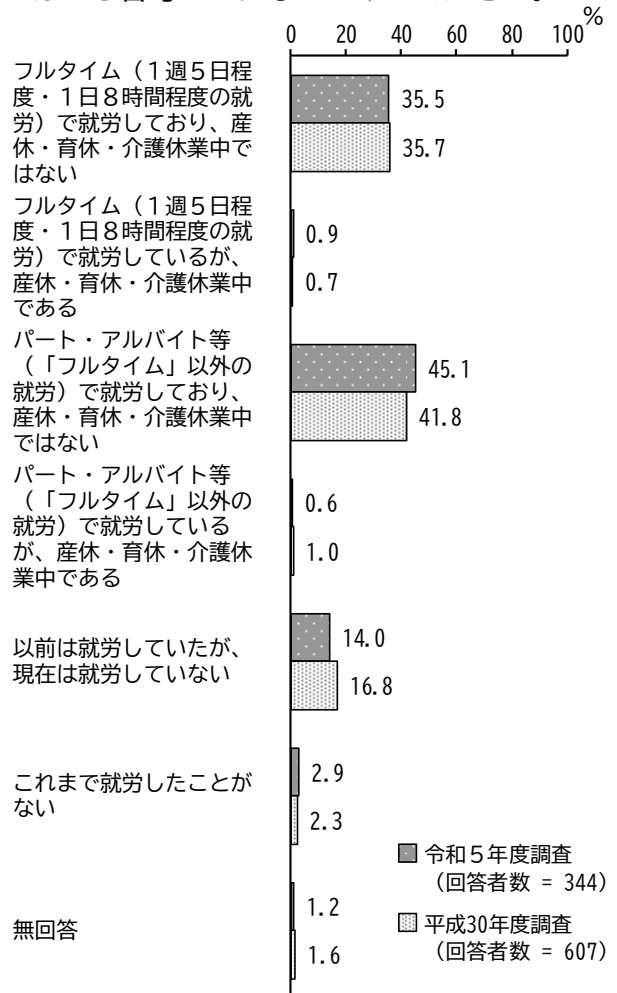
(3) お子さんの保護者の就労状況について

問 10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が45.1%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が35.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が14.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

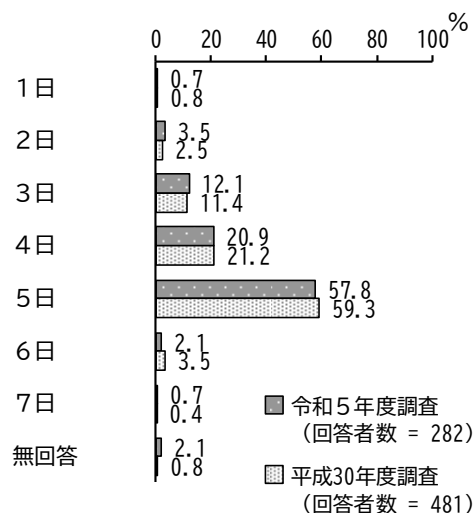


(1) - 1 (1) で「1~4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

1 週当たりの就労日数

「5日」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が 20.9%、「3日」の割合が 12.1%となっています。

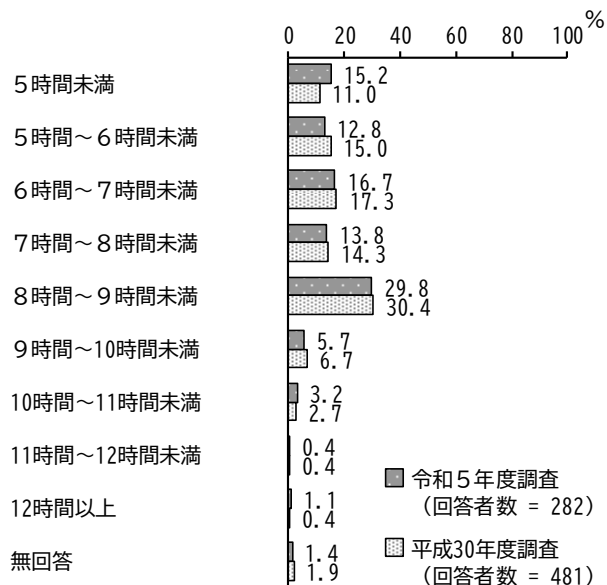
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 日当たりの就労時間

「8時間~9時間未満」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「6時間~7時間未満」の割合が 16.7%、「5時間未満」の割合が 15.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

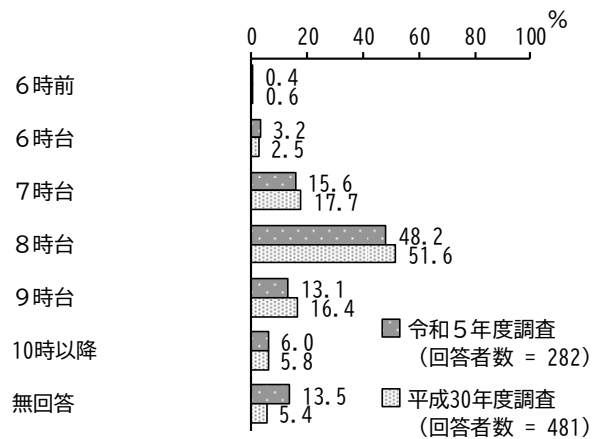


(1) - 2 (1) で「1~4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時~18時のように、24時間表記でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「8時台」の割合が48.2%と最も高く、次いで「7時台」の割合が15.6%、「9時台」の割合が13.1%となっています。

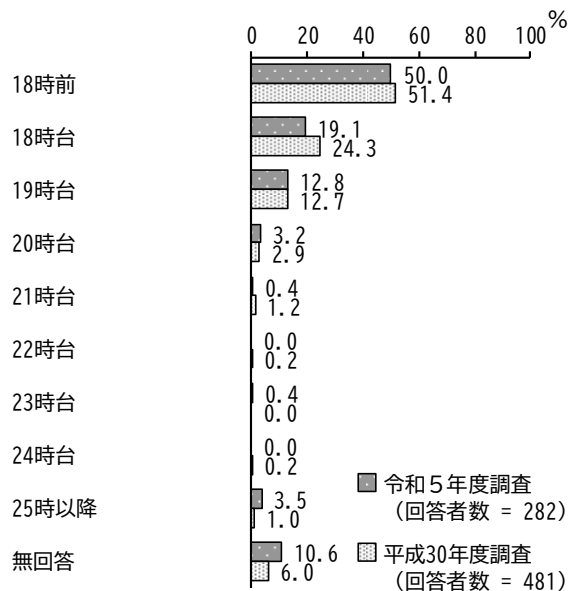
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時刻

「18時前」の割合が50.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が19.1%、「19時台」の割合が12.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が減少しています。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が92.0%と最も高くなっています。

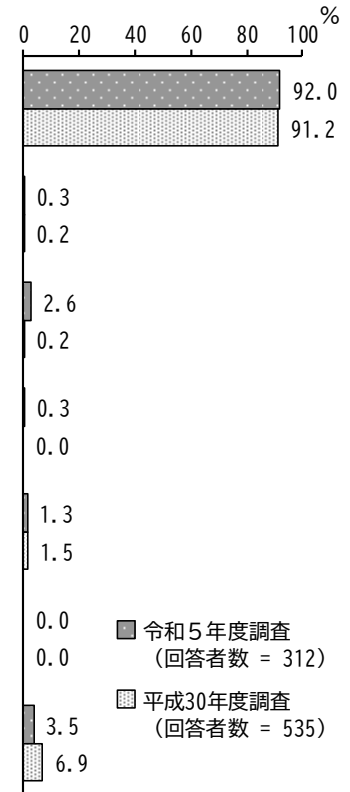
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答

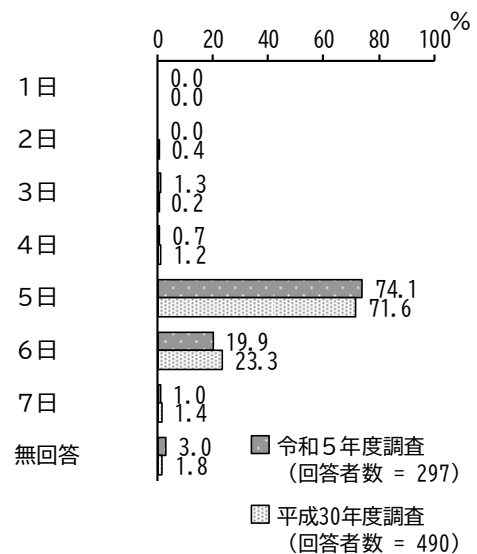


(2) - 1 (2) で「1~4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

1週当たりの就労日数

「5日」の割合が74.1%と最も高く、次いで「6日」の割合が19.9%となっています。

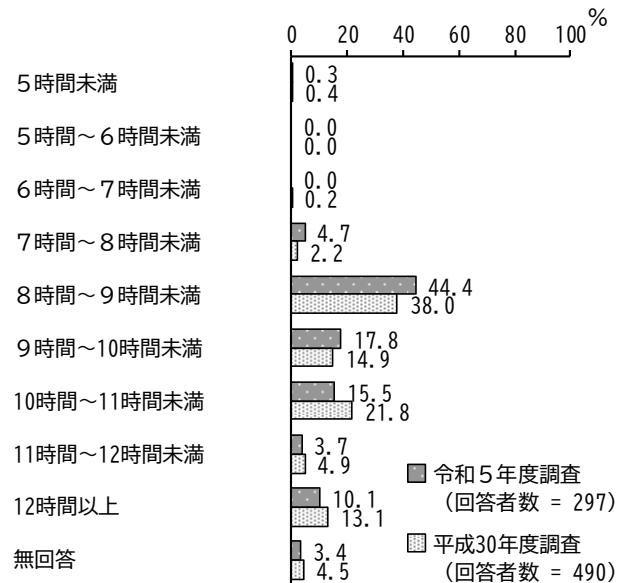
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日当たりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が44.4%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が17.8%、「10時間～11時間未満」の割合が15.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「10時間～11時間未満」の割合が減少しています。

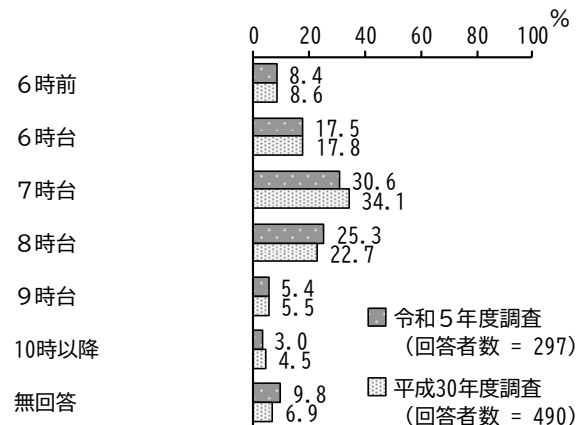


(2) - 2 (2) で「1～4」(就労している) に○をつけた方にかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間表記でお答えください。() 内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「7時台」の割合が30.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が25.3%、「6時台」の割合が17.5%となっています。

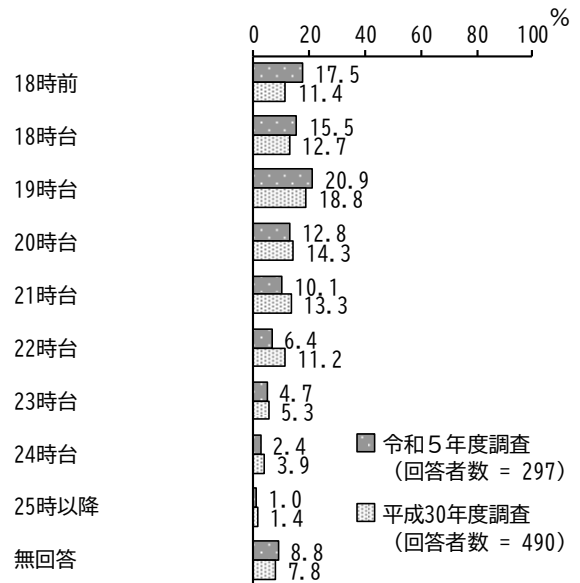
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時刻

「19 時台」の割合が 20.9%と最も高く、次いで「18 時前」の割合が 17.5%、「18 時台」の割合が 15.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「18 時前」の割合が増加しています。



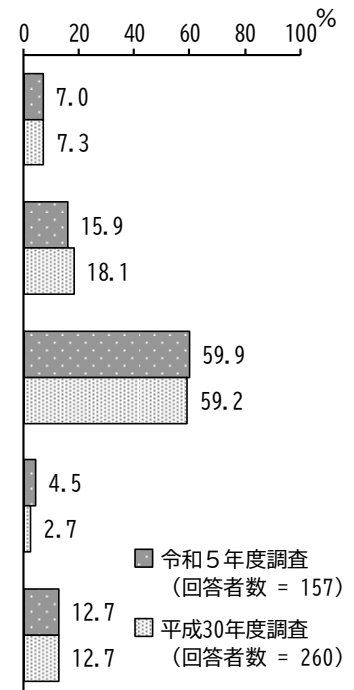
問 11 問 10 の (1) または (2) で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 12 へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 15.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
 無回答

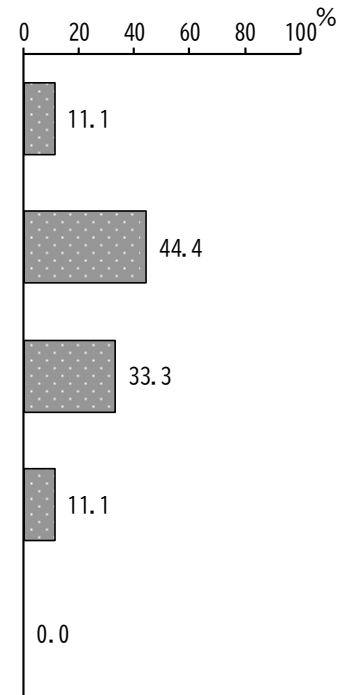


(2) 父親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が4件となっています。「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が3件、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい」が1件となっています。

回答者数 = 9

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい
 無回答



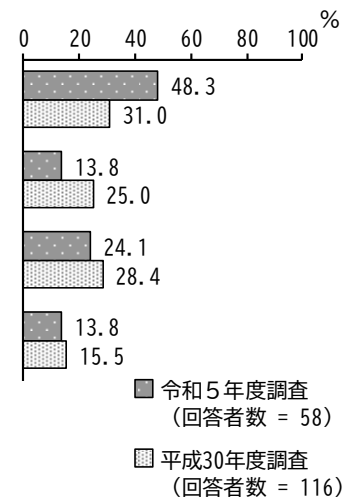
問12 問10（1）または（2）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する（ ）内に数字でご記入ください。

(1) 母親

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が48.3%と最も高く、次いで「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が24.1%、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が13.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が増加しています。一方、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が減少しています。

子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい
 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 無回答

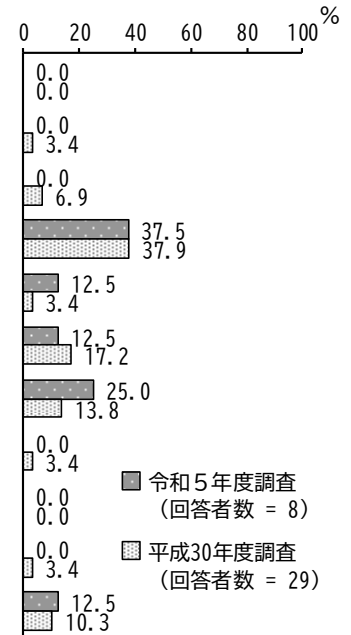


1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい

「6歳～7歳」が3件となっています。「12歳～13歳」が2件、「8歳～9歳」、「10歳～11歳」が1件となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8歳～9歳」「12歳～13歳」の割合が増加しています。一方、「4歳～5歳」の割合が減少しています。

0歳～1歳
2歳～3歳
4歳～5歳
6歳～7歳
8歳～9歳
10歳～11歳
12歳～13歳
14歳～15歳
16歳～17歳
18歳以上
無回答

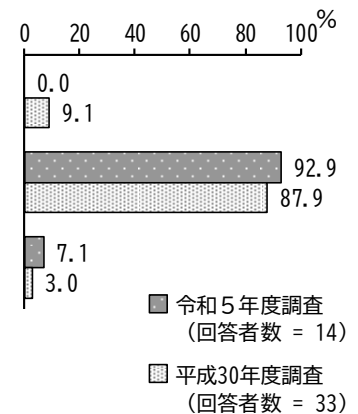


希望する就労形態

「パートタイム、アルバイト等」の割合が92.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が減少しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
パートタイム、アルバイト等
無回答

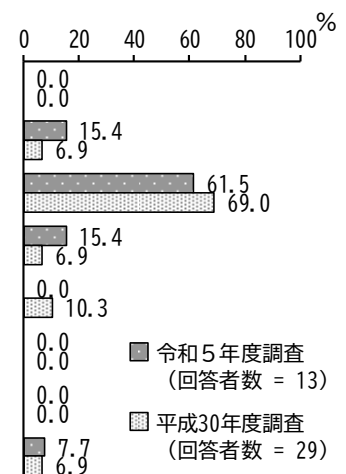


パートタイム、アルバイト等の1週当たりの希望就労日数

「3日」の割合が61.5%と最も高く、次いで「2日」、「4日」の割合が15.4%となっています。

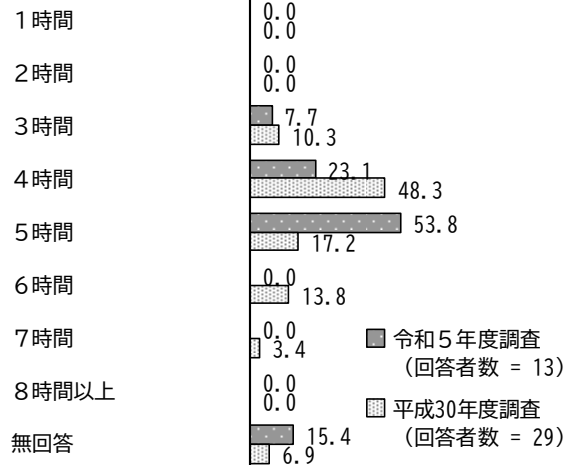
平成30年度調査と比較すると、「2日」「4日」の割合が増加しています。一方、「3日」「5日」の割合が減少しています。

1日
2日
3日
4日
5日
6日
7日
無回答



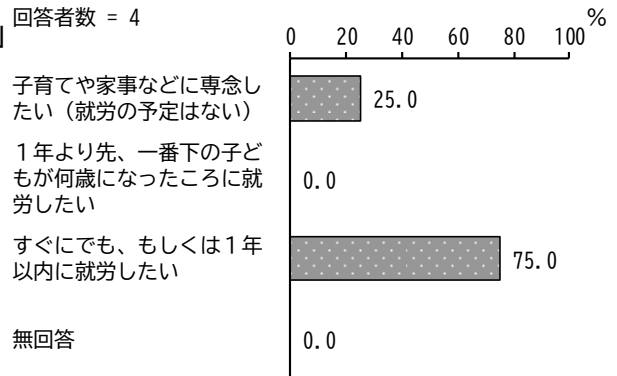
パートタイム、アルバイト等の1日当たりの希望就労時間

「5時間」の割合が53.8%と最も高く、次いで「4時間」の割合が23.1%となっています。平成30年度調査と比較すると、「5時間」の割合が増加しています。一方、「4時間」「6時間」の割合が減少しています。



(2) 父親

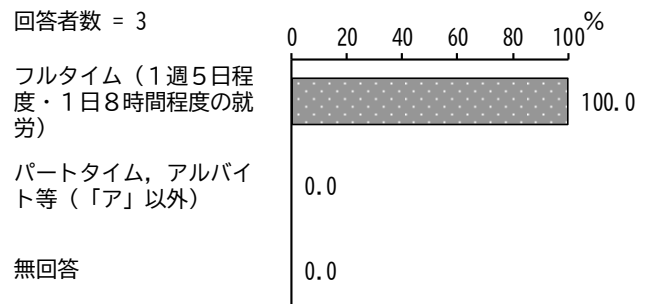
「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が3件となっています。「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が1件となっています。



1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい
有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が3件となっています。



パートタイム、アルバイト等の1週当たりの希望就労日数
有効回答がありませんでした。

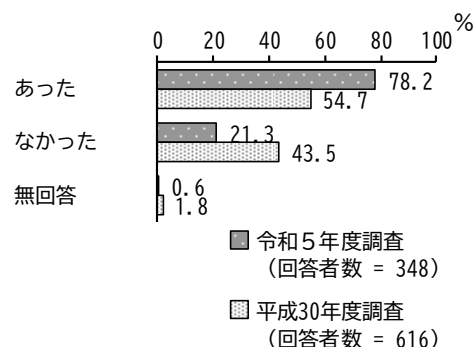
パートタイム、アルバイト等の1日当たりの希望就労時間
有効回答がありませんでした。

(4) お子さんの病気の際の対応について

問13 この1年間に、お子さんが病気やケガで小学校へ行けなかったことはありますか。

「あった」の割合が78.2%、「なかった」の割合が21.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、9歳（4年生）で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全体	348	78.2	21.3	0.6
6歳 (1年生)	67	82.1	17.9	—
7歳 (2年生)	54	81.5	16.7	1.9
8歳 (3年生)	47	83.0	17.0	—
9歳 (4年生)	49	71.4	28.6	—
10歳 (5年生)	52	80.8	19.2	—
11歳 (6年生)	62	72.6	25.8	1.6

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、これまで就労したことがないで「なかった」の割合が高くなっています。

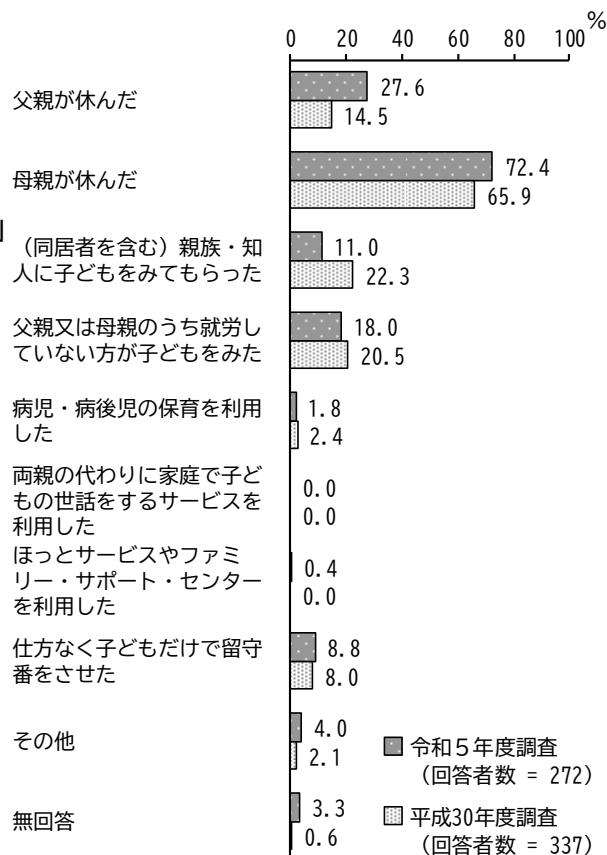
単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	344	78.5	20.9	0.6
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	122	82.0	16.4	1.6
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	66.7	33.3	－
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	155	76.8	23.2	－
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	100.0	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	48	77.1	22.9	－
これまで就労したことがない	10	70.0	30.0	－

問 13-1 お子さんが病気やけがで小学校へ行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数についても()内に数字でご記入ください。
(半日程度の対応の場合も1日と数えてください。)

「母親が休んだ」の割合が72.4%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が27.6%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が18.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、6歳（1年生）で「父親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	両親の代わりに家庭で子どもの世話をするサービスを利用した	ほっとサービスやファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	272	27.6	72.4	11.0	18.0	1.8	—	0.4	8.8	4.0	3.3
6歳（1年生）	55	36.4	76.4	14.5	25.5	7.3	—	—	5.5	5.5	1.8
7歳（2年生）	44	31.8	79.5	13.6	18.2	2.3	—	—	6.8	4.5	—
8歳（3年生）	39	25.6	69.2	10.3	10.3	—	—	—	7.7	2.6	5.1
9歳（4年生）	35	28.6	71.4	14.3	17.1	—	—	—	8.6	—	2.9
10歳（5年生）	42	16.7	64.3	9.5	19.0	—	—	—	11.9	2.4	4.8
11歳（6年生）	45	20.0	68.9	4.4	20.0	—	—	2.2	15.6	8.9	4.4

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

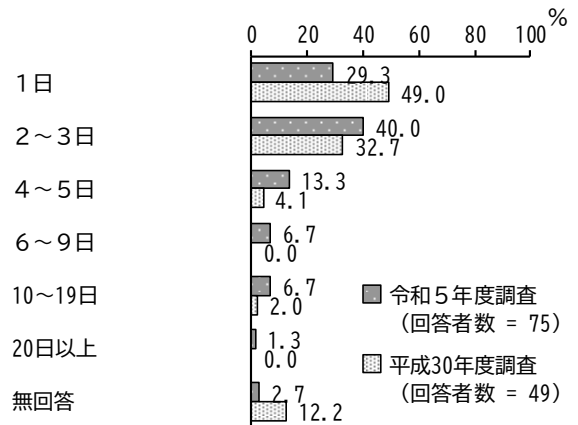
単位：％

区分	回答者数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	両親の代わりに家庭で子どもの世話をするサービスを利用した	ほっとサービスやファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	270	27.4	73.0	11.1	18.1	1.9	-	0.4	8.9	4.1	3.0
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	100	44.0	87.0	13.0	2.0	2.0	-	-	8.0	6.0	2.0
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	-	100.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	119	20.2	82.4	13.4	9.2	2.5	-	0.8	12.6	4.2	3.4
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	37	10.8	16.2	2.7	81.1	-	-	-	-	-	2.7
これまで就労したことがない	7	14.3	-	-	85.7	-	-	-	-	-	14.3

1. 父親が休んだ日数

「2～3日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が29.3%、「4～5日」の割合が13.3%となっています。

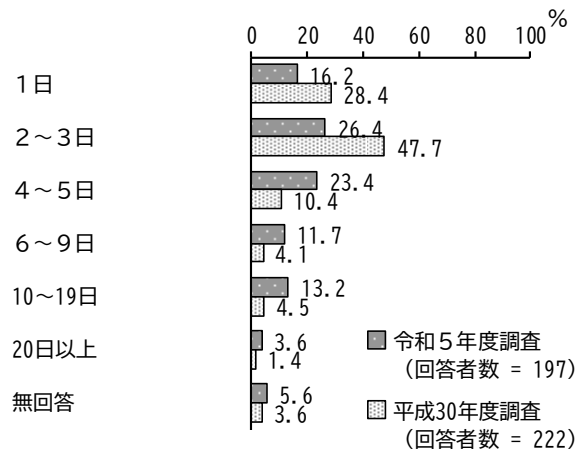
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」「4～5日」「6～9日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



2. 母親が休んだ日数

「2～3日」の割合が26.4%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が23.4%、「1日」の割合が16.2%となっています。

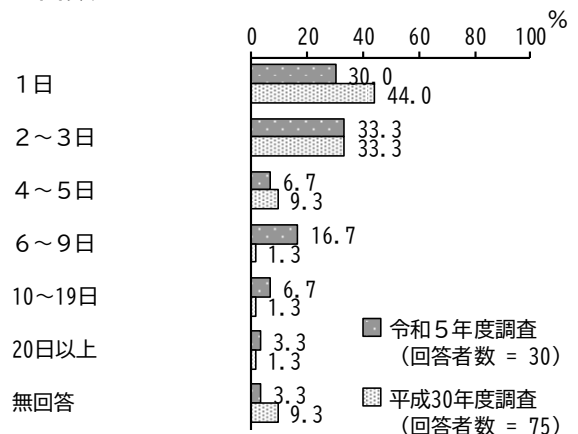
平成30年度調査と比較すると、「4～5日」「6～9日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2～3日」の割合が減少しています。



3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数

「2～3日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が30.0%、「6～9日」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「6～9日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

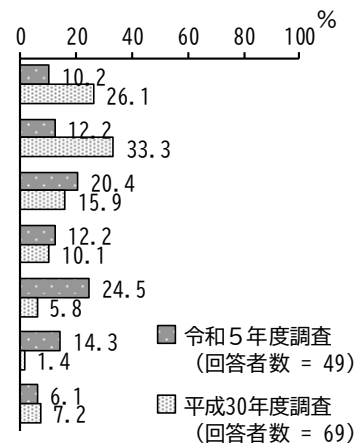


4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

「10～19日」の割合が24.5%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が20.4%、「20日以上」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」「2～3日」の割合が減少しています。

1日
2～3日
4～5日
6～9日
10～19日
20日以上
無回答

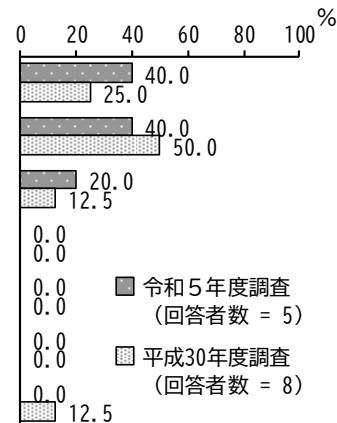


5. 病児・病後児の保育を利用した日数

「1日」「2～3日」が2件となっています。「4～5日」が1件となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「4～5日」の割合が増加しています。一方、「2～3日」の割合が減少しています。

1日
2～3日
4～5日
6～9日
10～19日
20日以上
無回答



6. 両親の代わりに家庭で子どもの世話をするサービスを利用した日数

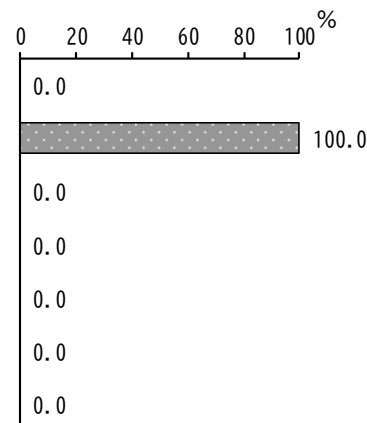
有効回答がありませんでした。

7. ほっとサービスやファミリー・サポート・センターを利用した日数

「2～3日」が1件となっています。

回答者数 = 1

1日
2～3日
4～5日
6～9日
10～19日
20日以上
無回答

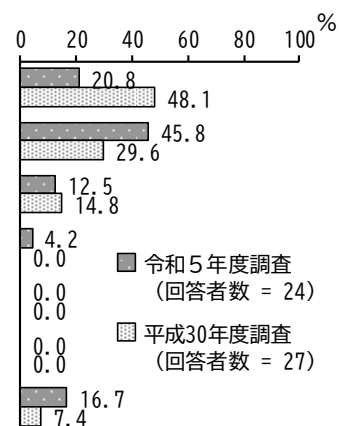


8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

「2～3日」の割合が45.8%と最も高く、次いで「1日」の割合が20.8%、「4～5日」の割合が12.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2～3日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

1日
2～3日
4～5日
6～9日
10～19日
20日以上
無回答

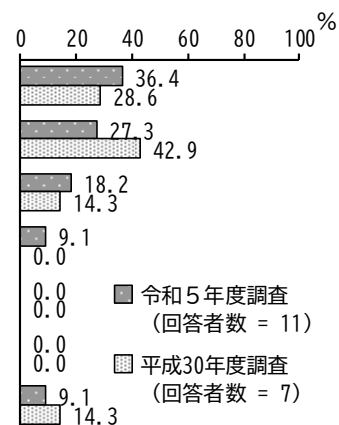


9. その他日数

「1日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が27.3%、「4～5日」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「6～9日」の割合が増加しています。一方、「2～3日」の割合が減少しています。

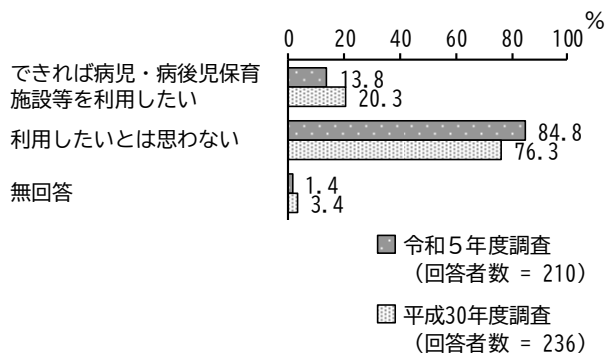
1日
2～3日
4～5日
6～9日
10～19日
20日以上
無回答



問13-2 問13-1で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が13.8%、「利用したいとは思わない」の割合が84.8%となっています。

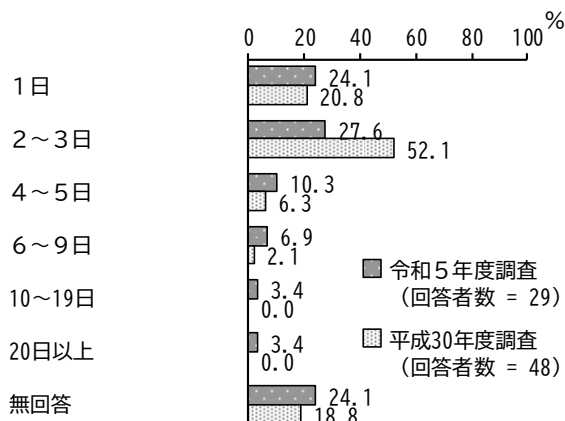
平成30年度調査と比較すると、「利用したいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が減少しています。



できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「2～3日」の割合が27.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が24.1%、「4～5日」の割合が10.3%となっています。

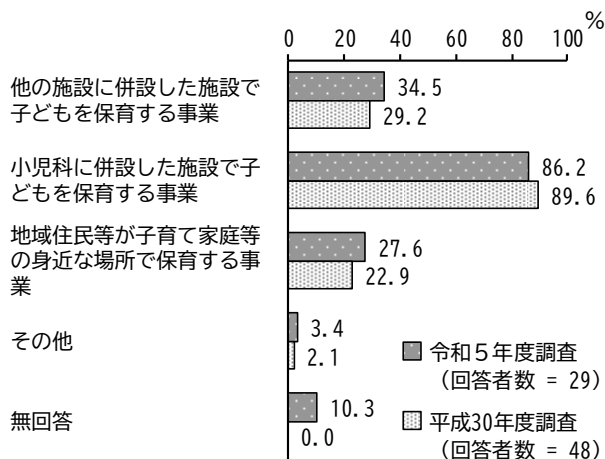
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」の割合が減少しています。



問13-3 問13-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が86.2%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が34.5%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が27.6%となっています。

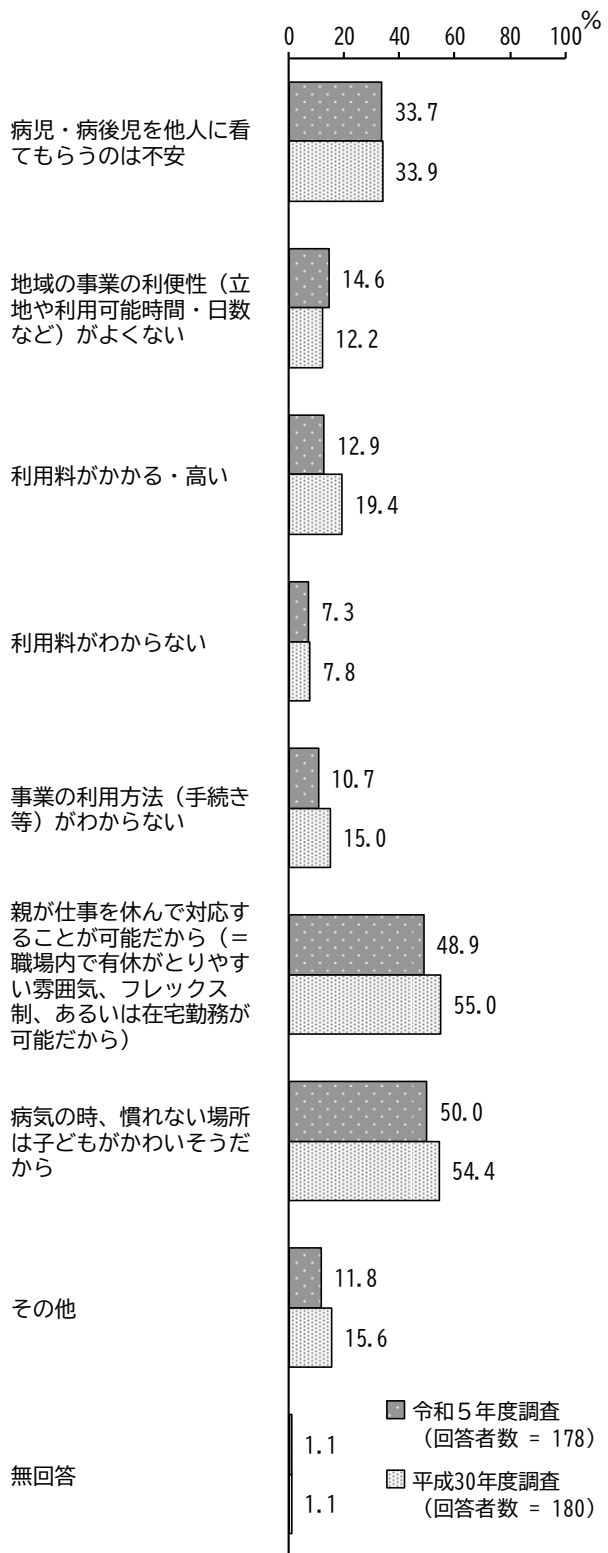
平成30年度調査と比較すると、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。



問13-4 問13-2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病気の時、慣れない場所は子どもがかわいそうだから」の割合が50.0%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応することが可能だから（＝職場内で有休がとりやすい雰囲気、フレックス制、あるいは在宅勤務が可能だから）」の割合が48.9%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が33.7%となっています。

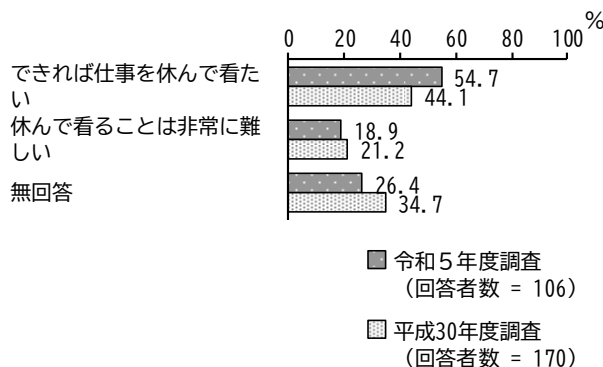
平成30年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」「親が仕事を休んで対応することが可能だから（＝職場内で有休がとりやすい雰囲気、フレックス制、あるいは在宅勤務が可能だから）」の割合が減少しています。



問13-5 問13-1で「3」から「9」のいずれかに回答した方にかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「3」から「9」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が54.7%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が18.9%となっています。

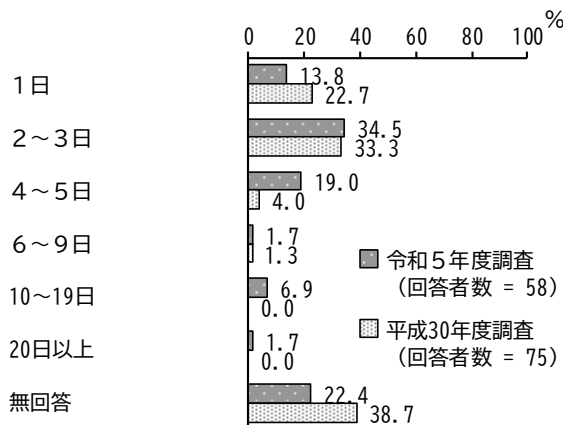
平成30年度調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が増加しています。



できれば仕事を休んで看たい日数

「2~3日」の割合が34.5%と最も高く、次いで「4~5日」の割合が19.0%、「1日」の割合が13.8%となっています。

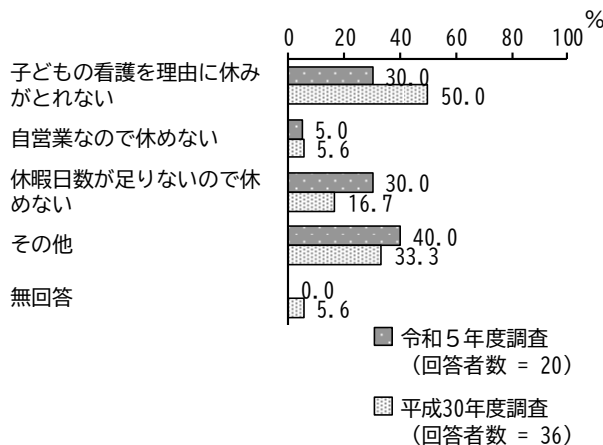
平成30年度調査と比較すると、「4~5日」「10~19日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



問13-6 問13-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が30.0%と最も高くなっています。

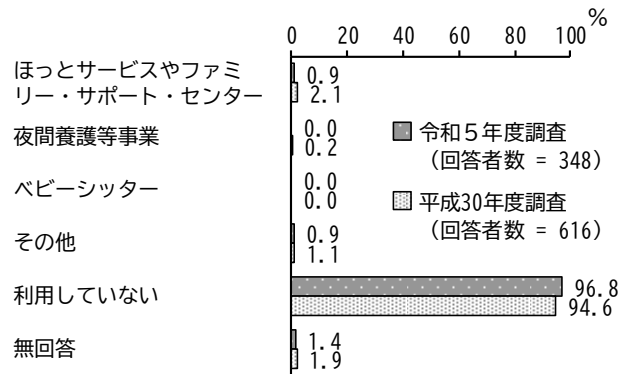
平成30年度調査と比較すると、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が増加しています。一方、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が減少しています。



(5) お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

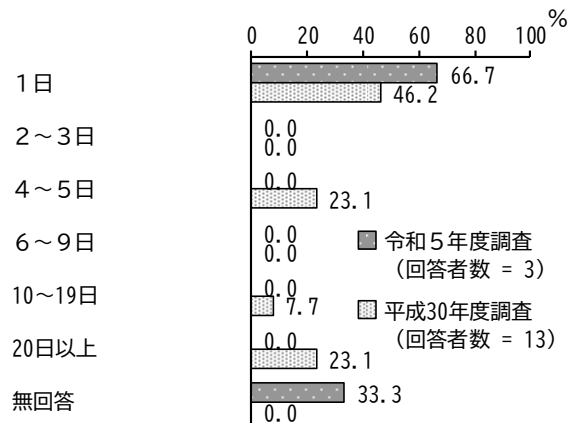
問 14 お子さんについて、現在、不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が96.8%と最も高くなっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1. ほっとサービスやファミリー・サポート・センターの日数

「1日」が2件となっています。
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「4～5日」「10～19日」「20日以上」の割合が減少しています。



2. 夜間養護等事業の日数

有効回答がありませんでした。

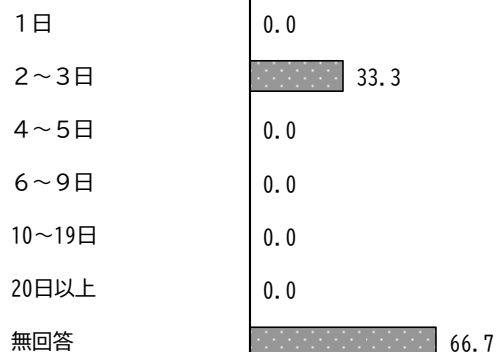
3. ベビーシッターの日数

有効回答がありませんでした。

4. その他の日数

「2～3日」が1件となっています。

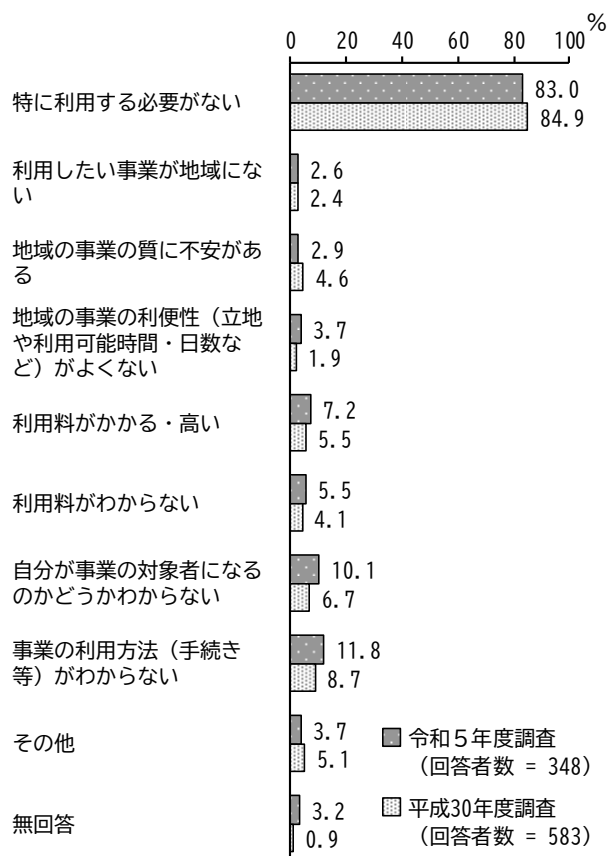
回答者数 = 3



問 14-1 問 14 で「5. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 83.0%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 11.8%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」の割合が 10.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

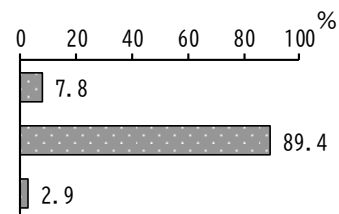


問 15 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を数字でご記入ください）。なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が7.8%、「利用する必要はない」の割合が89.4%となっています。

回答者数 = 348

利用したい
利用する必要はない
無回答

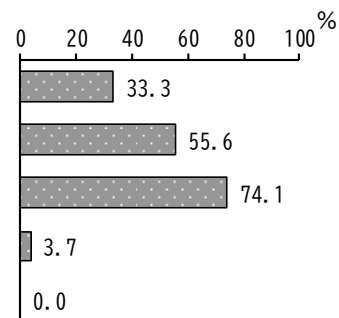


利用したい目的

「保護者や家族の病気」の割合が74.1%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が55.6%、「冠婚葬祭」の割合が33.3%となっています。

回答者数 = 27

冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答

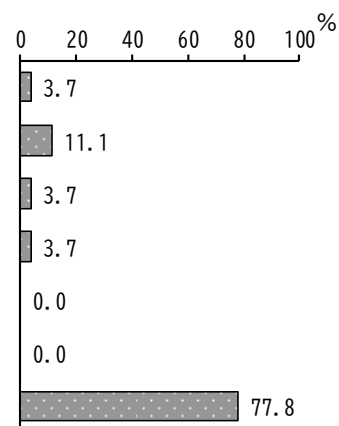


利用したい合計泊数

「2～3泊」の割合が11.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 27

1泊
2～3泊
4～5泊
6～9泊
10～19泊
20泊以上
無回答

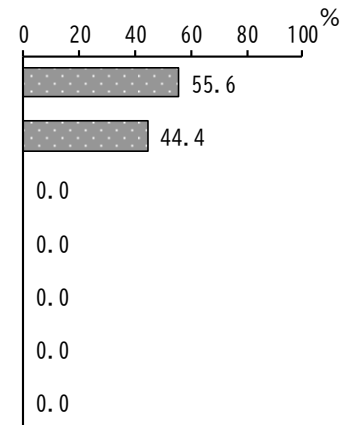


ア 冠婚葬祭の泊数

「1泊」が5件となっています。「2～3泊」が4件となっています。

回答者数 = 9

1泊
2～3泊
4～5泊
6～9泊
10～19泊
20泊以上
無回答

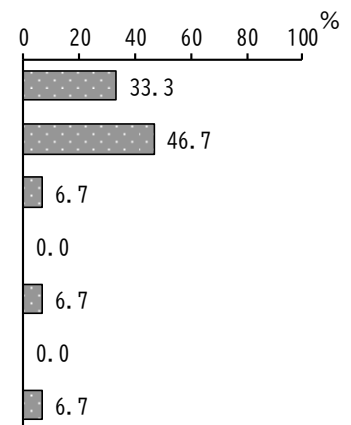


イ 保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数

「2～3泊」の割合が46.7%と最も高く、次いで「1泊」の割合が33.3%となっています。

回答者数 = 15

1泊
2～3泊
4～5泊
6～9泊
10～19泊
20泊以上
無回答

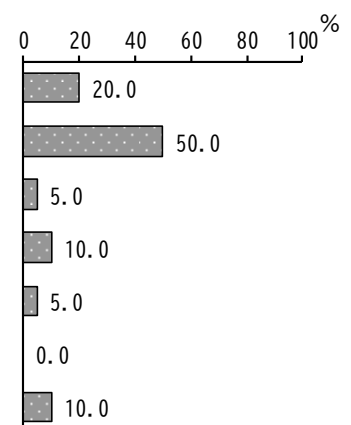


ウ 保護者や家族の病気の泊数

「2～3泊」の割合が50.0%と最も高く、次いで「1泊」の割合が20.0%、「6～9泊」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 20

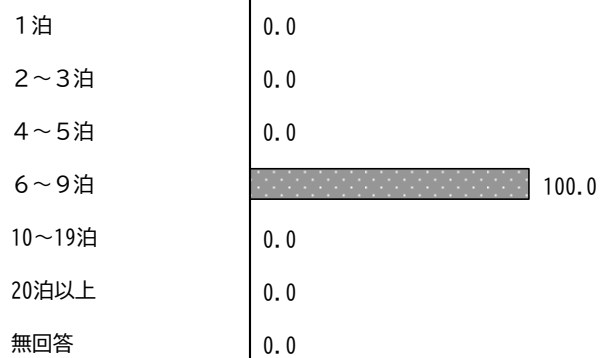
1泊
2～3泊
4～5泊
6～9泊
10～19泊
20泊以上
無回答



エ その他の泊数

「6～9泊」が1件となっています。

回答者数 = 1

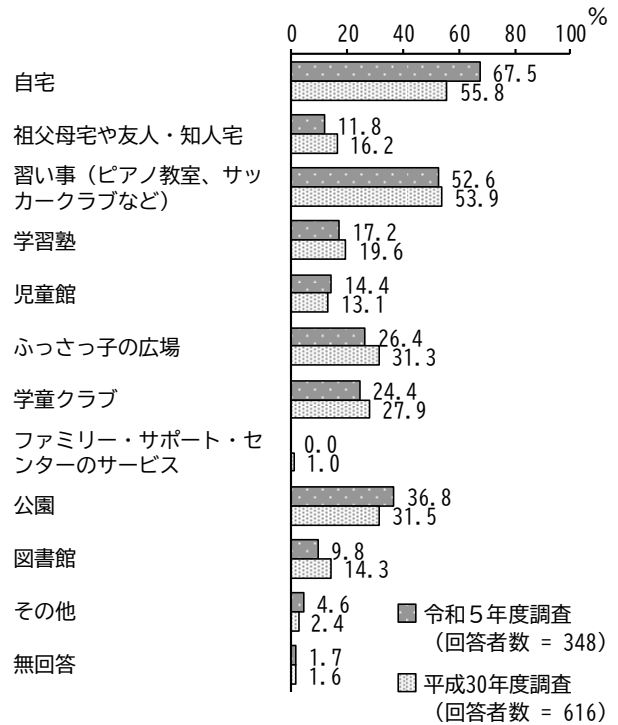


(6) お子さんの放課後の過ごし方について

問 16 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間表記でご記入ください。

「自宅」の割合が67.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」の割合が52.6%、「公園」の割合が36.8%となっています。

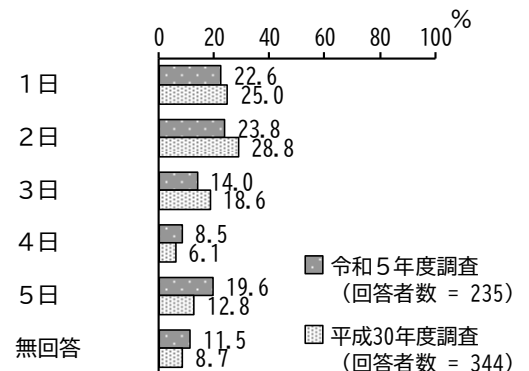
平成30年度調査と比較すると、「自宅」「公園」の割合が増加しています。



1. 自宅の週当たりの日数

「2日」の割合が23.8%と最も高く、次いで「1日」の割合が22.6%、「5日」の割合が19.6%となっています。

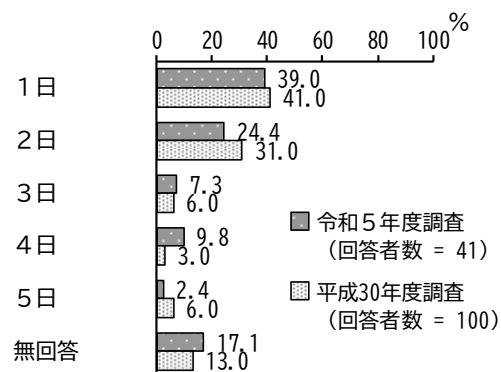
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



2. 祖父母宅や友人・知人宅の週当たりの日数

「1日」の割合が39.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が24.4%となっています。

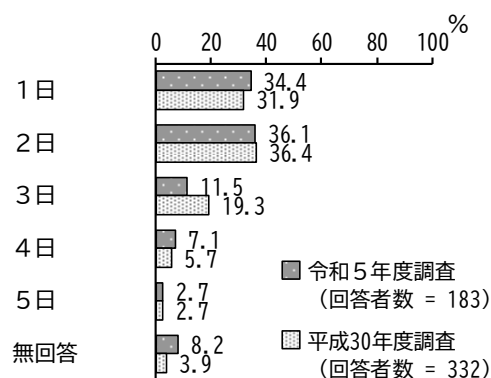
平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）の週当たりの日数

「2日」の割合が36.1%と最も高く、次いで「1日」の割合が34.4%、「3日」の割合が11.5%となっています。

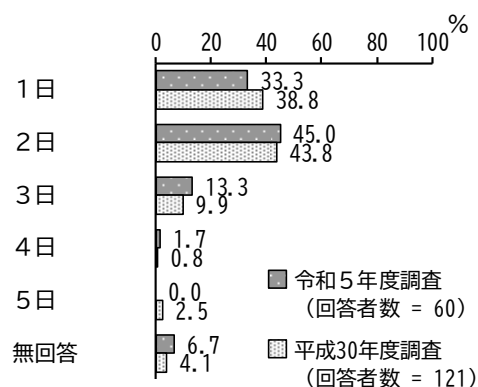
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が減少しています。



4. 学習塾の週当たりの日数

「2日」の割合が45.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が33.3%、「3日」の割合が13.3%となっています。

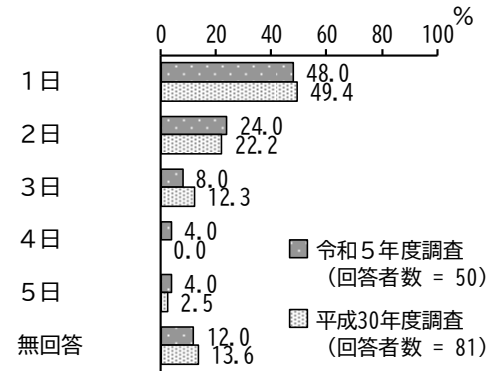
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。



5. 児童館の週当たりの日数

「1日」の割合が48.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が24.0%となっています。

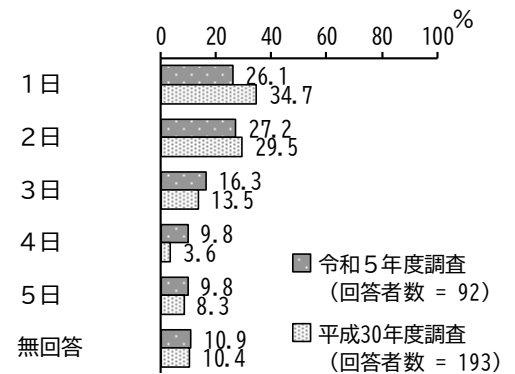
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



6. ふっさっ子の広場の週当たりの日数

「2日」の割合が27.2%と最も高く、次いで「1日」の割合が26.1%、「3日」の割合が16.3%となっています。

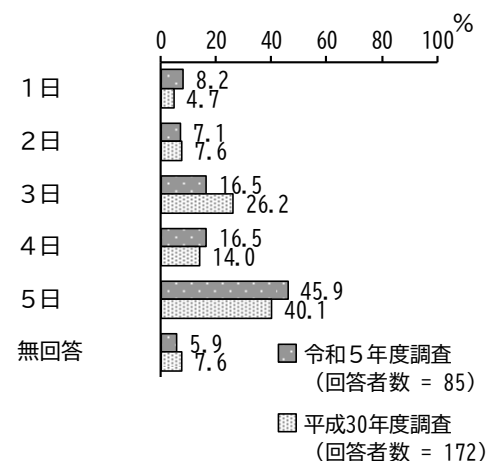
平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



7. 学童クラブの週当たりの日数

「5日」の割合が45.9%と最も高く、次いで「3日」、「4日」の割合が16.5%となっています。

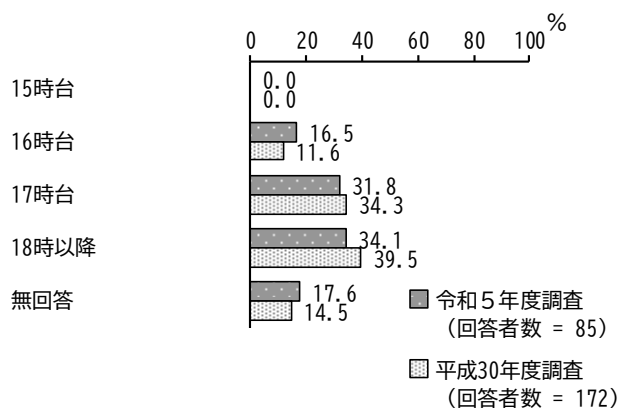
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



利用終了時刻

「18 時以降」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 31.8%、「16 時台」の割合が 16.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「18 時以降」の割合が減少しています。

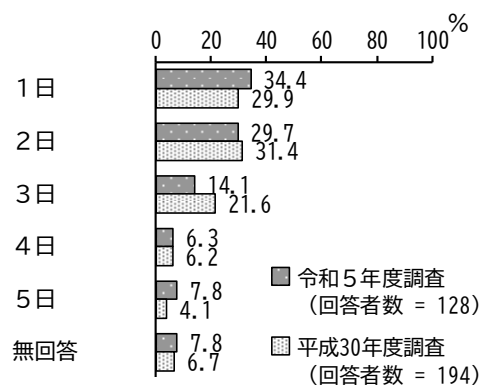


8. ファミリー・サポート・センターのサービスの週当たりの日数 有効回答がありませんでした。

9. 公園の週当たりの日数

「1 日」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「2 日」の割合が 29.7%、「3 日」の割合が 14.1%となっています。

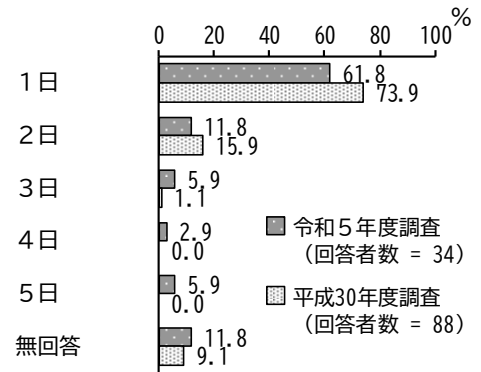
平成 30 年度調査と比較すると、「3 日」の割合が減少しています。



10. 図書館の週当たりの日数

「1日」の割合が61.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が11.8%となっています。

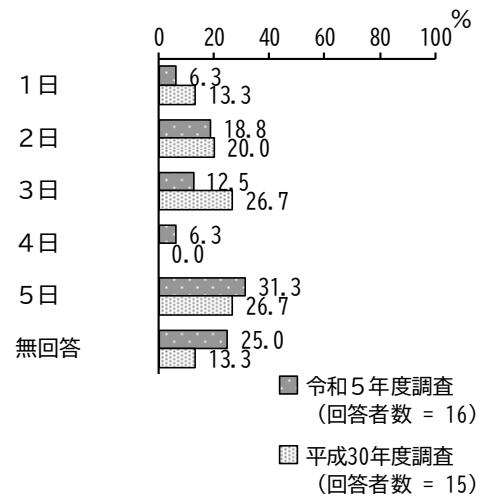
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



11. その他の週当たりの日数

「5日」の割合が31.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.8%、「3日」の割合が12.5%となっています。

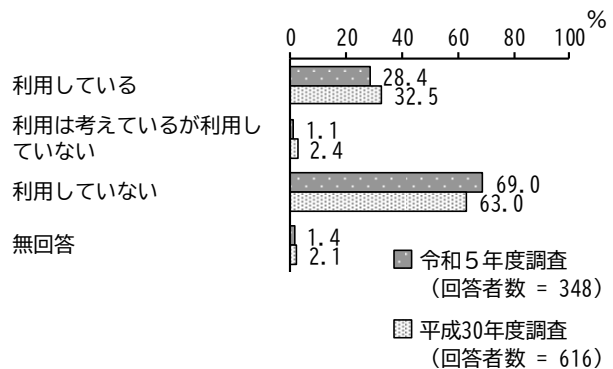
平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が増加しています。一方、「1日」「3日」の割合が減少しています。



問17 お子さんについて、現在、学童クラブを利用していますか。また、利用している方は、何年生まで利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用していない」の割合が69.0%と最も高く、次いで「利用している」の割合が28.4%となっています。

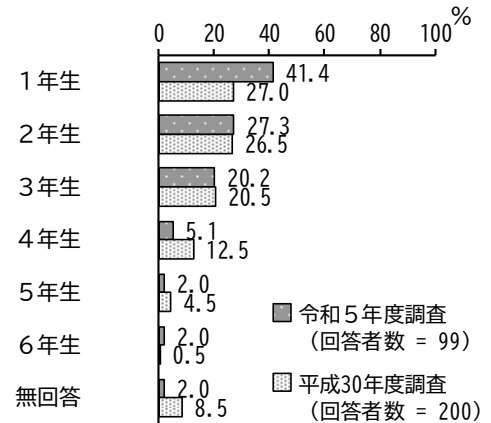
平成30年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



利用している現在の学年

「1年生」の割合が41.4%と最も高く、次いで「2年生」の割合が27.3%、「3年生」の割合が20.2%となっています。

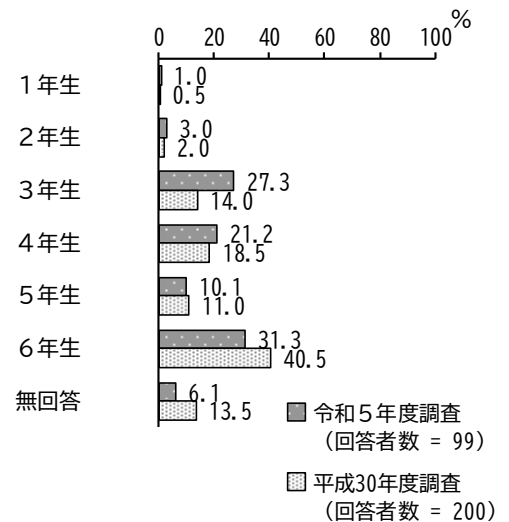
平成30年度調査と比較すると、「1年生」の割合が増加しています。一方、「4年生」の割合が減少しています。



何年生まで利用したい

「6年生」の割合が31.3%と最も高く、次いで「3年生」の割合が27.3%、「4年生」の割合が21.2%となっています。

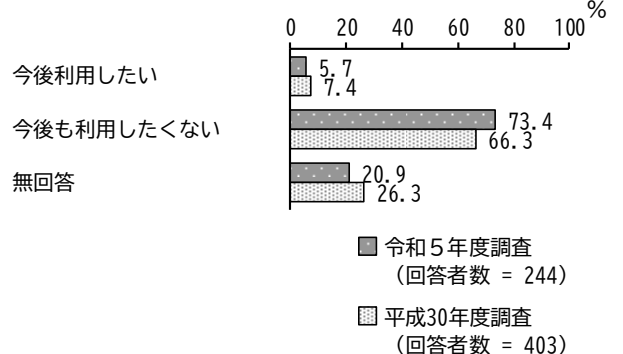
平成30年度調査と比較すると、「3年生」の割合が増加しています。一方、「6年生」の割合が減少しています。



問18 問17で「2. 利用は考えているが利用していない」または「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。お子さんについて、今後、学童クラブを利用したいですか。また、何年生まで利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「今後利用したい」の割合が5.7%、「今後も利用したくない」の割合が73.4%となっています。

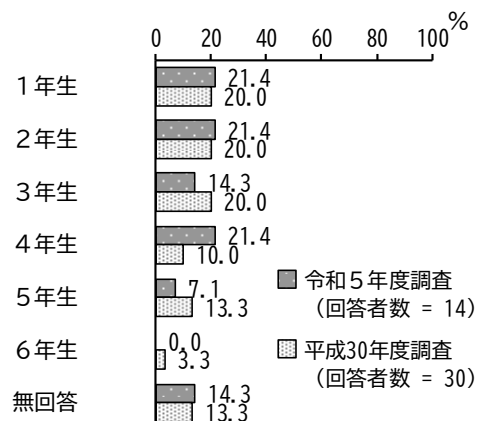
平成30年度調査と比較すると、「今後も利用したくない」の割合が増加しています。



今後利用したい現在の学年

「1年生」、「2年生」、「4年生」の割合が21.4%と最も高くなっています。

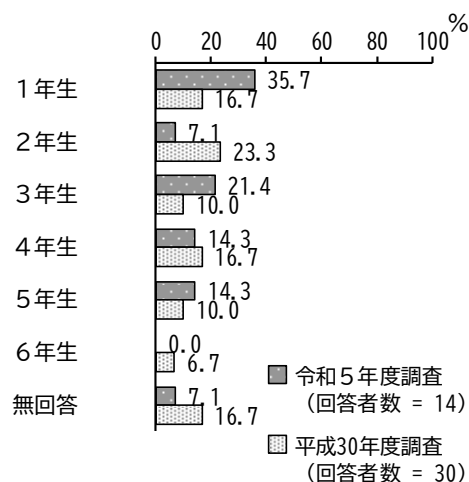
平成30年度調査と比較すると、「4年生」の割合が増加しています。一方、「3年生」「5年生」の割合が減少しています。



今後利用したい利用開始学年

「1年生」の割合が35.7%と最も高く、次いで「3年生」の割合が21.4%、「4年生」、「5年生」の割合が14.3%となっています。

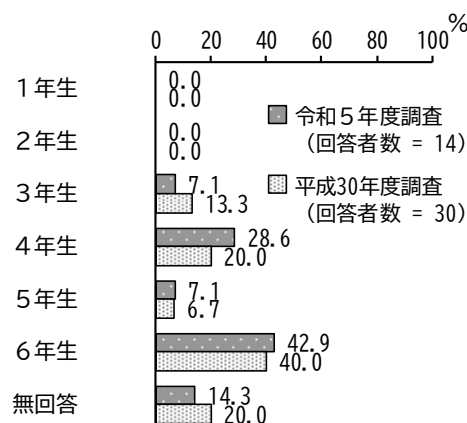
平成30年度調査と比較すると、「1年生」「3年生」の割合が増加しています。一方、「2年生」「6年生」の割合が減少しています。



利用終了学年

「6年生」の割合が42.9%と最も高く、次いで「4年生」の割合が28.6%となっています。

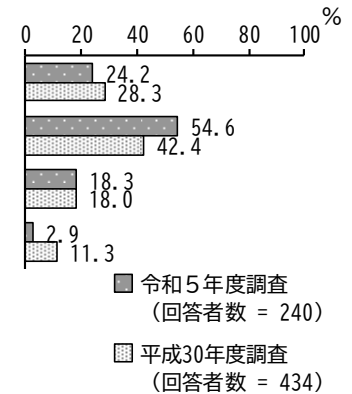
平成30年度調査と比較すると、「4年生」の割合が増加しています。一方、「3年生」の割合が減少しています。



問 19 普段は学童クラブを利用していない方にお聞きします。夏休み期間限定の学童クラブがあった場合、利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用する必要はない」の割合が54.6%と最も高く、次いで「利用してみたい」の割合が24.2%、「わからない」の割合が18.3%となっています。平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

利用してみたい
 利用する必要はない
 わからない
 無回答

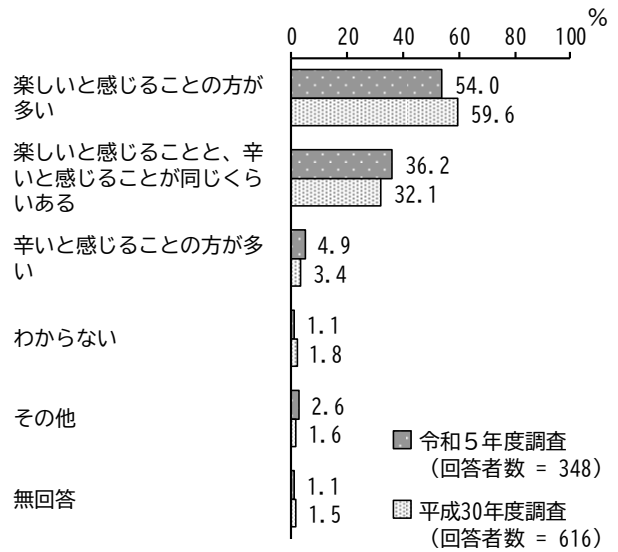


(7) あなたの子育てについて

問20 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか、それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が54.0%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」の割合が36.2%となっています。

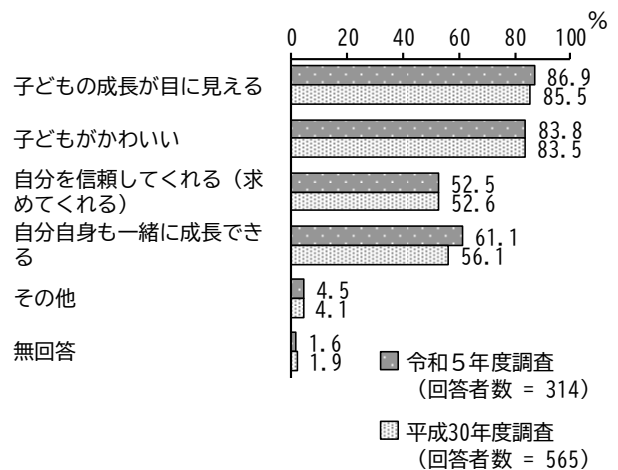
平成30年度調査と比較すると、「楽しいと感じることの方が多い」の割合が減少しています。



問20-1 問20で「1. 楽しいと感じることの方が多い」「2. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」と回答した方にうかがいます。子育てが楽しいと思う理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの成長が目に見える」の割合が86.9%と最も高く、次いで「子どもがかわいい」の割合が83.8%、「自分自身も一緒に成長できる」の割合が61.1%となっています。

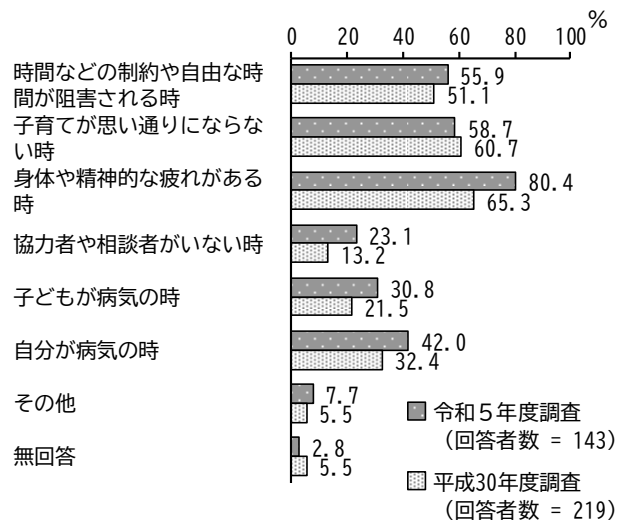
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問20-2 問20で「2. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」「3. 辛いと感じることの方が多し」と回答した方にうかがいます。子育てが辛いと思う時は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「身体や精神的な疲れがある時」の割合が80.4%と最も高く、次いで「子育てが思い通りにならない時」の割合が58.7%、「時間などの制約や自由な時間が阻害される時」の割合が55.9%となっています。

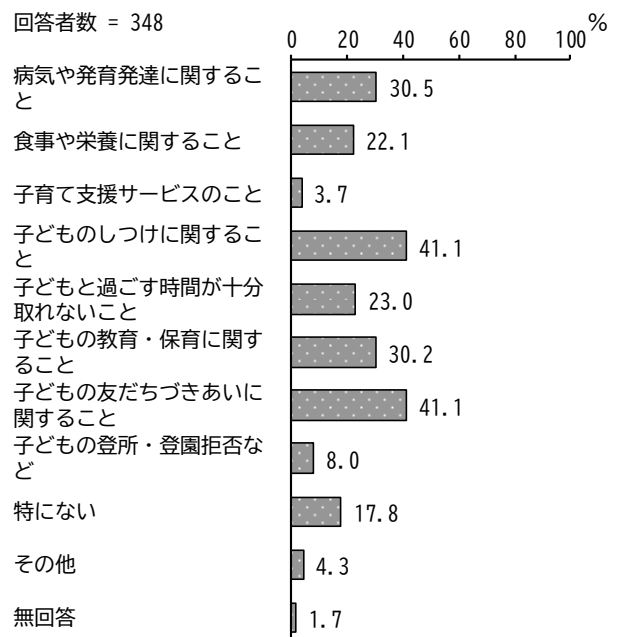
平成30年度調査と比較すると、「身体や精神的な疲れがある時」「協力者や相談者がいない時」「子どもが病気の時」「自分が病気の時」の割合が増加しています。



問21 子育てに関して、不安や負担などを感じることはありますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること

「子どものしつけに関すること」、「子どもの友だちづきあいに関すること」の割合が41.1%と最も高く、次いで「病気や発育発達に関すること」の割合が30.5%となっています。

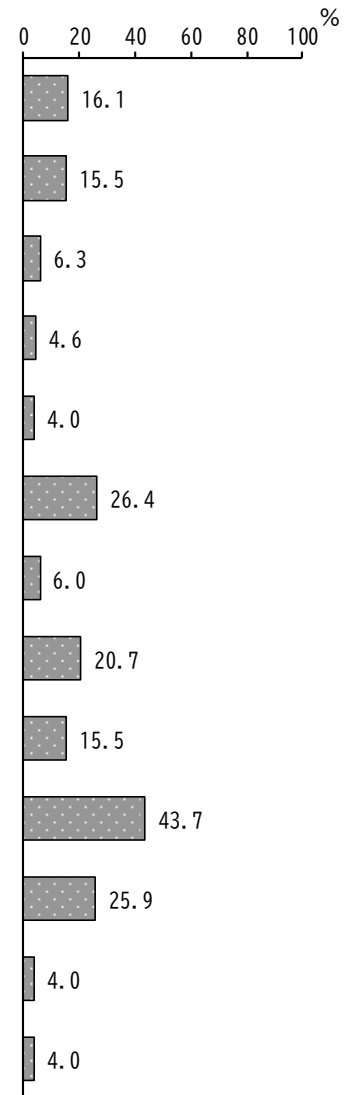


(2) ご自身に関すること

「子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が43.7%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が26.4%、「特にない」の割合が25.9%となっています。

回答者数 = 348

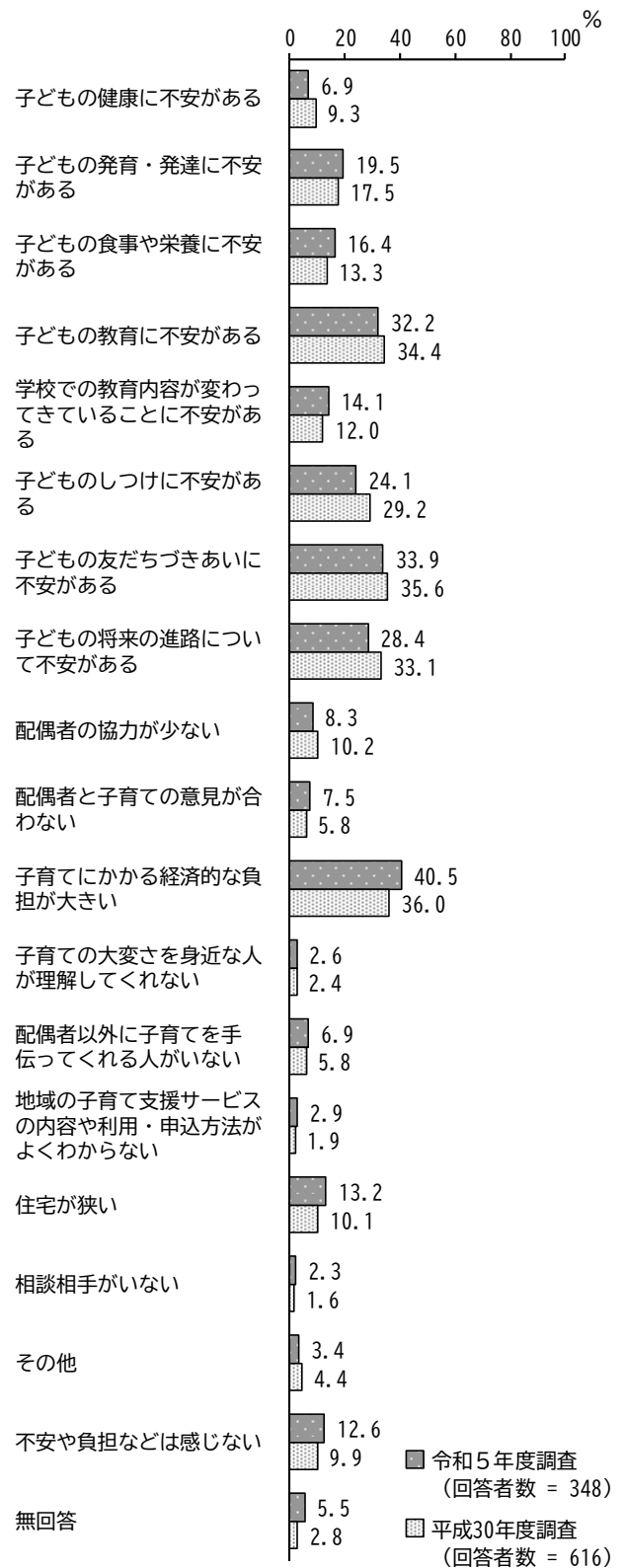
子育てに関して配偶者（パートナー）の協力が少ないこと
 配偶者（パートナー）と子育てに関して意見が合わないこと
 子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと
 ご自身の子育てについて、身近な人の見目が気になること
 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
 配偶者（パートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
 子育てによる身体の疲れが大きいこと
 子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること
 特にない
 その他
 無回答



問22 子育てに関して、不安や負担などを感じることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が40.5%と最も高く、次いで「子どもの友だちづきあいに不安がある」の割合が33.9%、「子どもの教育に不安がある」の割合が32.2%となっています。

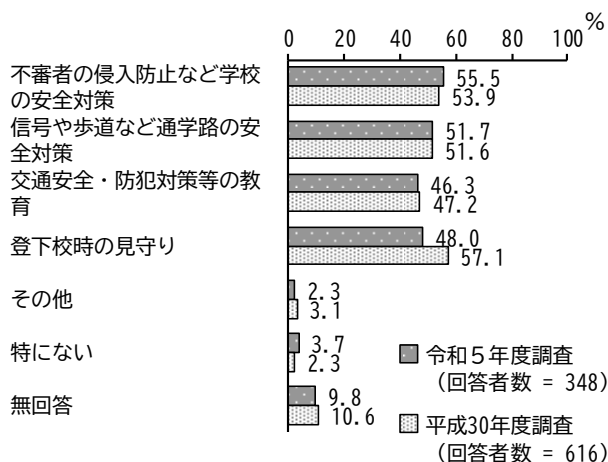
平成30年度調査と比較すると、「子どものしつけに不安がある」の割合が減少しています。



問23 あなたは、子どもたちの安全・安心な学校での生活の充実のために、どのような防犯上の取組が必要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「不審者の侵入防止など学校の安全対策」の割合が55.5%と最も高く、次いで「信号や歩道など通学路の安全対策」の割合が51.7%、「登下校時の見守り」の割合が48.0%となっています。

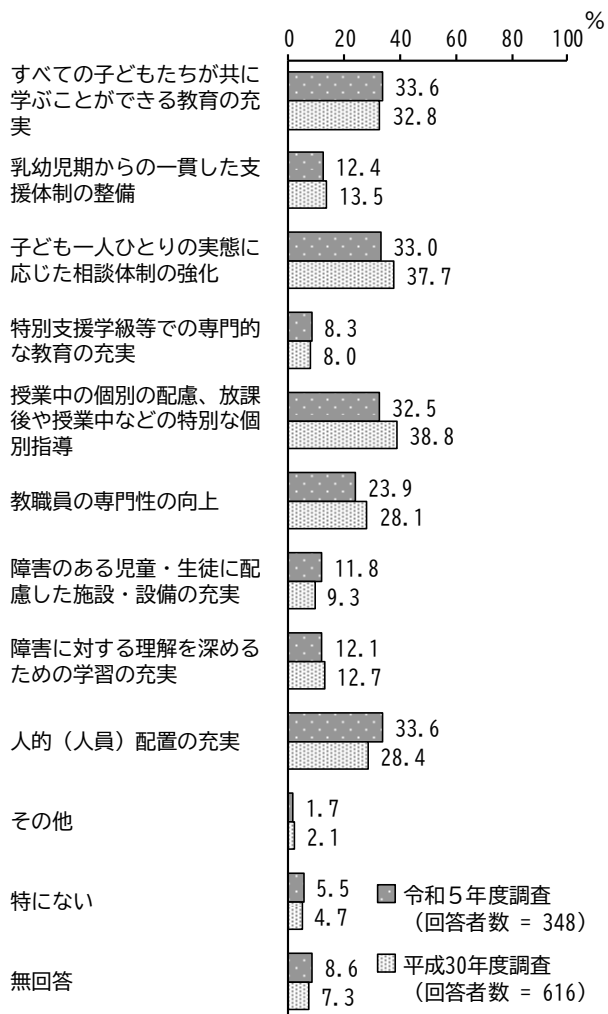
平成30年度調査と比較すると、「登下校時の見守り」の割合が減少しています。



問24 一人ひとりに応じた支援の充実のために、どのような取組が必要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実」、「人的（人員）配置の充実」の割合が33.6%と最も高く、次いで「子ども一人ひとりの実態に応じた相談体制の強化」の割合が33.0%となっています。

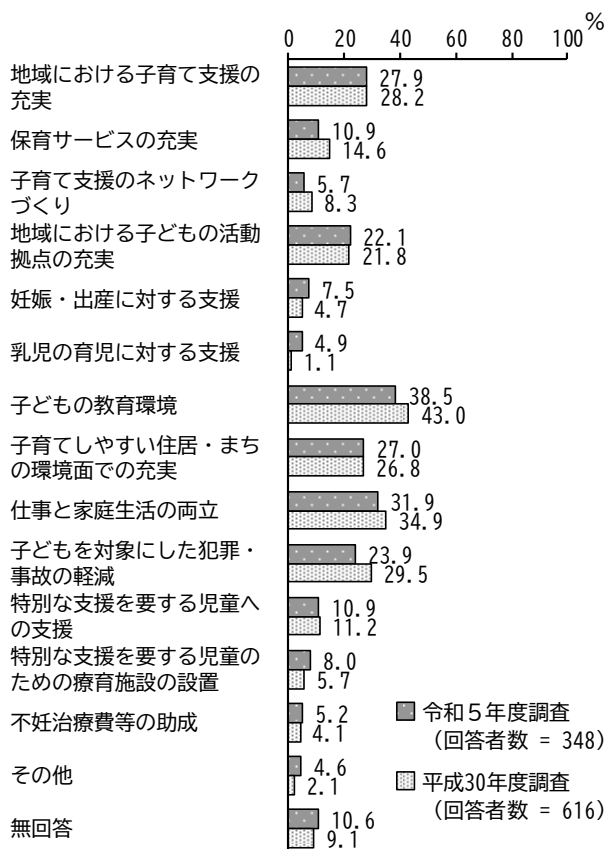
平成30年度調査と比較すると、「人的（人員）配置の充実」の割合が増加しています。一方、「授業中の個別の配慮、放課後や授業中などの特別な個別指導」の割合が減少しています。



問 25 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「子どもの教育環境」の割合が38.5%と最も高く、次いで「仕事と家庭生活の両立」の割合が31.9%、「地域における子育て支援の充実」の割合が27.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」の割合が減少しています。



【生活困窮別】

生活困窮別にみると、中央値の1/2以上中央値未満で「仕事と家庭生活の両立」の割合が高くなっています。

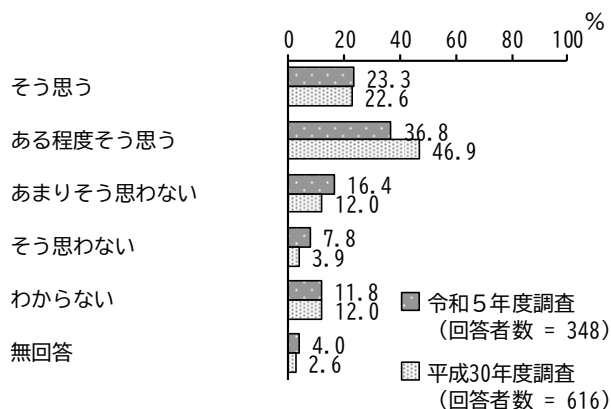
単位：%

区分	回答者数(件)	地域における子育て支援の充実	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実	妊娠・出産に対する支援	乳児の育児に対する支援	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の両立	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	特別な支援を要する児童への支援	特別な支援を要する児童のための療育施設の設置	不妊治療費等の助成	その他	無回答
全体	348	27.9	10.9	5.7	22.1	7.5	4.9	38.5	27.0	31.9	23.9	10.9	8.0	5.2	4.6	10.6
中央値の1/2未満	4	75.0	-	25.0	-	-	-	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-
中央値の1/2以上中央値未満	13	15.4	15.4	7.7	7.7	-	7.7	15.4	30.8	53.8	30.8	23.1	15.4	-	-	7.7
中央値以上	278	29.1	11.5	5.4	24.1	8.3	4.7	38.8	28.1	32.4	23.7	11.2	7.9	4.7	4.7	9.7

問 26 福生市は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。その理由もご記入ください。

「ある程度そう思う」の割合が36.8%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が23.3%、「あまりそう思わない」の割合が16.4%となっています。

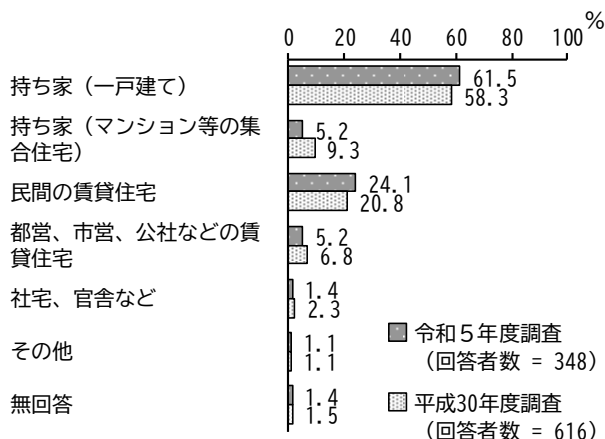
平成30年度調査と比較すると、「ある程度そう思う」の割合が減少しています。



問 27 お住まいの住居の状況をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「持ち家（一戸建て）」の割合が61.5%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」の割合が24.1%となっています。

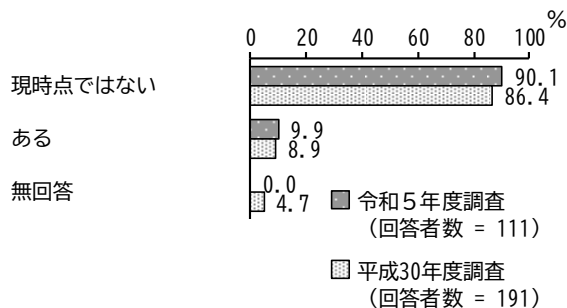
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 27-1 問27で「3. ～6.」と回答した方にうかがいます。今後、他市町村に引っ越す予定はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「現時点ではない」の割合が90.1%、「ある」の割合が9.9%となっています。

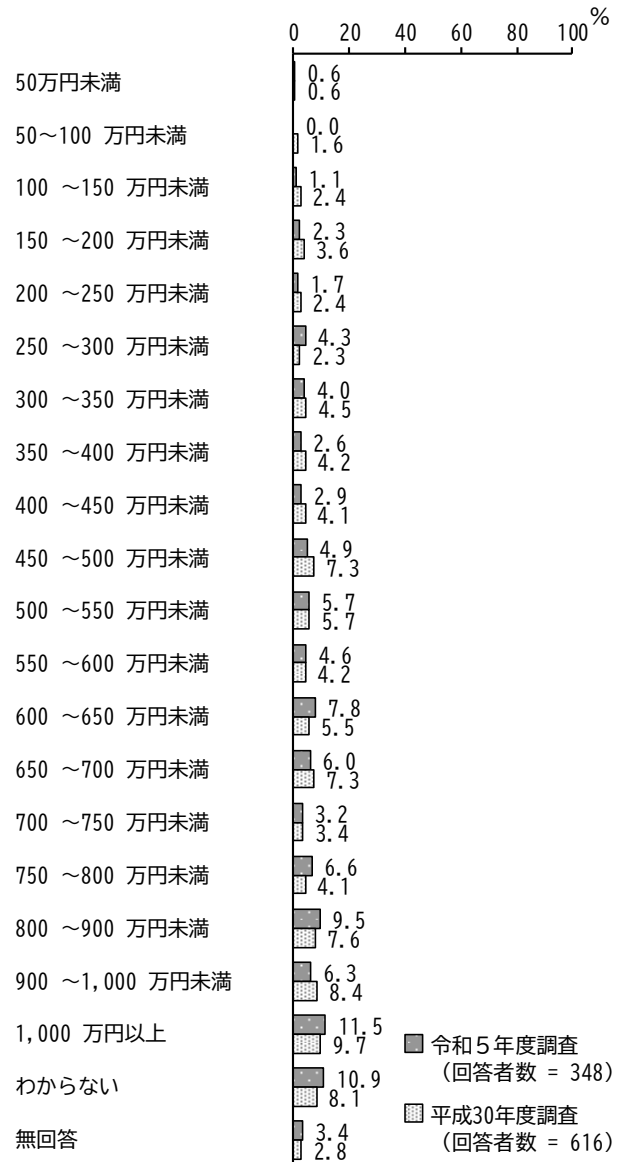
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 28 ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年（令和4年）1年間の、家族全員の収入の合計額は、込みでおよそいくらでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「1,000万円以上」の割合が11.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が10.9%となっています。

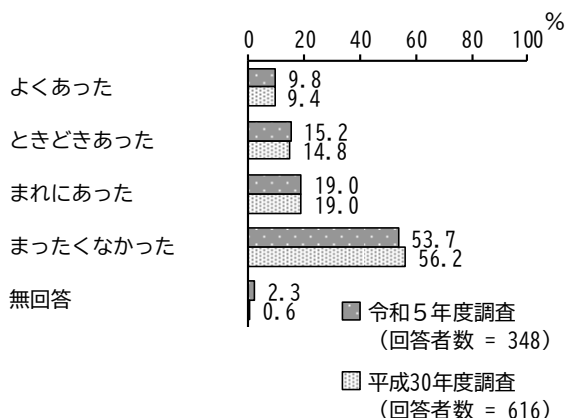
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 29 あなたの世帯では、過去1年の間に、急な出費などで家計のやりくりができないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が53.7%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が19.0%、「ときどきあった」の割合が15.2%となっています。

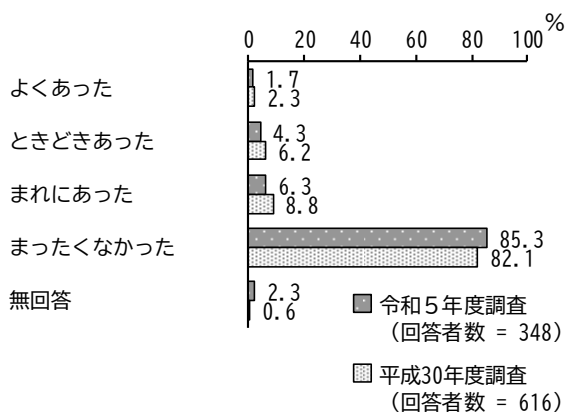
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 30 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で、月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が85.3%と最も高くなっています。

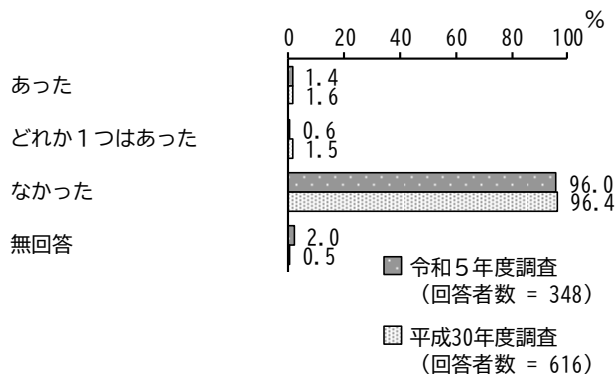
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 31 あなたの世帯では、過去5年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

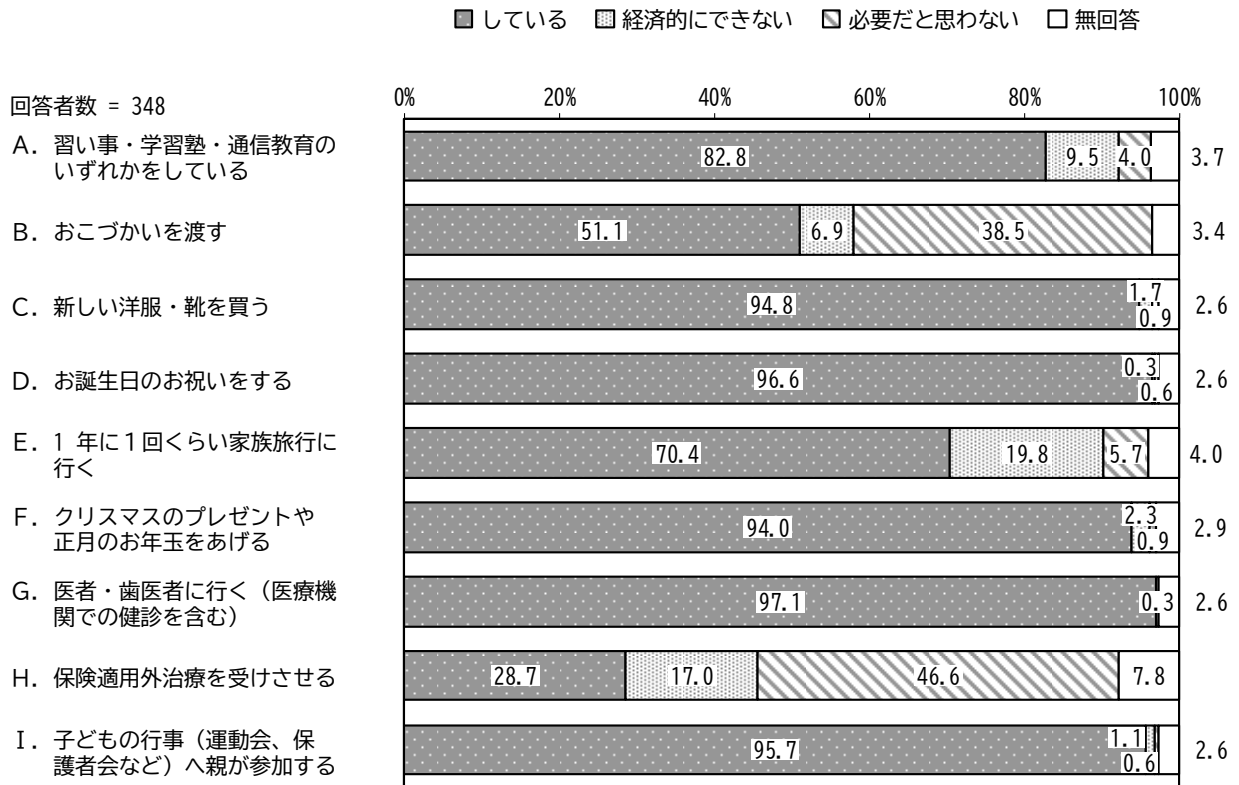
「なかった」の割合が96.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

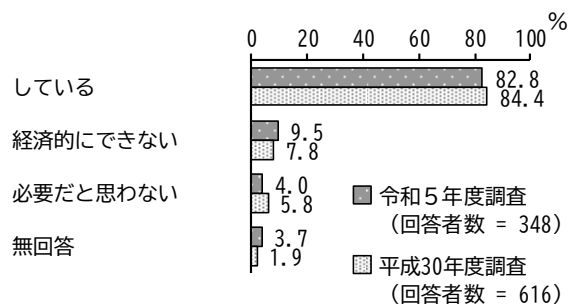


問 32 次のA～Iのそれぞれの項目について、あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

『E. 1年に1回くらい家族旅行に行く』で「経済的にできない」の割合が、『G. 医者・歯医者に行く（医療機関での健診を含む）』で「している」の割合が高くなっています。また、『H. 保険適用外治療を受けさせる』で「必要だと思わない」の割合が高くなっています。

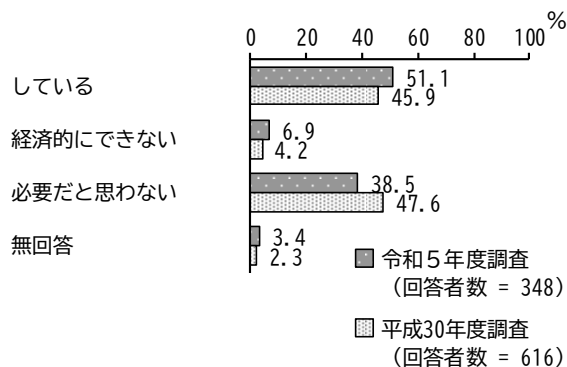


A. 習い事・学習塾・通信教育のいずれかをしている
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



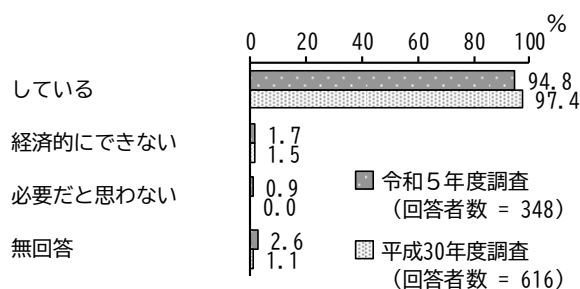
B. おこづかいを渡す

平成 30 年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。一方、「必要だと思わない」の割合が減少しています。



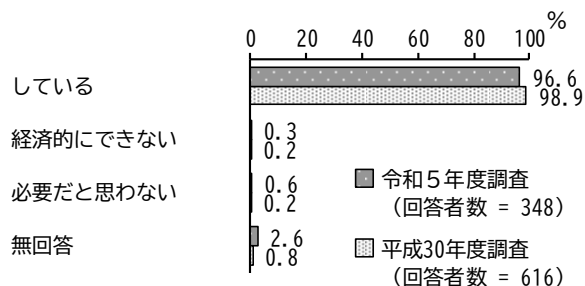
C. 新しい洋服・靴を買う

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



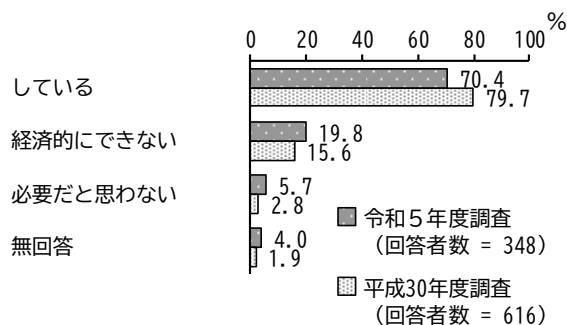
D. お誕生日のお祝いをする

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

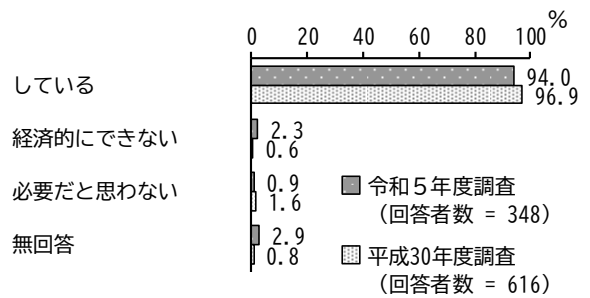


E. 1年に1回くらい家族旅行に行く

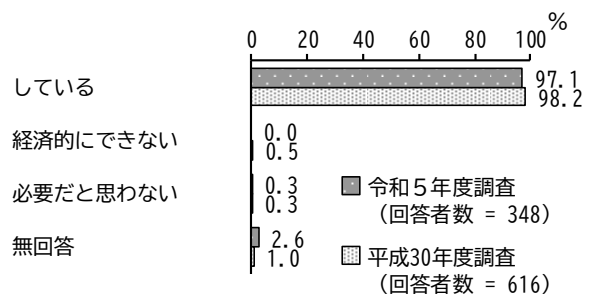
平成 30 年度調査と比較すると、「している」の割合が減少しています。



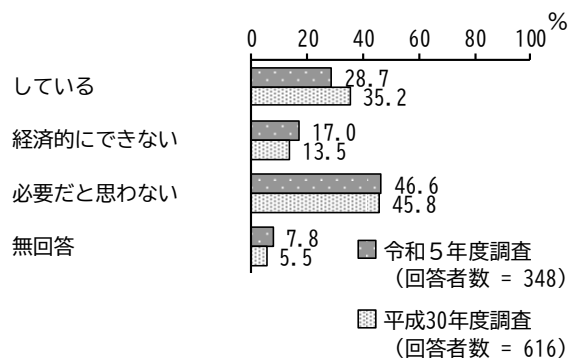
F. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



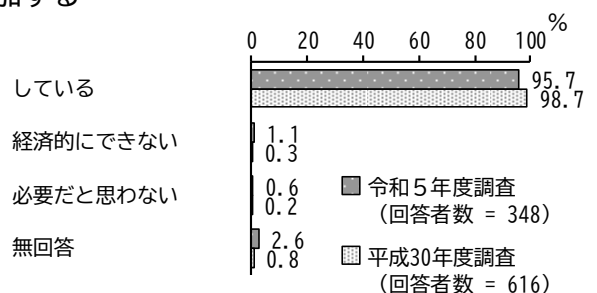
G. 医者・歯医者に行く（医療機関での健診を含む）
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



H. 保険適用外治療を受けさせる
平成 30 年度調査と比較すると、「している」の
割合が減少しています。



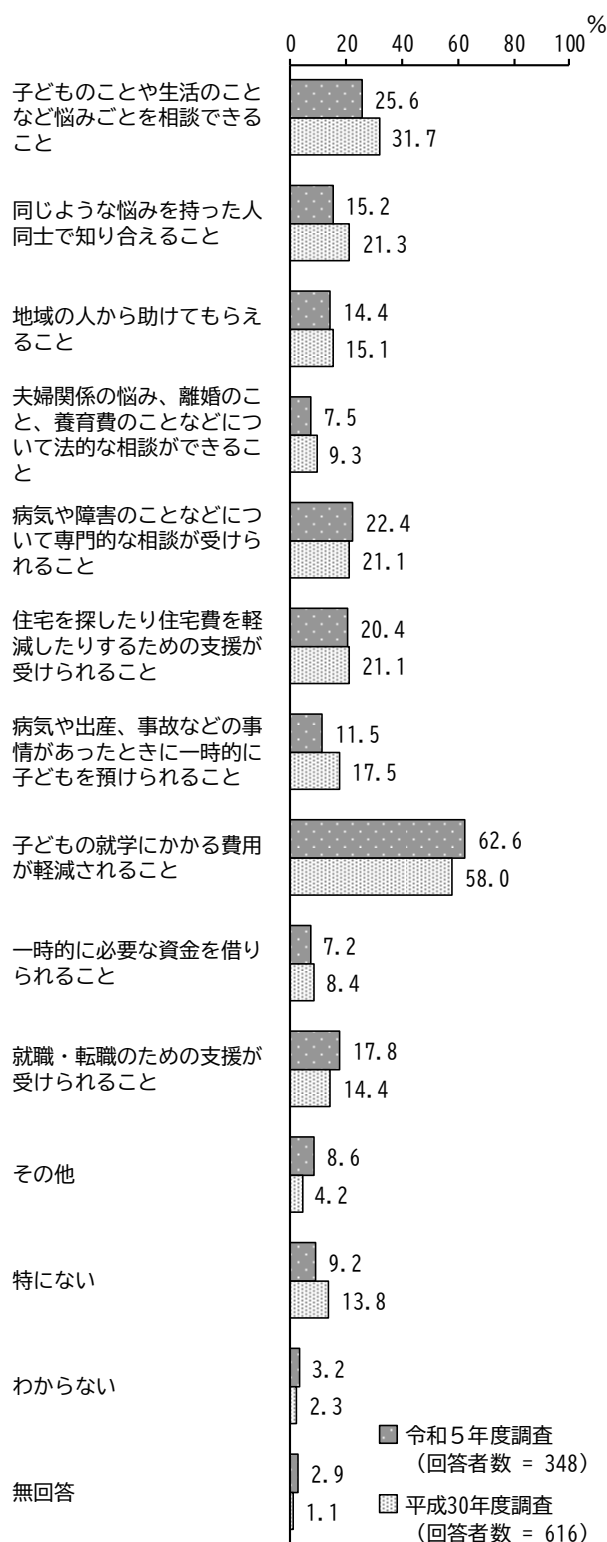
I. 子どもの行事（運動会、保護者会など）へ親が参加する
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



問 33 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が 25.6%、「病気や障害のことなどについて専門的な相談が受けられること」の割合が 22.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」の割合が減少しています。



【生活困窮別】

生活困窮別にみると、中央値の1 / 2以上中央値未満で「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」の割合が高くなっています。

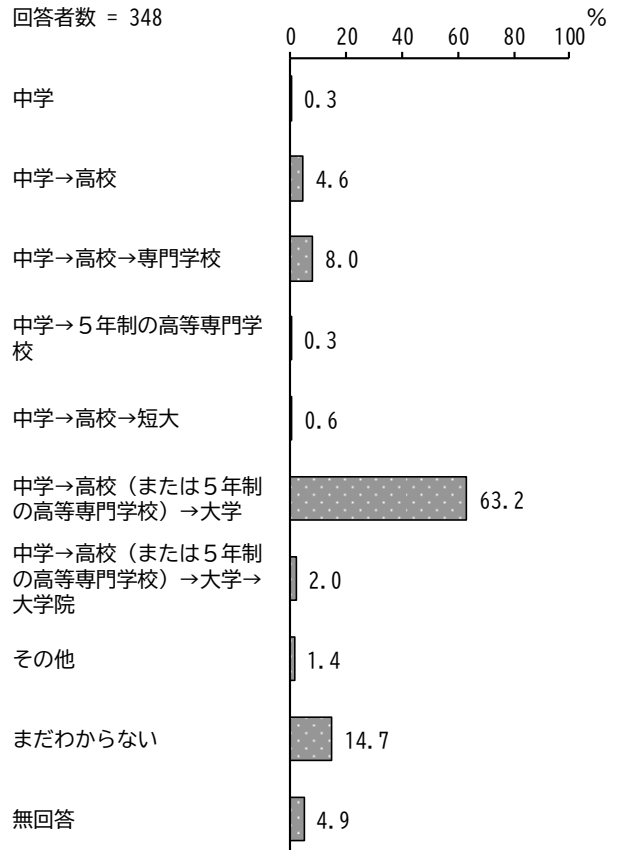
単位：％

区分	回答者数 (件)	子どものことや生活のことなど悩みことを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	地域の人から助けってもらえること	夫婦関係の悩み、離婚のこと、養育費のことなどについて法的な相談ができること	病気や障害のことなどについて専門的な相談が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	一時的に必要な資金を借りられること	就職・転職のための支援が受けられること	その他	特にない	わからない	無回答
全体	348	25.6	15.2	14.4	7.5	22.4	20.4	11.5	62.6	7.2	17.8	8.6	9.2	3.2	2.9
中央値の1 / 2未満	4	25.0	50.0	—	—	25.0	25.0	—	—	—	25.0	—	25.0	—	—
中央値の1 / 2以上中央値未満	13	30.8	38.5	30.8	7.7	30.8	53.8	23.1	84.6	38.5	38.5	23.1	—	—	—
中央値以上	278	25.2	14.7	12.9	7.2	21.2	19.1	11.2	65.5	5.8	16.2	9.4	8.6	2.9	1.4

問 34 あなたはお子さんに、将来、どの学校まで進学してほしいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学」の割合が63.2%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が14.7%となっています。

回答者数 = 348



【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

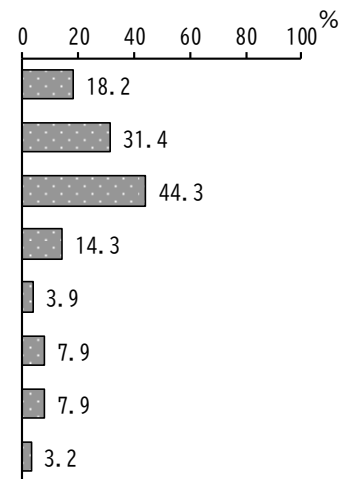
区分	回答者数(件)	中学	中学↓高校	中学↓高校↓専門学校	専門学校 中学↓5年制の高等専	中学↓高校↓短大	学 制の高等専門学校)↓大	中学↓高校(または5年 学↓大学院 制の高等専門学校)↓大	中学↓高校(または5年 制の高等専門学校)↓大	その他	まだわからない	無回答
全 体	348	0.3	4.6	8.0	0.3	0.6	63.2	2.0	1.4	14.7	4.9	
中央値の1/2 未満	4	-	-	25.0	-	25.0	-	-	-	50.0	-	
中央値の1/2 以上中央値未満	13	-	-	15.4	-	-	61.5	-	-	15.4	7.7	
中央値以上	278	0.4	4.7	9.0	0.4	0.4	64.4	2.2	1.8	13.3	3.6	

問 35 問 34で「1. ~8.」に○をつけた方にうかがいます。その理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「一般的な進路だと思うから」の割合が44.3%と最も高く、次いで「お子さんが幸せになれると思うから」の割合が31.4%、「お子さんがそう希望しているから」の割合が18.2%となっています。

回答者数 = 280

- お子さんがそう希望しているから
- お子さんが幸せになれると思うから
- 一般的な進路だと思うから
- お子さんの学力から考えて
- 家庭の経済的な状況から考えて
- その他
- 特に理由はない
- 無回答



問 36 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「言葉も内容も知っている」の割合が73.9%と最も高く、次いで「知らない」の割合が12.4%、「言葉は聞いたことがある」の割合が11.2%となっています。

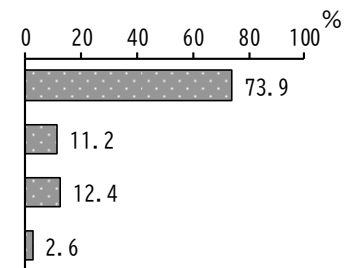
回答者数 = 348

言葉も内容も知っている

言葉は聞いたことがある

知らない

無回答



問 37 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「本人に様子を聞く」の割合が40.2%と最も高く、次いで「家族、知人、友人に相談する」の割合が33.3%、「関係機関に相談する」の割合が31.0%となっています。

回答者数 = 348

本人に様子を聞く

家族、知人、友人に相談する

先生や部活の顧問等に相談する

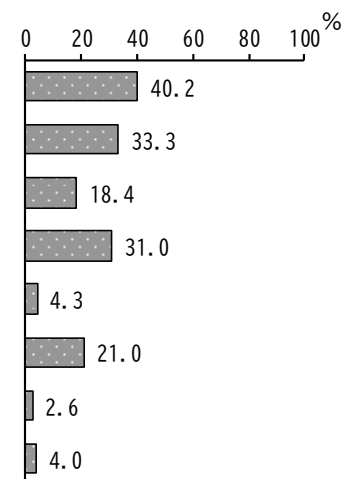
関係機関に相談する

何もしない

わからない

その他

無回答



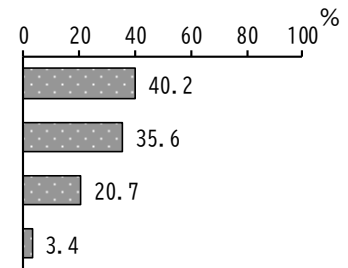
(8) 子どもの権利について

問 38 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前も内容も知っている」の割合が40.2%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が35.6%、「知らなかった」の割合が20.7%となっています。

回答者数 = 348

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答

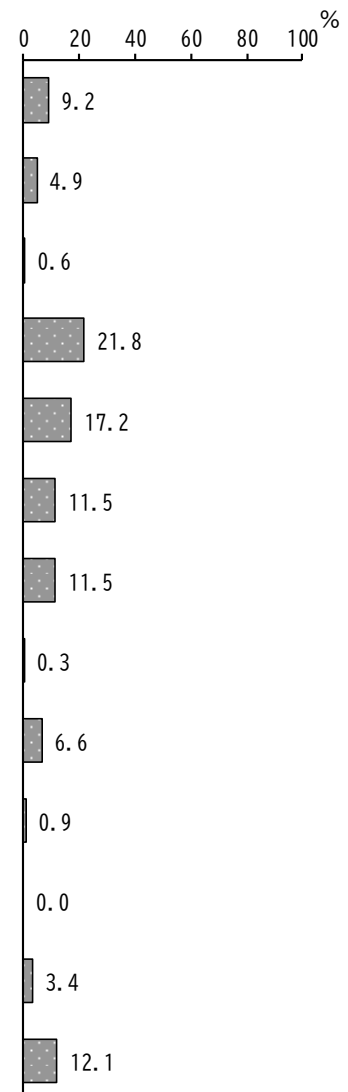


問 39 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が21.8%と最も高く、次いで「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が17.2%、「自分の考えを自由に言えること」、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が11.5%となっています。

回答者数 = 348

人種や性別、宗教などで差別されないこと
障がいのある子が差別されないこと
子どもが知りたいことを隠さないこと
暴力や言葉で傷つけないこと
家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
自分の考えを自由に言えること
人と違う自分らしさが認められること
自分の秘密が守られること
自分のことは自分で決められること
自由な時間をもつこと
自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
無回答



問 40 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「常にしている」の割合が50.9%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が43.7%となっています。

回答者数 = 348

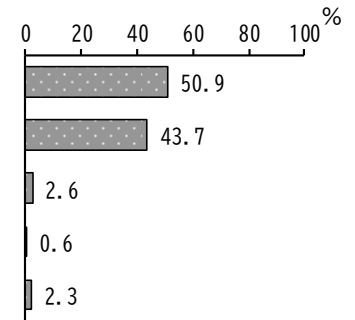
常にしている

ときどきしている

あまりしていない

まったくしたことがない

無回答



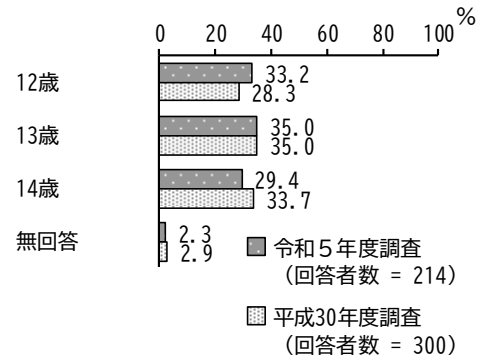
3 中学生保護者

(1) 封筒のお子さんご家族の状況について

問2 お子さんの生年月をご記入ください。() 内に数字でご記入ください。

「13歳」の割合が35.0%と最も高く、次いで「12歳」の割合が33.2%、「14歳」の割合が29.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

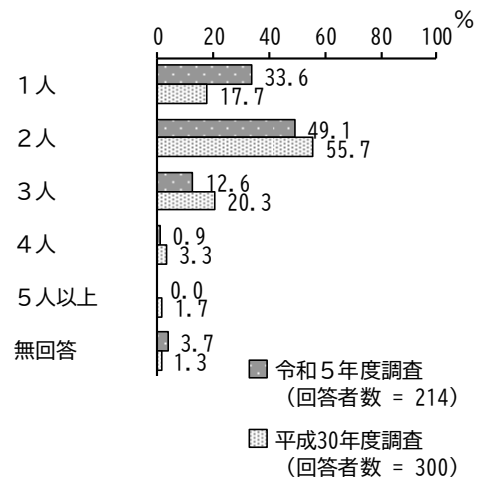


問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を() 内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数

「2人」の割合が49.1%と最も高く、次いで「1人」の割合が33.6%、「3人」の割合が12.6%となっています。

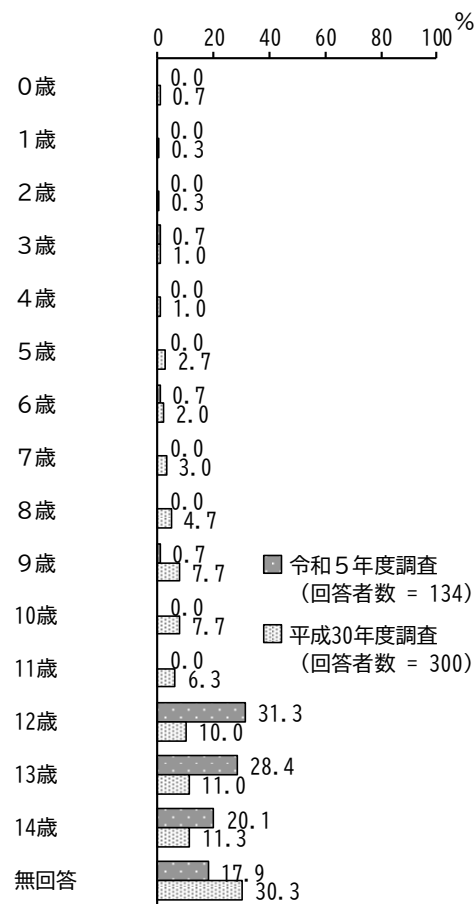
平成30年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加しています。一方、「2人」「3人」の割合が減少しています。



末子の年齢

「12歳」の割合が31.3%と最も高く、次いで「13歳」の割合が28.4%、「14歳」の割合が20.1%となっています。

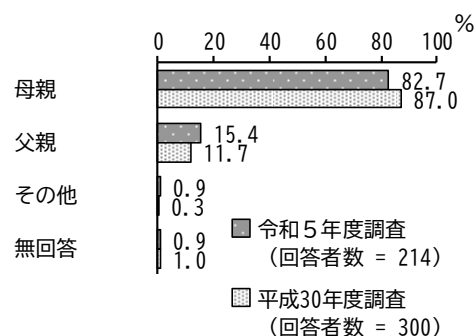
平成30年度調査と比較すると、「12歳」「13歳」「14歳」の割合が増加しています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が82.7%、「父親」の割合が15.4%となっています。

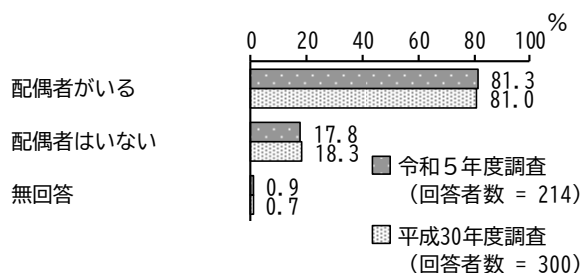
平成30年度調査と比較すると、「母親」「父親」の割合が増加しています。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が81.3%、「配偶者がいない」の割合が17.8%となっています。

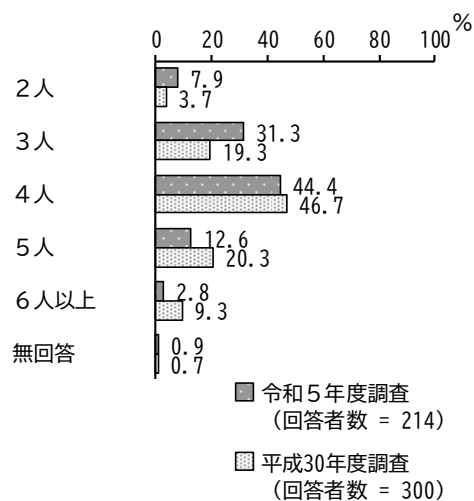
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 お子さんは何人家族ですか。※単身赴任・入院・入所の方など、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族の人数に含めて回答してください。

「4人」の割合が44.4%と最も高く、次いで「3人」の割合が31.3%、「5人」の割合が12.6%となっています。

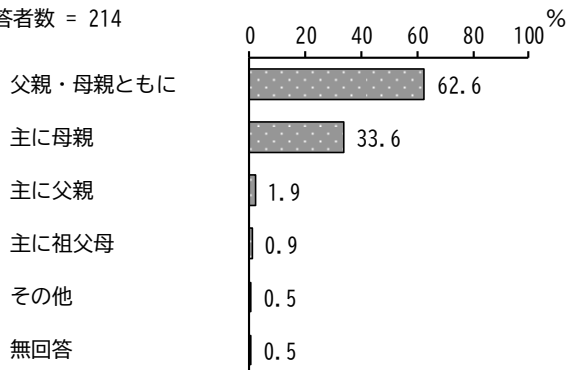
平成30年度調査と比較すると、「3人」の割合が増加しています。一方、「5人」「6人以上」の割合が減少しています。



問7 お子さんの子育て（教育を含む）を行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父親・母親ともに」の割合が62.6%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が33.6%となっています。

回答者数 = 214

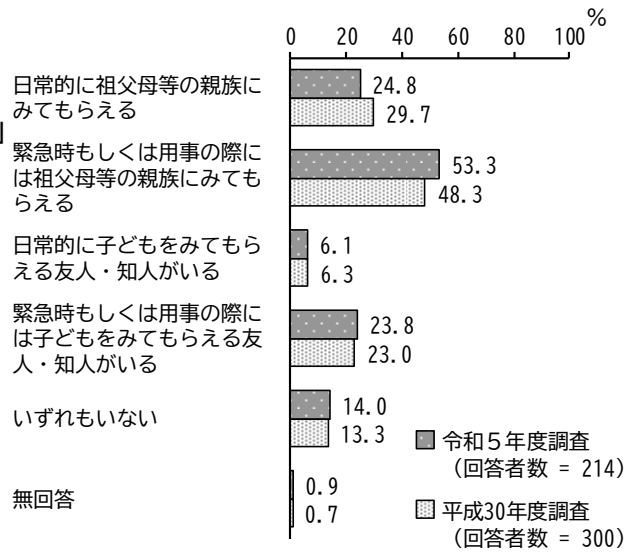


(2) 子育ての環境について

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が53.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が24.8%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が23.8%となっています。

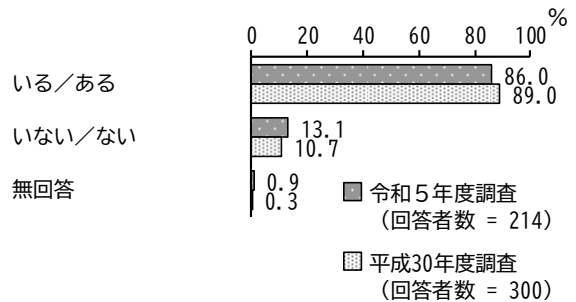
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問9 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が86.0%、「いない／ない」の割合が13.1%となっています。

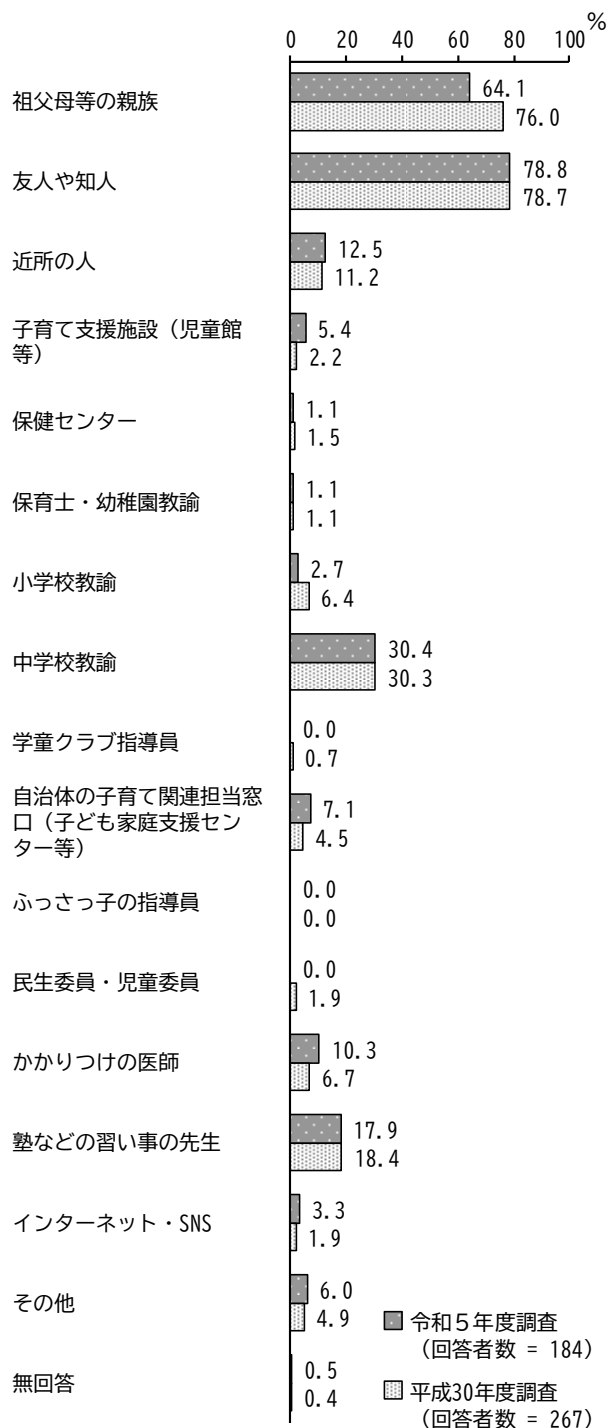
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」の割合が78.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が64.1%、「中学校教諭」の割合が30.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母等の親族」の割合が減少しています。



(3) お子さんの保護者の就労状況について

問 10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が41.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が40.6%となっています。

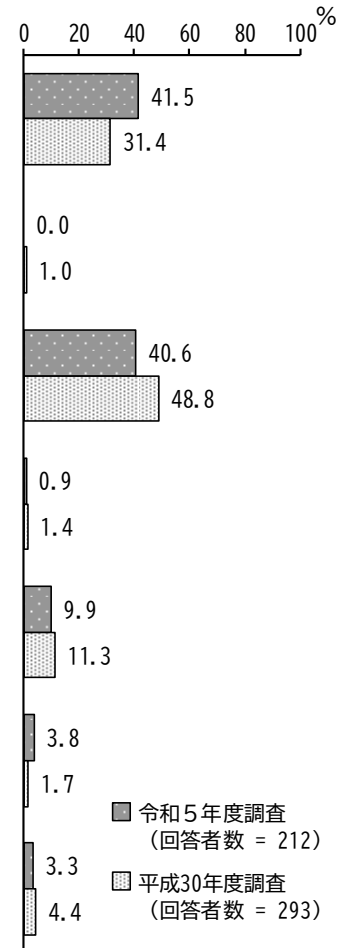
平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が減少しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答

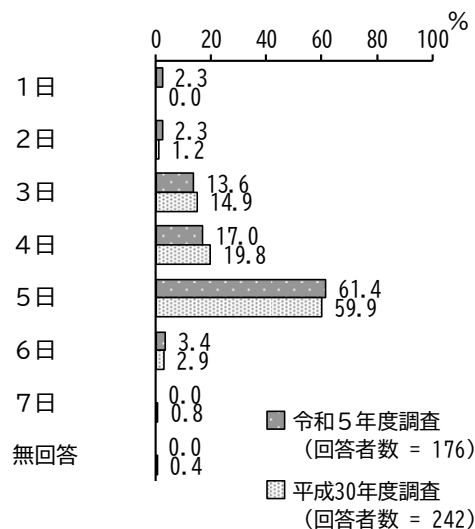


(1) - 1 (1) で「1～4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

1 週当たりの就労日数

「5日」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が 17.0%、「3日」の割合が 13.6%となっています。

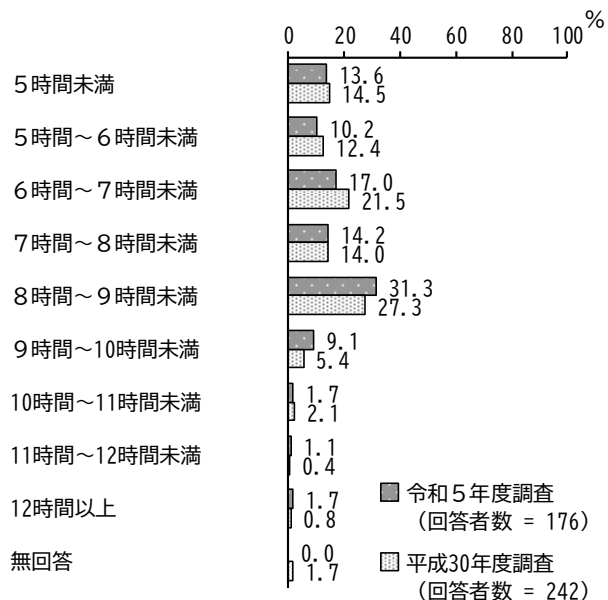
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 日当たりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が 17.0%、「7時間～8時間未満」の割合が 14.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

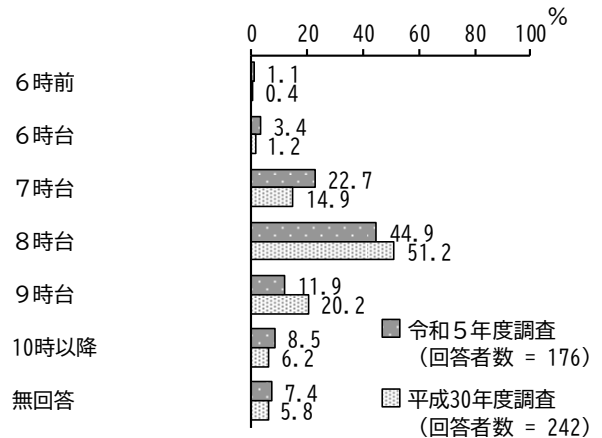


(1) - 2 (1) で「1~4」(就労している)に○をつけた方にかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「8時台」の割合が44.9%と最も高く、次いで「7時台」の割合が22.7%、「9時台」の割合が11.9%となっています。

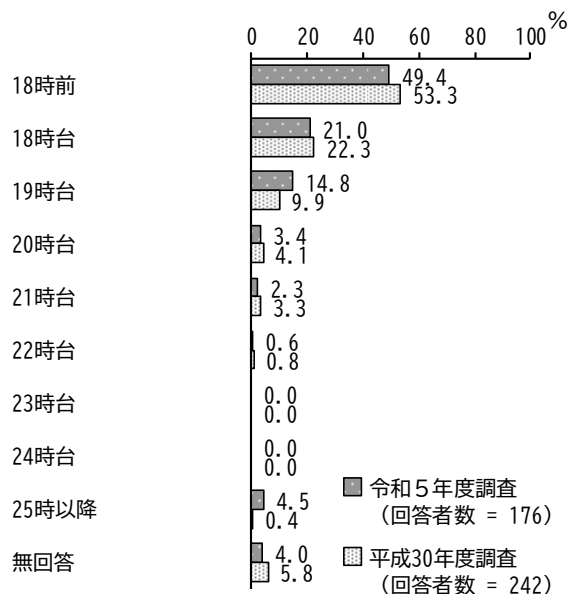
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が増加しています。一方、「8時台」「9時台」の割合が減少しています。



帰宅時刻

「18時前」の割合が49.4%と最も高く、次いで「18時台」の割合が21.0%、「19時台」の割合が14.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が89.4%と最も高くなっています。

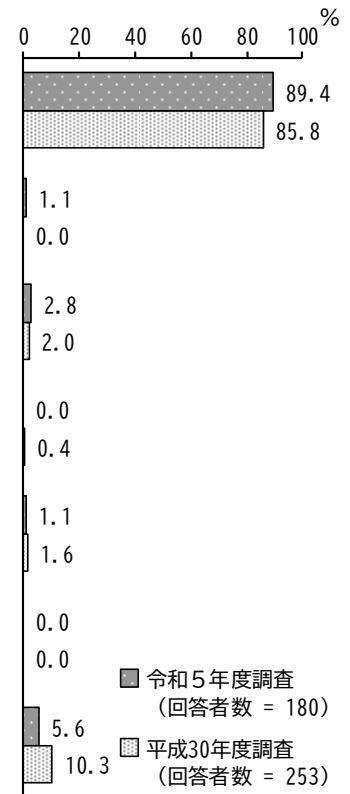
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答

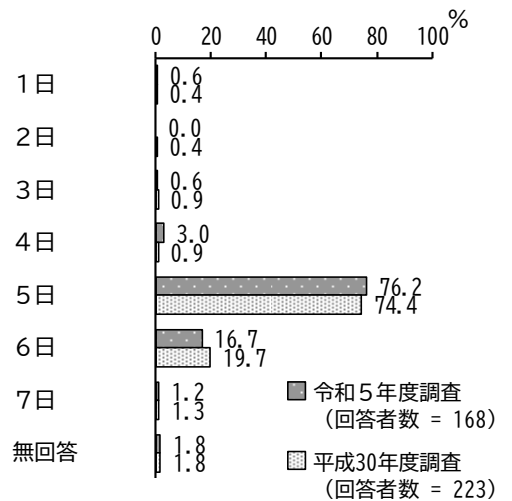


(2) - 1 (2) で「1~4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

1週当たりの就労日数

「5日」の割合が76.2%と最も高く、次いで「6日」の割合が16.7%となっています。

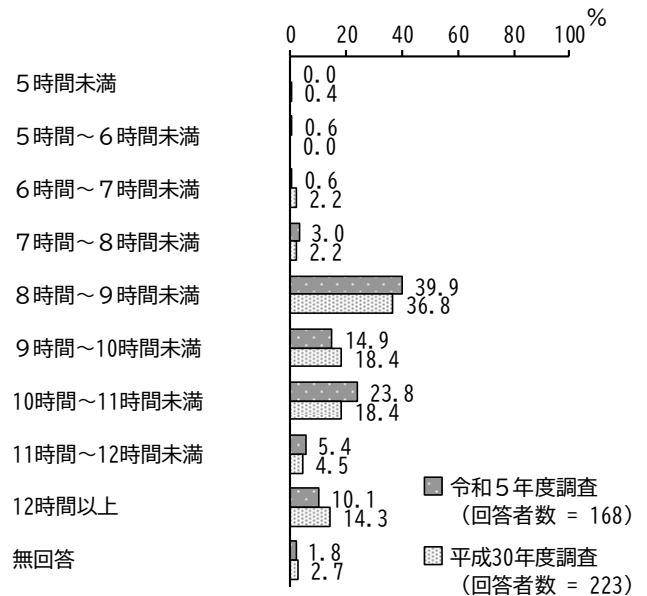
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日当たりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が39.9%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が23.8%、「9時間～10時間未満」の割合が14.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10時間～11時間未満」の割合が増加しています。

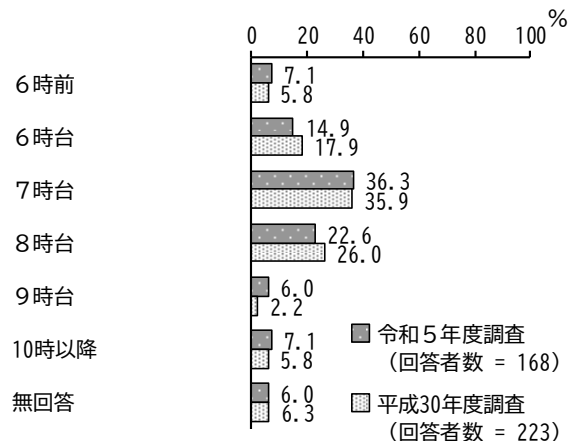


(2) - 2 (2) で「1～4」(就労している) に○をつけた方にかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。() 内に数字でご記入ください。

家を出る時刻

「7時台」の割合が36.3%と最も高く、次いで「8時台」の割合が22.6%、「6時台」の割合が14.9%となっています。

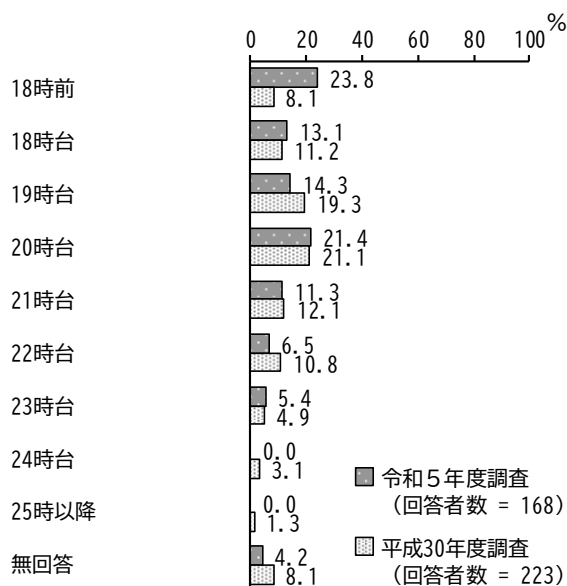
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時刻

「18 時前」の割合が 23.8%と最も高く、次いで「20 時台」の割合が 21.4%、「19 時台」の割合が 14.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「18 時前」の割合が増加しています。

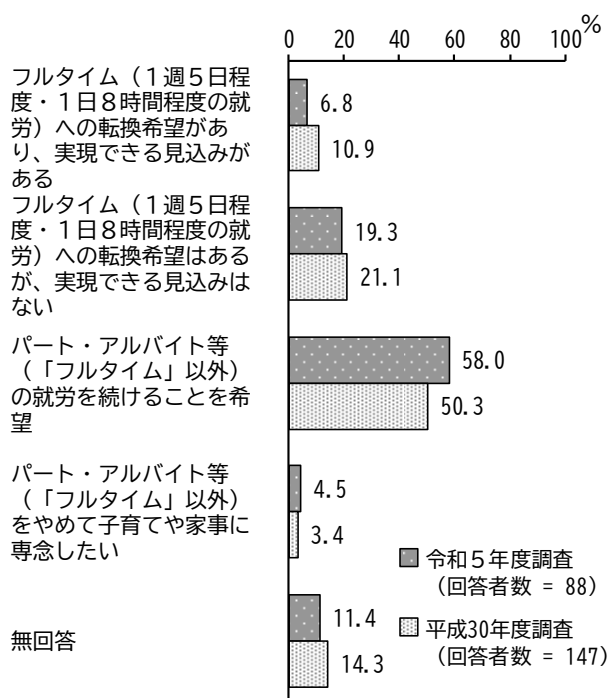


問 11 問 10 の (1) または (2) で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 12 へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「フルタイム(1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 19.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。



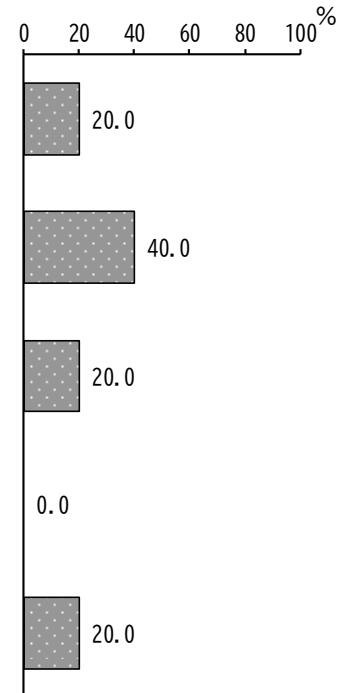
(2) 父親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が2件となっています。「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が1件となっています。

回答者数 = 5

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

無回答



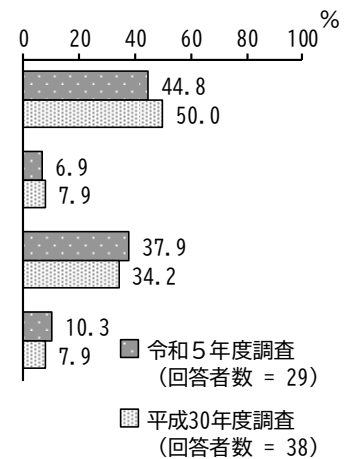
問12 問10（1）または（2）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する（ ）内に数字でご記入ください。

(1) 母親

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が44.8%と最も高く、次いで「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が37.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が減少しています。

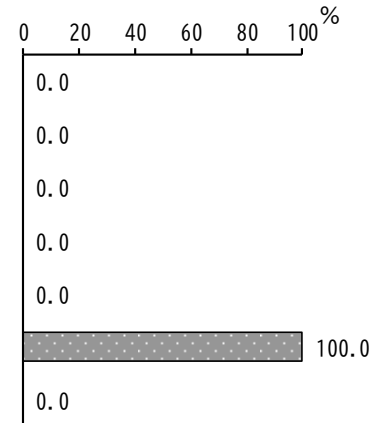
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい
 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 無回答



1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい
「12歳以上」が2件となっています。

回答者数 = 2

0～1歳
2～3歳
4～5歳
6～8歳
9～11歳
12歳以上
無回答



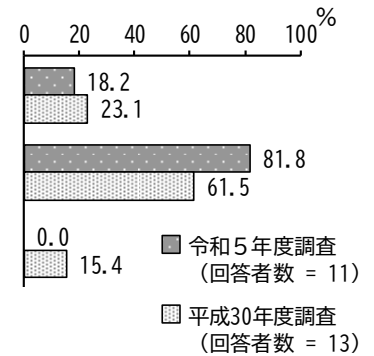
希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が18.2%、「パートタイム、アルバイト等」の割合が81.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等」の割合が増加しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
パートタイム、アルバイト等

無回答

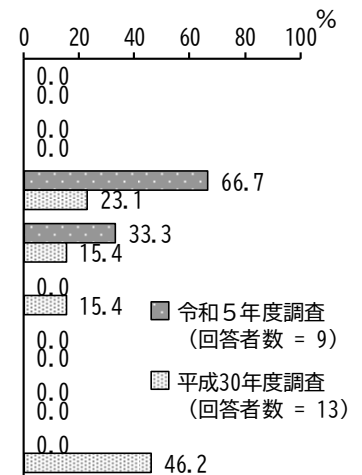


パートタイム、アルバイト等の1週あたりの希望就労日数

「3日」が6件となっています。「4日」が3件となっています。

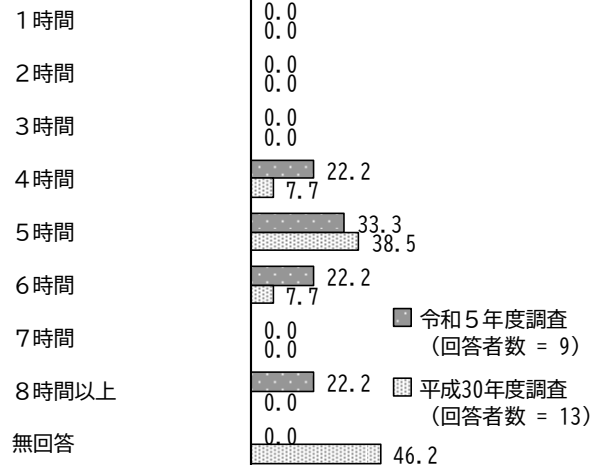
平成30年度調査と比較すると、「3日」「4日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。

1日
2日
3日
4日
5日
6日
7日
無回答



パートタイム、アルバイト等の1日あたりの希望就労時間

「5時間」が3件となっています。「4時間」、
「6時間」、「8時間以上」が2件となっています。
平成30年度調査と比較すると、「4時間」「6時間」「8時間以上」の割合が増加しています。一方、「5時間」の割合が減少しています。



(2) 父親

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が1件となっています。

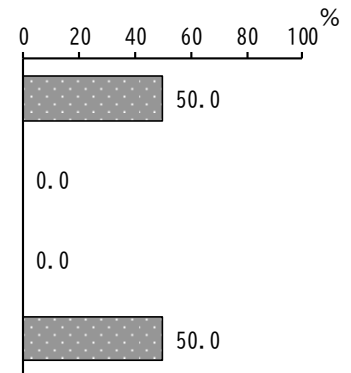
回答者数 = 2

子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい

すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

無回答



1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい
有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

有効回答がありませんでした。

パートタイム、アルバイト等の1週あたりの希望就労日数

有効回答がありませんでした。

パートタイム、アルバイト等の1日あたりの希望就労時間

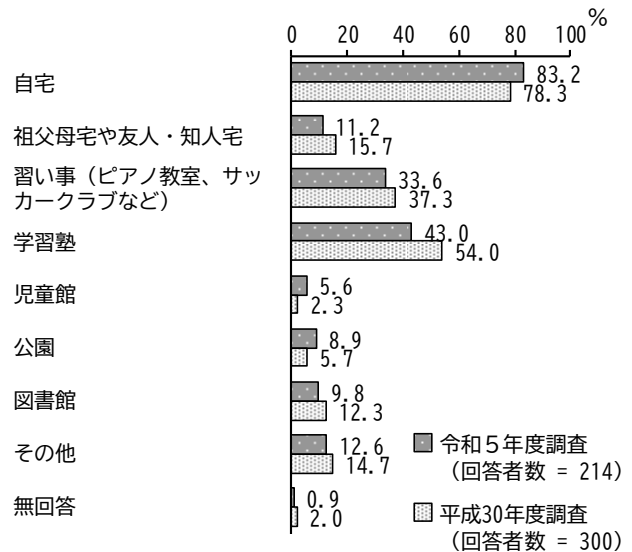
有効回答がありませんでした。

(4) お子さんの放課後の過ごし方について

問13 宛名のお子さんについて、放課後（平日の中学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。

「自宅」の割合が 83.2%と最も高く、次いで「学習塾」の割合が 43.0%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」の割合が 33.6%となっています。

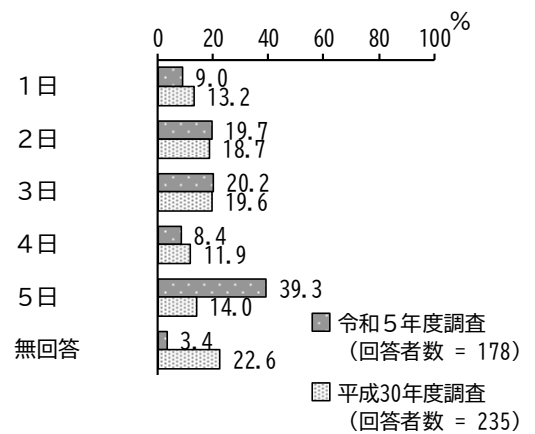
平成 30 年度調査と比較すると、「学習塾」の割合が減少しています。



1. 自宅の週あたりの希望利用日数

「5日」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が 20.2%、「2日」の割合が 19.7%となっています。

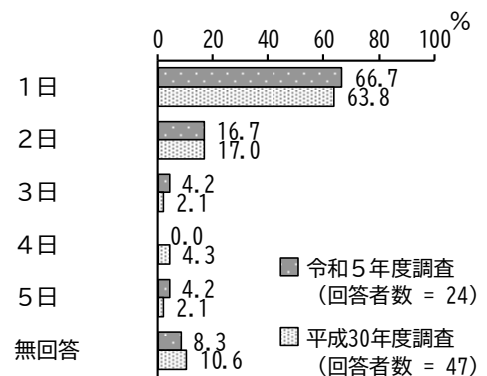
平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



2. 祖父母宅や友人・知人宅の週あたりの希望利用日数

「1日」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が 16.7%となっています。

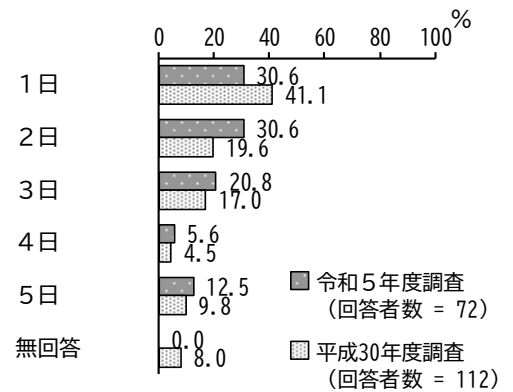
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）の週当たりの希望利用日数

「1日」、「2日」の割合が30.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.8%となっています。

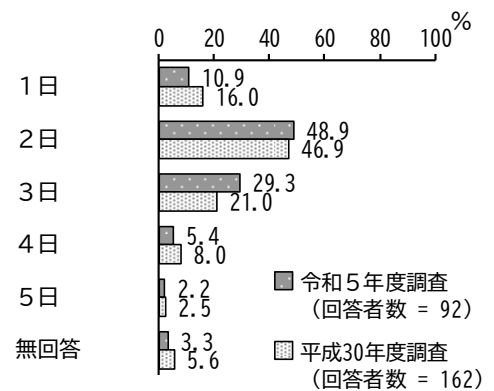
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



4. 学習塾の週当たりの希望利用日数

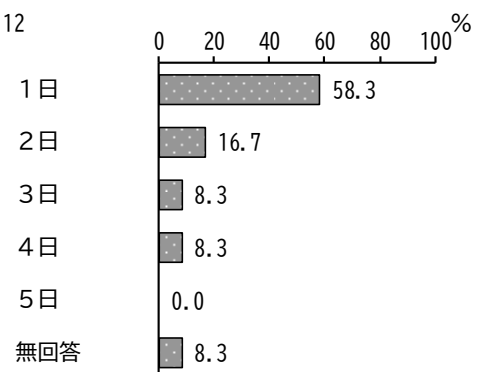
「2日」の割合が48.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が29.3%、「1日」の割合が10.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



5. 児童館の週当たりの希望利用日数

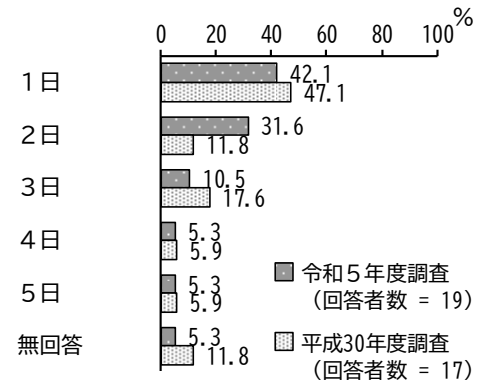
「1日」の割合が58.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が16.7%となっています。回答者数 = 12



6. 公園の週当たりの希望利用日数

「1日」の割合が42.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が31.6%、「3日」の割合が10.5%となっています。

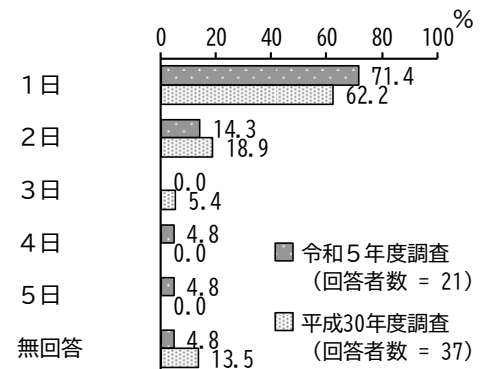
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



7. 図書館の週当たりの希望利用日数

「1日」の割合が71.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が14.3%となっています。

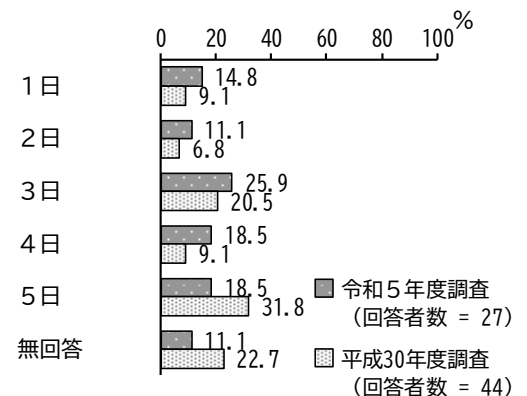
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



8. その他の週当たりの希望利用日数

「3日」の割合が25.9%と最も高く、次いで「4日」、「5日」の割合が18.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「3日」「4日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。

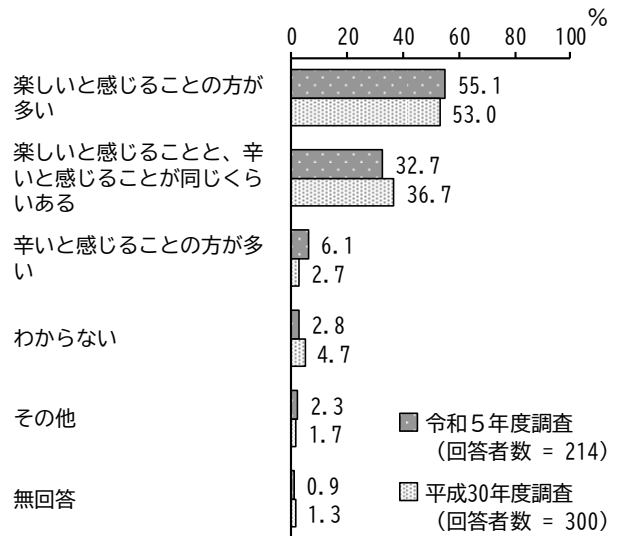


(5) あなたの子育てについて

問14 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか、それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が55.1%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」の割合が32.7%となっています。

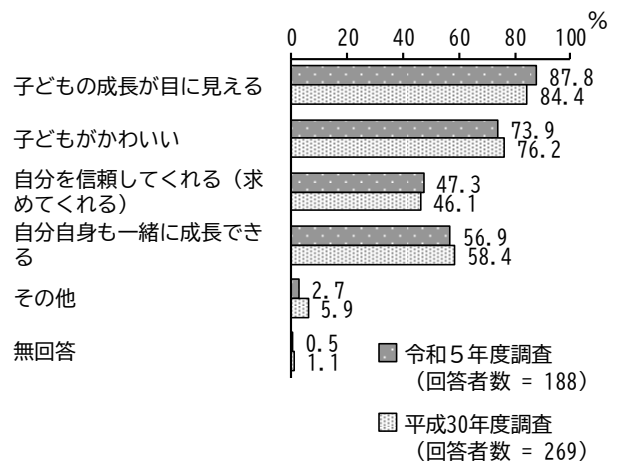
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問14-1 問14で「1. 楽しいと感じることの方が多い」「2. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」と回答した方にうかがいます。子育てが楽しいと思う理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの成長が目に見える」の割合が87.8%と最も高く、次いで「子どもがかわいい」の割合が73.9%、「自分自身も一緒に成長できる」の割合が56.9%となっています。

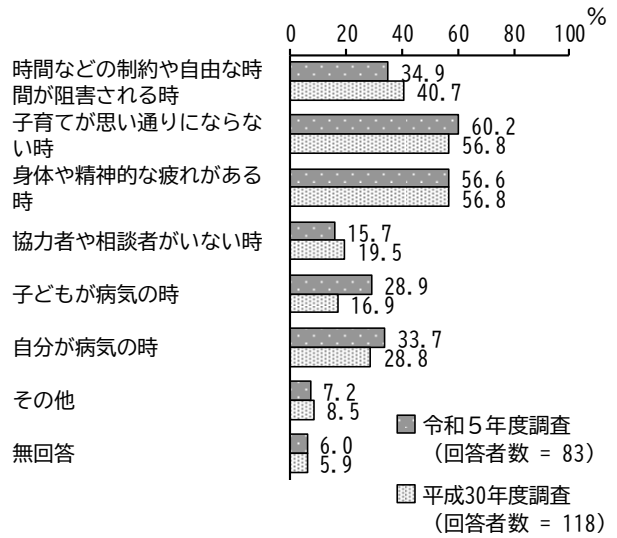
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問14-2 問14で「2. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」「3. 辛いと感じることの方が多し」と回答した方にうかがいます。子育てが辛いと思う時は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てが思い通りにならない時」の割合が60.2%と最も高く、次いで「身体や精神的な疲れがある時」の割合が56.6%、「時間などの制約や自由な時間が阻害される時」の割合が34.9%となっています。

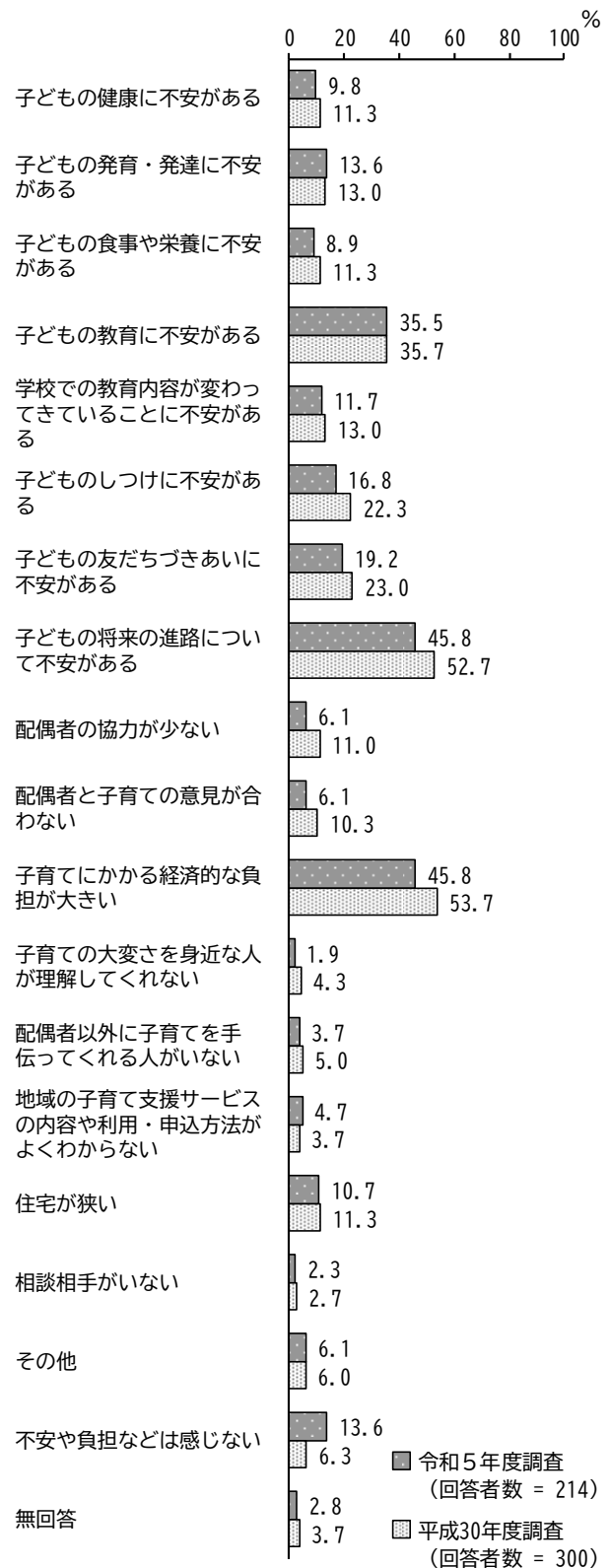
平成30年度調査と比較すると、「子どもが病気の時」の割合が増加しています。一方、「時間などの制約や自由な時間が阻害される時」の割合が減少しています。



問 15 子育てに関して、不安や負担などを感じることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの将来の進路について不安がある」、
「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が45.8%と最も高く、次いで「子どもの教育に不安がある」の割合が35.5%となっています。

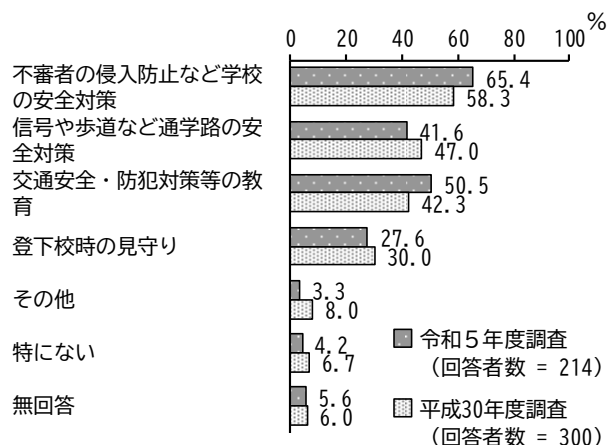
平成30年度調査と比較すると、「不安や負担などは感じない」の割合が増加しています。一方、「子どものしつけに不安がある」「子どもの将来の進路について不安がある」「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が減少しています。



問 16 あなたは、子どもたちの安全・安心な学校での生活のために、どのような防犯上の取組が必要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「不審者の侵入防止など学校の安全対策」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「交通安全・防犯対策等の教育」の割合が 50.5%、「信号や歩道など通学路の安全対策」の割合が 41.6%となっています。

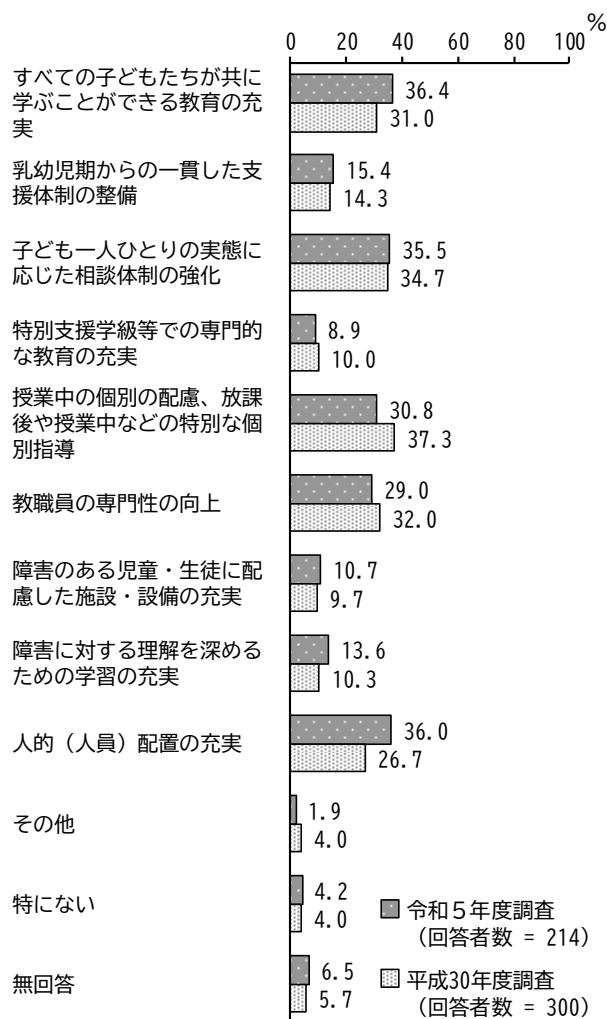
平成 30 年度調査と比較すると、「不審者の侵入防止など学校の安全対策」「交通安全・防犯対策等の教育」の割合が増加しています。一方、「信号や歩道など通学路の安全対策」の割合が減少しています。



問 17 一人ひとりに応じた支援の充実のために、どのような取組が必要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「人的（人員）配置の充実」の割合が 36.0%、「子ども一人ひとりの実態に応じた相談体制の強化」の割合が 35.5%となっています。

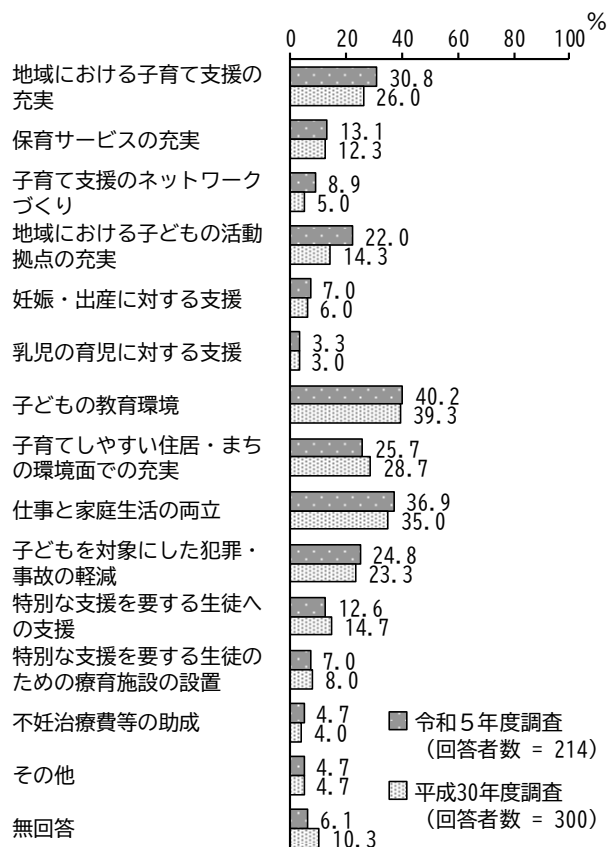
平成 30 年度調査と比較すると、「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実」「人的（人員）配置の充実」の割合が増加しています。一方、「授業中の個別の配慮、放課後や授業中などの特別な個別指導」の割合が減少しています。



問 18 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「子どもの教育環境」の割合が40.2%と最も高く、次いで「仕事と家庭生活の両立」の割合が36.9%、「地域における子育て支援の充実」の割合が30.8%となっています。

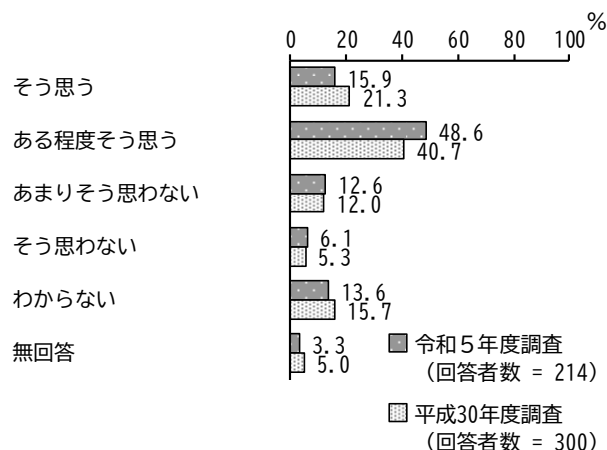
平成30年度調査と比較すると、「地域における子どもの活動拠点の充実」の割合が増加しています。



問 19 福生市は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。その理由もご記入ください。

「ある程度そう思う」の割合が48.6%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が15.9%、「わからない」の割合が13.6%となっています。

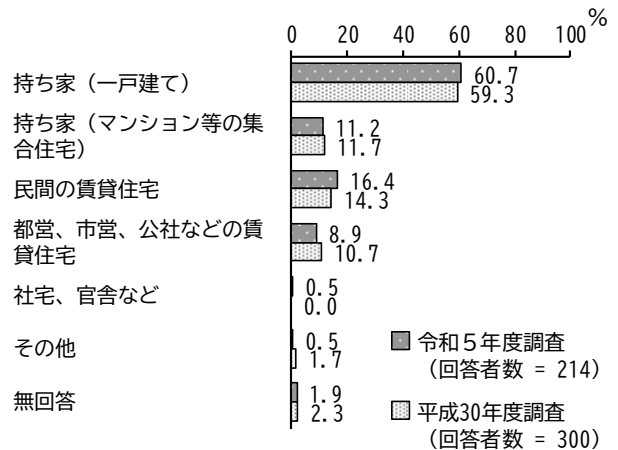
平成30年度調査と比較すると、「ある程度そう思う」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。



問 20 お住まいの住居の状況をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「持ち家（一戸建て）」の割合が60.7%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」の割合が16.4%、「持ち家（マンション等の集合住宅）」の割合が11.2%となっています。

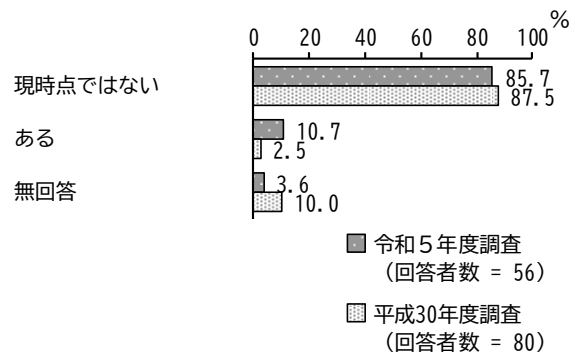
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 20-1 問 20 で「3. ～6.」と回答した方にうかがいます。今後、他市町村に引っ越し予定はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「現時点ではない」の割合が85.7%、「ある」の割合が10.7%となっています。

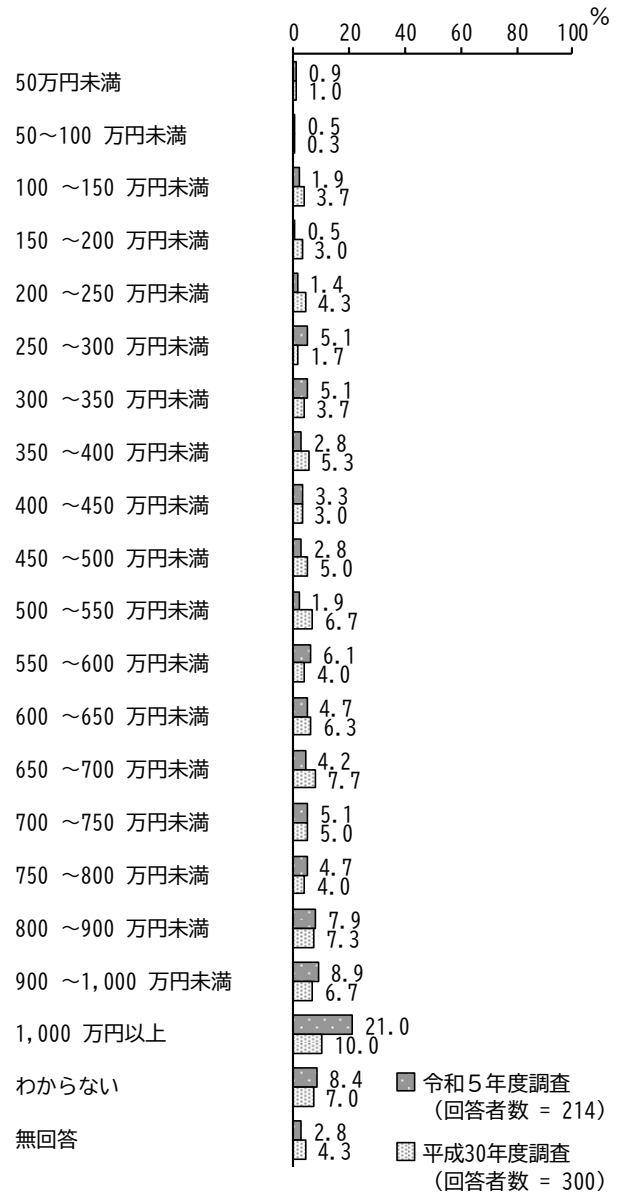
平成30年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



問 21 ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年（令和4年）1年間の、家族全員の収入の合計額は、込みでおよそいくらでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「1,000 万円以上」の割合が 21.0%と最も高くなっています。

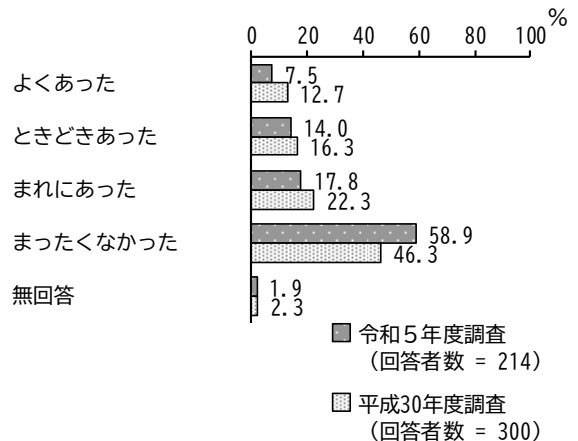
平成 30 年度調査と比較すると、「1,000 万円以上」の割合が増加しています。



問22 あなたの世帯では、過去1年の間に、急な出費などで家計のやりくりができないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が58.9%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が17.8%、「ときどきあった」の割合が14.0%となっています。

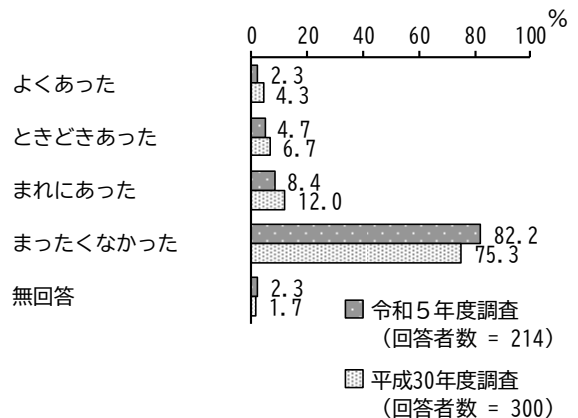
平成30年度調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が増加しています。一方、「よくあった」の割合が減少しています。



問23 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で、月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が82.2%と最も高くなっています。

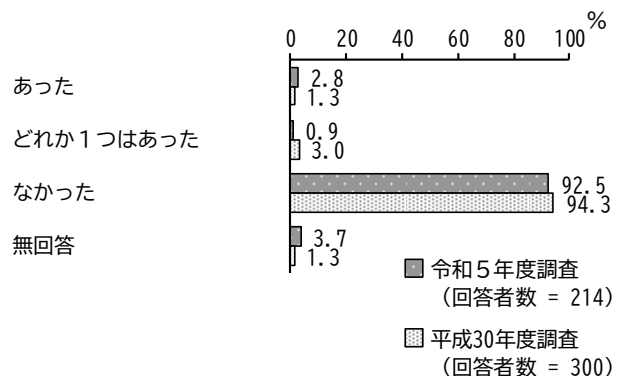
平成30年度調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が増加しています。



問24 あなたの世帯では、過去5年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

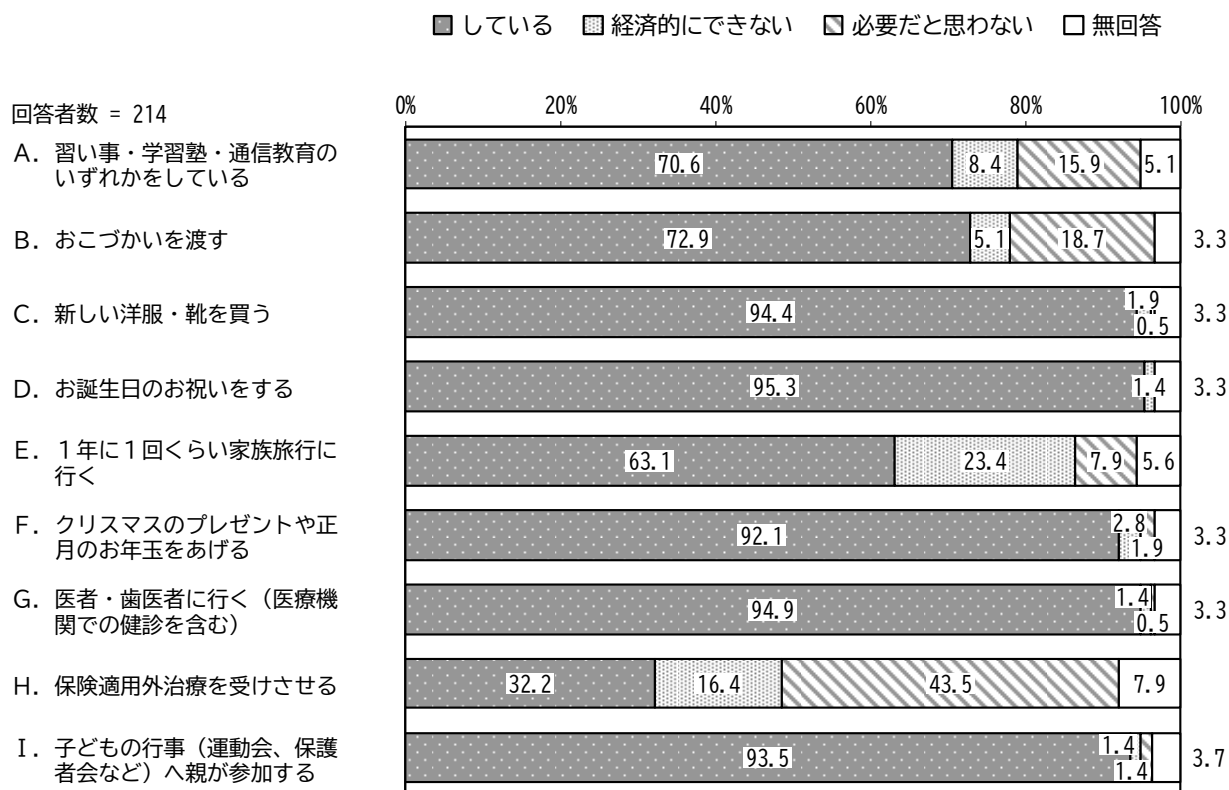
「なかった」の割合が92.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



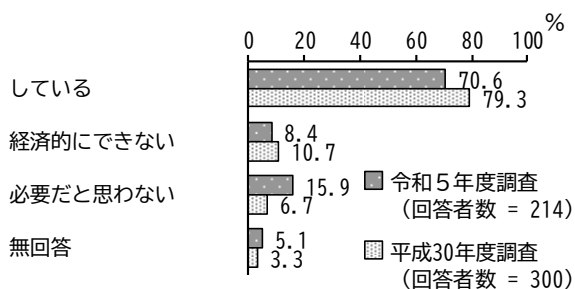
問 25 次のA～Iのそれぞれの項目について、あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

『D. お誕生日のお祝いをする』で「している」の割合が、『E. 1年に1回くらい家族旅行に行く』で「経済的にできない」の割合が高くなっています。また、『H. 保険適用外治療を受けさせる』で「必要だと思わない」の割合が高くなっています。



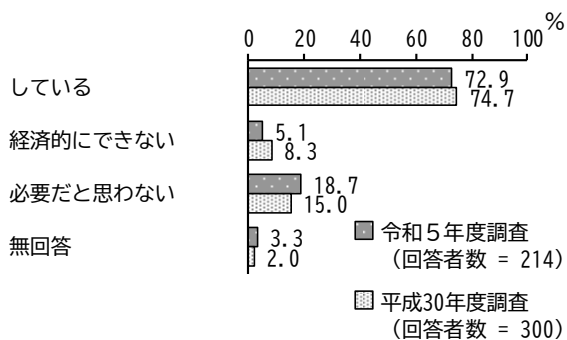
A. 習い事・学習塾・通信教育のいずれかをしている

平成30年度調査と比較すると、「必要だと思わない」の割合が増加しています。一方、「している」の割合が減少しています。



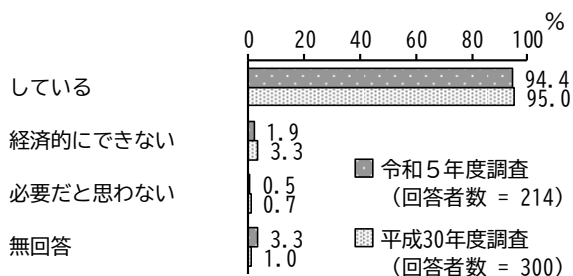
B. おこづかいを渡す

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



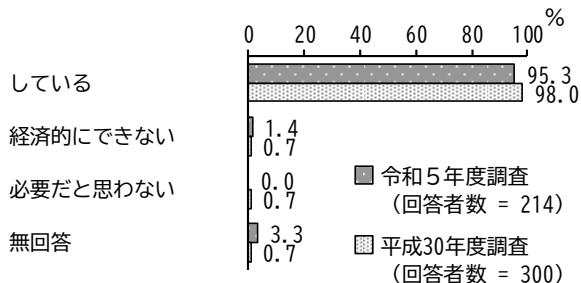
C. 新しい洋服・靴を買う

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



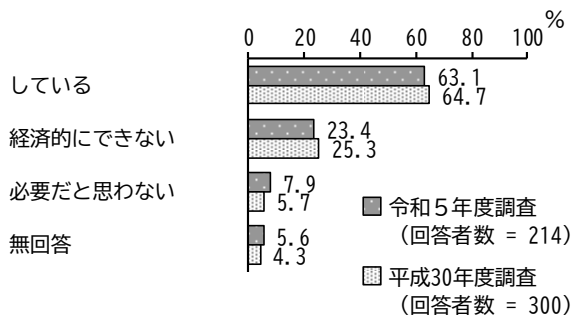
D. お誕生日のお祝いをする

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

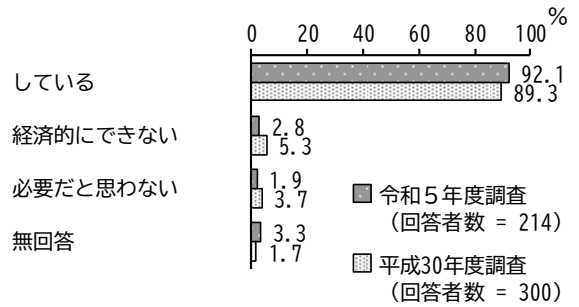


E. 1年に1回くらい家族旅行に行く

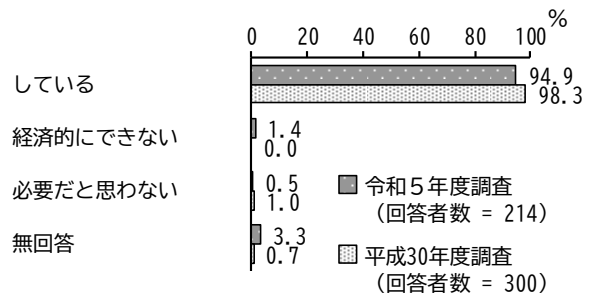
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



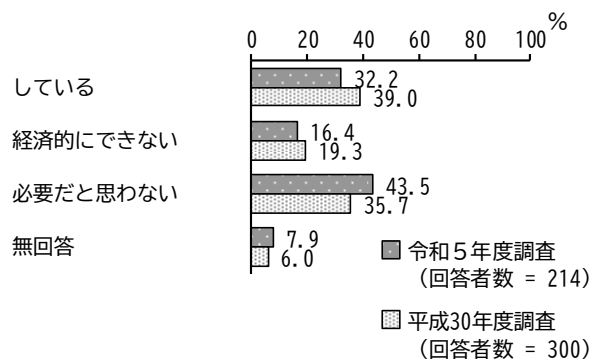
F. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



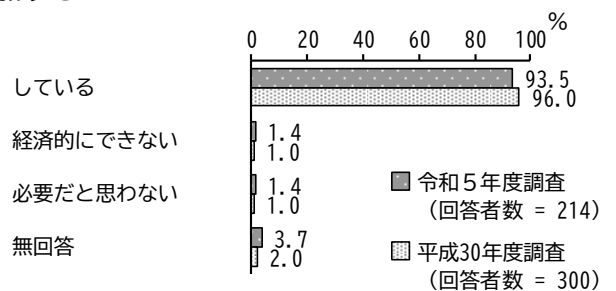
G. 医者・歯医者に行く（医療機関での健診を含む）
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



H. 保険適用外治療を受けさせる
平成 30 年度調査と比較すると、「必要だと思わ
ない」の割合が増加しています。一方、「してい
る」の割合が減少しています。



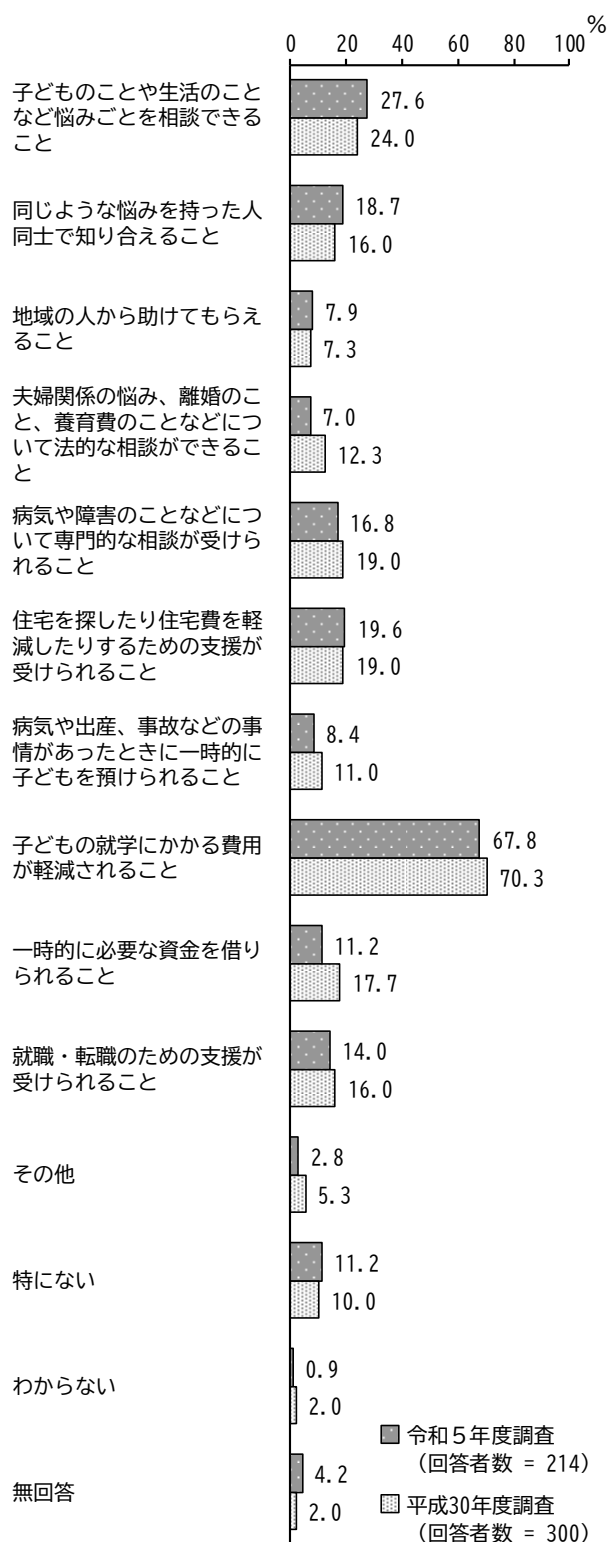
I. 子どもの行事（運動会、保護者会など）へ親が参加する
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



問 26 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が67.8%と最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が27.6%、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」の割合が19.6%となっています。

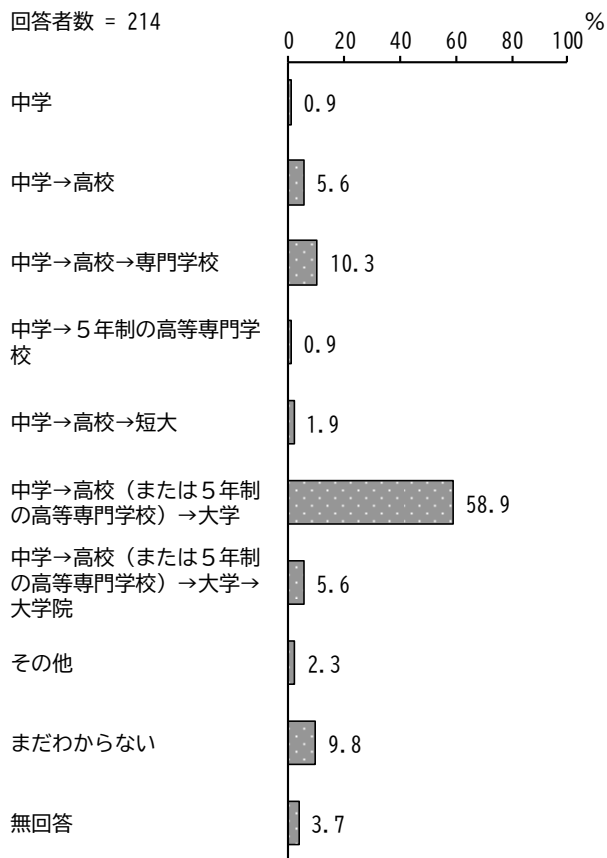
平成30年度調査と比較すると、「夫婦関係の悩み、離婚のこと、養育費のことなどについて法的な相談ができること」「一時的に必要な資金を借りられること」の割合が減少しています。



問27 あなたは、お子さんに、将来、どの学校まで進学してほしいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学」の割合が58.9%と最も高く、次いで「中学→高校→専門学校」の割合が10.3%となっています。

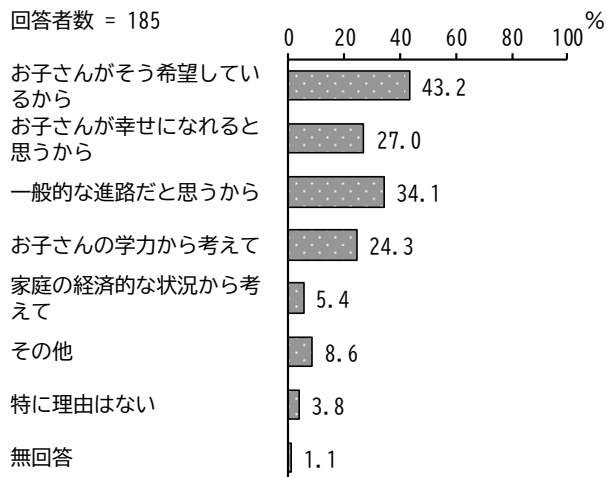
回答者数 = 214



問28 問27で「1.～8.」に○をつけた方にうかがいます。その理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「お子さんがそう希望しているから」の割合が43.2%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」の割合が34.1%、「お子さんが幸せになれると思うから」の割合が27.0%となっています。

回答者数 = 185

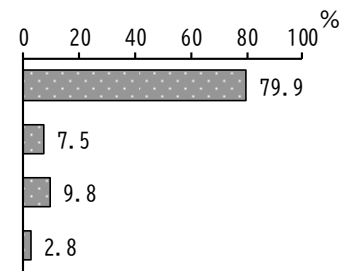


問 29 あなたは、ヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「言葉も内容も知っている」の割合が79.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 214

言葉も内容も知っている
言葉は聞いたことがある
知らない
無回答

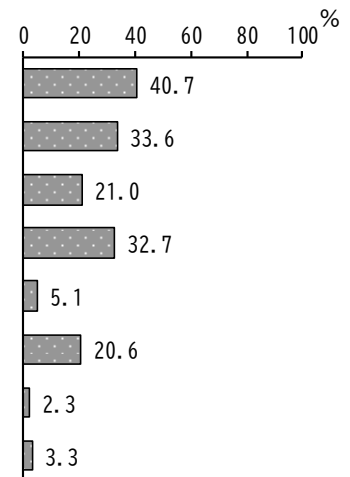


問 30 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「本人に様子を聞く」の割合が40.7%と最も高く、次いで「家族、知人、友人に相談する」の割合が33.6%、「関係機関に相談する」の割合が32.7%となっています。

回答者数 = 214

本人に様子を聞く
家族、知人、友人に相談する
先生や部活の顧問等に相談する
関係機関に相談する
何もしない
わからない
その他
無回答



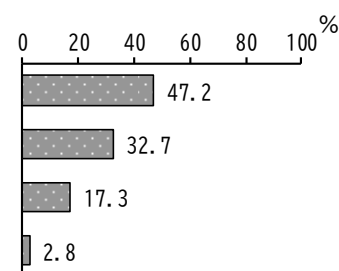
(6) 子どもの権利について

問31 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前も内容も知っている」の割合が47.2%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が32.7%、「知らなかった」の割合が17.3%となっています。

回答者数 = 214

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答

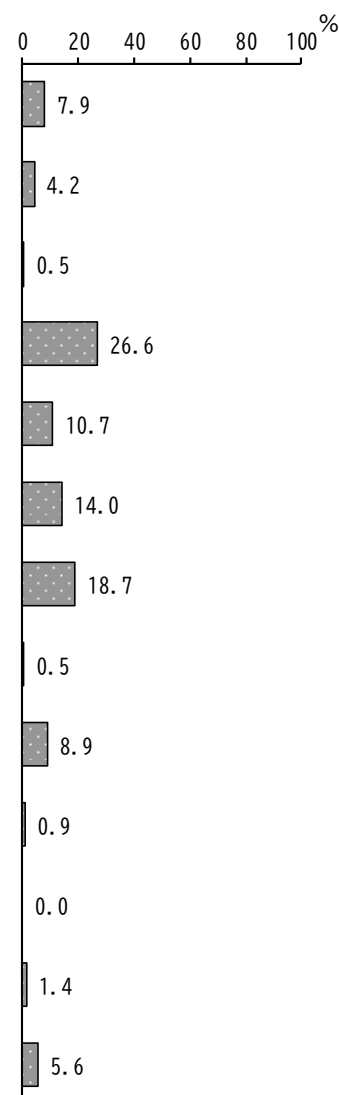


問32 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が26.6%と最も高く、次いで「人と違う自分らしさが認められること」の割合が18.7%、「自分の考えを自由に言えること」の割合が14.0%となっています。

回答者数 = 214

人種や性別、宗教などで差別されないこと
障がいのある子が差別されないこと
子どもが知りたいことを隠さないこと
暴力や言葉で傷つけないこと
家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
自分の考えを自由に言えること
人と違う自分らしさが認められること
自分の秘密が守られること
自分のことは自分で決められること
自由な時間をもつこと
自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
無回答

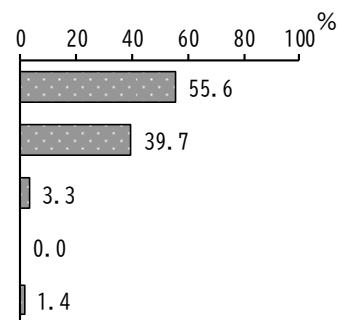


問33 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「常にしている」の割合が55.6%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が39.7%となっています。

回答者数 = 214

常にしている
ときどきしている
あまりしていない
まったくしたことがない
無回答

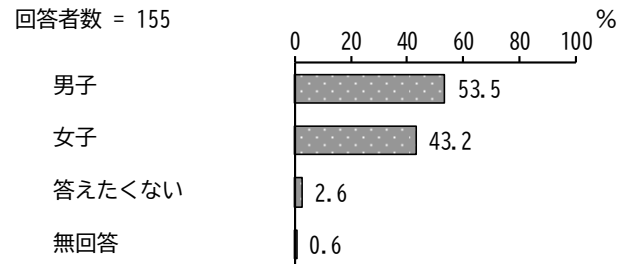


4 小学生本人

(1) あなたのふだんの家庭や学校での生活について

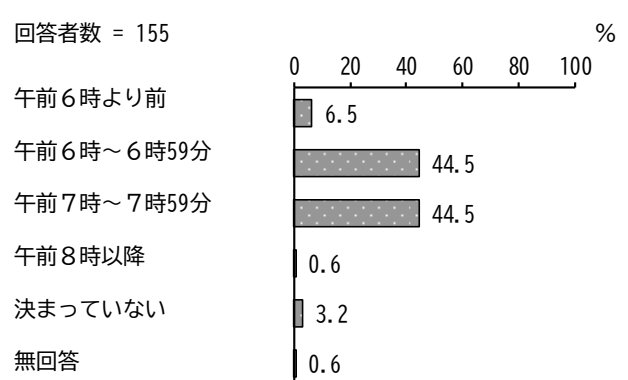
問1 あなたの性別について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「男子」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「女子」の割合が 43.2%となっています。



問2 あなたは学校がある日はだいたい朝何時ごろに起きますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「午前6時～6時59分」、「午前7時～7時59分」の割合が 44.5%と最も高くなっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	午前6時より前	午前6時～6時59分	午前7時～7時59分	午前8時以降	決まっていない	無回答
全体	155	6.5	44.5	44.5	0.6	3.2	0.6
9歳(4年生)	47	12.8	44.7	42.6	—	—	—
10歳(5年生)	47	4.3	46.8	44.7	2.1	2.1	—
11歳(6年生)	61	3.3	42.6	45.9	—	6.6	1.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	午前 6時 より前	午前 6時 ～ 6時 59分	午前 7時 ～ 7時 59分	午前 8時 以降	決ま って いな い	無回 答
全 体	155	6.5	44.5	44.5	0.6	3.2	0.6
中央値の1／2未満	1	—	—	100.0	—	—	—
中央値の1／2以上 中央値未満	8	—	37.5	62.5	—	—	—
中央値以上	128	6.3	44.5	44.5	0.8	3.1	0.8

問3 あなたは次の日に学校がある日はだいたい何時ごろに寝ますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「午後9時～9時59分」の割合が42.6%と最も高く、次いで「午後10時～10時59分」の割合が37.4%となっています。

回答者数 = 155

午後9時より前

午後9時～9時59分

午後10時～10時59分

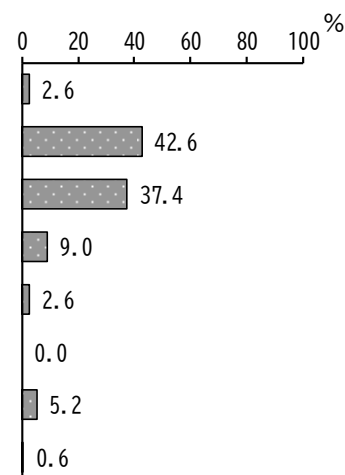
午後11時～11時59分

午前0時～0時59分

午前1時以降

決ま
って
いな
い

無回
答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、9歳（4年生）で「午後9時～9時59分」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	午後 9時 より前	午後 9時 ～ 9時 59分	午後 10時 ～ 10時 59分	午後 11時 ～ 11時 59分	午前 0時 ～ 0時 59分	午前 1時 以降	決ま って いな い	無回 答
全 体	155	2.6	42.6	37.4	9.0	2.6	—	5.2	0.6
9歳（4年生）	47	8.5	51.1	31.9	4.3	2.1	—	2.1	—
10歳（5年生）	47	—	42.6	38.3	12.8	—	—	6.4	—
11歳（6年生）	61	—	36.1	41.0	9.8	4.9	—	6.6	1.6

【生活困窮度別】

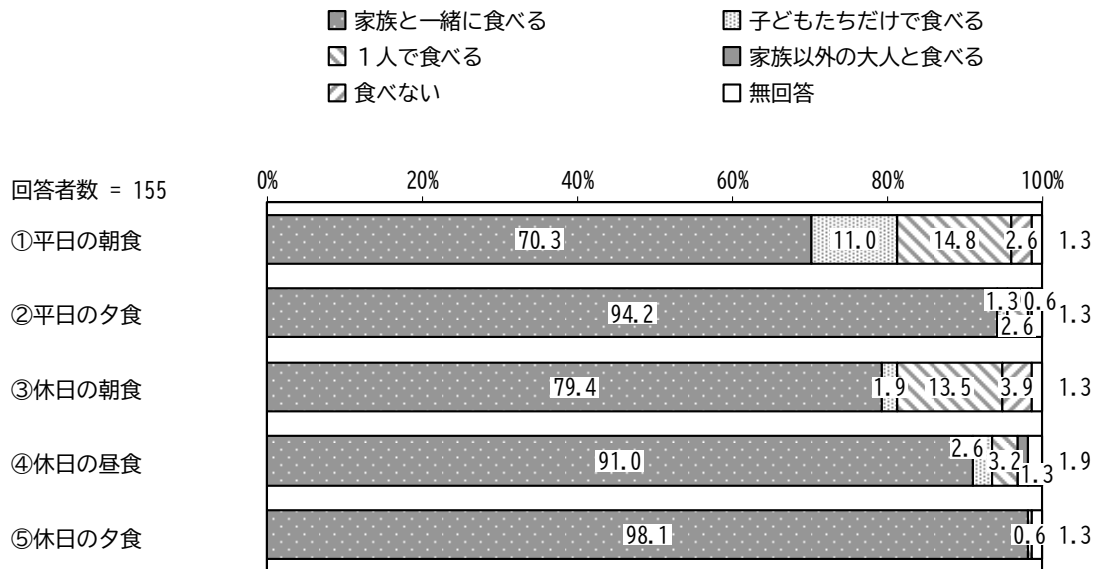
生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	午後9時より前	午後9時～9時59分	午後10時～10時59分	午後11時～11時59分	午前0時～0時59分	午前1時以降	決まっていない	無回答
全 体	155	2.6	42.6	37.4	9.0	2.6	—	5.2	0.6
中央値の1/2未満	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	—	50.0	50.0	—	—	—	—	—
中央値以上	128	1.6	44.5	38.3	8.6	1.6	—	4.7	0.8

問4 あなたは主に誰と一緒に食事をしていますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

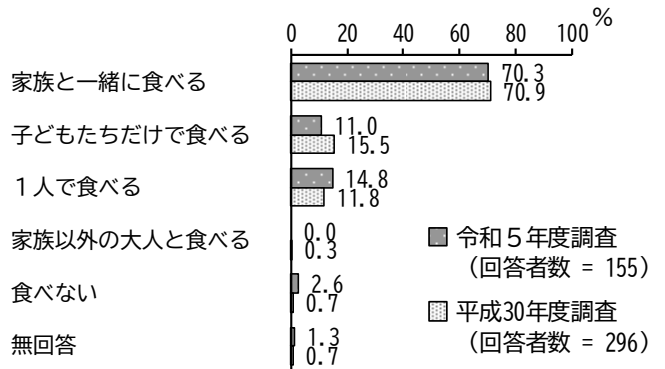
『①平日の朝食』で「子どもたちだけで食べる」の割合が、『⑤休日の夕食』で「家族と一緒に食べる」の割合が高くなっています。



①平日の朝食

「家族と一緒に食べる」の割合が70.3%と最も高く、次いで「1人で食べる」の割合が14.8%、「子どもたちだけで食べる」の割合が11.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、10歳（5年生）で「子どもたちだけで食べる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	155	70.3	11.0	14.8	—	2.6	1.3
9歳（4年生）	47	74.5	8.5	14.9	—	—	2.1
10歳（5年生）	47	59.6	23.4	10.6	—	6.4	—
11歳（6年生）	61	75.4	3.3	18.0	—	1.6	1.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

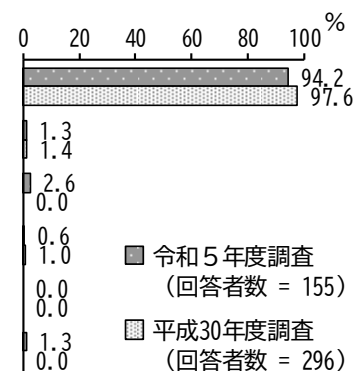
区分	回答者数 (件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	155	70.3	11.0	14.8	—	2.6	1.3
中央値の1/2未満	1	100.0	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	75.0	—	25.0	—	—	—
中央値以上	128	71.1	10.9	13.3	—	3.1	1.6

②平日の夕食

「家族と一緒に食べる」の割合が94.2%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

家族と一緒に食べる
子どもたちだけで食べる
1人で食べる
家族以外の大人と食べる
食べない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、10歳（5年生）で「家族と一緒に食べる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	155	94.2	1.3	2.6	0.6	—	1.3
9歳（4年生）	47	91.5	2.1	2.1	2.1	—	2.1
10歳（5年生）	47	100.0	—	—	—	—	—
11歳（6年生）	61	91.8	1.6	4.9	—	—	1.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

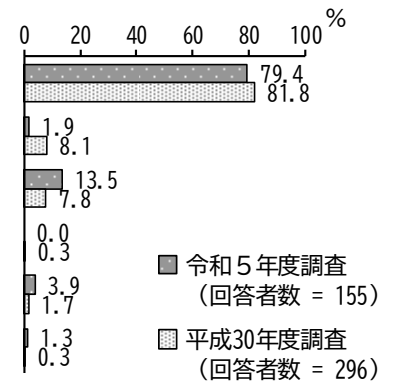
区分	回答者数(件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	155	94.2	1.3	2.6	0.6	—	1.3
中央値の1/2未満	1	100.0	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	100.0	—	—	—	—	—
中央値以上	128	93.0	1.6	3.1	0.8	—	1.6

③休日の朝食

「家族と一緒に食べる」の割合が79.4%と最も高く、次いで「1人で食べる」の割合が13.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1人で食べる」の割合が増加しています。一方、「子どもたちだけで食べる」の割合が減少しています。

家族と一緒に食べる
子どもたちだけで食べる
1人で食べる
家族以外の大人と食べる
食べない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	155	79.4	1.9	13.5	—	3.9	1.3
9歳 (4年生)	47	83.0	2.1	12.8	—	—	2.1
10歳 (5年生)	47	78.7	4.3	8.5	—	8.5	—
11歳 (6年生)	61	77.0	—	18.0	—	3.3	1.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

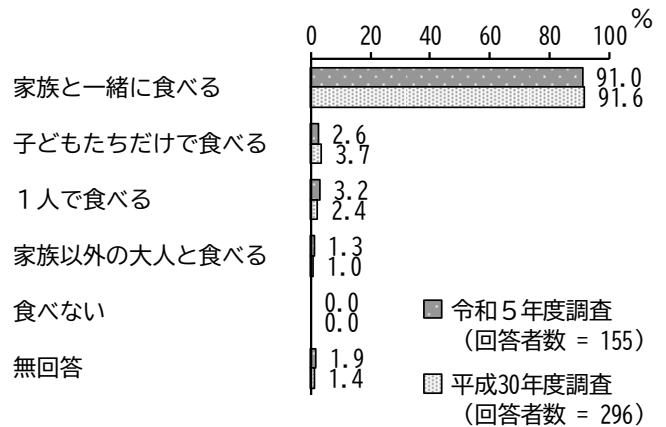
単位：％

区分	回答者数 (件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	155	79.4	1.9	13.5	—	3.9	1.3
中央値の1/2未満	1	100.0	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	100.0	—	—	—	—	—
中央値以上	128	78.9	1.6	14.8	—	3.1	1.6

④休日の昼食

「家族と一緒に食べる」の割合が91.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、10歳（5年生）で「家族と一緒に食べる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	155	91.0	2.6	3.2	1.3	—	1.9
9歳（4年生）	47	87.2	6.4	2.1	2.1	—	2.1
10歳（5年生）	47	97.9	—	2.1	—	—	—
11歳（6年生）	61	88.5	1.6	4.9	1.6	—	3.3

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	155	91.0	2.6	3.2	1.3	—	1.9
中央値の1/2未満	1	100.0	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	75.0	12.5	—	12.5	—	—
中央値以上	128	92.2	2.3	3.1	—	—	2.3

⑤休日の夕食

「家族と一緒に食べる」の割合が98.1%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

家族と一緒に食べる

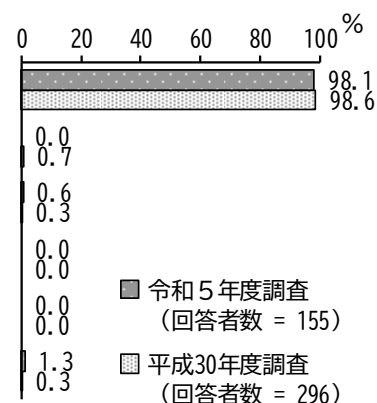
子どもたちだけで食べる

1人で食べる

家族以外の大人と食べる

食べない

無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	155	98.1	—	0.6	—	—	1.3
9歳(4年生)	47	97.9	—	—	—	—	2.1
10歳(5年生)	47	100.0	—	—	—	—	—
11歳(6年生)	61	96.7	—	1.6	—	—	1.6

【生活困窮度別】

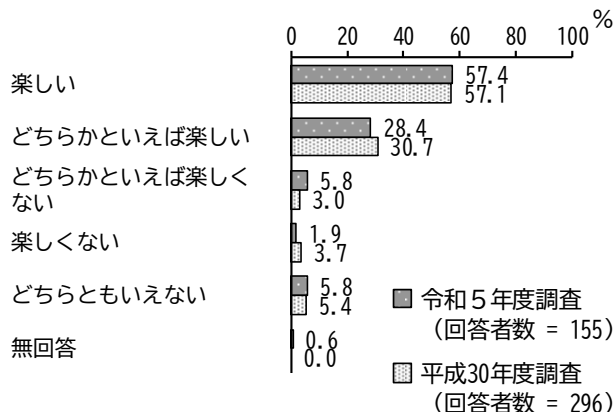
生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	155	98.1	—	0.6	—	—	1.3
中央値の1/2未満	1	100.0	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	100.0	—	—	—	—	—
中央値以上	128	97.7	—	0.8	—	—	1.6

問5 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しい」の割合が57.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が28.4%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、9歳（4年生）で「どちらかといえば楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	楽しい	どちらかといえば楽しい	どちらかといえば楽しくない	楽しくない	どちらともいえない	無回答
全体	155	57.4	28.4	5.8	1.9	5.8	0.6
9歳（4年生）	47	48.9	38.3	4.3	2.1	6.4	—
10歳（5年生）	47	61.7	25.5	4.3	—	8.5	—
11歳（6年生）	61	60.7	23.0	8.2	3.3	3.3	1.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

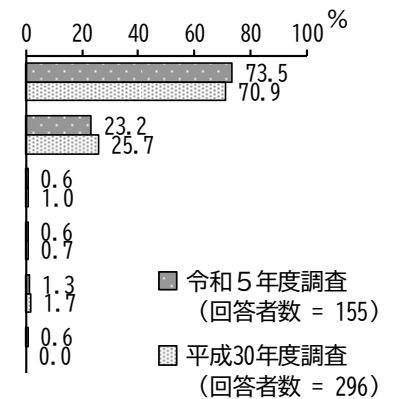
区分	回答者数(件)	楽しい	どちらかといえば楽しい	どちらかといえば楽しくない	楽しくない	どちらともいえない	無回答
全体	155	57.4	28.4	5.8	1.9	5.8	0.6
中央値の1/2未満	1	100.0	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	62.5	12.5	—	12.5	12.5	—
中央値以上	128	59.4	27.3	6.3	1.6	4.7	0.8

問6 あなたは友だちといっしょにいて楽しいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「とても楽しい」の割合が73.5%と最も高く、次いで「まあまあ楽しい」の割合が23.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

とても楽しい
 まあまあ楽しい
 あまり楽しくない
 楽しくない
 どちらともいえない
 無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、9歳（4年生）で「まあまあ楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	とても楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	どちらともいえない	無回答
全体	155	73.5	23.2	0.6	0.6	1.3	0.6
9歳（4年生）	47	66.0	29.8	—	2.1	2.1	—
10歳（5年生）	47	78.7	17.0	2.1	—	2.1	—
11歳（6年生）	61	75.4	23.0	—	—	—	1.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

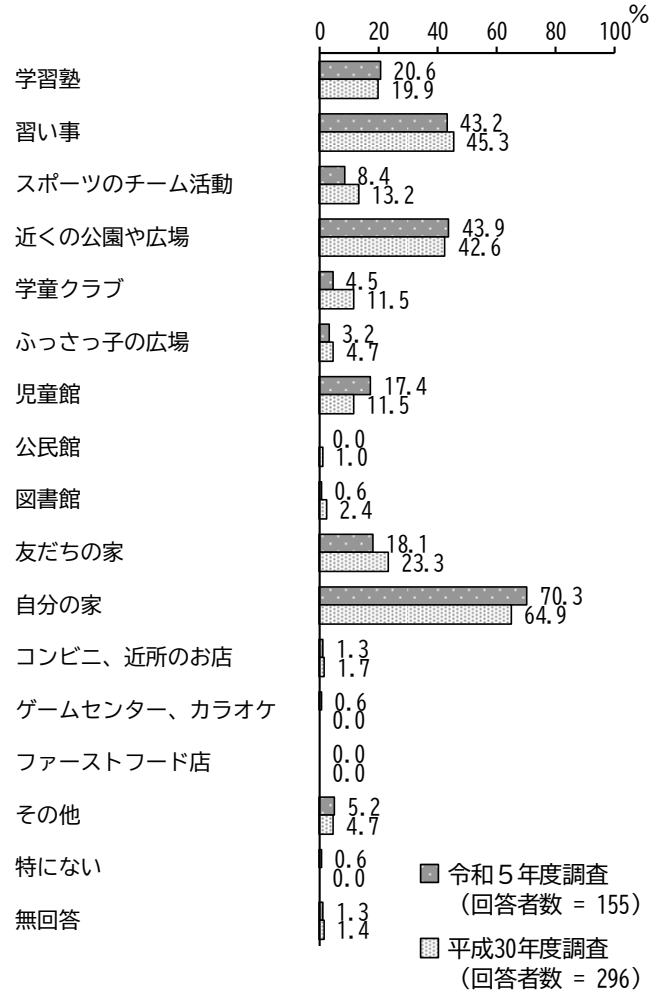
単位：%

区分	回答者数(件)	とても楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	どちらともいえない	無回答
全体	155	73.5	23.2	0.6	0.6	1.3	0.6
中央値の1/2未満	1	100.0	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	75.0	12.5	—	12.5	—	—
中央値以上	128	74.2	23.4	0.8	—	0.8	0.8

問7 あなたは放課後どこにいますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「自分の家」の割合が70.3%と最も高く、次いで「近くの公園や広場」の割合が43.9%、「習い事」の割合が43.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「児童館」「自分の家」の割合が増加しています。一方、「学童クラブ」「友だちの家」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、11歳（6年生）で「自分の家」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	学習塾	習い事	スポーツの チーム 活動	近くの公園や 広場	学童クラブ	ふっさつ子の 広場	児童館	公民館
全 体	155	20.6	43.2	8.4	43.9	4.5	3.2	17.4	—
9歳（4年生）	47	14.9	40.4	10.6	44.7	8.5	10.6	19.1	—
10歳（5年生）	47	17.0	51.1	4.3	46.8	2.1	—	21.3	—
11歳（6年生）	61	27.9	39.3	9.8	41.0	3.3	—	13.1	—

区分	図書館	友だちの家	自分の家	店 コンビニ、 近所のお	ゲームセンター、 カ ラオケ	店 ファーストフ ード	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	0.6	18.1	70.3	1.3	0.6	—	5.2	0.6	1.3
9歳（4年生）	2.1	14.9	66.0	—	—	—	4.3	2.1	—
10歳（5年生）	—	12.8	61.7	2.1	—	—	8.5	—	2.1
11歳（6年生）	—	24.6	80.3	1.6	1.6	—	3.3	—	1.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	学習塾	習い事	スポーツの チーム 活動	近くの公園や 広場	学童クラブ	ふっさつ子の 広場	児童館	公民館
全 体	155	20.6	43.2	8.4	43.9	4.5	3.2	17.4	—
中央値の1／2未満	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	8	12.5	12.5	25.0	50.0	—	—	12.5	—
中央値以上	128	21.1	43.8	7.0	44.5	5.5	3.9	17.2	—

区分	図書館	友だちの家	自分の家	店 コンビニ、近所のお	ゲームセンター、 カ ラオケ	店 ファーストフード	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	0.6	18.1	70.3	1.3	0.6	—	5.2	0.6	1.3
中央値の1／2未満	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	—	25.0	50.0	—	—	—	—	—	12.5
中央値以上	0.8	19.5	71.9	1.6	0.8	—	5.5	—	0.8

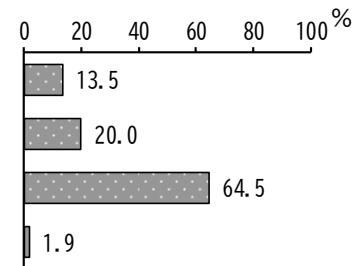
問8 あなたは「ヤングケアラー」ということばを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「知らない」の割合が64.5%と最も高く、次いで「ことばは聞いたことがある」の割合が20.0%、「ことばも内容も知っている」の割合が13.5%となっています。

回答者数 = 155

知らない

無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、9歳（4年生）で「知らない」の割合が、10歳（5年生）で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	ことばも内容も知っている	ことばは聞いたことがある	知らない	無回答
全体	155	13.5	20.0	64.5	1.9
9歳（4年生）	47	10.6	17.0	72.3	—
10歳（5年生）	47	8.5	17.0	72.3	2.1
11歳（6年生）	61	19.7	24.6	52.5	3.3

【生活困窮度別】

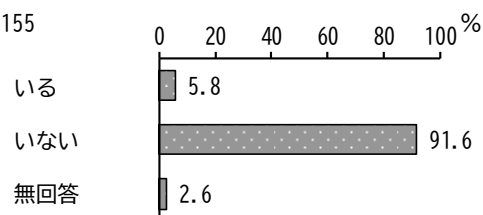
生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	ことばも内容も知っている	ことばは聞いたことがある	知らない	無回答
全体	155	13.5	20.0	64.5	1.9
中央値の1/2未満	1	—	—	100.0	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	—	25.0	62.5	12.5
中央値以上	128	14.8	18.8	64.8	1.6

問9 家族の中にあなたがお世話している人はいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる」の割合が 5.8%、「いない」の割合が 91.6%となっています。 回答者数 = 155



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	155	5.8	91.6	2.6
9歳 (4年生)	47	8.5	89.4	2.1
10歳 (5年生)	47	2.1	93.6	4.3
11歳 (6年生)	61	6.6	91.8	1.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

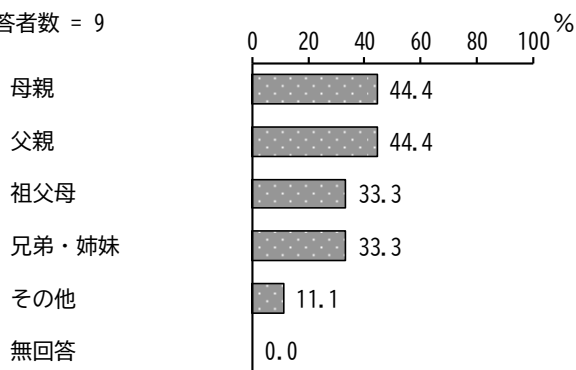
単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	155	5.8	91.6	2.6
中央値の1/2未満	1	—	100.0	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	37.5	50.0	12.5
中央値以上	128	3.1	94.5	2.3

問9-1 問9で「いる」に○をつけた方にうかがいます。あなたがお世話している人は誰ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「母親」、「父親」が4件となっています。「祖母」、「兄弟・姉妹」が3件となっています。

回答者数 = 9



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	母親	父親	祖父母	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	9	44.4	44.4	33.3	33.3	11.1	—
9歳(4年生)	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	—
10歳(5年生)	1	100.0	100.0	—	—	—	—
11歳(6年生)	4	50.0	50.0	50.0	50.0	—	—

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

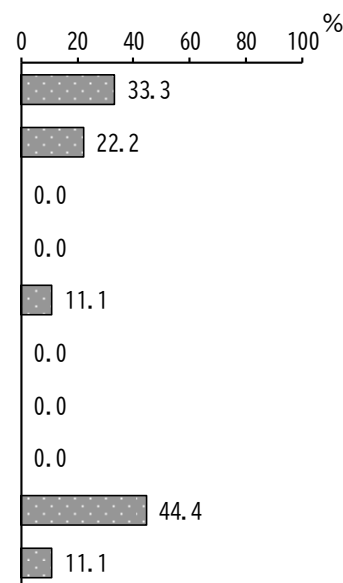
区分	回答者数(件)	母親	父親	祖父母	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	9	44.4	44.4	33.3	33.3	11.1	—
中央値の1/2未満	—	—	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	3	33.3	33.3	33.3	33.3	—	—
中央値以上	4	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	—

問9-2 問9で「いる」に○をつけた方にうかがいます。お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特にない」が4件となっています。「学校を休んでしまう」が3件、「遅刻や早退をしてしまう」が2件となっています。

回答者数 = 9

- 学校を休んでしまう
- 遅刻や早退をしてしまう
- 宿題など勉強をする時間がない
- 眠る時間が足りない
- 友だちと遊ぶことができない
- 習い事ができない
- 自分の時間が取れない
- その他
- 特にない
- 無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	学校を休んでしま	遅刻や早退をしてしま	宿題など勉強をする時間がない	眠る時間が足りない	友だちと遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
全体	9	33.3	22.2	-	-	11.1	-	-	-	44.4	11.1
9歳(4年生)	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0	25.0
10歳(5年生)	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11歳(6年生)	4	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	50.0	-

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

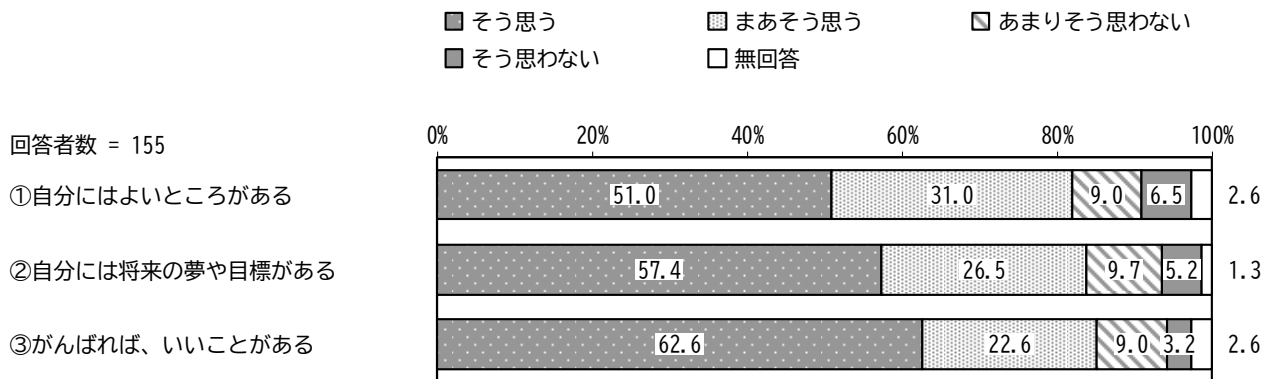
単位：%

区分	回答者数(件)	学校を休んでしま	遅刻や早退をしてしま	宿題など勉強をする時間がない	眠る時間が足りない	友だちと遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
全体	9	33.3	22.2	-	-	11.1	-	-	-	44.4	11.1
中央値の1/2未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中央値の1/2以上中央値未満	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-
中央値以上	4	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	25.0	25.0

(2) あなたの考えについて

問10 あなたは、自分のことについてどう思いますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

『③がんばれば、いいことがある』で「そう思う」の割合が高くなっています。

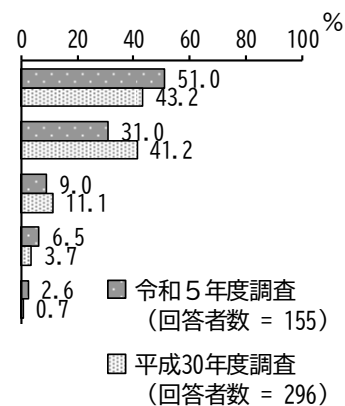


①自分にはよいところがある

「そう思う」の割合が51.0%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が31.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。一方、「まあそう思う」の割合が減少しています。

そう思う
まあそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	51.0	31.0	9.0	6.5	2.6
9歳 (4年生)	47	51.1	29.8	10.6	4.3	4.3
10歳 (5年生)	47	55.3	31.9	10.6	—	2.1
11歳 (6年生)	61	47.5	31.1	6.6	13.1	1.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

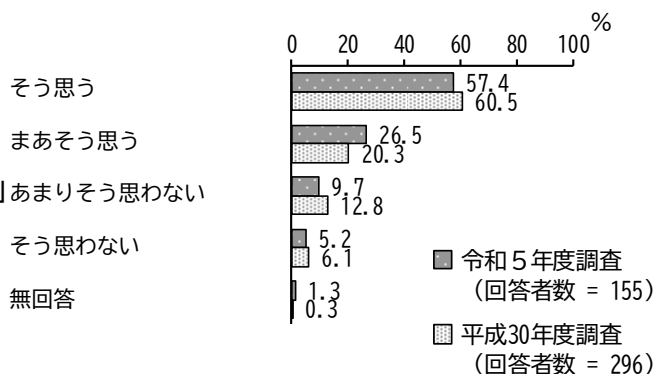
単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	51.0	31.0	9.0	6.5	2.6
中央値の1/2未満	1	—	—	100.0	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	37.5	25.0	—	25.0	12.5
中央値以上	128	53.1	31.3	7.8	6.3	1.6

②自分には将来の夢や目標がある

「そう思う」の割合が57.4%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が26.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「まあそう思う」あまりそう思わないの割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、9歳（4年生）で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	57.4	26.5	9.7	5.2	1.3
9歳（4年生）	47	70.2	19.1	6.4	4.3	—
10歳（5年生）	47	53.2	25.5	12.8	6.4	2.1
11歳（6年生）	61	50.8	32.8	9.8	4.9	1.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

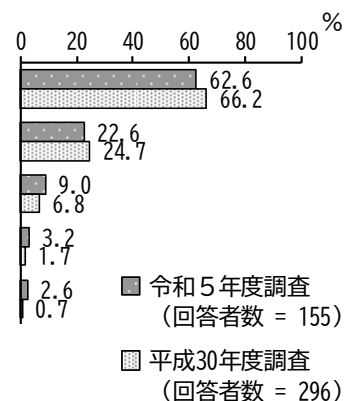
区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	57.4	26.5	9.7	5.2	1.3
中央値の1/2未満	1	100.0	—	—	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	62.5	12.5	—	12.5	12.5
中央値以上	128	57.8	27.3	10.2	3.9	0.8

③がんばれば、いいことがある

「そう思う」の割合が62.6%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が22.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

そう思う
まあそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	62.6	22.6	9.0	3.2	2.6
9歳 (4年生)	47	61.7	25.5	4.3	4.3	4.3
10歳 (5年生)	47	61.7	23.4	10.6	2.1	2.1
11歳 (6年生)	61	63.9	19.7	11.5	3.3	1.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

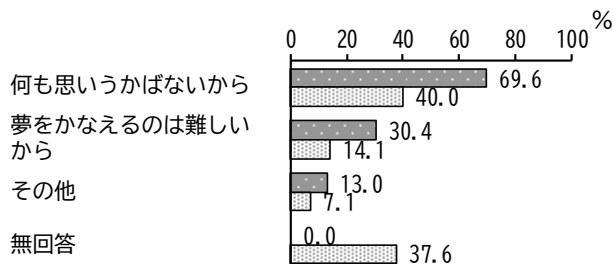
単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	62.6	22.6	9.0	3.2	2.6
中央値の1/2未満	1	100.0	-	-	-	-
中央値の1/2以上 中央値未満	8	37.5	25.0	25.0	-	12.5
中央値以上	128	66.4	21.9	6.3	3.9	1.6

問10-1 前問②で「あまりそう思わない」または「そう思わない」に○をつけた方がうかがいます。夢や目標がないのはなぜですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「何も思いうかばないから」の割合が69.6%、
「夢をかなえるのは難しいから」の割合が30.4%
となっています。

平成30年度調査と比較すると、「何も思いうかばないから」「夢をかなえるのは難しいから」の割合が増加しています。



■ 令和5年度調査
(回答者数 = 23)
■ 平成30年度調査
(回答者数 = 85)

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	何も思いうかばないから	夢をかなえるのは難しいから	その他	無回答
全体	23	69.6	30.4	13.0	—
9歳(4年生)	5	80.0	20.0	—	—
10歳(5年生)	9	77.8	11.1	22.2	—
11歳(6年生)	9	55.6	55.6	11.1	—

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「何も思いうかばないから」の割合が高くなっています。

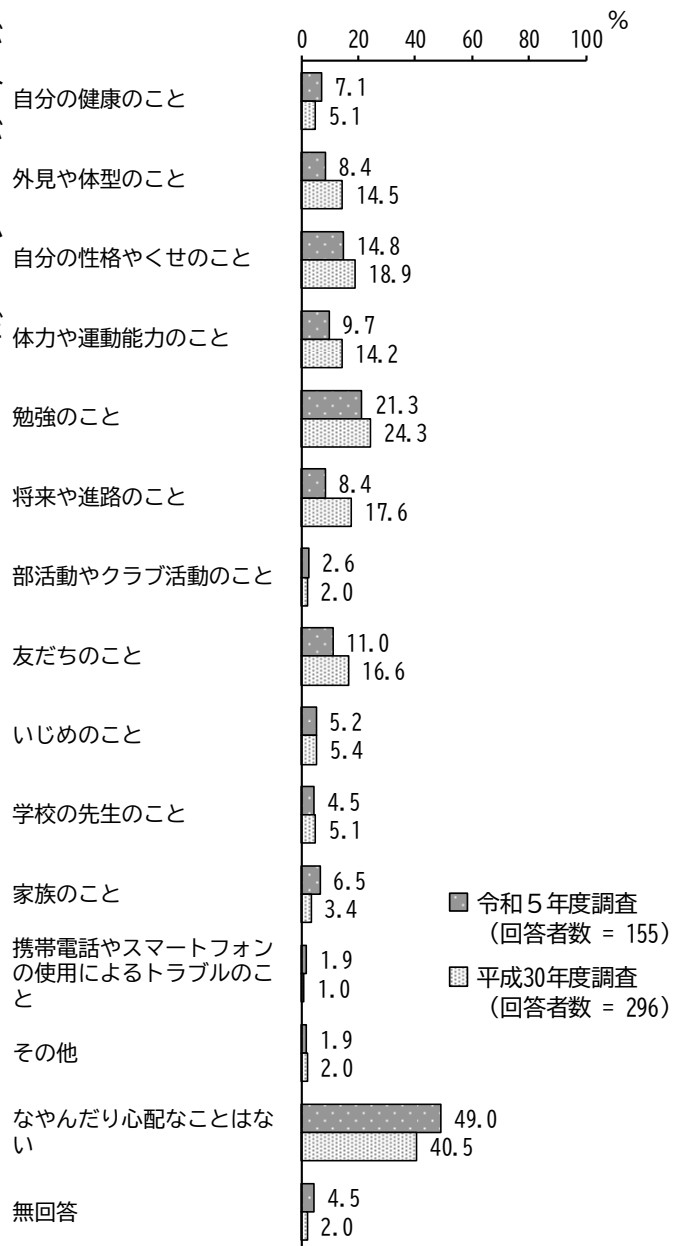
単位：%

区分	回答者数(件)	何も思いうかばないから	夢をかなえるのは難しいから	その他	無回答
全体	23	69.6	30.4	13.0	—
中央値の1/2未満	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	1	100.0	—	—	—
中央値以上	18	77.8	27.8	11.1	—

問11 あなたには、今なやんでいることや心配なこと、こまっていること、相談したいと思っ

「なやんだり心配なことはない」の割合が49.0%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が21.3%、「自分の性格やくせのこと」の割合が14.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「なやんだり心配なことはない」の割合が増加しています。一方、「外見や体型のこと」「将来や進路のこと」「友だちのこと」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、11歳（6年生）で「友だちのこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自分の健康のこと	外見や体型のこと	自分の性格やくせのこと	体力や運動能力のこと	勉強のこと	将来や進路のこと	部活動やクラブ活動のこと	友だちのこと	いじめのこと	学校の先生のこと	家族のこと	携帯電話やスマートフォン 使用によるトラブルのこと	その他	なやんだり心配なことはない	無回答
全 体	155	7.1	8.4	14.8	9.7	21.3	8.4	2.6	11.0	5.2	4.5	6.5	1.9	1.9	49.0	4.5
9歳 （4年生）	47	6.4	6.4	12.8	8.5	19.1	6.4	2.1	2.1	4.3	2.1	6.4	—	2.1	51.1	4.3
10歳 （5年生）	47	4.3	10.6	14.9	8.5	21.3	10.6	—	10.6	8.5	—	6.4	2.1	—	48.9	4.3
11歳 （6年生）	61	9.8	8.2	16.4	11.5	23.0	8.2	4.9	18.0	3.3	9.8	6.6	3.3	3.3	47.5	4.9

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

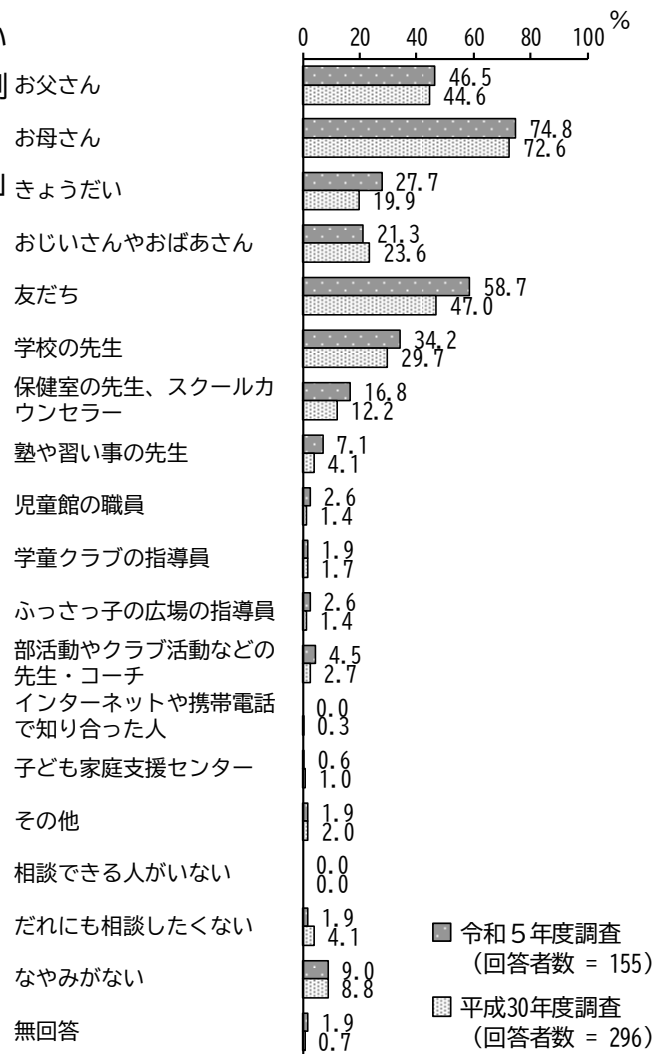
単位：％

区分	回答者数（件）	自分の健康のこと	外見や体型のこと	自分の性格やくせのこと	体力や運動能力のこと	勉強のこと	将来や進路のこと	部活動やクラブ活動のこと	友だちのこと	いじめのこと	学校の先生のこと	家族のこと	携帯電話やスマートフォン 使用によるトラブルのこと	その他	なやんだり心配なことはない	無回答
全 体	155	7.1	8.4	14.8	9.7	21.3	8.4	2.6	11.0	5.2	4.5	6.5	1.9	1.9	49.0	4.5
中央値の 1/2 未満	1	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—
中央値の 1/2以上中央値 未満	8	—	—	—	12.5	25.0	—	—	—	—	12.5	—	—	12.5	62.5	12.5
中央値以上	128	7.0	8.6	15.6	9.4	21.1	8.6	3.1	11.7	4.7	3.9	7.0	2.3	0.8	50.0	3.9

問 12 心配ごとやなやみがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「お母さん」の割合が74.8%と最も高く、次いで「友だち」の割合が58.7%、「お父さん」の割合が46.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「きょうだい」「友だち」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、10歳（5年生）で「きょうだい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	お父さん	お母さん	きょうだい	おじいさんやおばあさん	友だち	学校の先生	保健室の先生、スクールカウンセラー	塾や習い事の先生	児童館の職員
全体	155	46.5	74.8	27.7	21.3	58.7	34.2	16.8	7.1	2.6
9歳（4年生）	47	46.8	76.6	23.4	27.7	55.3	34.0	21.3	6.4	4.3
10歳（5年生）	47	55.3	72.3	42.6	23.4	55.3	29.8	10.6	4.3	—
11歳（6年生）	61	39.3	75.4	19.7	14.8	63.9	37.7	18.0	9.8	3.3

区分	児童クラブの指導員	ふっさつ子の広場の指導員	部活動やクラブ活動などの先生・コーチ	インターネットや携帯電話で知り合った人	子ども家庭支援センター	その他	相談できる人がいない	だれにも相談したくない	なやみがない	無回答
全体	1.9	2.6	4.5	—	0.6	1.9	—	1.9	9.0	1.9
9歳（4年生）	2.1	6.4	6.4	—	2.1	—	—	—	10.6	2.1
10歳（5年生）	—	—	2.1	—	—	2.1	—	2.1	8.5	2.1
11歳（6年生）	3.3	1.6	4.9	—	—	3.3	—	3.3	8.2	1.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	お父さん	お母さん	きょうだい	おじいさんやおばあさん	友だち	学校の先生	保健室の先生、 スクールカウンセラー	塾や習い事の先生	児童館の職員
全 体	155	46.5	74.8	27.7	21.3	58.7	34.2	16.8	7.1	2.6
中央値の1 / 2未満	1	—	100.0	—	100.0	—	100.0	100.0	—	—
中央値の1 / 2以上中央値未満	8	25.0	62.5	12.5	25.0	50.0	25.0	12.5	—	—
中央値以上	128	50.0	75.8	26.6	21.1	61.7	37.5	17.2	8.6	3.1

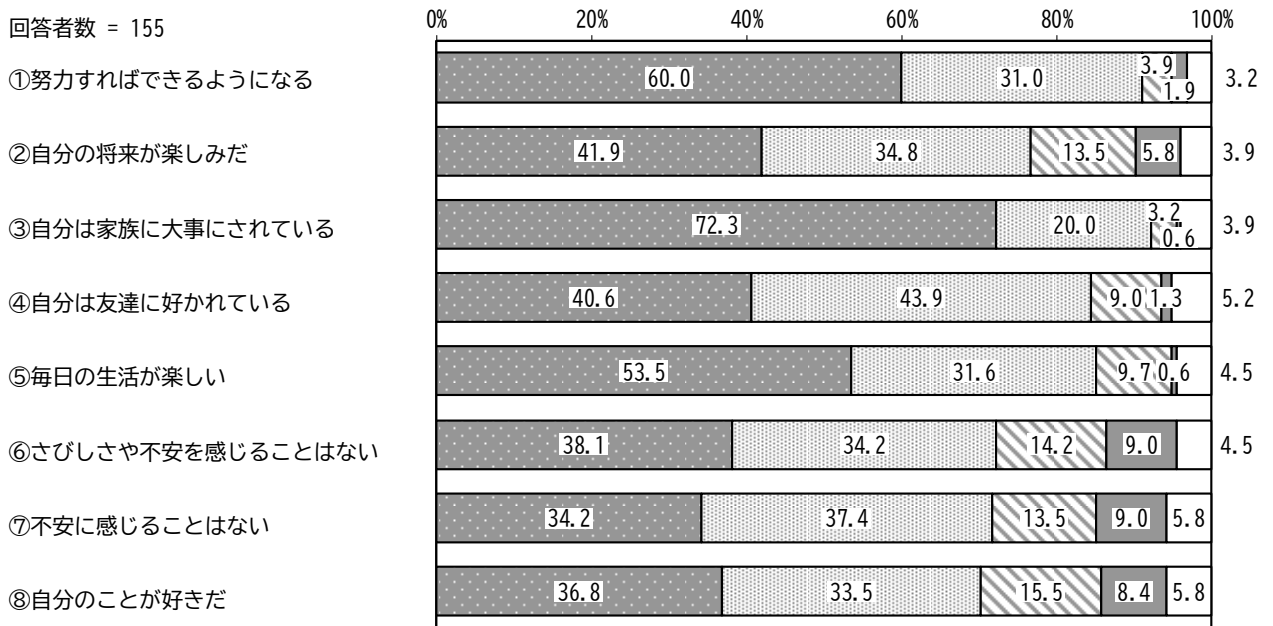
区分	学童クラブの指導員	ふっさつ子の広場の指導員	部活動やクラブ活動などの先生・コーチ	インターネットや携帯電話で知り合った人	子ども家庭支援センター	その他	相談できる人がいない	だれにも相談したくない	なやみがない	無回答
全 体	1.9	2.6	4.5	—	0.6	1.9	—	1.9	9.0	1.9
中央値の1 / 2未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中央値の1 / 2以上中央値未満	—	—	—	—	—	—	—	—	12.5	12.5
中央値以上	2.3	3.1	5.5	—	0.8	1.6	—	2.3	7.8	1.6

問 13 あなたは、日常生活の中で以下の項目をどのように感じていますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

『③自分は家族に大事にされている』で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、『⑦不安に感じることはない』『⑥さびしさや不安を感じることはない』で「そう思わない」の割合が高くなっています。

■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない
 ■ そう思わない □ 無回答

回答者数 = 155

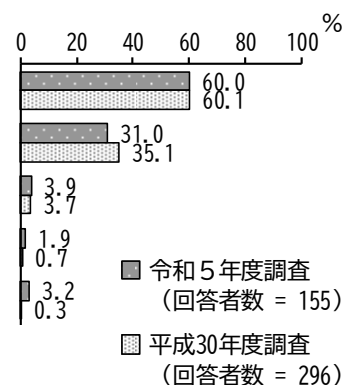


①努力すればできるようになる

「そう思う」の割合が60.0%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が31.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

そう思う
まあそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	60.0	31.0	3.9	1.9	3.2
9歳 (4年生)	47	57.4	31.9	4.3	2.1	4.3
10歳 (5年生)	47	61.7	34.0	4.3	—	—
11歳 (6年生)	61	60.7	27.9	3.3	3.3	4.9

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

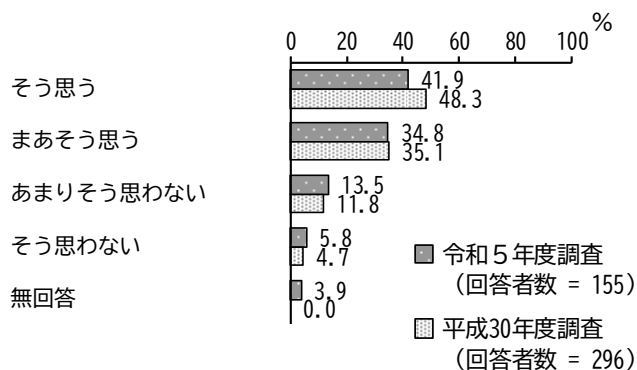
単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	60.0	31.0	3.9	1.9	3.2
中央値の1/2未満	1	100.0	—	—	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	50.0	37.5	12.5	—	—
中央値以上	128	59.4	31.3	3.1	2.3	3.9

②自分の将来が楽しみだ

「そう思う」の割合が41.9%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が34.8%、「あまりそう思わない」の割合が13.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、9歳（4年生）で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	41.9	34.8	13.5	5.8	3.9
9歳（4年生）	47	51.1	27.7	10.6	4.3	6.4
10歳（5年生）	47	44.7	40.4	12.8	2.1	—
11歳（6年生）	61	32.8	36.1	16.4	9.8	4.9

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

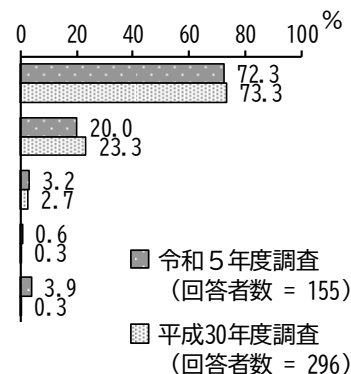
区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	41.9	34.8	13.5	5.8	3.9
中央値の1/2未満	1	—	—	100.0	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	—	75.0	12.5	12.5	—
中央値以上	128	43.8	32.8	13.3	5.5	4.7

③自分は家族に大事にされている

「そう思う」の割合が72.3%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

そう思う
まあそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	72.3	20.0	3.2	0.6	3.9
9歳 (4年生)	47	72.3	17.0	2.1	2.1	6.4
10歳 (5年生)	47	74.5	23.4	2.1	—	—
11歳 (6年生)	61	70.5	19.7	4.9	—	4.9

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

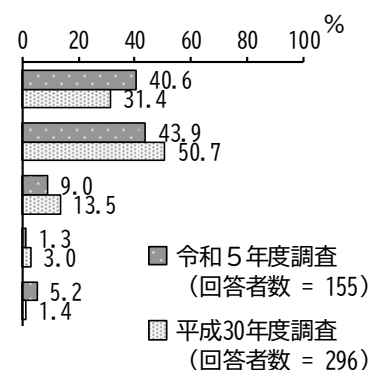
区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	72.3	20.0	3.2	0.6	3.9
中央値の1/2未満	1	100.0	—	—	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	75.0	25.0	—	—	—
中央値以上	128	72.7	18.0	3.9	0.8	4.7

④自分は友達に好かれている

「まあそう思う」の割合が43.9%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が40.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。一方、「まあそう思う」の割合が減少しています。

そう思う
まあそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	40.6	43.9	9.0	1.3	5.2
9歳 (4年生)	47	40.4	44.7	6.4	2.1	6.4
10歳 (5年生)	47	38.3	46.8	12.8	—	2.1
11歳 (6年生)	61	42.6	41.0	8.2	1.6	6.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

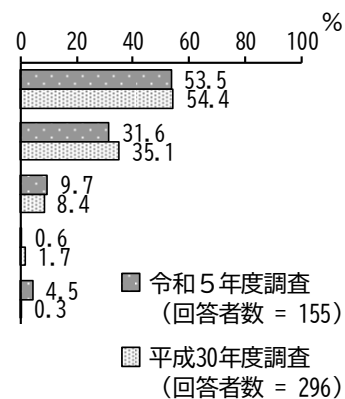
区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	40.6	43.9	9.0	1.3	5.2
中央値の1/2未満	1	—	—	—	100.0	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	62.5	37.5	—	—	—
中央値以上	128	39.8	45.3	9.4	—	5.5

⑤毎日の生活が楽しい

「そう思う」の割合が53.5%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が31.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

そう思う
まあそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	53.5	31.6	9.7	0.6	4.5
9歳 (4年生)	47	57.4	27.7	6.4	2.1	6.4
10歳 (5年生)	47	55.3	36.2	8.5	—	—
11歳 (6年生)	61	49.2	31.1	13.1	—	6.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

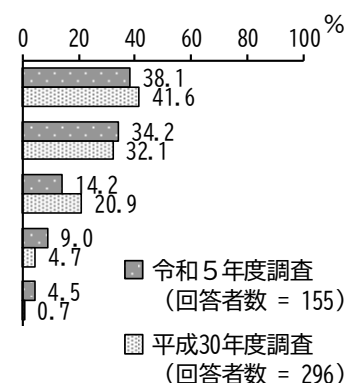
区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	53.5	31.6	9.7	0.6	4.5
中央値の1/2未満	1	—	100.0	—	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	37.5	50.0	—	12.5	—
中央値以上	128	55.5	28.9	10.2	—	5.5

⑥さびしさや不安を感じることはない

「そう思う」の割合が38.1%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が34.2%、「あまりそう思わない」の割合が14.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合が減少しています。

そう思う
まあそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、11歳（6年生）で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	38.1	34.2	14.2	9.0	4.5
9歳（4年生）	47	42.6	21.3	17.0	12.8	6.4
10歳（5年生）	47	42.6	31.9	17.0	8.5	—
11歳（6年生）	61	31.1	45.9	9.8	6.6	6.6

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

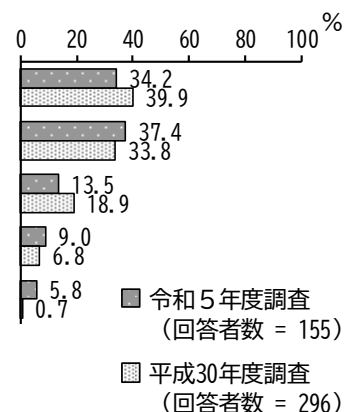
区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	38.1	34.2	14.2	9.0	4.5
中央値の1/2未満	1	—	—	—	100.0	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	—	50.0	25.0	25.0	—
中央値以上	128	39.8	34.4	12.5	7.8	5.5

⑦不安に感じることはない

「まあそう思う」の割合が37.4%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が34.2%、「あまりそう思わない」の割合が13.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「そう思う」「あまりそう思わない」の割合が減少しています。

そう思う
まあそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、9歳（4年生）で「あまりそう思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	34.2	37.4	13.5	9.0	5.8
9歳（4年生）	47	34.0	29.8	19.1	10.6	6.4
10歳（5年生）	47	36.2	40.4	14.9	8.5	—
11歳（6年生）	61	32.8	41.0	8.2	8.2	9.8

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

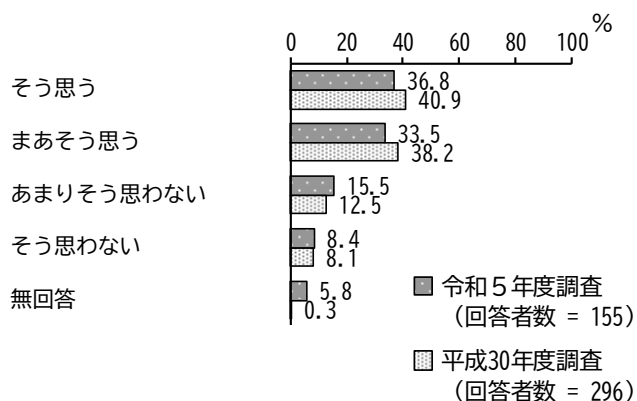
単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	34.2	37.4	13.5	9.0	5.8
中央値の1/2未満	1	100.0	—	—	—	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	25.0	50.0	12.5	12.5	—
中央値以上	128	32.8	38.3	13.3	8.6	7.0

⑧自分のことが好きだ

「そう思う」の割合が36.8%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が33.5%、「あまりそう思わない」の割合が15.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、10歳（5年生）で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	36.8	33.5	15.5	8.4	5.8
9歳（4年生）	47	38.3	25.5	14.9	12.8	8.5
10歳（5年生）	47	40.4	42.6	14.9	2.1	—
11歳（6年生）	61	32.8	32.8	16.4	9.8	8.2

【生活困窮度別】

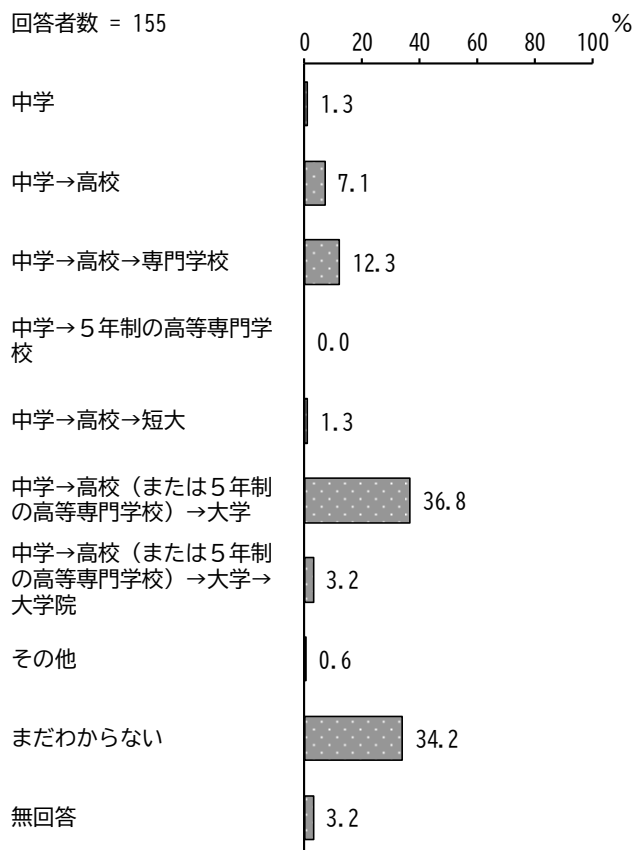
生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	155	36.8	33.5	15.5	8.4	5.8
中央値の1/2未満	1	—	—	—	100.0	—
中央値の1/2以上 中央値未満	8	—	50.0	25.0	25.0	—
中央値以上	128	39.1	32.0	15.6	6.3	7.0

問 14 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学」の割合が36.8%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が34.2%、「中学→高校→専門学校」の割合が12.3%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、10歳（5年生）で「中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	中学	中学↓高校	中学↓高校↓専門学校	中学↓5年制の高等専門学校	中学↓高校↓短大	中学↓高校(または5年制の高等専門学校)↓大学	中学↓高校(または5年制の高等専門学校)↓大学院	その他	まだわからない	無回答
全体	155	1.3	7.1	12.3	—	1.3	36.8	3.2	0.6	34.2	3.2
9歳(4年生)	47	2.1	8.5	4.3	—	—	36.2	4.3	2.1	38.3	4.3
10歳(5年生)	47	—	4.3	17.0	—	—	44.7	2.1	—	31.9	—
11歳(6年生)	61	1.6	8.2	14.8	—	3.3	31.1	3.3	—	32.8	4.9

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学	中学↓高校	中学↓高校↓専門学校	中学↓5年制の高等専門学校	中学↓高校↓短大	等専門学校)↓大学	中学↓高校(または5年制の高等専門学校)↓大学↓大学院	その他	まだわからない	無回答
全 体	155	1.3	7.1	12.3	—	1.3	36.8	3.2	0.6	34.2	3.2
中央値の1/2未満	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	—	—	12.5	—	—	12.5	—	12.5	62.5	—
中央値以上	128	0.8	7.8	13.3	—	1.6	36.7	3.1	—	32.8	3.9

問 14-1 問 14 で 1～4 に○をした人におききします。その理由について、下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「希望する学校や職業があるから」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」の割合が 12.5%となっています。

回答者数 = 32

希望する学校や職業があるから

自分の成績から考えて

親がそう言っているから

兄・姉がそうしているから

まわりの先輩や友達がそうしているから

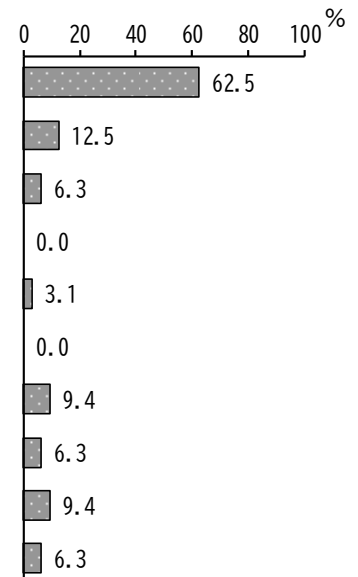
家にお金がないと思うから

早く働く必要があるから

その他

とくに理由はない

無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、10歳（5年生）で「希望する学校や職業があるから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達から	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
全 体	32	62.5	12.5	6.3	—	3.1	—	9.4	6.3	9.4	6.3
9歳（4年生）	7	57.1	14.3	—	—	—	—	14.3	—	14.3	14.3
10歳（5年生）	10	80.0	10.0	—	—	10.0	—	—	—	—	—
11歳（6年生）	15	53.3	13.3	13.3	—	—	—	13.3	13.3	13.3	6.7

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「希望する学校や職業があるから」の割合が高くなっています。

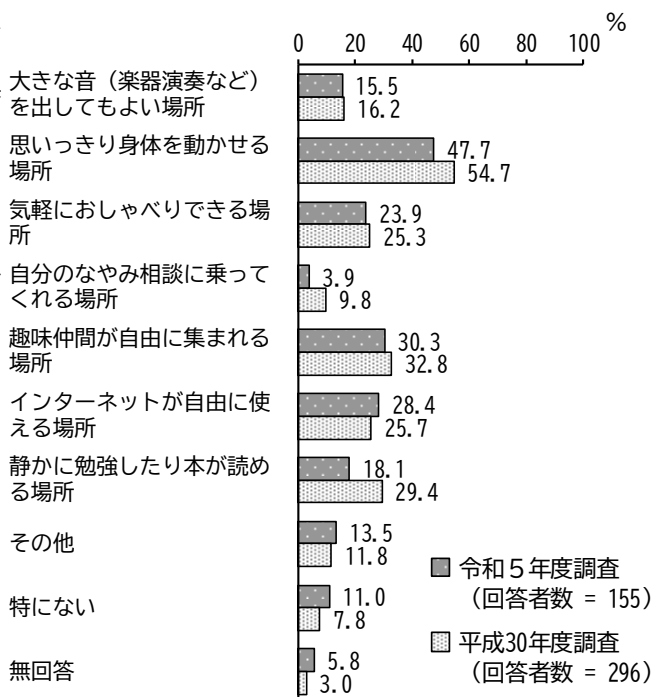
単位：％

区分	回答者数(件)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達から	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
全 体	32	62.5	12.5	6.3	—	3.1	—	9.4	6.3	9.4	6.3
中央値の1/2未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	1	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
中央値以上	28	67.9	10.7	3.6	—	3.6	—	10.7	3.6	10.7	7.1

問 15 若者向けにどんな場所がもっと福生市にあればよいと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「思いっきり身体を動かせる場所」の割合が47.7%と最も高く、次いで「趣味仲間が自由に集まれる場所」の割合が30.3%、「インターネットが自由に使える場所」の割合が28.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「思いっきり身体を動かせる場所」「自分のなやみ相談に乗ってくれる場所」「静かに勉強したり本が読める場所」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、10歳（5年生）で「趣味仲間が自由に集まれる場所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	大きな音(楽器演奏など)を出してもよい場所	思いっきり身体を動かせる場所	気軽におしゃべりできる場所	自分のなやみ相談に乗ってくれる場所	趣味仲間が自由に集まれる場所	インターネットが自由に使える場所	静かに勉強したり本が読める場所	その他	特にない	無回答
全体	155	15.5	47.7	23.9	3.9	30.3	28.4	18.1	13.5	11.0	5.8
9歳(4年生)	47	6.4	40.4	12.8	6.4	29.8	21.3	23.4	10.6	19.1	8.5
10歳(5年生)	47	19.1	55.3	31.9	2.1	40.4	25.5	14.9	14.9	8.5	—
11歳(6年生)	61	19.7	47.5	26.2	3.3	23.0	36.1	16.4	14.8	6.6	8.2

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

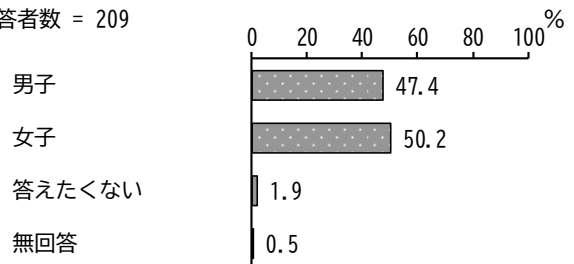
区分	回答者数(件)	大きな音(楽器演奏など)を出してもよい場所	思いっきり身体を動かせる場所	気軽におしゃべりできる場所	自分のなやみ相談に乗ってくれる場所	趣味仲間が自由に集まれる場所	インターネットが自由に使える場所	静かに勉強したり本が読める場所	その他	特にない	無回答
全体	155	15.5	47.7	23.9	3.9	30.3	28.4	18.1	13.5	11.0	5.8
中央値の1/2未満	1	—	—	—	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	—	50.0	25.0	—	12.5	25.0	—	12.5	12.5	—
中央値以上	128	18.0	48.4	24.2	3.9	28.1	28.9	18.8	11.7	11.7	7.0

5 中学生本人

(1) あなたのふだんの家庭や学校での生活について

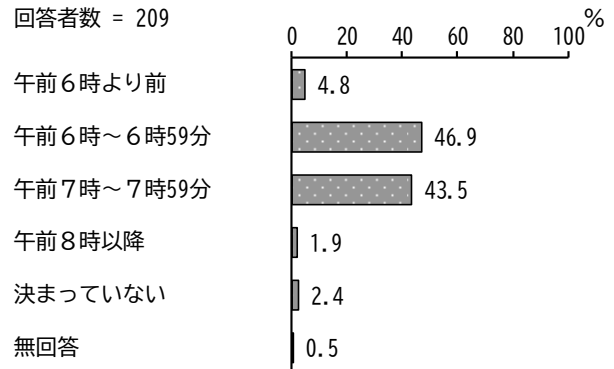
問1 あなたの性別について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「男子」の割合が 47.4%、「女子」の割合が 50.2%となっています。 回答者数 = 209



問2 あなたは学校がある日はだいたい朝何時ごろに起きますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「午前6時～6時59分」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「午前7時～7時59分」の割合が 43.5%となっています。 回答者数 = 209



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「午前6時～6時59分」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	午前6時より前	午前6時～6時59分	午前7時～7時59分	午前8時以降	決まっていない	無回答
全体	209	4.8	46.9	43.5	1.9	2.4	0.5
12歳	69	8.7	42.0	44.9	1.4	2.9	—
13歳	74	5.4	47.3	37.8	4.1	4.1	1.4
14歳	60	—	53.3	46.7	—	—	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	午前6時より前	午前6時～6時59分	午前7時～7時59分	午前8時以降	決まっていない	無回答
全体	209	4.8	46.9	43.5	1.9	2.4	0.5
中央値の1/2未満	2	—	—	50.0	50.0	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	—	37.5	50.0	12.5	—	—
中央値以上	175	5.1	47.4	42.9	1.1	2.9	0.6

問3 あなたは次の日に学校がある日はだいたい何時ごろに寝ますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「午後11時～11時59分」の割合が39.2%と最も高く、次いで「午後10時～10時59分」の割合が30.6%、「午前0時～0時59分」の割合が10.5%となっています。

回答者数 = 209

午後9時より前

午後9時～9時59分

午後10時～10時59分

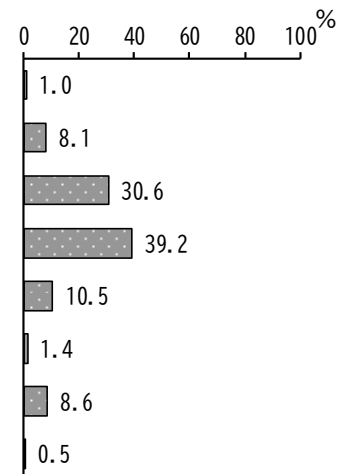
午後11時～11時59分

午前0時～0時59分

午前1時以降

決まっていない

無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、12歳で「午後10時～10時59分」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	午後9時より前	午後9時～9時59分	午後10時～10時59分	午後11時～11時59分	午前0時～0時59分	午前1時以降	決まっていない	無回答
全体	209	1.0	8.1	30.6	39.2	10.5	1.4	8.6	0.5
12歳	69	1.4	11.6	42.0	29.0	7.2	1.4	7.2	—
13歳	74	—	9.5	28.4	47.3	6.8	—	6.8	1.4
14歳	60	1.7	3.3	20.0	43.3	18.3	1.7	11.7	—

【生活困窮別】

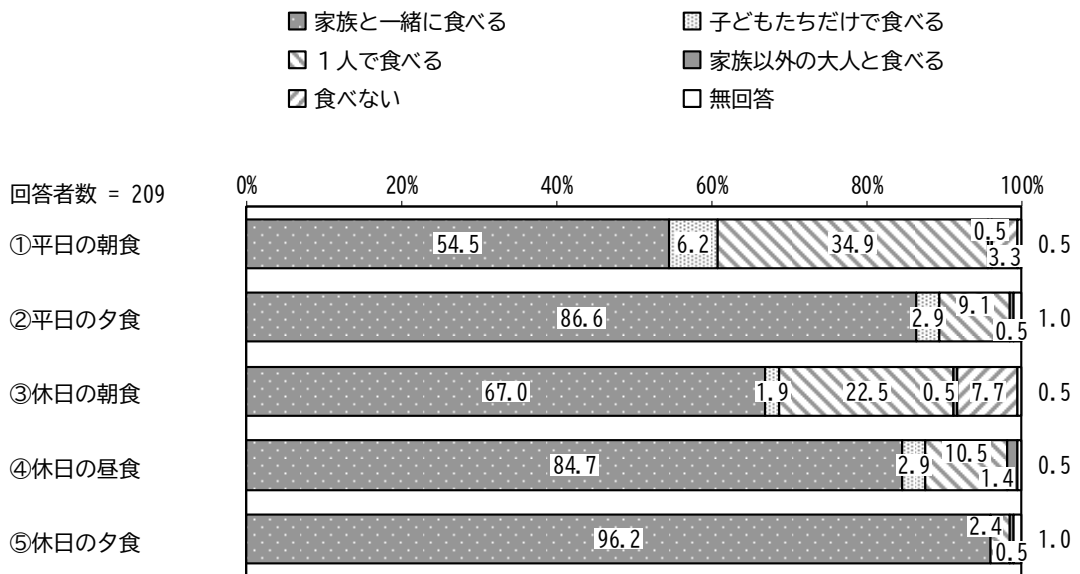
生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	午後9時より前	午後9時～9時59分	午後10時～10時59分	午後11時～11時59分	午前0時～0時59分	午前1時以降	決まっていない	無回答
全 体	209	1.0	8.1	30.6	39.2	10.5	1.4	8.6	0.5
中央値の1/2未満	2	—	—	50.0	—	—	—	50.0	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	—	25.0	25.0	25.0	12.5	—	12.5	—
中央値以上	175	1.1	7.4	31.4	40.6	9.1	1.7	8.0	0.6

問4 あなたは主に誰と一緒に食事をしていますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

『①平日の朝食』で「1人で食べる」の割合が、『⑤休日の夕食』で「家族と一緒に食べる」の割合が高くなっています。

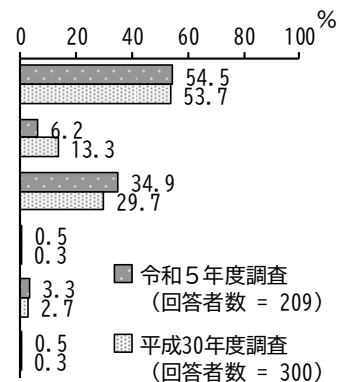


①平日の朝食

「家族と一緒に食べる」の割合が54.5%と最も高く、次いで「1人で食べる」の割合が34.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1人で食べる」の割合が増加しています。一方、「子どもたちだけで食べる」の割合が減少しています。

家族と一緒に食べる
子どもたちだけで食べる
1人で食べる
家族以外の大人と食べる
食べない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「1人で食べる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	209	54.5	6.2	34.9	0.5	3.3	0.5
12歳	69	47.8	8.7	37.7	1.4	4.3	—
13歳	74	62.2	4.1	27.0	—	5.4	1.4
14歳	60	51.7	5.0	43.3	—	—	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

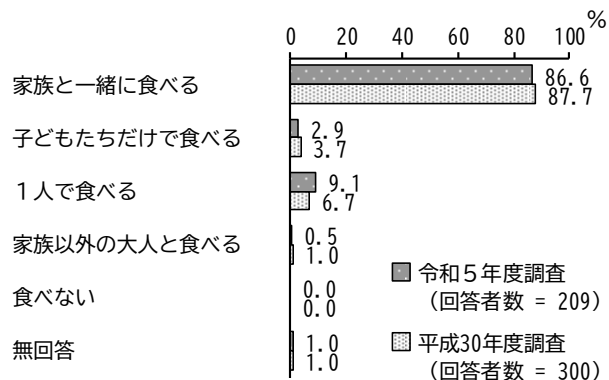
単位：%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	209	54.5	6.2	34.9	0.5	3.3	0.5
中央値の1/2未満	2	50.0	—	—	—	50.0	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	50.0	—	50.0	—	—	—
中央値以上	175	54.3	5.7	35.4	0.6	3.4	0.6

②平日の夕食

「家族と一緒に食べる」の割合が86.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、13歳で「家族と一緒に食べる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	209	86.6	2.9	9.1	0.5	—	1.0
12歳	69	84.1	—	13.0	1.4	—	1.4
13歳	74	93.2	2.7	2.7	—	—	1.4
14歳	60	80.0	6.7	13.3	—	—	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

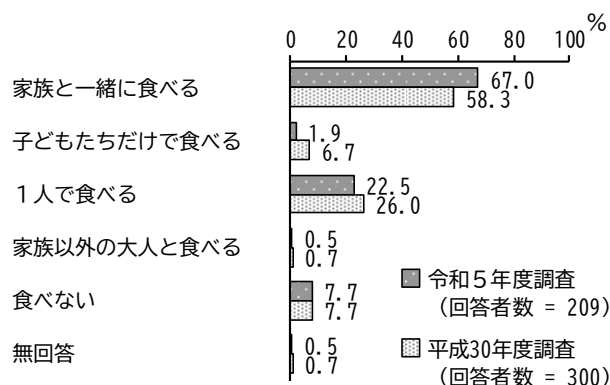
単位：%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	209	86.6	2.9	9.1	0.5	—	1.0
中央値の1/2未満	2	—	—	50.0	—	—	50.0
中央値の1/2以上中央値未満	8	87.5	12.5	—	—	—	—
中央値以上	175	87.4	2.9	8.6	0.6	—	0.6

③休日の朝食

「家族と一緒に食べる」の割合が67.0%と最も高く、次いで「1人で食べる」の割合が22.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「家族と一緒に食べる」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「1人で食べる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	209	67.0	1.9	22.5	0.5	7.7	0.5
12歳	69	68.1	2.9	20.3	1.4	7.2	—
13歳	74	71.6	1.4	20.3	—	5.4	1.4
14歳	60	58.3	1.7	28.3	—	11.7	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

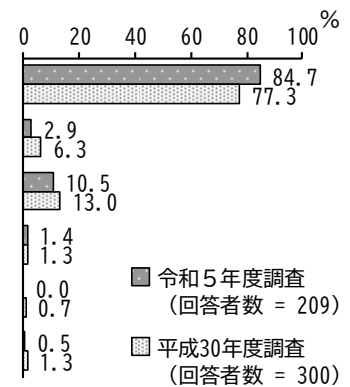
区分	回答者数 (件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	209	67.0	1.9	22.5	0.5	7.7	0.5
中央値の1/2未満	2	—	—	100.0	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	75.0	—	25.0	—	—	—
中央値以上	175	66.9	1.7	22.3	0.6	8.0	0.6

④休日の昼食

「家族と一緒に食べる」の割合が84.7%と最も高く、次いで「1人で食べる」の割合が10.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「家族と一緒に食べる」の割合が増加しています。

家族と一緒に食べる
子どもたちだけで食べる
1人で食べる
家族以外の大人と食べる
食べない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	209	84.7	2.9	10.5	1.4	—	0.5
12歳	69	84.1	2.9	10.1	2.9	—	—
13歳	74	86.5	4.1	8.1	—	—	1.4
14歳	60	85.0	1.7	13.3	—	—	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

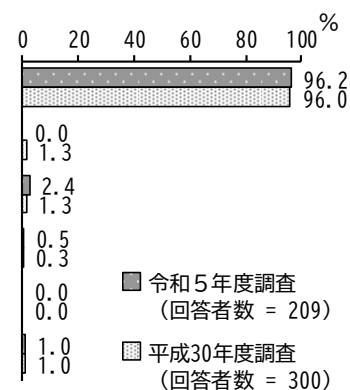
区分	回答者数 (件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	209	84.7	2.9	10.5	1.4	—	0.5
中央値の1/2未満	2	50.0	—	50.0	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	75.0	—	25.0	—	—	—
中央値以上	175	86.9	2.9	9.1	0.6	—	0.6

⑤休日の夕食

「家族と一緒に食べる」の割合が96.2%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

家族と一緒に食べる
 子どもたちだけで食べる
 1人で食べる
 家族以外の大人と食べる
 食べない
 無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	209	96.2	—	2.4	0.5	—	1.0
12歳	69	95.7	—	1.4	1.4	—	1.4
13歳	74	97.3	—	1.4	—	—	1.4
14歳	60	96.7	—	3.3	—	—	—

【生活困窮別】

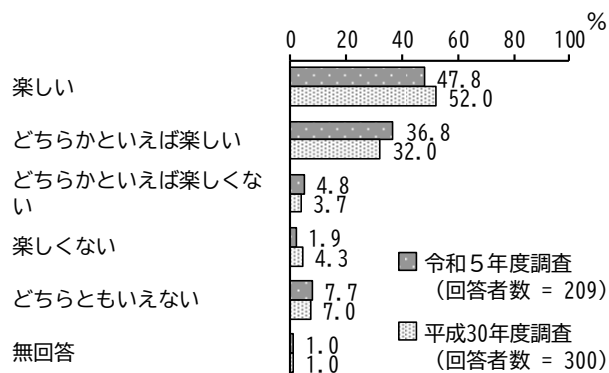
生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に食べる	子どもたちだけで食べる	1人で食べる	家族以外の大人と食べる	食べない	無回答
全体	209	96.2	—	2.4	0.5	—	1.0
中央値の1/2未満	2	—	—	50.0	—	—	50.0
中央値の1/2以上中央値未満	8	87.5	—	12.5	—	—	—
中央値以上	175	97.7	—	1.1	0.6	—	0.6

問5 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しい」の割合が47.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が36.8%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「どちらかといえば楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	楽しい	どちらかといえば楽しい	どちらかといえば楽しくない	楽しくない	どちらともいえない	無回答
全体	209	47.8	36.8	4.8	1.9	7.7	1.0
12歳	69	53.6	30.4	5.8	—	8.7	1.4
13歳	74	44.6	35.1	5.4	4.1	9.5	1.4
14歳	60	45.0	45.0	3.3	1.7	5.0	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

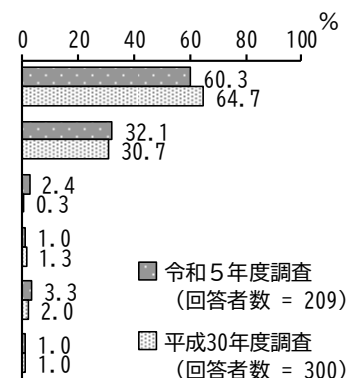
区分	回答者数(件)	楽しい	どちらかといえば楽しい	どちらかといえば楽しくない	楽しくない	どちらともいえない	無回答
全体	209	47.8	36.8	4.8	1.9	7.7	1.0
中央値の1/2未満	2	50.0	50.0	—	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	37.5	25.0	25.0	—	12.5	—
中央値以上	175	46.9	38.3	4.6	2.3	6.9	1.1

問6 あなたは友だちといっしょにいて楽しいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「とても楽しい」の割合が60.3%と最も高く、次いで「まあまあ楽しい」の割合が32.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

とても楽しい
まあまあ楽しい
あまり楽しくない
楽しくない
どちらともいえない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	とても楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	どちらともいえない	無回答
全体	209	60.3	32.1	2.4	1.0	3.3	1.0
12歳	69	62.3	31.9	—	2.9	1.4	1.4
13歳	74	56.8	33.8	4.1	—	4.1	1.4
14歳	60	61.7	30.0	3.3	—	5.0	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

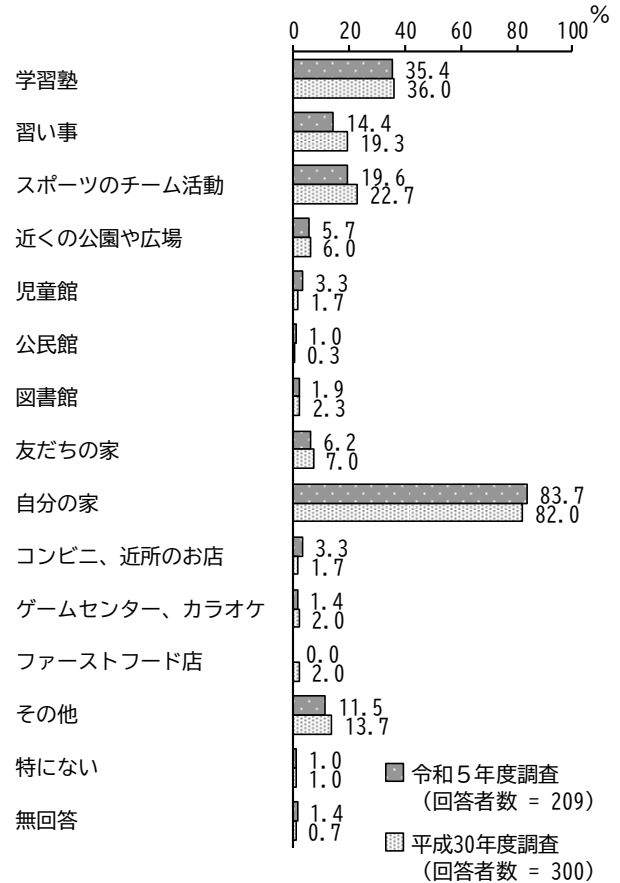
単位：%

区分	回答者数(件)	とても楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	どちらともいえない	無回答
全体	209	60.3	32.1	2.4	1.0	3.3	1.0
中央値の1/2未満	2	—	50.0	—	—	—	50.0
中央値の1/2以上中央値未満	8	50.0	37.5	12.5	—	—	—
中央値以上	175	60.6	32.0	1.7	1.1	4.0	0.6

問7 あなたは放課後どこにいますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「自分の家」の割合が83.7%と最も高く、次いで「学習塾」の割合が35.4%、「スポーツのチーム活動」の割合が19.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「学習塾」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	学習塾	習い事	スポーツのチーム活動	近くの公園や広場	児童館	公民館	図書館	友だちの家	自分の家	コンビニ、近所のお店	ゲームセンター、カラオケ	ファーストフード店	その他	特にない	無回答
全体	209	35.4	14.4	19.6	5.7	3.3	1.0	1.9	6.2	83.7	3.3	1.4	—	11.5	1.0	1.4
12歳	69	18.8	14.5	21.7	4.3	2.9	1.4	1.4	5.8	81.2	7.2	2.9	—	14.5	—	2.9
13歳	74	29.7	13.5	20.3	8.1	5.4	1.4	1.4	9.5	83.8	2.7	1.4	—	13.5	1.4	1.4
14歳	60	60.0	15.0	18.3	5.0	1.7	—	1.7	3.3	86.7	—	—	—	6.7	1.7	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

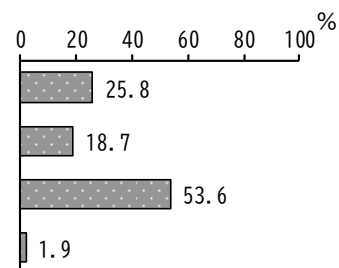
区分	回答者数(件)	学習塾	習い事	スポーツのチーム活動	近くの公園や広場	児童館	公民館	図書館	友だちの家	自分の家	コンビニ、近所のお店	ゲームセンター、カラオケ	ファーストフード店	その他	特にない	無回答
全体	209	35.4	14.4	19.6	5.7	3.3	1.0	1.9	6.2	83.7	3.3	1.4	—	11.5	1.0	1.4
中央値の1/2未満	2	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	50.0	—	25.0	—	—	—	12.5	12.5	75.0	—	—	—	—	—	—
中央値以上	175	35.4	16.6	17.7	6.3	4.0	1.1	1.1	5.7	85.1	4.0	1.7	—	12.0	1.1	1.7

問8 あなたは「ヤングケアラー」ということばを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「知らない」の割合が53.6%と最も高く、次いで「ことばも内容も知っている」の割合が25.8%、「ことばは聞いたことがある」の割合が18.7%となっています。

回答者数 = 209

ことばも内容も知っている
ことばは聞いたことがある
知らない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「ことばも内容も知っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ことばも内容も知っている	ことばは聞いたことがある	知らない	無回答
全体	209	25.8	18.7	53.6	1.9
12歳	69	15.9	14.5	66.7	2.9
13歳	74	21.6	21.6	54.1	2.7
14歳	60	40.0	20.0	40.0	—

【生活困窮別】

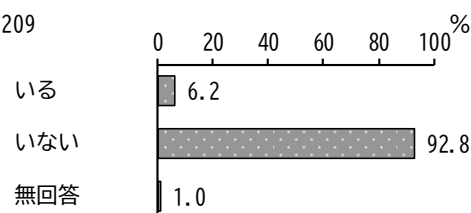
生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	ことばも内容も知っている	ことばは聞いたことがある	知らない	無回答
全体	209	25.8	18.7	53.6	1.9
中央値の1/2未満	2	—	—	100.0	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	25.0	12.5	62.5	—
中央値以上	175	27.4	19.4	51.4	1.7

問9 家族の中にあなたがお世話している人はいますか。(ここで「お世話」とは、大人が行うような家事や家族のお世話を指します。) 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる」の割合が 6.2%、「いない」の割合が 92.8%となっています。 回答者数 = 209



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「いない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	209	6.2	92.8	1.0
12歳	69	8.7	89.9	1.4
13歳	74	6.8	91.9	1.4
14歳	60	1.7	98.3	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

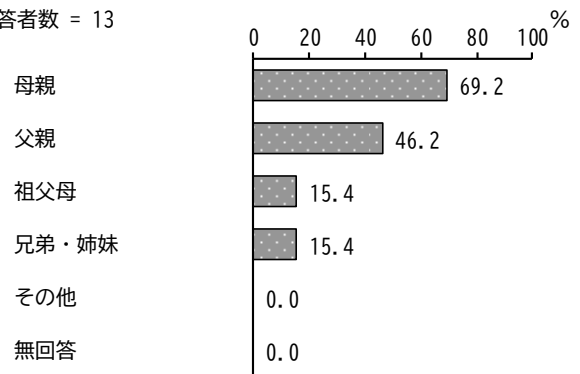
単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	209	6.2	92.8	1.0
中央値の1/2未満	2	50.0	50.0	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	—	100.0	—
中央値以上	175	5.1	93.7	1.1

問9-1 問9で「いる」に○をつけた方にうかがいます。あなたがお世話している人は誰ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「母親」の割合が69.2%と最も高く、次いで「父親」の割合が46.2%、「祖父母」、「兄弟・姉妹」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 13



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	母親	父親	祖父母	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	13	69.2	46.2	15.4	15.4	-	-
12歳	6	83.3	50.0	-	16.7	-	-
13歳	5	60.0	60.0	40.0	-	-	-
14歳	1	100.0	-	-	-	-	-

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

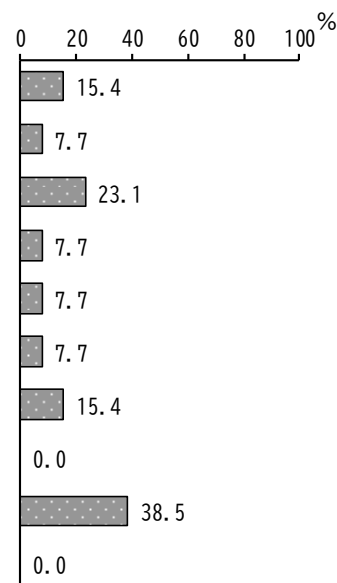
区分	回答者数(件)	母親	父親	祖父母	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	13	69.2	46.2	15.4	15.4	-	-
中央値の1/2未満	1	100.0	100.0	-	-	-	-
中央値の1/2以上中央値未満	-	-	-	-	-	-	-
中央値以上	9	77.8	55.6	22.2	-	-	-

問9-2 問9で「いる」に○をつけた方にうかがいます。お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特にない」の割合が38.5%と最も高く、次いで「宿題など勉強をする時間がない」の割合が23.1%、「学校を休んでしまう」、「自分の時間が取れない」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 13

- 学校を休んでしまう
- 遅刻や早退をしてしまう
- 宿題など勉強をする時間がない
- 眠る時間が足りない
- 友だちと遊ぶことができない
- 習い事ができない
- 自分の時間が取れない
- その他
- 特にない
- 無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	学校を休んでしま	う遅刻や早退をしてしま	宿題など勉強をする時間がない	い眠る時間が足りない	友だちと遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
全体	13	15.4	7.7	23.1	7.7	7.7	7.7	15.4	-	38.5	-
12歳	6	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	33.3	-
13歳	5	-	-	20.0	-	-	-	40.0	-	60.0	-
14歳	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

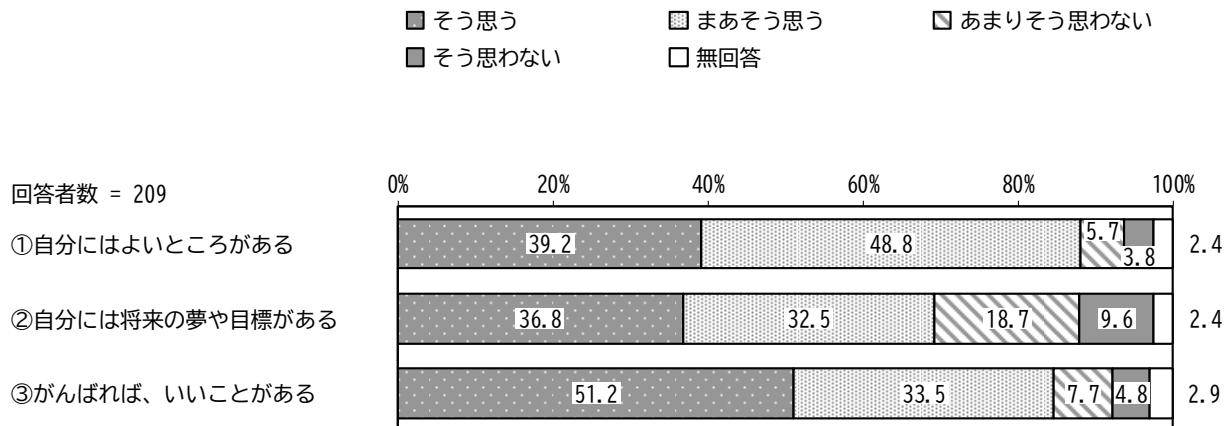
単位：%

区分	回答者数(件)	学校を休んでしま	う遅刻や早退をしてしま	宿題など勉強をする時間がない	い眠る時間が足りない	友だちと遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
全体	13	15.4	7.7	23.1	7.7	7.7	7.7	15.4	-	38.5	-
中央値の1/2未満	1	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
中央値の1/2以上中央値未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中央値以上	9	11.1	11.1	11.1	-	-	11.1	22.2	-	44.4	-

(2) あなたの考えについて

問10 あなたは、自分のことについてどう思いますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

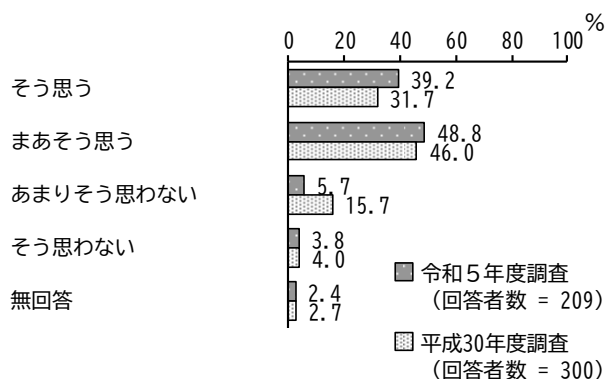
『③がんばれば、いいことがある』で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、『②自分には将来の夢や目標がある』で「そう思わない」の割合が高くなっています。



①自分にはよいところがある

「まあそう思う」の割合が48.8%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が39.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。一方、「あまりそう思わない」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	39.2	48.8	5.7	3.8	2.4
12歳	69	40.6	46.4	7.2	2.9	2.9
13歳	74	33.8	52.7	4.1	5.4	4.1
14歳	60	43.3	46.7	6.7	3.3	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

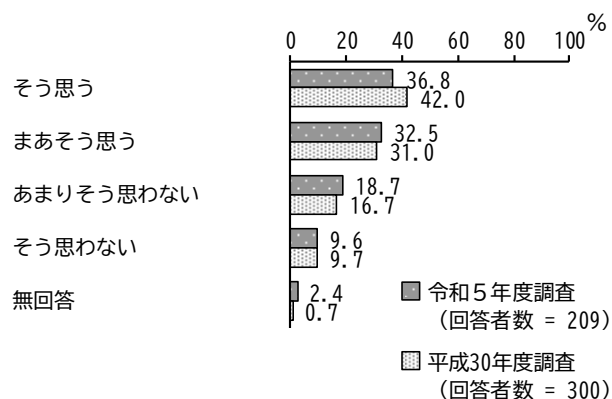
単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	39.2	48.8	5.7	3.8	2.4
中央値の1/2未満	2	100.0	—	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	25.0	50.0	12.5	12.5	—
中央値以上	175	38.9	49.1	5.7	4.0	2.3

②自分には将来の夢や目標がある

「そう思う」の割合が36.8%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が32.5%、「あまりそう思わない」の割合が18.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	36.8	32.5	18.7	9.6	2.4
12歳	69	36.2	31.9	14.5	14.5	2.9
13歳	74	33.8	32.4	23.0	6.8	4.1
14歳	60	40.0	33.3	18.3	8.3	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

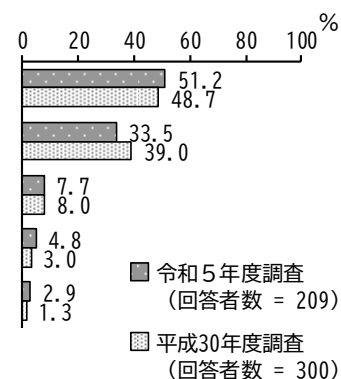
区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	36.8	32.5	18.7	9.6	2.4
中央値の1/2未満	2	50.0	—	50.0	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	50.0	25.0	12.5	12.5	—
中央値以上	175	34.3	32.0	20.6	10.9	2.3

③がんばれば、いいことがある

「そう思う」の割合が51.2%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が33.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「まあそう思う」の割合が減少しています。

そう思う
まあそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、12歳で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	51.2	33.5	7.7	4.8	2.9
12歳	69	42.0	40.6	11.6	2.9	2.9
13歳	74	52.7	33.8	4.1	5.4	4.1
14歳	60	58.3	26.7	6.7	6.7	1.7

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

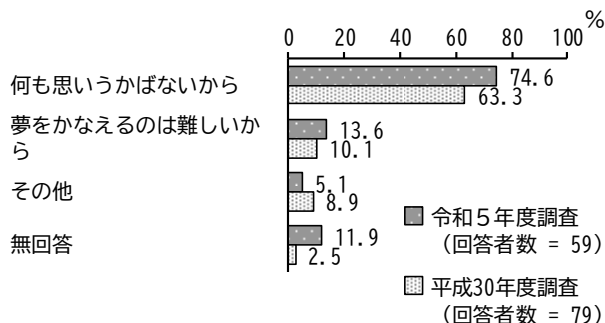
単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	51.2	33.5	7.7	4.8	2.9
中央値の1/2未満	2	—	100.0	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	50.0	12.5	25.0	12.5	—
中央値以上	175	52.6	31.4	8.0	5.1	2.9

問 10-1 前問②で「あまりそう思わない」または「そう思わない」に○をつけた方にかがいます。夢や目標がないのはなぜですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「何も思いうかばないから」の割合が74.6%、
「夢をかなえるのは難しいから」の割合が13.6%
となっています。

平成30年度調査と比較すると、「何も思いうかばないから」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「何も思いうかばないから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	何も思いうかばないから	夢をかなえるのは難しいから	その他	無回答
全体	59	74.6	13.6	5.1	11.9
12歳	20	80.0	20.0	—	10.0
13歳	22	63.6	13.6	13.6	13.6
14歳	16	81.3	6.3	—	12.5

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

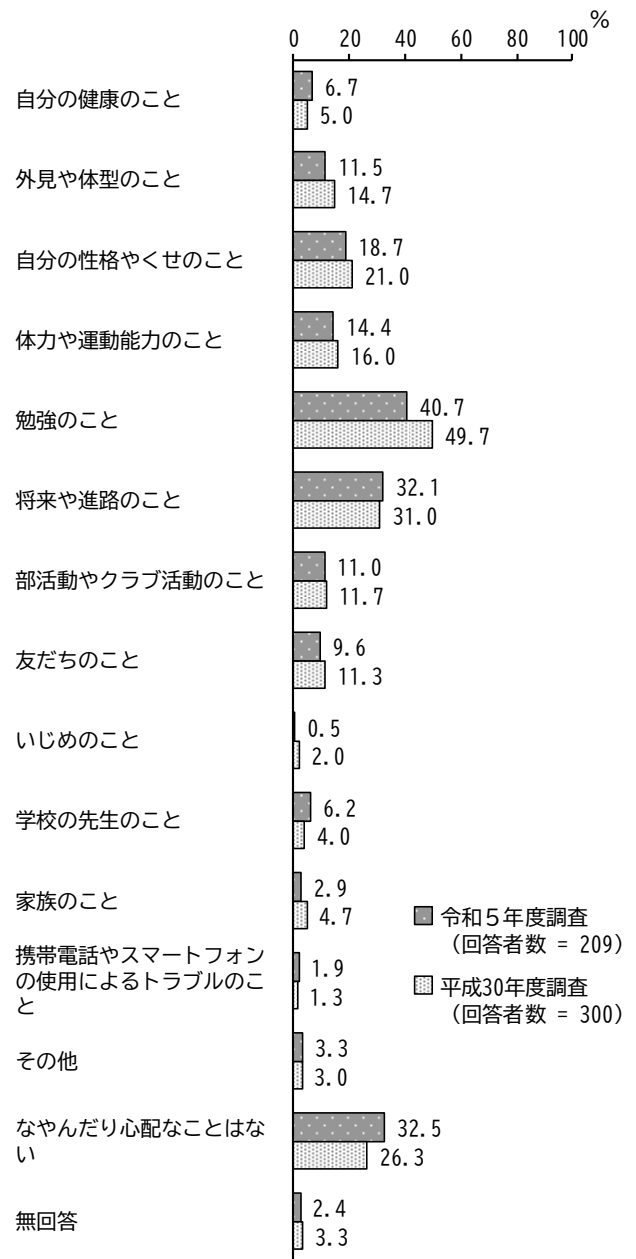
単位：%

区分	回答者数 (件)	何も思いうかばないから	夢をかなえるのは難しいから	その他	無回答
全体	59	74.6	13.6	5.1	11.9
中央値の1/2未満	1	100.0	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	2	100.0	—	—	—
中央値以上	55	72.7	14.5	5.5	12.7

問11 あなたには、今なやんでいることや心配なこと、こまっていること、相談したいと思っ

「勉強のこと」の割合が40.7%と最も高く、次いで「なやんだり心配なことはない」の割合が32.5%、「将来や進路のこと」の割合が32.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「なやんだり心配なことはない」の割合が増加しています。一方、「勉強のこと」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、12歳で「なやんだり心配なことはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分の健康のこと	外見や体型のこと	自分の性格やくせのこと	体力や運動能力のこと	勉強のこと	将来や進路のこと	部活動やクラブ活動のこと	友だちのこと	いじめのこと	学校の先生のこと	家族のこと	携帯電話やスマートフォン 使用によるトラブルのこと	その他	なやんだり心配なことはない	無回答
全体	209	6.7	11.5	18.7	14.4	40.7	32.1	11.0	9.6	0.5	6.2	2.9	1.9	3.3	32.5	2.4
12歳	69	7.2	5.8	17.4	15.9	40.6	21.7	15.9	7.2	—	2.9	2.9	2.9	1.4	40.6	1.4
13歳	74	5.4	16.2	20.3	18.9	37.8	37.8	13.5	13.5	1.4	8.1	4.1	1.4	5.4	24.3	4.1
14歳	60	6.7	13.3	20.0	8.3	43.3	35.0	3.3	8.3	—	5.0	1.7	1.7	3.3	35.0	1.7

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

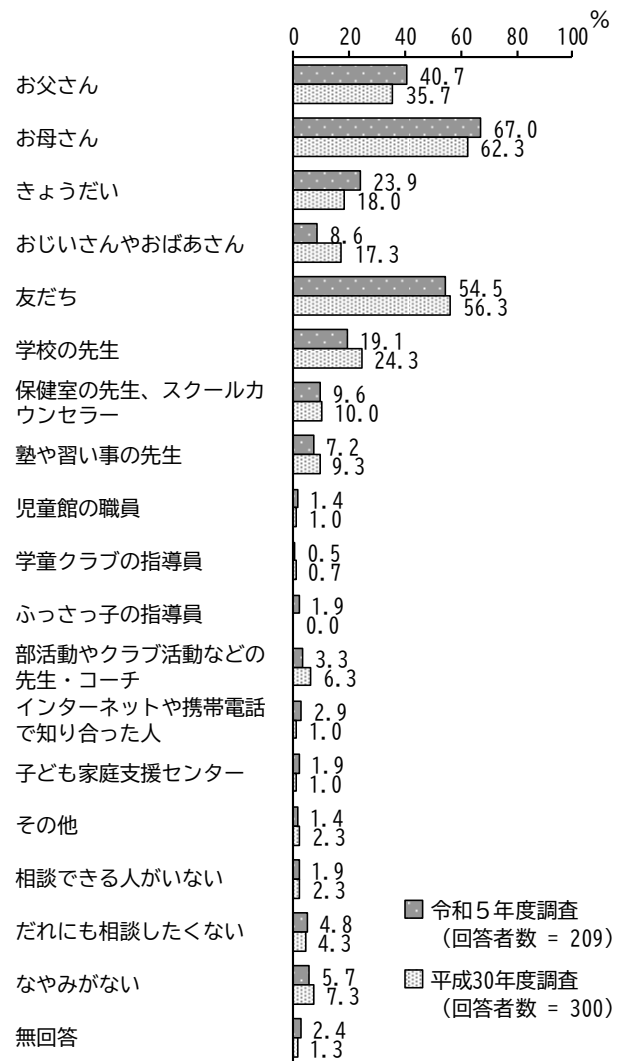
単位：%

区分	回答者数(件)	自分の健康のこと	外見や体型のこと	自分の性格やくせのこと	体力や運動能力のこと	勉強のこと	将来や進路のこと	部活動やクラブ活動のこと	友だちのこと	いじめのこと	学校の先生のこと	家族のこと	携帯電話やスマートフォン 使用によるトラブルのこと	その他	なやんだり心配なことはない	無回答
全体	209	6.7	11.5	18.7	14.4	40.7	32.1	11.0	9.6	0.5	6.2	2.9	1.9	3.3	32.5	2.4
中央値の 1/2 未満	2	—	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—	50.0	—
中央値の 1/2以上中央値 未満	8	12.5	—	25.0	12.5	62.5	50.0	—	12.5	—	—	12.5	—	12.5	12.5	—
中央値 以上	175	6.9	12.6	21.1	15.4	42.3	34.9	12.6	10.9	0.6	6.3	2.9	1.7	2.3	30.9	2.9

問12 心配ごとやなやみがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「お母さん」の割合が67.0%と最も高く、次いで「友だち」の割合が54.5%、「お父さん」の割合が40.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「きょうだい」の割合が増加しています。一方、「おじいさんやおばあさん」「学校の先生」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、13歳で「お父さん」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	お父さん	お母さん	きょうだい	おじいさんやおばあさん	友だち	学校の先生	保健室の先生、スクールカウンセラー	塾や習い事の先生	児童館の職員
全体	209	40.7	67.0	23.9	8.6	54.5	19.1	9.6	7.2	1.4
12歳	69	39.1	66.7	23.2	8.7	53.6	15.9	8.7	5.8	2.9
13歳	74	50.0	71.6	23.0	13.5	54.1	24.3	12.2	9.5	1.4
14歳	60	30.0	60.0	25.0	3.3	55.0	18.3	8.3	6.7	—

区分	児童クラブの指導員	ふっさつ子の指導員	子ども活動やクラブ活動などの先生・コーチ	インターネットや携帯電話で知り合った人	子ども家庭支援センター	その他	相談できる人がいない	だれにも相談したくない	なやみがない	無回答
全体	0.5	1.9	3.3	2.9	1.9	1.4	1.9	4.8	5.7	2.4
12歳	—	1.4	5.8	5.8	1.4	—	2.9	4.3	5.8	2.9
13歳	1.4	4.1	2.7	1.4	4.1	—	2.7	5.4	4.1	4.1
14歳	—	—	1.7	1.7	—	5.0	—	5.0	8.3	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

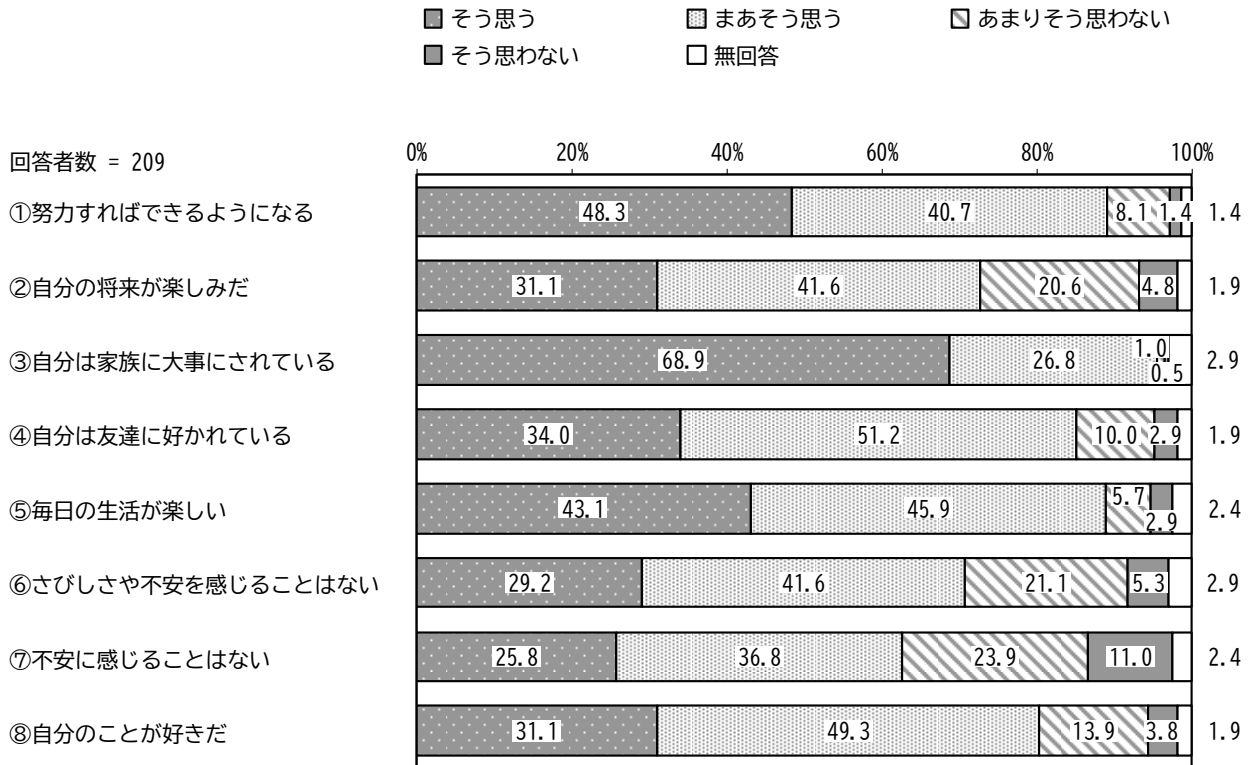
単位：％

区分	回答者数(件)	お父さん	お母さん	きょうだい	おじいさんやおばあさん	友だち	学校の先生	保健室の先生、 カウンセラー	塾や習い事の先生	児童館の職員
全 体	209	40.7	67.0	23.9	8.6	54.5	19.1	9.6	7.2	1.4
中央値の1／2未満	2	50.0	100.0	－	－	－	－	50.0	－	－
中央値の1／2以上中央値未満	8	12.5	50.0	25.0	12.5	37.5	25.0	－	12.5	－
中央値以上	175	43.4	67.4	24.6	8.6	56.6	20.0	10.9	7.4	1.7

区分	学童クラブの指導員	ふっさつ子の指導員	部活動やクラブ活動などの先生・コーチ	インターネットや携帯電話で知り合った人	子ども家庭支援センター	その他	相談できる人がいない	だれにも相談したくない	なやみがない	無回答
全 体	0.5	1.9	3.3	2.9	1.9	1.4	1.9	4.8	5.7	2.4
中央値の1／2未満	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
中央値の1／2以上中央値未満	－	－	12.5	－	－	－	12.5	－	12.5	－
中央値以上	0.6	2.3	3.4	2.9	1.7	1.7	1.1	5.7	5.1	2.3

問13 あなたは、日常生活の中で以下の項目をどのように感じていますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

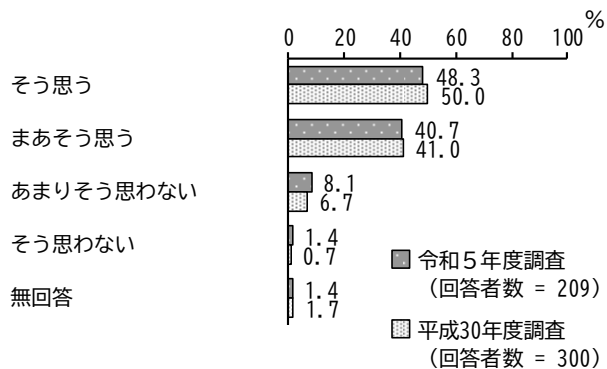
『③自分は家族に大切にされている』で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、『⑦不安に感じることはない』で「そう思わない」の割合が高くなっています。



①努力すればできるようになる

「そう思う」の割合が48.3%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が40.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、13歳で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	48.3	40.7	8.1	1.4	1.4
12歳	69	44.9	40.6	13.0	—	1.4
13歳	74	47.3	45.9	2.7	1.4	2.7
14歳	60	50.0	36.7	10.0	3.3	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

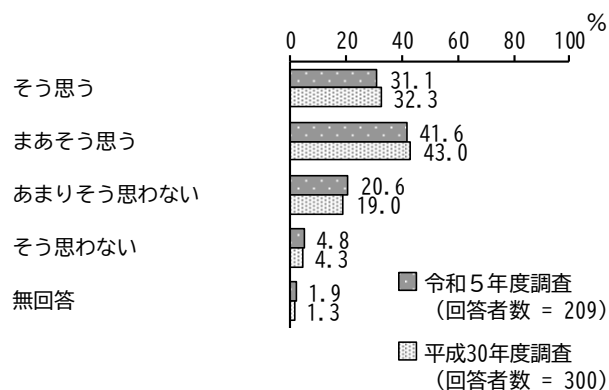
単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	48.3	40.7	8.1	1.4	1.4
中央値の1/2未満	2	100.0	—	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	50.0	50.0	—	—	—
中央値以上	175	47.4	40.6	9.1	1.7	1.1

②自分の将来が楽しみだ

「まあそう思う」の割合が41.6%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が31.1%、「あまりそう思わない」の割合が20.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	31.1	41.6	20.6	4.8	1.9
12歳	69	30.4	33.3	30.4	5.8	—
13歳	74	32.4	41.9	13.5	6.8	5.4
14歳	60	26.7	51.7	20.0	1.7	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

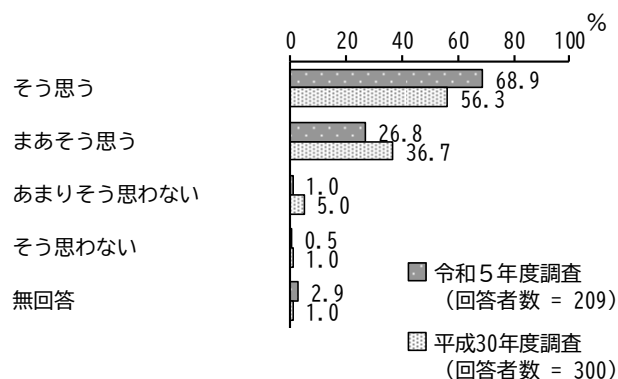
単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	31.1	41.6	20.6	4.8	1.9
中央値の1/2未満	2	—	—	100.0	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	50.0	25.0	25.0	—	—
中央値以上	175	29.1	42.3	21.1	5.7	1.7

③自分は家族に大事にされている

「そう思う」の割合が68.9%と最も高く、次いで「まあそう思う」の割合が26.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。一方、「まあそう思う」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	68.9	26.8	1.0	0.5	2.9
12歳	69	62.3	31.9	1.4	1.4	2.9
13歳	74	68.9	25.7	1.4	—	4.1
14歳	60	76.7	21.7	—	—	1.7

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

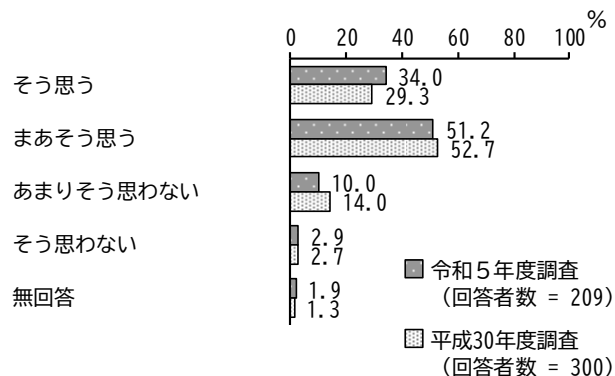
単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	68.9	26.8	1.0	0.5	2.9
中央値の1/2未満	2	50.0	50.0	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	62.5	37.5	—	—	—
中央値以上	175	68.0	28.0	1.1	0.6	2.3

④自分は友達に好かれている

「まあそう思う」の割合が51.2%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が34.0%、「あまりそう思わない」の割合が10.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	34.0	51.2	10.0	2.9	1.9
12歳	69	37.7	50.7	7.2	2.9	1.4
13歳	74	27.0	50.0	13.5	5.4	4.1
14歳	60	35.0	55.0	10.0	—	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

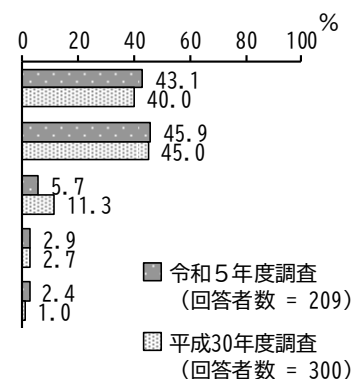
区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	34.0	51.2	10.0	2.9	1.9
中央値の1/2未満	2	—	100.0	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	25.0	50.0	12.5	12.5	—
中央値以上	175	34.9	49.7	11.4	2.9	1.1

⑤毎日の生活が楽しい

「まあそう思う」の割合が45.9%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が43.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合が減少しています。

そう思う
まあそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	43.1	45.9	5.7	2.9	2.4
12歳	69	47.8	34.8	10.1	4.3	2.9
13歳	74	37.8	50.0	4.1	4.1	4.1
14歳	60	41.7	55.0	3.3	—	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	43.1	45.9	5.7	2.9	2.4
中央値の1/2未満	2	—	100.0	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	37.5	25.0	12.5	25.0	—
中央値以上	175	42.3	48.0	5.7	2.3	1.7

⑥さびしさや不安を感じることはない

「まあそう思う」の割合が41.6%と最も高く、

次いで「そう思う」の割合が29.2%、「あまりそ

う思わない」の割合が21.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「まあそう思う」の割合が増加しています。

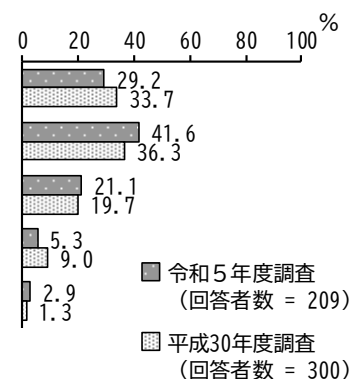
そう思う

まあそう思う

あまりそう思わない

そう思わない

無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「あまりそう思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	29.2	41.6	21.1	5.3	2.9
12歳	69	31.9	42.0	17.4	5.8	2.9
13歳	74	25.7	44.6	20.3	5.4	4.1
14歳	60	25.0	40.0	28.3	5.0	1.7

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

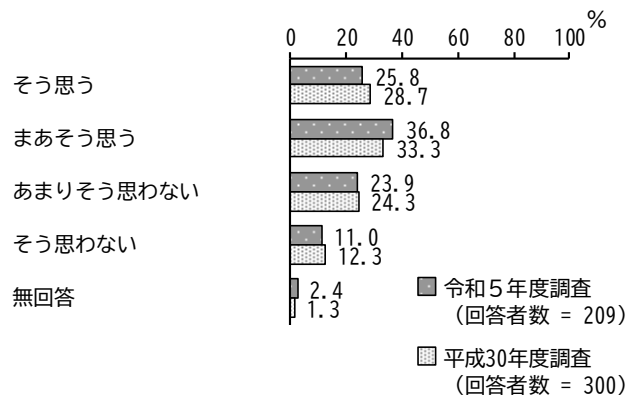
単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	29.2	41.6	21.1	5.3	2.9
中央値の1/2未満	2	-	100.0	-	-	-
中央値の1/2以上中央値未満	8	12.5	25.0	50.0	12.5	-
中央値以上	175	26.3	43.4	22.9	5.1	2.3

⑦不安に感じることはない

「まあそう思う」の割合が36.8%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が25.8%、「あまりそう思わない」の割合が23.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、13歳で「あまりそう思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	25.8	36.8	23.9	11.0	2.4
12歳	69	26.1	43.5	13.0	15.9	1.4
13歳	74	24.3	27.0	33.8	10.8	4.1
14歳	60	25.0	41.7	25.0	6.7	1.7

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

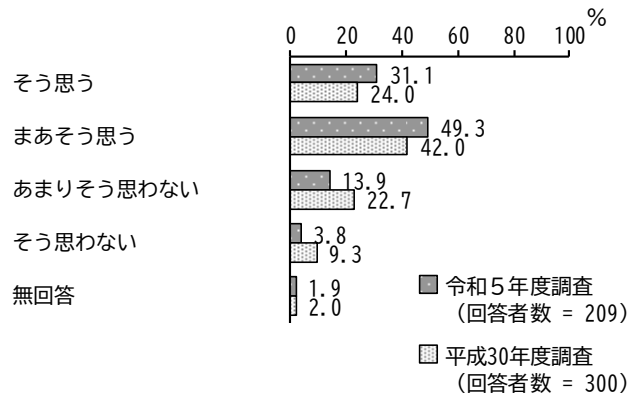
単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	25.8	36.8	23.9	11.0	2.4
中央値の1/2未満	2	50.0	50.0	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	12.5	25.0	37.5	25.0	—
中央値以上	175	24.6	36.0	25.7	11.4	2.3

⑧自分のことが好きだ

「まあそう思う」の割合が49.3%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が31.1%、「あまりそう思わない」の割合が13.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「そう思う」「まあそう思う」の割合が増加しています。一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	31.1	49.3	13.9	3.8	1.9
12歳	69	34.8	43.5	15.9	4.3	1.4
13歳	74	29.7	43.2	18.9	4.1	4.1
14歳	60	25.0	65.0	6.7	3.3	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

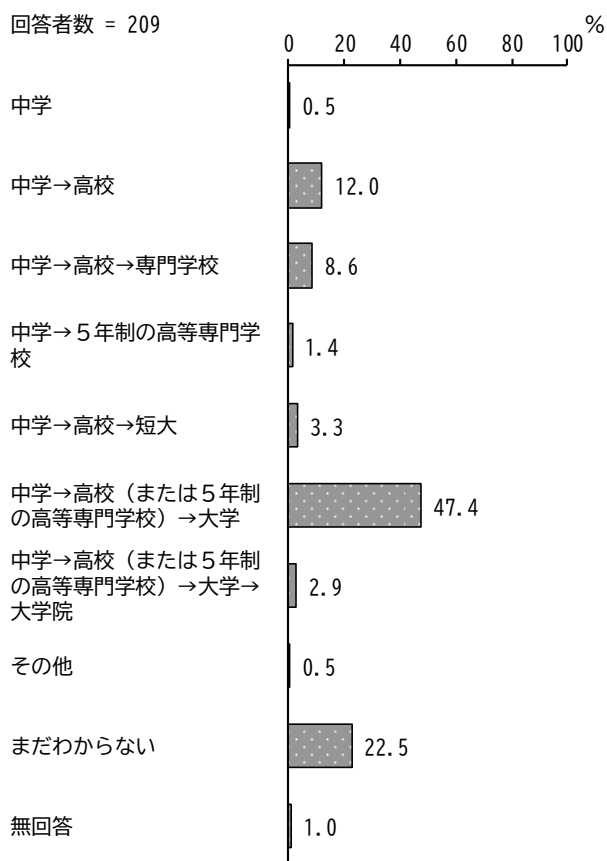
単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	209	31.1	49.3	13.9	3.8	1.9
中央値の1/2未満	2	50.0	50.0	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	25.0	50.0	12.5	12.5	—
中央値以上	175	30.3	50.3	13.7	4.0	1.7

問 14 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学」の割合が47.4%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が22.5%、「中学→高校」の割合が12.0%となっています。

回答者数 = 209



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	中学	中学→高校	中学→高校→専門学校	中学→5年制の高等専門学校	中学→高校→短大	中学→高校(または5年制の高等専門学校)→大学	中学→高校(または5年制の高等専門学校)→大学→大学院	その他	まだわからない	無回答
全体	209	0.5	12.0	8.6	1.4	3.3	47.4	2.9	0.5	22.5	1.0
12歳	69	1.4	15.9	7.2	1.4	4.3	33.3	4.3	—	31.9	—
13歳	74	—	9.5	8.1	2.7	2.7	44.6	1.4	1.4	27.0	2.7
14歳	60	—	11.7	8.3	—	3.3	65.0	3.3	—	8.3	—

【生活困窮別】

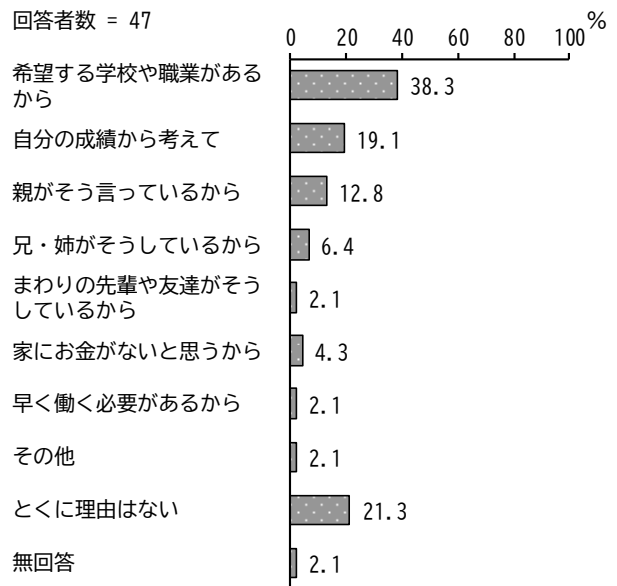
生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	中学	中学 ↓ 高校	校 中学 ↓ 高校 ↓ 専門学 校	専門学 校 中学 ↓ 5年制の高等 専門学校	中学 ↓ 高校 ↓ 短大	校) 5年制の高等 専門学校 ↓ 大学	中学 ↓ 高校(または 5年制の高等 専門学校 ↓ 大学院	中学 ↓ 高校(または 5年制の高等 専門学校	その他	まだ わから ない	無 回答
全 体	209	0.5	12.0	8.6	1.4	3.3	47.4	2.9	0.5	22.5	1.0	
中央値の1/2 未満	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	
中央値の1/2 以上中央値未満	8	-	-	12.5	-	-	50.0	-	-	37.5	-	
中央値以上	175	-	12.0	8.0	1.7	4.0	48.6	2.9	0.6	21.1	1.1	

問 14-1 問 14 で1～4に○をした人におききします。その理由について、下の中
からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「希望する学校や職業があるから」の割合が
38.3%と最も高く、次いで「とくに理由はない」
の割合が21.3%、「自分の成績から考えて」の割
合が19.1%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、13歳で「希望する学校や職業があるから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
全体	47	38.3	19.1	12.8	6.4	2.1	4.3	2.1	2.1	21.3	2.1
12歳	18	27.8	11.1	27.8	5.6	—	—	5.6	—	22.2	5.6
13歳	15	60.0	33.3	—	6.7	6.7	13.3	—	—	6.7	—
14歳	12	25.0	16.7	8.3	—	—	—	—	8.3	41.7	—

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

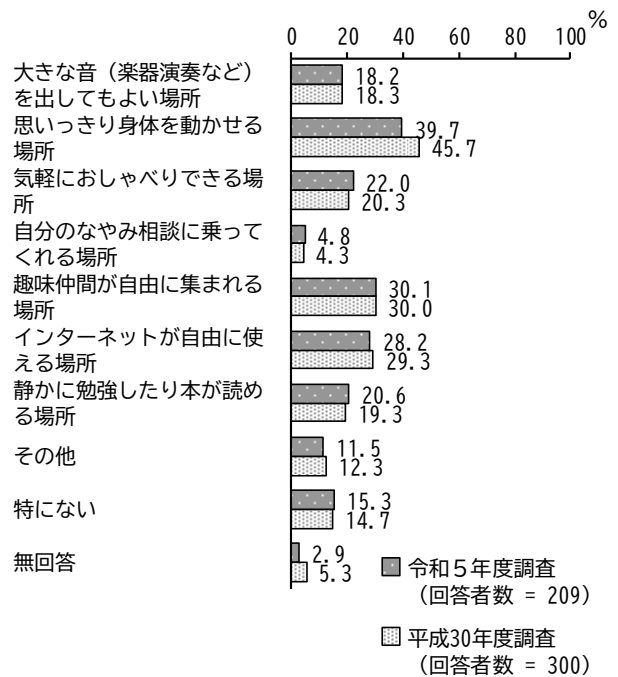
単位：％

区分	回答者数(件)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
全体	47	38.3	19.1	12.8	6.4	2.1	4.3	2.1	2.1	21.3	2.1
中央値の1/2未満	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中央値以上	38	36.8	23.7	15.8	5.3	—	5.3	2.6	2.6	18.4	2.6

問 15 若者向けにどんな場所がもっと福生市にあればよいと思いますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「思いっきり身体を動かせる場所」の割合が39.7%と最も高く、次いで「趣味仲間が自由に集まれる場所」の割合が30.1%、「インターネットが自由に使える場所」の割合が28.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「思いっきり身体を動かせる場所」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「静かに勉強したり本が読める場所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	大きな音(楽器演奏など)を出してもよい場所	思いっきり身体を動かせる場所	気軽にしゃべりできる場所	自分のなやみ相談に乗ってくれる場所	趣味仲間が自由に集まれる場所	インターネットが自由に使える場所	静かに勉強したり本が読める場所	その他	特にない	無回答
全体	209	18.2	39.7	22.0	4.8	30.1	28.2	20.6	11.5	15.3	2.9
12歳	69	20.3	43.5	17.4	1.4	36.2	27.5	18.8	10.1	18.8	1.4
13歳	74	20.3	33.8	24.3	6.8	25.7	36.5	12.2	16.2	13.5	4.1
14歳	60	13.3	40.0	23.3	6.7	28.3	20.0	33.3	6.7	13.3	3.3

【生活困窮別】

生活困窮別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	大きな音(楽器演奏など)を出してもよい場所	思いっきり身体を動かせる場所	気軽にしゃべりできる場所	自分のなやみ相談に乗ってくれる場所	趣味仲間が自由に集まれる場所	インターネットが自由に使える場所	静かに勉強したり本が読める場所	その他	特にない	無回答
全体	209	18.2	39.7	22.0	4.8	30.1	28.2	20.6	11.5	15.3	2.9
中央値の1/2未満	2	50.0	—	50.0	—	—	50.0	—	—	50.0	—
中央値の1/2以上中央値未満	8	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	25.0	—
中央値以上	175	18.3	38.9	21.7	5.1	32.0	28.6	22.9	12.6	13.1	3.4

自由回答

1 就学前保護者

分類回答	件数
1. 子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について	33
2. 市政について	12
3. イベントを増やしてほしい、イベント内容の充実	6
4. 子育て支援に関する情報の充実	7
5. 病児・病後児保育事業の充実	5
6. 地域のつながり、協力等について	8
7. 医療費補助、医療体制の充実	11
8. 児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し	29
9. 子育てに関する相談先の充実	7
10. 保育料見直し	2
11. アンケートについて	7
12. 保護者のリフレッシュ、子育て不安等について	7
13. 健診の充実	1
14. 保育園の預かり時間の延長	4
15. 障害児への支援充実	5
16. 教育内容の充実と見直し	14
17. 地域子育て支援拠点事業の充実	8
18. 保育所の増設	3
19. 子育てと仕事の両立について	8
20. 英語教育の充実	3
21. 一時・短期・夜間・休日・長期休暇中・災害警報時の受け入れ	4
22. その他	2

【分類別の主な意見】

1 子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について

- ・ 大きな室内遊具のある施設が欲しい。維持など大変なのでしょうがイオン等の大型商業施設にどうしても行ってしまいます。児童館ももう少し充実していれば使いやすいなと思います。予算がないのでしょうか何十年も同じ施設・設備で老朽化を感じます。【2歳】
- ・ 小さい子0～5（就学前）の子が屋内で遊べる専用の施設があると、良いと思います。【2歳】

- ・ 牛浜幼稚園の前の歩道を広くしてほしい。交差点の前が駐輪場で、信号が変わる前に曲がろうと、加速する車が多くて危ない（特に朝）です。山王橋通りも歩道が狭く、通学する子どもが危ないです。【3歳】
- ・ 学校合併の計画はやめてほしいです。遠くなることで子の通学の負担が大きくなるのが不安です。また、安全面から交通事故や不審者に狙われる危険性が高まるおそれがあるので、子の通学時間はなるべく少なくしたいです。・学校、公民館、児童館、公園など（の付近含む）での喫煙を条例で禁止にしてほしいです。子供達がよく行く場所であるにもかかわらず歩きタバコしている人がよく見られます。子供達の健康と安全のため市として禁止にしてください。【3歳】
- ・ ボールを使えない公園が増えた野球やサッカーをしてもいいようなネットで囲われた公園がほしい最近、草がボーボーの公園がなくなって治安がよくなったありがとうございます！！公園がきれいな方が老若男女、自然と集まって大人の目も増えるし、子供も安全だと思う団地に住んでシングルマザー、同棲しているひと多すぎる、よく調べた方がいいと思う。手当ばかりもらっていて、本当に不快。【3歳】

2 市政について

- ・ 市から国への指示をムシする所がある。ペナルティ等をつけてほしい。【0歳】
- ・ 福生市の待機児童が少ないのは素晴らしい事であり、誇らしいことだと思う。しかし、先に述べた通り、待機児童でない保留児童にも目を向けるべきであり、そのためにもまずは保育施設及び保育士を確保することが必要ではないかと思慮する。それでもできない場合は認可外保育施設を活用することで、子育て世帯をフォローし、更には労働力を確保し、市の発展に繋がるのではないだろうか。【0歳】
- ・ 私はシングルマザーで子育て中に妊娠し、結婚しないまま下の子を出産しました。2022年の8月下旬にひとり親の手当の関係で市役所に伺った際に、妊娠のことを伝えたら、窓口の50代くらいの女性の方から「墮胎は考えなかったのか」と言われました。シングルマザーは妊娠しちゃいけないのか、見ず知らずの役所の人になぜそんなことを言われなきゃいけないのか、手当をもらっているからと、そんな対応を受けなきゃいけないのか、と惨めな気持ちになりいっそのまま、お腹の子と共に死んだ方がいいのかなと思いました。ご存知かと思いますが、妊娠中はメンタルバランスの起伏がありますし、妊婦じゃなくてもショックを受けます。幸いにも上の子がいるため死ぬことは思い留まりましたが、今後私のような思いをする人が誰ひとり出ないように、シングルマザーだけでなく、市役所の担当される際の当たり方を改善してください。いろんな事情があり、多様性を重んじられるべき市役所という場所で、どうかそんな思いをされる方が出ないように、即急にご対応ください。よろしくお願いします。【0歳】
- ・ 小さい内から保育園に入れないといけないという理由が納得いかない。ほっといてほしい。【1歳】
- ・ 市内で子育て支援を受ける場合、市の都合により管轄・担当が異なることは承知していますが、「このシステムを利用するときは〇〇で手続き、こちらの場合は△△で手続きを」というような同じ『子育て支援』という枠組みに当てはめているのに、その支援を受けるためには市内のあちこちの関係機関へ足を運び、同じような内容の書類を何度も書き、説明するという利用者側の負担が大きい地域だと感じています。他市で子育てをしていた頃と比べ、手続きの負担が支援の利用に対するハードルを高くしているとも思います。小さな子供たちを連れて、あちこち足を運ばないと受けられない支援は、本当の子育て支援と言えるのか疑問に思います。どうか、工夫と強力で利用しやすいシステムに変更されることを願っております。【2歳】

3 イベントを増やしてほしい、イベント内容の充実

- ・ 児童館のイベントが多く、いつも利用していてママ友も出来て良かった。【0歳】
- ・ 児童館が子ども応援館くらいきれいになるともっと行くようになると思います。子ども向け(乳幼児)のイベントの多くは午前中 10時から 12時くらいにあるものが多いので、時間をズラす等、(午後のイベントを増やす等) 日程調整してもらえると参加できるものが増えると思います。【0歳】
- ・ 福生市は、子育てしやすい環境にあると思います。それでも男の私は、子育てへの意識が足りないことで辛く感じる事が多くありました。福生市は、児童館や支援センター、公園など無料の遊び場がたくさんありますし、各施設のイベントも多く開催されています。子どもは二人とも入園できたし、今でも保健センターでは時々相談に乗って頂いています。ただ、それでも子どもと過ごす時間は、とても長く感じるという悩みがありました。特に入園するまでの期間は、いくら遊び場があっても、こちらの利用頻度が高いため、どの施設も飽きてしまうほどでした。私は、子どもとの時間を潰すという使命感だけで外出していた記憶があります。福生市の子育ての環境が充実している上で、更に改善できることがあるとすれば、子育てしている人への意識の変化だと思います。子育てに達成感を得るなど、「情報力で、子育てしている人がポジティブな思考になる」。この意識で私は、見える景色がほんの少し変わったと思います。【2歳】
- ・ 子どもは1人ですが、コロナ禍での妊娠・出産だったため、出産や子育てに係る教室等やイベントは全て実施されませんでした。独学で何となく乳児期を終えてしまったものの、自分のやり方で良かったのか、未だに不安があります。コロナ禍が明け、各事業が再開されはしましたが、それらは当然これから赤ちゃんと接する人のためのもの。この自信のなさ、虚無感を解消することはできないものかと、もし2人目を妊娠したら、今度こそ公に学びたいと思っています。仕事復帰後、児童館等に行くこともなくなり、他の子どもの様子を見たり、親同士で話をする機会がほぼなくなってしまいました。保育園では、その辺りのことはできません。親戚や友人に子どもが多くないため、親子で気軽に集まる場がほぼなく、日々家族だけで過ごしているのが淋しいです。そのような場があれば、知りたいと思います。市民団体とかで良いので。【2歳】
- ・ 各年齢に合わせたイベントをもっと増やしてほしい。プレーパーク(中福生公園)に参加したくても、駐車場がない公園なので参加できない。【4歳】

4 子育て支援に関する情報の充実

- ・ 保育園の園庭開放など、「ふわふわカレンダー」に載っている園とそうでない園があるので載せてほしい。【0歳】
- ・ 車を持っていないので、駅から徒歩で通いやすい位置に子育て支援サービスを受けられる施設が増えると嬉しいです。【0歳】
- ・ どの行政でも同じだと思うのですが、「質の高いサービス」を受けられることが大切だと思っています。以前、子どもの夜泣きの激しさで悩み(長女)子ども家庭支援センターで相談したのですが解決できませんでした。その後3歳児健診時に個別相談で専門(どういう専門の方かは分からないのですがすみません)の方に相談し(夜泣きとは別の相談)その悩みは軽くなりました。1度解決しないと「ここには相談できないな」と思ってしまうし、その後の孤独感も大きくなるので、初めからその道のプロ(悩みを聞いて心を軽くしてくれる)に相談することが大切だと痛感しました。【2歳】

- ・ ”子育て支援”という言葉が出てきて、様々なところから注目されて、とても良いと思います。その反面、子育て支援をする側の人達の負担は増えていると思います。保育所や幼稚園では、低価格で預けられ、職員の人数が少ないなか、あれもこれもと新しい子育て支援の”サービス”が取り入れられ、仕事量が増えているように思います。「誰でも保育園」や「多様他者との関わりの機会・受け入れ」等、親子が園などの関わりを持てる良い機会だと思いますが、受け入れる側の、充実した支援もしっかりと考えていただきたいと思います。実際に子どもと関わるのは、現場の保育士と幼稚園教諭です。低いお給料で責任ある仕事をしています。教育・保育環境で、家庭に目を向けるだけではなく、受け入れる方にもしっかり目を向けていただき、支援してほしいです。それが、子どもに直接良い影響につながるのではないのでしょうか。【3歳】
- ・ 4月から小学校に入学します。学校が終わった後、習い事へ行くために仕事をセーブする必要があります。そのような送迎を代行してくれるサービスがあると良い。(有料でもOK)子供に色々な経験や選択肢を与えてあげたいがそのためには費用がかかる。なのに仕事をセーブしないといけない矛盾が嫌です。【5歳】

5 病児・病後児保育事業の充実

- ・ 福生市は子育て支援がすでに充実していると思いますが、先にも述べたように昭島寄りの熊川地域は子ども支援の施設が遠く不便さを感じています。病児保育や保健センター、市役所への用事も行くのに毎回遠くて大変なので、市の端の方の熊川地域にもそういった施設を設置していただき、なるべく事務的手続きもオンラインなど手軽に済ませられて負担が少ない方法だととても助かります。これからも福生市の発展を応援しています。【0歳】
- ・ 病気のときにいつもの保育園に併設の病児育児ができる施設があるとありがたい。病気で慣れていないところに預けるのはかわいそうだと思ってしまうので、もしそういうところができたら利用したい。習い事もいつかはさせたいと思いますが、仕事の時間を考えるとピッタリ送りにいくのができないので、保育園に専門の講師がきてくれて習い事をできたらすごく嬉しい。子育ての相談を自分で予約するのは迷ってしまうので、定期的に(半年に1回とか)訪問サポートなどがあるとありがたい。あと、これはこの質問に関係ないかもしれませんが、不妊治療が保険適用になっているけど、まだやはり負担が大きい。市でもサポートしてくれ、金額が安ければあと1~2人くらいは産みたい。出産費用も病院によるけど、1人目のときにいろいろ制度を利用したけど手出しで30万以上かかったのでそこも抑えられたら助かる。福生は国際色豊かな町なので、インターナショナルスクールやサタデースクールなど短時間でもいいので英語で保育してくれる施設が増えて金額も安ければ子どもを通わせたい。物価高騰しているので、おむつやおしりふき、ミルクなどの支援があると家計も助かる。【1歳】
- ・ 病児保育、病後児保育の拡充をお願いします。場所、人員、お金の補助など現在、子供の症状も重くないのに受け入れを断られることもあり、安心して働きません。断られたとき、羽村の病後児保育で受け入れてもらったこともありました。1日当たりの受け入れ人数が多くなれば、安心して仕事に行けます。ぜひ改善をよろしくをお願いします。【2歳】
- ・ 病児保育サービスをもっと充実させてほしい。病児保育所を増やす。また、1日の受入人数を増やしてほしい【3歳】

- よく病児保育室を利用させていただいています。数年前より利用している方が増えているのか予約がとりにくくなったので枠を増やしていただけるととても助かります。共働きをしても物価高等の影響もあり子育てにかかるお金が大変なので他の自治体にもあるような 15 歳までは誰にでも月/5, 000 の支援金や義務教育が終了した時にもらえる一時金等が出てくれるととても嬉しいです。【3歳】

6 地域のつながり、協力等について

- 私は人見知りなので参加型学習や相談室など、簡単には応募出来ません。幸い近辺に助けてくれたり話を聞いてくれる人が何人かいるのでいまはなんとかこなしていますが、そういう人がもっと踏み込みやすい、はいりやすい入り口のなにかがあるといいのかなあと思いました。【0歳】
- 小学生になると1人で登下校するなど目の届かない時間が増えることに不安を覚えます。(来年小学生の子の保護者として)見守りや集団での登下校など安心できる事業を継続していただきたいです。【1歳】
- 子育てサービスや育休制度等は不満がないが、外国で過ごした自分は日本の育児方法や教育に共感できない事が多い。(育児は我慢が多いものと受け入れていて、ストレスなくできる方法論があまりない所など)価値観は人それぞれですし自分は自分と違って気にはしていませんが、福生は外国の方が多いので多国籍な子育てのあり方をシェアし合う機会があってもいいと思います。【1歳】
- 周囲の 20~30 代の女性の話を聞くと、積極的に子どもを産みたいと思っていない人が多くてビックリします。少子化の原因は経済的な理由もあるかもしれませんが、そもそも子育てをマイナスに感じている人が多いからなのではないかと感じています。子どもを産むことが人生にとってマイナスにならない社会、地域であることを強く望みます。そのためには、ママの負担をもっともっと分かりやすく減らしてみんなで子育てできる社会・地域・家庭になってほしいし、子育てをするための手や助けは1本でも多く存在して欲しいと思います。私も2人目が欲しかったですが、1人で精一杯で考えられませんでした。子育てを手伝いたいと思っている中~高年の方(あと保育の仕事に興味のある中~高生など)もいらっしゃるのではないのでしょうか?ファミサポ等も利用していますが、もう少し垣根の低いサービスなどがあつたらいいなと思います。(例えば公民館で子育てを手伝いたい、子どもと遊びたい人と、ちょっと誰かに手伝ってほしい子育て中の方が集える場を作るなど)コロナ禍でとにかく孤独な子育てでした。コロナが終わって、孤独な思いをしている子育て中の方が少しでも減ってくれることを願います。市の取り組みに期待しています。どうぞどうぞよろしくお願い致します。【3歳】

- ・ 小学生の姉がいます。福生第2小学校です。子育てとは関係ないかもしれませんが、PTA、学年委員、支部役員など、親が必ずならなければいけない決まりがあります。シングルマザーも関係なく、夜7時～9時すぎまで月に何度も集まることがあります。両親共働きで、小さい子がいても、集まりに出席せねばならず、連続で休むとクビになるなど、今のご時世に合っていないことをしています。ほとんどの親は、役員などやりたがらず、イヤイヤです。皆仕事もしており、いっぱい、いっぱいな生活をしています。昭島市は、役員がなくなったそうです。となりの市なのに、どうしてこんなに違うのですか？トイレそうじも役員が行うそうです。おかしくないですか？子供がやらないと、トイレをきれいに使う大切さが身につかなくないですか？福生市はとても好きです。夫も私も福生に親はいませんが、友人や保育園がとても好きで、この市に住むことを決めました。学校に訴えても何もしてくれません。市役所の方に言ってどうにかなるのかわかりませんが、切実な願いです。福生第二小学校は親を巻き込みすぎです。親は、みんな本当にまっています。日々時間がない中で、必死に生活をしています。どうか、役員をなくす、もしくは少なくする方向で、アンケートなどをして頂けないでしょうか。福生に住んで、唯一住みにくいと思うことが、上記です。よろしくお願い致します。

【4歳】

7 医療費補助、医療体制の充実

- ・ いいなと思うのは、立川市の中学卒業までの子の医療費免除の制度。今まではマル子で200円かかっていたが、今年度より無料になった（年収によってですが）。子どもが大きくなれば体も強くなり、病院の受診頻度も減ると思うので、就学してからも0円だと有難いなと思う。【0歳】
- ・ 小児科受診する際、予約なしで受診できる医療機関が少ない待ち時間が長くなる傾向にあるので、受診させるのが大変病児保育の数が少ない事前診察などやることが多くて実用的ではない【0歳】
- ・ 市に病児、病後児保育が少なくとても困る。子供が病気の時こそ大変なので、人数制限がありとりあいでなかなか予約できない日がありとても困る。仕事柄なかなか休めない母親も多いと思うのに、なかなかスムーズに仕事に出勤できず立場が悪くなりがち。市内に病児を特に早急に増やすことはできませんか？【1歳】
- ・ インフルエンザワクチンの補助金を出して欲しい。妊娠希望者への麻疹風疹ワクチンの補助金を複数回出して欲しい。一度補助金を利用して接種したが、一度目の妊娠時に麻疹風疹の抗体数値が不完全な事が発覚してもう一度接種する様に言われた。抗体が不完全な事が証明出来ている人には補助金を出して欲しい。保育料を安くして欲しい。歩道を増やして欲しい。東福生駅にエレベーターを付けて欲しい【2歳】
- ・ 家族以外で子育てに親身になって、定期的に相談に乗ってくれる専門的な機関があれば良いと思う。病院などと連携してほしい。【5歳】

8 児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し

- ・ 0歳児の母です。支援にオムツ、ミルクなどあったらうれしいです。【0歳】
- ・ 子供に関することはお金の支援をもう少ししてほしい。少子化と言われても経済面で子供がほしくても産めない。【0歳】
- ・ 経済的な余裕があればある程度の負担も軽減される。お金がないと出かけるとかも友達と遊ぶこともできない。経済的支援をもっと考えてください。【0歳】

- ・ 母子家庭への支援を増やしてほしい。【3歳】
- ・ 東京都が高校の学費を無償化？したようですが、全国的にやるべきかと思います。大学に関しては必要な方のみでの支援に留めるべきと考えます。それよりも第一子が無理なく育てられれば、第二子第三子も育てても良いかなと少しは考えるかもしれません。【5歳】

9 子育てに関する相談先の充実

- ・ 子育てをされていて、“今助けてほしい！！”と思ったその瞬間に連絡をしてすぐに必要な支援が受けられる（例えば、1時間～数時間だけ子どもを見てくれたり、話を直接聞いてくれたり、ご飯を作ってくれたり等）みたいな実母が近くに居てくれたら頼めそうなことがありがたいと思うことが多い→上記のことを全て支援するとなったら難しいよな・・・とも考えつつ、日中一人で子どもを見ているお母さんたちは本当にすごい！！ですね。以前はフルタイムで仕事をしていましたが、子どもの体調や療育等への通院もあり今はパートで仕事をしていますが、もっと働きたい！という気持ちもあり子育てをしながら働くのって本当に大変だなと思います。子どもが大人になった時のことを考えると先が不安です。【1歳】
- ・ 共働きしていると毎日忙しく過ごしているため周りの知り合いができず、子供が小学生以降になったときの情報を知る機会がありません。今度の家庭と両立のしかたの方針を決められずに困っているのですが、こういったことをどこに相談すべきか、どのように情報を得れば良いのか知りたいです。【4歳】
- ・ 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること、同じような悩みを持った人同士で知り合えること、このような相手、機会場所は子育てにおいて重要だと思います。【4歳】
- ・ 保育園の呼び出し、登園NGの基準がよくわからない。コロナが落ち着いたのに、流行していた時のままの基準で判断している気がしてならない。熱もないのに咳だけでお迎えや登園NG、ちょっとした事でも病院へ行かないと登園出来ないなど保護者の負担が大き過ぎてこれでは仕事が出来ない。熱や流行性の病気(インフルなど)の時に関わらず、咳や鼻水、発疹などの時の基準を明確に定めて欲しい。保育園は市の方針だからとしか答えないので。結局早退して病院へ行き、何でもなかった事が1年間で何回もあった。熱も保育園からの電話では38.6度なのでお迎えを言われるが、帰宅すると毎回1度以上低い。それなのに熱が下がってから24時間経たないと登園出来ないと言われる。結局1回の呼び出しで、早退と翌日休みという2日セットになる。病児保育も空きが少なく、受診してないと受け入れてもらえないなど使いにくい。【5歳】
- ・ 障害があるかどうか不安になった親が相談、支援を受けられる場所が欲しい。【5歳】

10 保育料見直し

- ・ 1歳児の保育園の入園が全然できないことを改善してほしい。また、2歳児から幼稚園の定期利用がもっとしやすくなってほしい。保育園の利用について第2子以降無償というのはとても助かる。【1歳】
- ・ 幼稚園での預かり保育の料金が高く、長期の休みの時は何のために働いているのか、と思うときがある。また、そのときにお弁当が負担である。給食のサービスを利用できたらありがたい。また、春休み(特に4月)に預かり保育がないのでその間仕事を休まなければいけないのが困る。毎年インフルエンザの予防接種を受けているが補助があったらとても助かる。子どもは2回接種で、我が家のように子どもが4人いるとそれだけでとんでもない出費になる。【3歳】

11 アンケートについて

- ・ 福生は良い町だと思います。保育園等も多いし、行政の方々もやさしくて良い方ばかりです。治安は悪いけど、そこもおもしろくて良い所だと思います。キレイなだけでは子供は育たないので。希望としては『保育料の軽減、もしくは無償化』『子そだてをしている家庭への資金援助』『子供を授かろうとしている人々への援助』が大切かなというか、あったらいいなと思います。さらに、もっとゆたかに子供をそだてるならば「スポーツ」、「アート」、色んなことに力をいれるべきだと思います。もう子供にかかる金ぜんぶ国がどうにかするべきじゃないですかね。自治体がどんなに良くても、国自体がダメだとはがゆいです。あとこのアンケートめちゃくちゃ見づらかったです。多分まちがえいてるところあります。すみません。【0歳】
- ・ アンケートについて申し訳ないですが変な質問があり、答えを選べない時があった。あと分かりにくい。【2歳】
- ・ 今回のアンケートで、知らない事業が多いのはもったいないと思いました。(問 21) とはいえ、家事と育児で日々時間におわれているのでなかなか利用できず残念です。【3歳】
- ・ アンケート調査この回答とてもつらかった。体力的にも内容的にも。頭も使うし福生で今後の育児体制がより良いものになるには、とがんばった。でも無作為にセレクト、本当なのかなと。自分のところに来たこと思った。【4歳】
- ・ このアンケートの長さが苦痛でした。今後選ばれたくないです。手間のかからない方法で民意を汲み取ってほしいです。【4歳】

12 保護者のリフレッシュ、子育て不安等について

- ・ パパやママ等の養育者が重い風邪を引いた時子供のお世話をするのが本当に大変です。祖父母が近くにいれば良いのですが、そうでない方はもっと大変かと思われれます。そういった養育者が風邪や感染症（ex、インフル、ノロetc）になったときに子供をみてもらえる支援があったらいいなと思います。【0歳】
- ・ 現在第2子を妊娠中、専業主婦です。出産時や緊急入院時の第1子の預け先について不安に思っています。夫は自営業の為、休業すると収入も減ってしまいます。が、長期に預けられる親族も近くにいないため幼稚園の延長保育終了時間までには仕事を切り上げて迎えに行かざるを得ません。自営業者への子育て支援または幼稚園延長保育後の父親が迎えに来られる時間までの預かりサービスなどがあればと思います。【4歳】
- ・ 子育てと家事とフルタイムの勤務で、休む暇もリフレッシュする暇もない生活が続くのは辛い。母親が自分の時間を当たり前に取りれることが絶対に必要だと思う。【5歳】
- ・ ワンオペ育児で誰も頼れない環境の時に、自分も子供達も体調悪く食事や洗濯等困った際にどこに頼れば良いのかわからなかった。(特に感染症の場合)【5歳】
- ・ 保育園通院中、とても助かっています。ただ、土曜日や仕事が休みの日の平日は預けにくい。仕事が休みの平日こそ、自分のために勉強をしたり趣味の時間を過ごしたい。それが母親には許されない空気がある。特にシングルマザーや、祖父母の支援が受けられない母親たちにとってはそういう時間がないだろうから、もう少し気軽に預けられるとよいのかな、と思う。【5歳】

13 健診の充実

- ・ 健診を保健センターで行う事を続けるのであれば健診出来る日数を増やして欲しい。時間も午前中にするなど他の兄妹（小学校、幼稚園の下校時間）に影響がない様にして欲しい。子供によってはふっさっこ広場を嫌がる子もいます。*ふっさっこ広場自体はとても良い制度だと思います。物価高の高騰、光熱費の高騰がとても家計を圧迫しています。他の自治体の様に子供1人にいくらなど対策して欲しい。【1歳】

14 保育園の預かり時間の延長

- ・ 保育園を利用していますが、(土)に関して保育園側のスタッフ不足により”休ませてほしい”または”仕事が終わる次第のお迎え”を強要されたことがあり、通常保育を受けて良い許可を受けているにも関わらず保育園の都合で利用出来ないのはおかしいと思います。今は会社に理由を伝えて(上記のこと)シフトを変えてもらい(土)は利用していません。とても不快に思いました。また、働いているから保育園を利用しているので祝日や(日)も利用出来るようにして欲しい(どの保育園も)。祝日のたびに休まないといけないので保育園を利用している意味がないと感じています。【0歳】
- ・ 保育園入園の申し込みの時、同居の人はポイント低いけれど福生市内に祖父母が住んでいる人はポイントが変わらないことがイヤでした。市内に祖父母いれば送迎を頼んでいる家庭もあるのに、近くに祖父母がいない人達は各家庭でがんばっているのにとよく近くに助けてもらえる祖父母がいないママさんと昔話していました。【3歳】
- ・ 保育所に第二希望に4月入園し、慣れたところで5月に第一希望に転園しました転園できありがたかったのですが、1ヶ月でまた慣らし保育があり、持ち物の準備、面談があり、復帰したばかりで仕事の調整が大変でした。3月に第一希望に空きが出た時点で園の変更ができていれば、二つの園にとっても、子どもにとっても良かったのにと今でも思います。育休期間と仕事復帰後の慣らし保育は親も子ども大変さが違います。保育の担当の方のお電話も事務的でこちらに寄り添った対応ではなく、転園を素直に喜べるものではありませんでした。それが今でも残念に感じています。【3歳】
- ・ 義務教育期間中は希望すれば、学童、保育園に入れる制度にして欲しい。要件に柔軟性をもたせて欲しい。【5歳】

15 障害児への支援充実

- ・ 発達に凹凸がある子なので、他の子とまじって遊ばせるのに少し不安や心配を感じています。昭島市では、そういった子や保護者の為に、月に1度、発達に凹凸がある0~6歳の保護者が集まり、情報交換や育児相談ができる場があります。(子供は参加しても可。参加する場合は読み聞かせを聞いたり、自由に遊んだりできます)療育目的ではなく、あくまで親が、人目を気にすることなく子供を遊ばせたり、普段人に相談しにくい事を相談しあったりする場で、居心地が良いです。同じような悩みを持つ、ママ友も何人かいるので、福生市もそういった発達が心配な子の為のサポートが手厚いと、とても嬉しいです。【1歳】
- ・ 成長発達支援が充実していると良いなと思います。【2歳】

- ・ 長男の療育にあたり、民間、公的共に市外の施設に通っています。通行受給証は発行してもらっていますが、市内にも療育施設が充実していると、市民としては非常に安心できます。福生市でお子様を療育に通わせている方は同じように思っている方が多いと思います。ご検討宜しく願いいたします（パパ）。まずは、この様な子供、子育てアンケートに参加させて頂けた事を心より感謝致します。このアンケートを集計されますます福生市は「子育て」に対して具体的な改善提案を進めて行ける行政を目指して下さるのだろうと思うと本当に福生市は素晴らしい市だと思います。長々と書かせて頂きましたが、たまたま私達の子供は発達障害があり普通の定型発達のお子様を持つご家庭とはちょっと少々異なる箇所があると思いますが、子を想う親の気持ちはみな同じだと思ひ参加させて頂きました。この機に今までお話を聞いて頂いたりお世話になったりした方々に心よりお礼申し上げたいと思います。子ども相談。保健センターでのパンダ組の先生方々、また今福祉課でお世話になっております方々いつも本当にありがとうございます。【2歳】
- ・ うちの子は発達障害で愛の手帳を持つ子です。現在、病院療育に通いながら、普段幼稚園に通っています。保健センター、子育て世代包括支援センターの先生方、病院の先生方、そして幼稚園の先生方（加配利用）に暖かく見守られながら成長しています。本当に皆様方にはお世話になっており、感謝しております。沢山の機関で連携しアドバイスや支援を受け、来年春に卒園になります。教育相談の先生にもお世話になり、特別支援学校へ行く準備をしている所です。特に毎日お世話になっている幼稚園の先生方には、子供のペースで暖かく愛情ある保育、教育をして下さっています。入園時より本当に伸びました。今では子供も幼稚園が大好きです。加配も利用したので事業者として大変だったと思います。清岩院幼稚園に行っていますが、分け隔てなく子供の事を第一に考える素晴らしい園です。感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有りがたく思っております。各機関の方々にお礼申し上げます。さて、問題としては、子供の福祉と障害福祉の利用で壁を感じてしまいます。今は私（母親）が家で子供を見て（主人が働らいていて）どうにかこなしていますが、私たちの親も高齢で介護があり幼稚園以外でも預かってもらえる所があると良いなあと思う時もあります。うちは福生でも南の外れ（拝島駅利用）にあり、幼稚園も遠く、私も車を運転しないので、そこが大変でもありました。子供も移動で大変です。長い休みや、緊急の時に利用できる所があると良いのですが、（保育園の一時預りなど）加配を利用していると予算をオーバーするため、使えませんでした。介護理由で保育園を希望しても点数は低く、利用料（2才まで）も高くなってしまいます。民間も高額であったり低年齢だったり様々な理由で合いませんでした。幼稚園も近くの園は素晴らしいけど高度な教育すぎ（うちの子には）、テストはないのにうちだけ面接という所もありました。色々理由はあると思いますが、辛かったです。清岩院さんは「おいでよ」と誘って下さり、経験のある先生がいて助かりました。障害も4才後半で判定されましたが、所得のために利用できず、何もサポートが無い状況です。しかも私達のサポートがあると嬉しい「預かり」や「多動のため一緒に外出についてくれる」サポートは障害の程度にはなく「お金の支援」しかありません。しかも1万円くらいだと、もらえても施設利用料の方が高くなる事があります。保育施設に人を雇いやすいサポート（幼稚園含む）が事業者到手厚くあったりすると加配もつけやすく又24時間人を雇えるようになると他の困った方に助けになるのかなと思う事もあります。障害福祉でも子供利用のデイケアがあると良いのですが。安心して預けられる友人や親せきがいると良いのですが、親せきも遠いです。自治体の枠も超えやすいとなお良いのですが難しいですよ。先生方も家庭を持ち大変だろうし、お金も事業者や自治体も大変だと思いますが、もう少し預かりの利用が優しい条件になると良いなと願っております。障害があると特に安心安全な場所がほしいです。長々すみません！どうぞよろしくお願い致します。これからも支援等、活動、頑張ってください。ちなみに小学校に副籍で利用する時、障害に対しわかる先生（特別支援免許や心理士さん）がいると、利用しやすく、有りがたいです。わがままですすみません。多分、普通の方はびっくりされると思います。【5歳】

- ・ 障害児に対しての環境をもっと充実させて欲しいです。障害児、健常児と分ける事が正しい事なのか将来への不安が募るばかりです。アンケートをとるのであるなら必ず改善して誰もが住み良い地域にして下さい。【5歳】

16 教育内容の充実と見直し

- ・ 福生市の小学校の教育や環境について、情報誌などで情報を得たいです。福生市は東京都の中でも教育レベルが低いという統計を見たことがあり、不安です。中学受験を考えているのですが、進学する小学校が決まる前に引っ越しをするか今後検討します。【0歳】
- ・ 教育、保育環境、子育ての環境や支援は充実していると思います。【1歳】
- ・ 不登校児に対する教育支援体制などは何か特別にあるのでしょうか？【3歳】
- ・ 小学校に入学すると、幼稚園での生活とのギャップに驚きます。様々なバックボーンを持ったお子さんの多い地域ですので、個に沿った支援ができるよう、支援員さんなどのより一層の拡充をお願いしたいと思います。また、公園の老朽化が目立ちます。青梅市や八王子市のようなユニバーサルデザインの遊具をもっと増やしていただけると子育て世代が喜ぶと思います。【4歳】
- ・ 何よりもまず、義務教育期間の学力向上策を練り実施してほしい。西多摩地区は全体的に学力レベルが低いが、都心部までとはいかずとも全国平均くらいには乗るようにならないものかと思う。また、交通量の多い道路も複数あるため、通学時の安全確保などについても対策をしてほしい。自治体が小さく予算が少ない事情は分かるが、教育関連のハード面、ソフト面については西多摩で手を組んで対策していただけないものかと感じている。【5歳】

17 地域子育て支援拠点事業の充実

- ・ 私事ですが中学生の時に指導してくれる大人が居たら違う人生を向えていたかも知れません。中学3年生の1年間に色々な事を自分で決めていた様な気がします。(相談出来る大人が居なかった) 学校に悩みを聞いてもらえる「第三者」が定期的に来校してもらえると良いかと感じます。【0歳】
- ・ 保育士の給与を上げて、人員、質を向上させてほしい。【2歳】
- ・ 保育園でも可能なら開放日などを作って見学だけでなく体験もさせてみたい【1歳】
- ・ 今は幼稚園に通い出して利用頻度は減りましたが、右も左も分からない一人目の育児を、子育て支援センターや児童館の事業、公民館の託児付き講座に支えられて感謝しています。よく聞き、私も感じたのは、最初にそこに足を踏み入れるのに勇気がいったということです。感染症が怖い時期だったのもありますが、SNS やチャットサポートなどあれば、もっと気軽に相談ができるような気がします。【2歳】
- ・ 小学校が遠いので通学がとても心配です。細い道をスピードを出して走る車が多く、あぶない道を使うことになるので。見守りも十分ではないと感じていますが保護者の負担のこともあるので難しいとも思います。また路上禁煙区域が指定されていますが拝島駅は対象外となっています。遊歩道をたばこを吸いながら歩く人が多く、そのまま駅でも吸っている人をよく見かけます。昭島市と一緒に規制してもらえると嬉しいです。【4歳】

18 保育所の増設

- ・ 預り保育のある幼稚園が増えると良いなと思います。また、同じ小学校区に行く子がどの園に多いか参考にしたいため、保育園・幼稚園ともに情報を開示していただけるとありがたいです。【0歳】
- ・ 仕事復帰のため保育園の枠を増やしてほしい。特に駅に近い保育園の駅から遠い保育園だと仕事の場所や内容が限定されてしまう。【1歳】
- ・ たまたまとても良い保育園（東福）でお世話になっています。先生方がすばらしく、感謝しています。子供の成長は「人」が鍵だと思います。周りの大人が子供たちを守り、育てられるような環境が大事だと思います。施設やプログラムではないような気がします。だからといってどうすればいいのか提案はできません。子供はどんな環境にいても大きくなるもので、その時に「やさしい大人」と関わる機会が多くあれば良いな、と思っています。【4歳】

19 子育てと仕事の両立について

- ・ ”自分が動けば色々と得られると思うが、なかなかそこまでの気力がないことが多い。復職することを思うと今後の生活に不安がある。【0歳】”
- ・ 祖父母が子育てに関して協力的ではない。同居しているので、すごく大変。私の子に対する教育方針と祖父母が思っている事が全く違い、子を早く寝かせる事は母親のエゴだ。母が仕事で子の保育園のお迎えを頼むと、祖父母は行ける環境にあるが、子を早くお迎えに行かなくてもいい。と言い怒鳴る。などすべて否定的。祖父母が変わる事はムリなので、やり過ごしているが、結局共働きなので子の体調不良の時は頭を下げてみてもらっている（体調不良のため休ませたいと言っても、まずは大丈夫だよ。なんで休む必要あるのか。と言われ病院へ行きたくても、これは病気ではないから行く必要ないと先ず言われる）。祖父母に、今は時代も変わり子育てのやり方を昔とは違うと、市や国から啓発してほしい。【2歳】
- ・ 教育、保育環境については不満は現時点ではありません。就学前の子を持つ母親として職探しが困難と感じており、その点を市の事業でカバーして（助けて）いただけたらうれしいです。市内、近郊の自治体の「小さな子を持つ母求ム！」（ないかな）という点を積極的にPRしているような企業や自治体の会計年度などの求人をまとめていただき、人事担当と会えるイベントなどがあったら助かる人はたくさんいると思います。福生市だけでの開催が難しいなら、羽村、あきる野辺り（本当は昭島も入れてほしいけど）との共催ならどうでしょう？【2歳】
- ・ 私達の家庭のような周りにすぐに頼れる人が居ない家庭に対しての支援がより多くなるといういいなと思います夫婦共に夜勤があり、フルタイムで働いているので勤務調整が大変で預け先も無いので困っています。お互いに好きな仕事をしてはいますが、近くに見てくれる所が無いので、どちらかが仕事をセーブしなければならないと思っています【4歳】

- ・ 共働きが当たり前の世の中になっているのに、子供を育てる環境が悪いと、仕事を辞めざるを得ないこともある。仕事が優先になれば、出産、育児を検討するのが難しくなる。産んだあとも、祖父母も仕事をしていれば、サポートが難しくなり、一人で育児中の子育てをすることになり、孤独な育児になりかねない。出産後2か月間は、一人で初めての赤ちゃんと対峙していて、生活が一変したこと、体調が思わしくないことで気が狂いそうでした。3か月経って、首がすわってから、一気に外へ飛び出し、児童施設に毎日のようにイベントを探して参加しておりました。他のママたちと関わる場があるのは、とてもいいことだと思います。復職後も、保育園のお迎えがあり、残業はできないので、絶対帰宅しないといけない時間があるのに、仕事は忙しい、家に帰っても忙しい、気が狂いそう！仕事から帰宅して、おなかが空いたと騒ぐ声が外に聞こえたのか、お隣のおばちゃんがおかずを持ってきてくれて、ママのごはんができるまで、これでも食べて待っていてね、と言ってくれたことがあります。共働きのおうちに、宅配ごはんサービスが無料や安価で提供してくれる、クーポンがもらえる、なども助かるのでは。怪我をしたときに、お隣さんが、車で病院につれて行って行ったこともあります。遠くの祖父母はあまりサポートにはなりません。保育園から呼び出しがあり、仕事を急にお休みするのも、大変です。仕事と育児の両立をできるようにしてくれないと、子供はたくさん産めません。育休を取れば昇進も遅れます。祖母が仕事を定年したので、サポートしてくれるようになってから、すごく楽になりました。やはり、父母の他にもう一人、近くにいつでもサポートしてくれる大人の存在は必要です。気軽に依頼ができるヘルパーさんがあるといいと思います。時間に追われるだけではなく、楽しい子育てにしていきたいです。【5歳】

20 英語教育の充実

- ・ 福生市の地域特色を生かしたインターナショナルスクールがあると良いと思います。英語や国際化に力を入れる等、集客につながると思います。【2歳】
- ・ 福生で育ったので福生が好きです。せっかく米軍基地があるので、子育てするなら福生に加え、英語教育なら福生と言える市になって欲しい。福生の英語教育ってすごいよ。塾に行かなくても小学生もペラペラだよ。と噂されるくらいの英語教育に強い市になって欲しい。そうすると、福生に移住を考える人も増えると思います。米軍の主婦で英語を教えられるネイティブもいると思うので、雇用もしやすいのではないかと思います。保育園は徐々に建て直して綺麗な園が増えていますが、小学校はまだまだでしょうか？先日、上の子の入学前健康診断で小に初めて入りましたが、廊下のボコボコ？床の木が隙間だらけなのに衝撃を受けました。教室なども古く、ここに6年間通うのかと思うと残念な気持ちになりました。予算の問題もあるとは思いますが、校舎を綺麗にすることも、子どもの教育に関わることだと思います。引き続き、良い街づくりをよろしくお願いします。【4歳】
- ・ 英語教育について。福生の幼稚園/保育園/認定こども園などでも一定水準の英語教育が導入されても良いと思う(幼児英語位の簡単なものでもよいと思う)小学一年生でも簡単な英語教育があるが、一年生で行う英語授業がかなり低レベルに感じます。土地柄外国籍やハーフの子供達も多いので、もっと積極的に英語に触れ合える機会を作ったりすると良いのでは？と思います。【5歳】

21 一時・短期・夜間・休日・長期休暇中・災害警報時の受け入れ

- ・ 市内に一時預かり専門の託児所などがあれば、とても利用したいと思います。保育園だとやはり、事前の申請や空き状況の確認などで利用しにくいです。それにリフレッシュ目的での利用も良いのかよくわかりません。【0歳】

- ・ 現在保育園に通わせており、3才児から幼稚園に移ろうかと考えておりましたが、年末年始、夏休み等が長く移動をあきらめました。その点もう少し改善して頂けると選択肢が広がるのではと思います。【2歳】
- ・ 現在、長男（8才）が小学校に通っています。保育園まではあまり不便さはそこまで感じていませんでしたが、小学校に入ると、土曜に授業があり、平日に振替休日が年に4-5回あったりして、預け先に困ることが多くなりました。学童ではなく、ふっさっ子の方が経済的負担は軽くすみませんが、冬には16:30に帰宅しなければならず低学年時には不便でした。早く帰れる職場でもなく、1人で留守番させるのもキビしく、でも本人は学童にあまり行きたがらず、仕方なく学童を利用していた形でした。できれば冬でもふっさっ子がせめて17:15くらいまで預けられるとありがたいと思います。また、地域の無料のスポーツ施設の利用などが少なく体操教室なども期間が限られていて、レパトリーも少なく老人用のイベントの方が多く感じます。できれば、親子で参加できる地域のイベントを増やして、交流の場を広げてもらえると、もう少し子育ての相談をしやすくなると思います。【3歳】
- ・ 幼稚園などでは親同士の関わりが希薄でもったいない。長期休暇中のサポートや送迎支援など欲しい。【5歳】

22 その他

- ・ 保育園（健常児が対象の）に、まぎれこんでいる障害児を廃除して欲しい。うちの子供はまだ小さいので、そのような子達と関わる機会はないけれど、今後、保育園年中・長や小学校に上がった時に、そういう子にケガをさせられ、そういう子に、色んな邪魔をされるのが心配です。それと、健常児が対象なのに、障害児が粹を取ってしまい、健常児がはじかれてしまうのも納得いかない。先生も、そういう子にばかりになって、うちの子がおろそかになるのも心配です。私は、自分の子供が、少しでもグレーが匂ったら、すぐに療育するつもりなので、グレー（黒も含めて）を放っておく親、子供と共存したくないです。それと、市役所の子供係に、すごく高圧的な態度の女がいます。名前は分かりませんが、40代くらいの人です。直して下さい。【0歳】
- ・ Please consider to prepare a froiegner friendly Questionnaire next time. I had no time to visit the city hall to get help. I worked hard on translation opp to somehow understand the question and answer them. Thank you! 【不明】

2 小学生保護者

分類回答	件数
1. 子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について	14
2. 教員体制の充実	13
3. 教育内容の充実と見直し	28
4. 市政について	7
5. 登下校時の安全確保	2
6. 児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し	17
7. 子育て支援に関する情報の充実	1
8. 英語教育の充実	3
9. 医療費補助、医療体制の充実	1
10. 障害児への支援充実	4
11. 一時預かり事業の充実	3
12. アンケートについて	4
13. 病児・病後児保育事業の充実	3
14. 給食について	8
15. 地域のつながり、協力等について	5
16. 保護者のリフレッシュ、子育て不安等について	2
17. 校庭の開放	1
18. いじめ問題	2
19. 地域子育て支援拠点事業の充実	6
20. 学童クラブの育成時間の延長	3

【分類別の主な意見】

1 子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について

- ・ 拝島駅周辺的环境整備をしてほしいです。昭島方面は整っているのに、福生地域は微妙です。子供たちにも良い環境ではないかと。【7歳（2年生）】
- ・ 学校の物がこわれた時の対応がおそい。体育館の時計がもうすぐ1年くらいこわれているけど、なおさない。お金がないのでしょうか？物がこわれた、故障の原因はあきらかなのに、なおさないのはどうでしょうか。公園もどんどん遊具がなくなり、子供たちもつまらなそうです。夏に、猛暑の中、学校を帰るのは大変です。学生がつかえるバスがあったらいいと思います。お金は、かかるとはいますが、スクールバスがあったらいいなと思いました。時代は、かわっていきます。夏の猛暑やランドセルを持ち帰ってくるのは、とても命がけな気がします。【7歳（2年生）】

- ・ 公園や通学路がゴミや雑草の生えっ放しで汚く感じます。是非市役所と同じくらいきれいにしてください。汚い場所や街は犯罪が増えます。【8歳（3年生）】
- ・ 公園を子供が遊びやすい公園にしてほしい。ボールで遊ぶなどが、「大きい声」を出すなどの看板が公園に立ててあり、公園で遊べなくなっています。そのため、家で子供が遊ぶことが多くなっています。学校から帰って来てもゲームしかしない子供になってしまいます。体をつかって、遊べる場所を作ってほしいです。【10歳（5年生）】
- ・ 一番希望することは、福生に、美術館または博物館または科学館ができることです。よろしくお願いします。【6歳（1年生）】

2 教員体制の充実

- ・ 宿題を忘れただけで、大声で叱責するような低レベルな教師がいます。過ちは必ずあります。悪い所ばかりでなく良い所を見付け、「今後」をどうしたら良いか本当の意味で、子どもによりそい、導いてくれる「師」が必要です。口先ばかり、耳障りの良い言葉を並べる大人は信頼にあたりません。今、10代の死因原因1位は「自殺」です。幼いからと言って、強制したり、人権侵害は許されません。子ども達が、良い環境で勉学にはげめる環境を強く望みます。【6歳（1年生）】
- ・ 教員補助等の人員が増えると、学校環境が良くなると思いました。【6歳（1年生）】
- ・ 息子の小学校の担任の先生が大変そうだなあと感じます。教員の数を増やす、業務を減らすなど、抜本的な改革が必要です。それが子どものためにつながると思うのですが、いかがでしょうか。【8歳（3年生）】
- ・ 小学校までは比較的、教員など対応は丁寧で安心できるが、中学は教員により差が大きく、進路など将来に直結する対応や思春期など難しいことが多いためか、流れ作業的に感じることもある。それはそれでいいのですが、プライベートのことでおろそかになっていませんか、きちんと仕事に向き合えていないじゃないですか、という人が過去にいて、3年間という短い期間ということもあり、本当に大丈夫？と感じています。もっと言うと高校は更にその上をいく感じなので、小学校高学年くらいから自分のことをどうしていきたいのかと考えられるようにきっかけが色々あるといいなあとと思います。自分には子育てが向いていなかったなあとつくづく思うので。【8歳（3年生）】
- ・ 食費や光熱費など色々なことで値上がりして困っている。ニュースで、信頼できる大人（先生など）が子供に対しての性的、身体的、精神的な苦痛を与えている被害を目にする度に、福生市だけはそういうことのない様にしてほしい。地域の方で下校時見守りをしていただき大変ありがたいが、危険なことをしている児童にしっかりと注意してほしい。本当に見ているだけの人がいる。【6歳（1年生）】

3 教育内容の充実と見直し

- ・ 不登校支援でS S Wがついていることはとても良いが、学校側も、不登校や障害にあった対応むしろそれが起きない対応をして欲しい。中学は、甘いというが、厳しすぎ、不適切な言動、プライベートでのたいまで、不登校の引金、登校できるようになる。教員、非常勤の質がひどすぎる。市議や市は東京都の職員である教員、学校に何も言えない、なんておかしすぎる。何がC S（コミュニティスクール）だと思っている。提出遅くなり申し訳ございません。11、12、1月とずっと残業で存在も気づかず、申し訳ございません。【7歳（2年生）】
- ・ スマホ・タブレットなどの使用時間などを学校などでも具体的にメリット・デメリットなど教育にいらしてほしい。不審者対策・交通安全対策に加えて、しつこく教育してほしい。家庭内だけでは行き届かない。自発的に気をつけられるように少しでもなってほしい。【7歳（2年生）】
- ・ クラス担任がいなくクラスがあるというので、今後が不安。少子化で1クラスも、クラス数も少ないのに市内に7つも小学校は必要なのか？学校数を減らし、その分で支援を手厚くすべきでは？税金や物価が上がっていくため、共働きはますます時間を犠牲にしなければならなくなる。つまり、子どもとの時間は減ります。心にも余裕がなくなり、落ち着きのない子が増えていくと思います。子どもを預けやすい仕組みづくりより、より家族ですごす時間を増やせる仕組み作りが必要と感じます。高齢者へのオムツや金券？を配るのも良いかもしれませんが子育て世帯を呼び込む方が市の税収も上がると思います。【6歳（1年生）】
- ・ 福生市の保育、教育の環境には、大変満足しています。【6歳（1年生）】
- ・ 小学校の少人数制（最高30名以下）をすすめて欲しいです。人も物も大きくなっているのに昔のままの教室で子供達がしょっちゅう衝突し物が散乱しています。また、心理的安全性の確保の為に30名以下が良いと（失敗しても大丈夫と思える数だそうです）本で読みました。・教育の出来高ばかり追っていて、多くの子供達が安心できる居場所を求めて教室をとびだしたりしているように見えます。スクールカウンセラーの充実や、教職員が一人一人の顔をみて話を聞いて信頼関係を築ける時間や環境の確保、否定しない声かけの方法などの知識を身につけることが必要だと思います。【6歳（1年生）】

4 市政について

- ・ 福生市は子育て支援、現在は親支援まで充実していて、子育てしやすい町と感じているが、親に障害者がいる世帯に対しての支援は不十分だと感じている。助成金の少なさもあるが、生活環境の改善や、子育ての困難さの調査も行ってほしい。アンケートの中にあつたヤングケアラ―は非常に重大な問題だと考えるが、実際に可能性がある為、その点の支援や解決策を検討していく必要があると思う。【7歳（2年生）】
- ・ 引越して来た人に対して、子が産まれた時からこの土地にいる人と同じ対応をされるとわからないことも多い。毎年だから。去年もしたでしょ。と言われても知らない。聞ける人もいないのに困る。【7歳（2年生）】
- ・ 小中学校と市の関係機関との連携をもっと強めてほしい。【10歳（5年生）】
- ・ 困っている子は沢山います。市役所の職員の方、対応機関の方など、学校などにあそびの先生として来て困っている子の視察をしてみたいかがでしょうか。【10歳（5年生）】
- ・ 結婚して福生に住み始めました。都心へのアクセスが良いのと、自然があり、とても気に入って、一戸建てを購入しました。子そだてのサポートもたくさんあり、とても子育てしやすい街だと思います。これからも子どもが減らず、子育て支援が続くと良いなと思っています。”子そだてするならふっさ”ですね！【11歳（6年生）】

5 登下校時の安全確保

- ・ 登校に片道30分かかり、地区で登校班を決め登校する決まりとなっている。高学年から低学年までの一班6、7人編成になっているが、班でのめ事（低学年の歩くとスピードが遅く、夏の猛暑時は、なかなかハードな登校にもなる。他、高学年が、来なく低学年の子のみで、登校になることもある）そのような日々のやり取りを親同士で、対応するには、限界もあり、学校や市にも関わってほしい。その他、朝の通学路の旗振り。旗振りは、30分だが毎月あり、仕事に1時間年休取得している。子どもの様子もみて良い点もあるが、協力しないご家庭もあり、シルバー人材等にお願いができないのかと思う。旗振り担当でも親同士で、揉めるときもある。子育て（家庭内）と仕事で、いつぱいの為、アウトソースできる部分は、積極的にお願いをしたい。【9歳（4年生）】
- ・ 小学校入学時に配布される防犯用のフエは押すだけで鳴るブザーに変更した方が良いかと思えます。緊急時、パニック時、“フエをふく”という行為そのものが出来るのか疑問ですし、「そもそも後ろから近づいて口を塞がれたりしたら吹けないじゃん」と子供が言っていました。もっともかと・・・【6歳（1年生）】

6 児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し

- ・ 子育て支援カードに協賛しているお店はたくさんありますが、どのお店が協賛しているのかがわかりにくい。シール等の目印が見えにくいのと、お店側がカードの有無の確認を全くしない。あと、ドラッグストア等子育て世帯がよく利用するようなお店でも使えたら、もっと使いたいと思う人が増えると思う。インフルエンザのワクチンが子供の人数×2回分でかなりの負担です。子供が多ければ、ワクチンを打たせるか毎年悩んでしまいます。ワクチン接種の助成があると助かります。低所得世帯や勤め先から住宅手当を支給されていない等の条件で家賃補助制度があると助かります。【6歳（1年生）】
- ・ 将来の学費に不安があります。3人目から実質無償という制度も理解はできますが1～2人の子供がいる世帯は不公平感を感じてしまう。全く同じでなくても、不公平感を軽減する措置を期待しています。学校内の「いじめ」問題も気になります。不登校になっている児童が多くいるようにも感じられ、対応がどうなっているか不安です。時代の違いで対応の難しさもあろうとは思いますが、学校側の対応に不信を抱いてしまったこともありました。いじめへの対応をもっと、深くしていただきたいと感じています。【7歳（2年生）】
- ・ 子供が3人いて、インフルエンザの予防接種が高すぎます。補助して欲しいです。娘が2中の2年生です。荒れている子供が多く、先生は病み、授業は自習になり困っています。下の子を2中に通わすか迷っています。2中の噂は隣の市でも有名です。福生から引っ越ししてしまう方が多いのではないのでしょうか？荒れている子供は、親とのコミュニケーションが浅く、愛情も薄いのでしょうか？家族との思い出は、人生の糧にもなります。心も強くなります。子供が使えるおもちゃ券、誕生日に不二家レストランで使える商品券、家族写真無料券など、家族で使えるお祝品を新1年生の家庭にプレゼントがあるといいな、と思っています。荒れている生徒は、小学校の時から問題児だったようですが、小学校の時にカウンセリングや親子面談、ウィスク検査などで劣っている部分などをサポートできないものなのでしょうか？また、荒れている子は、定期テストでも5教科で計20点以下です。親から頑張ることを教えてもらえてなのでしょうが？小6、中3生の英検漢検数検の受験料を補助し、全員受検させてほしいです。頑張った成果が目に見えるといいのに。と思えます。長々とすみませんでした。まとめ。インフルエンザ予防接種の補助。助けてほしい。（勉強のできる環境、問題のある生徒への対応、見回り。）IQ検査、ウィスク検査の実施・補助。新入学お祝品。英検漢検数検の実施。【8歳（3年生）】

- ・ 福生は子育てしやすい町と言われているが、子育てしやすいと思ったことはないし正直どこがどう子育てしやすいのかわからない。前に住んでいた町は子供1人につき毎月1万円の商品券をもらえたが福生はそういったものもないし、物価高対策も低所得者や1人親だけだった事も、国と同じことをやっていて不満。治安が悪くて子供だけで公園に行くのも心配だし、室内で遊べる場所は児童館くらい。松林会館や扶桑会館等放課後開放できないのでしょうか？又、毎年学校に払う教材費が高過ぎる。市の支援はないのでしょうか？（宿泊合宿等は市の支援あったが）【9歳（4年生）】
- ・ 教育を受ける権利は平等のはずなのに、低所得者の児童ばかり優遇されている印象が拭えない。実際納めている税金の恩恵を受けているとは思えない。児童手当はもらえない。高校も私学は経済的に選べず、公立受験に失敗したら底辺高校にしか通わせられない現状に疑問を持っている。子供にどのように教育を与えていったらいいのか悩むとは思わなかったが、切実に現状を憂いている。隣の3兄弟は迷わず私学に進学し、2人の我が家は公立のみ。世の中の不条理というものを教えて教育をするのか、本当に悩ましいです。【11歳（6年生）】

7 子育て支援に関する情報の充実

- ・ 習い事をさせたくても送迎が難しくなかなか多くは出来ない。【7歳2年生】

8 英語教育の充実

- ・ 横田基地が近いので、本場の生きた英語を教育現場で活用して欲しいと思います。恵まれた地域なので、英語に力を入れた教育を行って欲しいです。【6歳（1年生）】
- ・ 高校生の海外留学（研修）制度をしてほしい。以前のHPには研修に行っている風景が載っていたような。市町村で独自の交換留学制度（長期留学）などを作って欲しい。【8歳（3年生）】
- ・ 福生の環境を活用して欲しい。他の県などは交換留学など進んでやっているのに残念です。福生に住みたい、福生じゃないと思える事があまりなく残念。小学校はとても良い。第3小学校だからなのか、とても良い。アメリカ人の親子が中学に通っていますがもっと支援が必要だと思う。勉強も日本語が難しい為ついていけず、高いお金を払って塾通い、学校でサポート出来ないのかと思います。小学生、中学生の勉強サポートを無料で市のボランティアなどでやってもらいたい。【10歳（5年生）】

9 医療費補助、医療体制の充実

- ・ 医療について（福生市に不満という訳ではなく）、日・祝や夜間に受け入れてくれるところがもっと増えると安心です。【6歳（1年生）】

10 障害児への支援充実

- ・ 学校でサポートが必要だと感じる子に対し保護者の理解を得られない場合、学校がそれ以上踏み込めずそのままになっている現状がある。他の子が集中できずクラスが落ちつかず授業も遅れ、教師の負担ばかりになる悪循環を非常に感じる。保護者が渋る理由として、障害の段階分けが大まかで、6小や1小に行く程ではない、少しサポートを得られれば現状でいいと思う保護者の気持ちも理解できる環境だと感じる。送迎等の対策を講じるなど、サポートの必要な子供と保護者の負担にならず然るべき場所で教育を受けやすい環境の改善を希望します。また、保護者自身、支援が必要な場合、学校内で全てを受け入れ(諦める)のではなく、教育委員会と連携して対応して頂きたい。学校が色々な子や家庭があるので理解して欲しいとしているのはもちろんわかるが、支援が必要な保護者は我が子が心配だからと自由に教室内に1日中居る事で他の子供がその状況に違和感、戸惑いを感じ、不登校になっている現状があるのはいかがなものか。学校内、教室内の保護者の滞在に関して他の子の妨げにならぬよう配慮と、支援が必要な保護者の対策は市と共有して検討してほしい。【9歳(4年生)】
- ・ 小学校のように、中学校でも特別支援教育の充実をよろしく願います。【11歳(6年生)】
- ・ 福生市に発達障害の子供が療育できる病院を作してほしい。【6歳(1年生)】

11 一時預かり事業の充実

- ・ 親の就業時間は変わらないのに、なぜ、長期休暇時の学童利用開始時間は8:30からで30分しか変わらないのに8:00からは朝延長料金が取られるのかが不思議です。共働きが当たり前のこのご時世で、保育園の時との開始時間を変えている理由が理解できません。【6歳(1年生)】
- ・ 日曜日に仕事の時にあずけられる学童がなかった為、日、祝に預けれる学童があった方がよい。児童館を案内されたが、常に世話をしてくれるわけではないので、利用しなかった。福生市内の図書館が全て月曜日休みなので、利用したいのにできない時があり困る。休館日をずらしてほしい。【9歳(4年生)】
- ・ 仕事をしている人にとって、まだ子供を見てもらえる所が少ない。長期の休み(夏休み、冬休みなど)の時は、父親がリモートでいてくれればいいが、2人とも仕事で不在の時は、家に子供だけしておくこともある。祖父母にも預けるが、限度がある。子供だけで気軽に行ける場所がもっと多く出来るといいなと思います。なぜなら、子供家庭支援センターに頼って欲しいと言われ頼ったら朝の時間、小学生は受けつけていないと言われて頼れなかったからです。なので、このご時世、共働きの親が多いので時代に合った環境を整えるべきだと思います。【11歳(6年生)】

12 アンケートについて

- ・ アンケートがバーコード認識しなかった。インターネット入力を進めていたが、1つ戻ろうとしたら全部初めからに戻ってしまい、今回郵送しました。webアンケートの入力フォームがもう少し改善希望。【6歳(1年生)】

- ・ “子どものために” 直結しない、「やっている」のためのこんなアンケートなんか税金のムダ使い。この紙やインク代、催促のハガキにいくら使いました？その分を子どものために、と思ったら意義ある使い方、他に思いつきませんか？他者からどう見えるかの動きなんか知らない。パフォーマンスのために税金使うな。何にもならないアンケートの集計にいくら不要な人件費使いますか？キレイ事並べたいなら不要、ムダをなくしてからやれ。このアンケート量にどれだけ時間がムダになっているか考えました？
【8歳（3年生）】
- ・ 本当に必要な人に支援が行き届くと良いと思います。なかなかアクションを起こせない、うもれている人が多いのではないかとどう見つけてアプローチしていくか、アンケートをとって 100%、そうとも限らず満足せずウラの気持ちまでくんでほしい。学校評価アンケートもですが、「とりあえずやってます」感で終わらせずに、これが本心なのか…？安心しないでほしい。簡単に改革、取り組みは困難ではあるけれど、できる小さな所を目に見える形で改善してほしい。一市民としてできることも積極的に見て取り組めたらと思う。【11歳（6年生）】
- ・ このアンケートは、定型発達のお子様をお持ちの方用ですか？障害児が居る親に送る必要ありますか？内容が合っていないと思うのですが。福生市は障害児に対する理解が本当にとほしいですね。税金とっているのだから平等にして欲しいです。
【11歳（6年生）】

13 病児・病後児保育事業の充実

- ・ 病児保育室を増やしてほしい。【6歳（1年生）】
- ・ 病後児保育の数や定員をもう少し増やして欲しいです。どうしても休めない時に、いっぱいでお留守番させるしかなかったです【6歳（1年生）】
- ・ 病児は利用時間が限られている為、なかなか利用出来ず、有給休暇を消化せざるをえず、リフレッシュとして有休を利用するほどの日数が残せない。労働の平等を認められたことで子育てを主で行う人の所在が両立し、結局のところ負担が大きくなる。
【7歳（2年生）】

14 給食について

- ・ 給食をもっと充実させてほしいです。子どもがたくさん食べたいと思えるように。
【7歳（2年生）】
- ・ 給食をおいしい物にして下さい。【8歳（3年生）】
- ・ 先ほども記入しましたが、公費で給食費をまかなってほしいです。滞納問題もなくなりますし、払えない家庭の子供も気後れすることなく食べられると思うので。子どもの貧困は社会の責任でもあると思うので、せめて食だけは、お願いしたいです。クラスに子どもたちも教育を受ける権利がありますし、皆と一緒にするのも大切ですが、その子に合った教育を受けるのが、その子のためとも思います。人員が少なく大変かとは思いますが、考慮していただけたら、よろしく願いいたします。【11歳（6年生）】
- ・ 給食費の無償化になってもらえると、ありがたいです。【6歳（1年生）】
- ・ 学校給食の牛乳は選択制にしてほしい（要・不要）。【6歳（1年生）】

15 地域のつながり、協力等について

- ・ テレビや報道などで、独身・核家族をススメて（大家族）同居、自治会、などをないがしろにしてきた影響が世代交代をへて、表面化してきたのではないのでしょうか。メディアは悪い面ばかりをとりあげてきたように思いますが、長い時間（時代）をへて成り立ってきた家族間のあり方は、良い面、またはそうした方がより良く生活していった理由もあったのではないのでしょうか。先日、暗い時間帯にロケット公園で高校生らしき数人が、おもいきり遊具を使い、スマホで撮影（配信）していました。これまで遊具が多々、こわされ、そのままになっている事がありました。公園を使う事はどの世代でも良いと思いますが、こわすなどの迷惑行為は止めていただきたいです。皆様から集めた税金で作られ、維持している事すら知らないようです。年齢的にエネルギーがありあまっているようですが、受験も就活もアルバイトもせず、もっと他に一生懸命やる事があっても良いのではないのでしょうか。次は、身の安全もありますので通報します。（公園の水道で、犬の散歩中、水道から犬に直接水を飲ませている飼い主さんを数ヶ所で見かけました。使うなどとは言いませんが、人と動物。幼い子供が口をつけてしまう事もありますので、衛生面や犬が飲みにくいという所から、マナーを考えていただきたいです。（私は犬と家族ではありません。）小学校、中学校で色々な事がある事を聞きます。一度、（老人）福祉施設のお手伝いさしてみたらいかがでしょうか？家族や自分が将来どうなるのか、また、仕事として関わるかもしれません。核家族で他世代との交流が少ないと思われる。人から「ありがとう」と感謝される体験。もちろん行く前には年をとるとどうなるか、人を傷付けるとどうなるのか、（時期により感染対策）などを教える必要もあると思います。1年後や、卒業時などに再訪問してみるのも良いかもしれません。元気かもしれない、卒業おめでとうと言ってくれるかもしれない。新たな気付きがあるかもしれません。ハードルが高いので難しそうです。【7歳（2年生）】
- ・ 私どものような一般家庭から逸脱している家庭（母子家庭、多子家庭）は周囲の方から何かといえば後ろ指を指されることが多いです。子供に少しでも家の手伝いをさせたりすればヤングケアラーと言われ、学校での態度を注意されては子供が多いから行き届かないとの内容に近い事を先生方からも言われる。そのような事に傷つきながら子育てしてきました。ハード面だけではなく、精神的な面で少しでも子育てしやすい環境になって欲しいなと思います。【8歳（3年生）】
- ・ 子供の学校での様子などを聞いている中で、育児放棄に近いような子も身近にすることが伺えます。そういった子たちを気軽に受け入れてもらえるような支援（例えば子ども食堂のようなもので、子供だけで来ても良いような施設）などがもっと増えると良いなと思います。【9歳（4年生）】
- ・ ”近所のおじいちゃんおばあちゃん、地域の方に恵まれ外で子供がのびのびと遊べているので本当に感謝しています。自分を含めMixなのですが偏見もなく住みやすい町だと思います。福生は他所よりも子どもを育てやすい町だと思います。子育て支援も充実しているので皆さんが活用できるようにアナウンスをした方が良いと思います。知らずに困っている方も中にはいます。【10歳（5年生）】
- ・ 子どもを大切にすることは、大人や高齢者、弱い立場の人たちを大切にすることにつながっていると思います。【11歳（6年生）】

16 保護者のリフレッシュ、子育て不安等について

- ・ 子どもが小さい時は育児に疲れ、外出して外に友人を作ったりすることができず家にこもりがちでした。なので新生児訪問だけでなくその後も様子を見に来てくれるサービスがあれば救われる人もいるのかなと思いました。今思えばいいですが。大変な時期は一瞬に過ぎてきてしまいましたがあその時の自分は毎日が長かったなあと。わざわざ児童館に出向かなくてもオンラインで楽しめるサービスとかあるといいですね。
【6歳（1年生）】
- ・ 働く親としては振り替え休日が多いと、体調不良の際に休む事が難しくなる為、振り替え休日は少ない方が助かります。日々の支出が増えているので子供の給食費が無償になるとすごくありがたいし、習い事を始めるきっかけになると思う。【6歳（1年生）】

17 校庭の開放

- ・ 土日に校庭開放してほしい。雨の日に子供が体を動かせる室内施設がほしいです。児童館は人も多いため。(体育館開放など) 平日の放課後、子供が公園で安心してあそべるように、見守り員さんを配置する。【6歳（1年生）】

18 いじめ問題

- ・ 不登校やいじめが増加し、一般的に普通の光景になりつつある。その状況を見て、“明日は我が身”と変な危機感を感じている。担任からは、子供に対してのダメ出しばかりでほめられ、認められていると感じた事はない。個性として待つ姿勢はなく“遅滞”のレッテル貼られ、とても不愉快です。学校という場で“先生”という立場の人に直接やられている子供は、子供ながらに強いストレスを感じているのだろうと思う。保護者として意見を言ったら、子供への影響がある可能性を思うと、何も言えない。不登校やいじめが増加している背景には、教員の対応が子供への強いストレスとなって起きているのではないかと強く感じる。教員の教育を見直してほしい。【6歳（1年生）】
- ・ 現在、小学校が荒れている様で、困っております。学校にも相談しましたが改善は無し。まわりの保護者も同様の意見が多いです。この先も同じ状態が続くのかと思うととても心配です。安心、安全に通える小学校、中学校にぜひして頂きたいです。【9歳（4年生）】

19 地域子育て支援拠点事業の充実

- ・ ふっさっ子普段お世話になっているのですが、夏休みが午前中も利用できるとう助かります。1日通しての利用が難しい様でしたら、AM、PM選べるといいなと思います。習い事があり学童は利用しておりませんが、学童より気軽に申し込めるので、夏休み中の利用についてご検討をお願いします。また、支給されているipadですが、とにかく重くて毎日背負っている子どもたちがかわいそうになります。もう少し軽量化されたモデルに変更できませんか？全てを変えるのはとても高額になってしまうと思います。せめて低学年の分だけでも負担が減ったら、親として安心です。よろしくお願いします。
【7歳（2年生）】

- ・ わかたけクラブに通っていましたが、2,024年度に運営が変わり、先生たちが一斉に変わったことで、子供たちが行きたがらなくなりました。今は通っていません。一部の若い先生の暴力的な言葉使い、冷たい態度が原因です。毎日学校から直接家に帰ってくるので、友達と遊ぶ機会も減ってしまいました。また行きたいと言う環境が戻ってきてほしいです。【7歳（2年生）】
- ・ 自宅近辺でできる習い事の種類が少なく感じます。子供が学んでみたいことがあっても、気軽に通える距離ではなくあきらめることも多い。【10歳（5年生）】
- ・ 福生市で子育てをしていて十分満足しています。特に家庭支援センターでお世話になった時、息子が大きく成長しました。（放課後デイにつないでくれたから。）
【11歳（6年生）】

20 学童クラブの育成時間の延長

- ・ 学童の利用がしやすい環境を願います。事前に親の就労証明を職場にお願いするのが大変。月単位だと高額。【6歳（1年生）】
- ・ 今年度の1学期まで学童に通っていましたが、子どもの気持ちに寄り添う姿勢がない様に感じる事が重なり、仕事を辞めて、クラブを退所しました。現在は完全在宅勤務で働きながら、子育てをしています。子どもの気持ちを考えて思い切って退所をして良かったですが、昨年までの学童クラブがとても素晴らしかったので今でも運営が変わってしまった事は残念です。派手なイベントやカリキュラムよりも、一緒に遊んでくれ、話を聞いて受け止めて下さる心の温かさが1番大切だと思うので、ぜひ人材育成に力を入れていただきたいです。また病児保育は、空き状況や、受診の必要など手続きに時間がかかるので、最近是利用していませんが、未就学の頃は度々お世話になり、有難かったです。【8歳（3年生）】
- ・ 学童を利用していますが子供が行きたがらないためほとんど通っていません。（先生になじめないとのこと。）やむをえず利用していますが利用料を日割りまでとは言いませんが、10日以上通う人とか（例えば←）少し安くしてもらいたい。おやつも時々食べさせてもらえない時がある。（15時半帰りの時とか。）衛生面もあると思いますが、市販のおやつなので登所したら早帰りの日も持たせてほしいです。検討をお願いします。共働きでお互い福祉施設で働いています。とにかく給料が安くボーナスも少ないです。物価高で困ります。年未年始もなく子供達のみですごく日もたくさんあり、かわいそうと思っています。【8歳（3年生）】

3 中学生保護者

分類回答	件数
1. 子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について	21
2. 教員体制の充実	9
3. 教育内容の充実と見直し	7
4. 市政について	3
5. 登下校時の安全確保	1
6. 児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し	9
7. 子育て支援に関する情報の充実	4
8. 医療費補助、医療体制の充実	2
9. 障害児への支援充実	1
10. 給食について	1
11. 子育てに関する相談先の充実	1
12. 地域のつながり、協力等について	3
13. アンケートについて	2
14. その他	9

【分類別の主な意見】

1 子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について

- ・ 子供の学校のクラスでは不登校が多いそうです。親が原因であれば、周りの大人が助けをあげられるような取組がもっとあると思います。【14歳】
- ・ 子供食堂など、中高生の放課後の居場所を作ってあげてほしい。【13歳】
- ・ 子育てのサービスに関しては他の市よりも充実していると思います。私は上の子は幼稚園～私立中学、下の子は保育園～市内中学校で2人とも全く違う環境で子育てをしていました。福生は保育園にほぼ入れるので、以前に比べると働いているお母さんも増えていると思いますが、でも私は上の子の時に児童館でお世話になった「ちびっこクラブ」とか「サークル」とかでやり取りしていた頃が一番良かったなあと思います。幼稚園の閉園もある様で専業主婦が少なくなっているのでしょうか。公園にも子供達が少ないし、子育て環境も変わっていますが、大人の忙しさに子供を巻きこんではいけない事を大人は忘れてはいけないと思う。子供の気持ちをゆっくりと聞いてあげられる環境作りが本当に必要だと思います。図書館や自習室、くつろぎ室…。子供が集まれる場所を中高生も集まれる…。中学生は結構家にこもっています。【14歳】
- ・ そよかぜにお世話になっています。先生方、相談出来る場所があり本当にありがたい。子供も不安なく、生活する場所があり、学べて友達も出来て、青春時代をあきらめてたけど、心も少しずつ元気ななれています。私の子供は、つらい事を言えて、そよかぜに行けましたが、先生にも親にも友達にも“つらい”と言えない子供がいる事が、ある様です。【13歳】
- ・ コロナなので、インフルがはやっているの、外でも中でも遊べるかんきょうがほしい。【12歳】

2 教員体制の充実

- ・ 中学校が外部からの支援をより多く利用し、大手塾や通信教材導入、横田中高生（アルゴクラブ、プログラミング、英会話）。教員の増員と負担軽減、さらなる少人数化→学力や経済状況の二極化が浮きぼり→一斉授業の限界が浮きぼりよって、元?町中校長工藤氏の学校運営を取り入れて個別最適化を早急に進めてほしい。PivotというYouTubeの坂井風太さんのマネジメントの講習は今時の中高生の育成に必要。【13歳】
- ・ 中学校の先生の子供に対する対応（態度、言葉づかい、関わり方）が悪い。先生の質の向上を求める。【12歳】
- ・ 中学校、荒れています。教員（大人の目）を増やして欲しいです。先生方も疲弊しています。先生方がもっと保護者に要求してもいいかもしれません。生活での声かけ、勉強の仕方、子どもの様子の知らせ、学習の様子など。個別ではなく全体へ傾向を知らせた方がいいです。【12歳】
- ・ 公立学校の先生方が疲れている。やらなければいけないことが多く残業するな（控えるべき）と言われることなど1人がやるべき（担当）が多いと思う。中間・期末テスト範囲が終わってないのに、自分で学習するよう言われテストに出たこと。先生方は「なんでも屋」ではない。スクールカウンセラーは常駐すべき。学校の先生方をサポートしてくれる人がいないと先生方が倒れてしまう。相談したい時に専門家がないのは意味がない。今こまっているのに、何ヶ月も予約で待つようなら、だれも相談したいと思わない。これで、子育てしやすい町と言うならちがうと思う。保育園待機児童0人が子育てしやすい町、イコールではない。必要な時に必要なサポートを受けられてこそ住みやすい町、子育てしやすい町なのだと思う。【13歳】
- ・ 子供が中学校に通っています。2年生の先生が何人もお休みしていますが人員補充されていません。先生の本数が足りない→教育の質が下がる→学力もとうぜん下がる→学力の差が大きくなると進路2極化する→高校以降の進路に影響して将来的に社会で活やくできる人員に差が出てくる、と感じています。【12歳】

3 教育内容の充実と見直し

- ・ 子供達に、今までの世間の常識を強要せず1人1人の個性を尊重しのばす教育をしてあげてほしい。【13歳】
- ・ 福生市の学力レベルが低いことに対して対策を考えるべき。iPadの利用は意味がない。大人が考えている使い方を子供はしていない。ゲーム機と同じ扱い。又、学習コンテンツの内容が充実していない。【12歳】
- ・ 時代の変化により、過去とは全く違う教育現場となり、教育者はとても大変とは思いますが。ただ、その中でも厳しさが必要ではないかと思えます。社会に出る前に“厳しさ”学ぶ場がほしいです。【12歳】
- ・ 福生市の学力向上に対して、取り組んで欲しい。又、子どもの基本的な生活習慣の乱れが気になっており、SNSなどで、皆そうだからと言われてしまいます。もっと運動し、体力をつかう環境が望ましいと思えます。【13歳】
- ・ 小学校へ通っていた頃は、学校と共に子供の成長を見守れるような、安心感がありました。中学に入ったら、世界が180度変わったように校則や学習面が厳しくなり…。親として戸惑いを感じています。【12歳】

4 市政について

- ・ 子どもの権利がまもられる社会に。生活しやすい社会に。【12歳】
- ・ コロナの時、消毒液の配備をなぜすぐ対応してくれなかったのか。他ももっと時代にあった対応を希望。これは市役所への意見→職員数はもっと減らしても良い。手当額は他市区に比べて高いのはあまりよろしくないと感じています。【12歳】
- ・ 中学校の教育現場が、はみ出した子を切り落とすような昔の価値観でなく、子どもたちの全員の意見や考えを尊重し、未来につなげていく「共生」と「グローバルデザイン」を創造していく場であってほしいと切に願います。こちらのアンケートは、「福生市教育振興基本計画実施計画」とは別のものかもしれませんが、実施計画も、HPの深いところにあり、福生市の教育目標がどこに向かっているのか見つけるのが大変でした。日野市のように子どもたちの声を直接聞き、PDCAサイクルでかなっているのか検証していただき、その目標と成果は、HPの一番最初のところに出していただきたいです。よろしくお願い致します。【13歳】

5 登下校時の安全確保

- ・ 帰り遅く、夜道が心配です。GPS持ち込みできると有難いです。(タブレットにつける?)今は通学路途中まで迎えに行っています。【12歳】

6 児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し

- ・ ひとり親への経済支援(特に生保世帯)、食料の定期郵送、学習ボランティア。【13歳】
- ・ コロナの影響で色々な支払い(遅れ)を払っていて、家計が苦しいです。ぎりぎり低所得でないのに、色々な補助が受けられず、ローンが増えています。子供にも色々我慢される事が多く、低所得の世帯だけでなく、ぎりぎり生活している家庭にも目を向けてほしいです。【14歳】
- ・ 教育に関する支援については、家庭の収入に関わらず、全生徒が受けられるようにすべき。大した収入があるわけではないが、頑張って働き、納めるものばかりで生活は苦しくなる。まじめに働く方がバカをみているのではないかと思う。世帯に子供がいること、問22~25のような内容は切り離して考えるべき。【13歳】
- ・ 中学校の入学時にかかる費用(制服代など)が高すぎる。義務教育なのに体育で使用するジャージ(上下)で2万円以上は負担が重たいです。ネームのししゅうもあるので古ももらえない。販売店の対応もあまりよくなかったので業者の見直しをしてほしいです。【13歳】
- ・ 子供は中学生以上になると塾などで小さい時と比べ物にならない位お金が掛かります。給食費などを毎月支援して下さったら皆平等で助かると思います。【13歳】

7 子育て支援に関する情報の充実

- ・ 子育てとは、その子が学業を終えるまで続くものだと思います。乳幼児のみにではなく、全ての子育て世帯に子育てしやすい環境を与えていただけると助かります。【14歳】

- ・ 1人目は保護者もたいがいとはじめて経験することが多いので、2番目の子供になって悩んでたことを思い出し、対策することを学んだと思う。だからはじめの子の時に色々なケースを教えてくれる場や、書類にふれられる環境をつくってほしい。その点公民館の保育付き講座で保育士さんにももらったアドバイスは涙がでるほどありがたかったです。【12歳】
- ・ 福生市の保育は比較的入所しやすいですが、時間帯や急な託児を依頼出来る施設が少ない様に思います。保育士の確保等難しいと思いますが、子育て世代が本当に必要としているニーズに合わせた支援をと思います。国の支援は的はずれが多いので。【13歳】
- ・ 子供が1歳の時保育園に入園できませんでした。市の職員の方に相談したとき「ご両親がお近くにお住まいなら見てもらえば良い。」と言われました。それを話すと両親は「私達の子育ては終わったのに。」とひどく憤慨されたのを覚えています。確かに、本当に困った時は助けてもらえますが常日頃から親に子を預け気持ちよく働けるようには思えません。祖父母に預けられないから行政を頼るのではなく、必要な時に若い家族が適した子育て支援を使用できたら良いと思います。【14歳】

8 医療費補助、医療体制の充実

- ・ 休日診療を小児が受けられなくなってとても困りました。夜や休日にも診察を受けられる病院が少ないと思います。【14歳】
- ・ 高校生対象の医療費助成制度は大変助かります。【14歳】

9 障害児への支援充実

- ・ 発達障害の子ども達が増えています。ADHDやASDだけでなくLDの子達への支援も充実させてもらいたいです。上手く字が書けず、先生からも注意され続け辛い思いをしている子も多いかと思います。本人や保ご者、先生方も知識がないと分からないまま過ぎてしまいます。受検時対応してもらうには中学校～の介入が必要で、その為には診断書も必要です。そこら辺のスムーズな流れのシステムがあればと思います。【14歳】

10 給食について

- ・ 少し論点がズレてしまうと思いますが中学校では給食を食べる時間が10分に満たない日があり必要な栄養を摂取できていないようです。給食費を納めているからという金銭的な問題ではなく子どもたちが昼食を摂れる時間がないことに不安と不満を抱いています。ニュースでも中学校全体でこのような傾向にあると言っていました。市として調査を実施する等、対策を講じていただきたいです。【12歳】

11 子育てに関する相談先の充実

- ・ 子供が反抗期で困っています。一生けんめい子育て、仕事、家事を自分ではしているつもりですが、私のしている事は、全て否定してきます。悲しくなります。ストレスしかありません。どこに相談すればいいのかもわかりません。相談するのも嫌です。【12歳】

12 地域のつながり、協力等について

- ・ 朝学童があつたらいいなと感じた事があります。7：30～8：00 ぐらいまでの短い時間でも学校の先生ではない大人がいる時間があれば子供が1人になる時間が減るので（ボランティアや保護者の人でもOKかと）【14歳】
- ・ ・福生市は町内会とのつながりが多いと思います。良い面もありますが、小・中学校のいわゆる「子供会」活動はとても大変でした（特に夏祭り）【14歳】
- ・ 仕事をしながらのPTA活動のありかたや子供の通学路の朝の安全など地域の方のかかわりがほしい。【14歳】

13 アンケートについて

- ・ アンケート送付と返戻のタイミングがそもそも子育てしてるそれぞれの環境に合っていない。子供3人いて、それぞれ送付していることもムダと思う。子供に配布してるタブレットをもっと活用して下さい。【13歳】
- ・ アンケートを行ったところで、何も期待していない。【13歳】

14 その他

- ・ 外国人（アジア系、インド系）が最近増え、大声で携帯電話をしながら、チャリに乗りマナーが守れていない走行、2人乗り、蛇行、駐輪も車道にも置ける等、不快を感じている。子供達に悪い手本になっていると思う。【14歳】
- ・ 当てはまるか、わかりませんが環境の部分で1件お願いがあります。福生市内交差点で赤信号無視のドライバーが多く、死亡事故が起きるのではないかとヒヤヒヤする日々です。警察と連携していただき、今一度、交通安全に努めていただきたいと、強く思います。【12歳】
- ・ 武蔵野台図書館のスタッフが横柄な方しかいないので別の方々に替えて欲しい。それに、駐車場の掃除や草むしりを地域体育館スタッフに全てやらせ、自分達は挨拶ひとつせず我が物顔で駐車場を利用しているのは昔から有名な話。側から見ていて不愉快な市の職員が居なくなる事が市民へのサービスだと感じる。図書館スタッフのように横柄で口の軽い市民をバカにしたような態度をとる市の職員がいる地域で子育て相談をする人は居ない。【13歳】
- ・ 親となった大人が、責任をもって子供を育てるということは、どういうことなのかと考える機会があってもいいのではないかなと思う。親子で会話をする時間の余裕ができたり、友達のような関係だけでなく、これから未来で活躍するための子供とじっくり関わったりする大人が増える環境を整えてほしい。【14歳】

福生市
子どもの権利に関するアンケート調査

I 調査の概要

1 調査目的

今後、福生市こども計画を策定することを想定し、子どもの権利に関するアンケート調査を実施するものです。

2 調査設計

(1) 調査対象者

令和5年11月1日時点において、福生市内の小・中学校に通う小学生（4年生から6年生まで）及び中学生、市内在住の高校生世代

(2) 配布数

①福生市内の小学校に通う小学生 （4年生から6年生まで）	1,113人
②福生市内の小学校に通う中学生	1,110人
③市内在住の高校生世代	600人

(3) 調査方法

- ・小学生及び中学生については、学習用端末を使用し、インターネット回答
- ・高校生世代については、郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

(4) 抽出方法

- ・小学生及び中学生については、福生市内の福生市内の小・中学校に通う全小学4年生から中学3年生までを対象とした。
- ・高校生世代については、住民基本台帳から無作為に抽出を行った。

(5) 調査票発送日（高校生のみ）

- ・令和5年12月8日（金）

※小中学生については、令和5年11月30日（木）よりインターネット回答開始

(6) 書面上提出締切日

- ・小学生・中学生…令和5年12月25日（月）
- ・高校生世代 …令和5年12月28日（木）

3 回収結果（有効回収数）

	配布数	有効回答数	有効回答率
小学生（子どもの権利）	1,113人	773人	69.5%
中学生（子どもの権利）	1,110人	511人	46.0%
高校生（子どもの権利）	600人	110人	18.3%
計	2,823人	1,394人	49.4%

4 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

6 子どもの権利

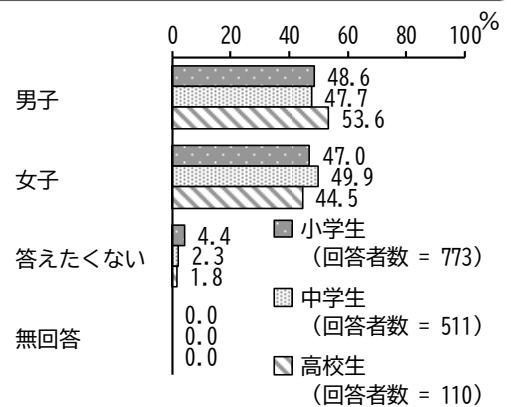
(1) 回答者属性

問1 あなたの性別を教えてください。

小学生では、「男子」の割合が48.6%、「女子」の割合が47.0%となっています。

中学生では、「男子」の割合が47.7%、「女子」の割合が49.9%となっています。

高校生では、「男子」の割合が53.6%、「女子」の割合が44.5%となっています。

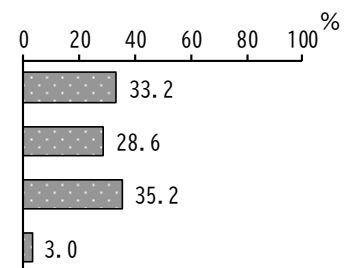


問2 あなたの学年を教えてください。

小学生では、「小学6年生」の割合が35.2%と最も高く、次いで「小学4年生」の割合が33.2%、「小学5年生」の割合が28.6%となっています。

回答者数 = 773

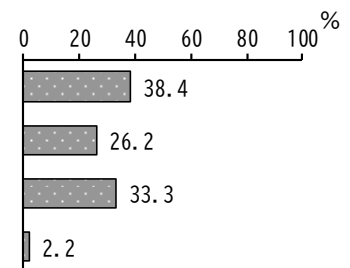
小学4年生
小学5年生
小学6年生
無回答



中学生では、「中学1年生」の割合が38.4%と最も高く、次いで「中学3年生」の割合が33.3%、「中学2年生」の割合が26.2%となっています。

回答者数 = 511

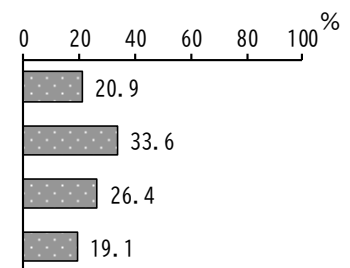
中学1年生
中学2年生
中学3年生
無回答



高校生では、「高校2年生」の割合が33.6%と最も高く、次いで「高校3年生」の割合が26.4%、「高校1年生」の割合が20.9%となっています。

回答者数 = 110

高校1年生
高校2年生
高校3年生
無回答



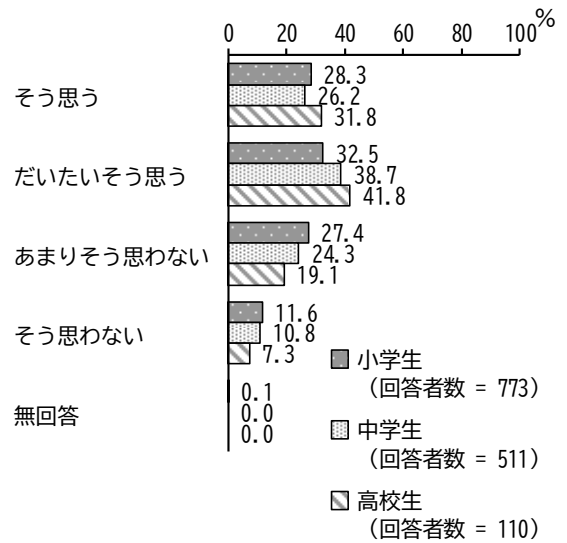
(2)「あなたの気持ち」について

問3 あなたは、自分のことが好きですか。

小学生では、「だいたいそう思う」の割合が32.5%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が28.3%、「あまりそう思わない」の割合が27.4%となっています。

中学生では、「だいたいそう思う」の割合が38.7%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が26.2%、「あまりそう思わない」の割合が24.3%となっています。

高校生では、「だいたいそう思う」の割合が41.8%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が31.8%、「あまりそう思わない」の割合が19.1%となっています。

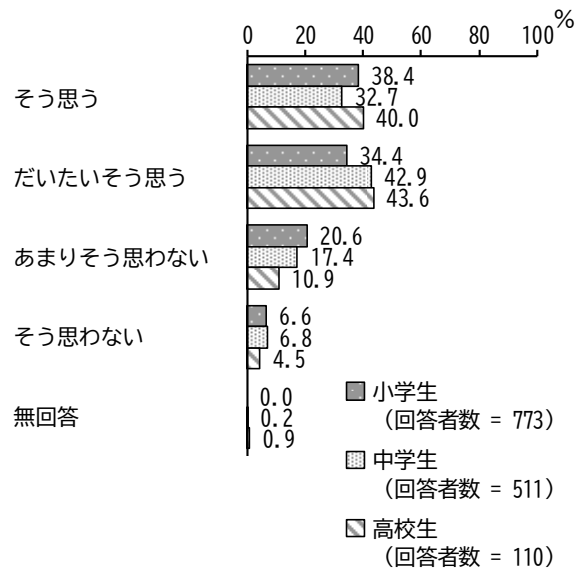


問4 あなたは、自分には良いところがあると思いますか。

小学生では、「そう思う」の割合が38.4%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が34.4%、「あまりそう思わない」の割合が20.6%となっています。

中学生では、「だいたいそう思う」の割合が42.9%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が32.7%、「あまりそう思わない」の割合が17.4%となっています。

高校生では、「だいたいそう思う」の割合が43.6%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が40.0%、「あまりそう思わない」の割合が10.9%となっています。

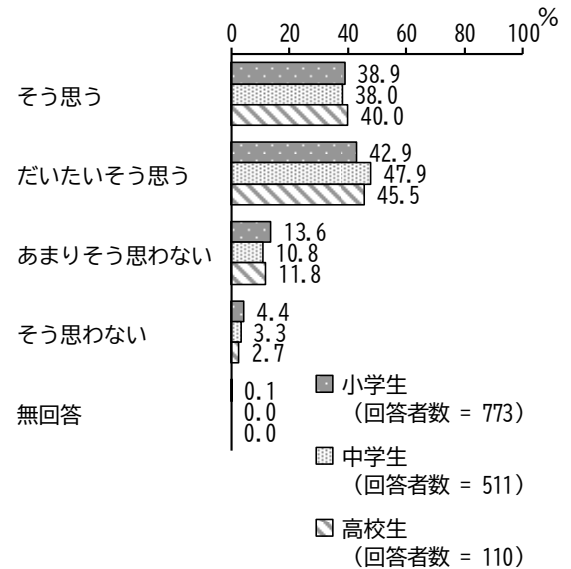


問5 あなたは、まわりの人から大切にされていると思いますか。

小学生では、「だいたいそう思う」の割合が42.9%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が38.9%、「あまりそう思わない」の割合が13.6%となっています。

中学生では、「だいたいそう思う」の割合が47.9%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が38.0%、「あまりそう思わない」の割合が10.8%となっています。

高校生では、「だいたいそう思う」の割合が45.5%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が40.0%、「あまりそう思わない」の割合が11.8%となっています。

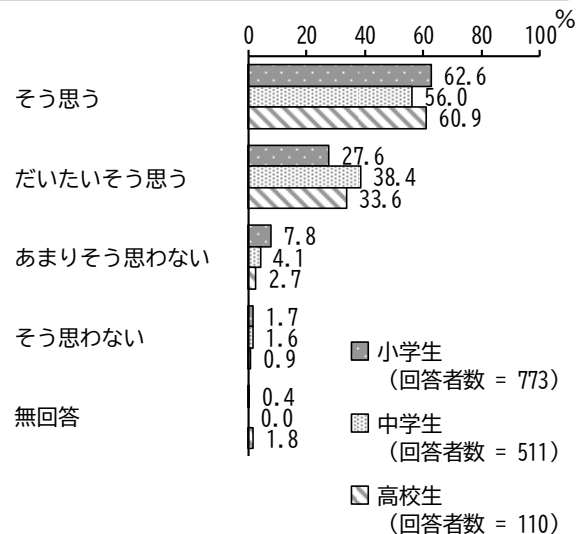


問6 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。

小学生では、「そう思う」の割合が62.6%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が27.6%となっています。

中学生では、「そう思う」の割合が56.0%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が38.4%となっています。

高校生では、「そう思う」の割合が60.9%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が33.6%となっています。

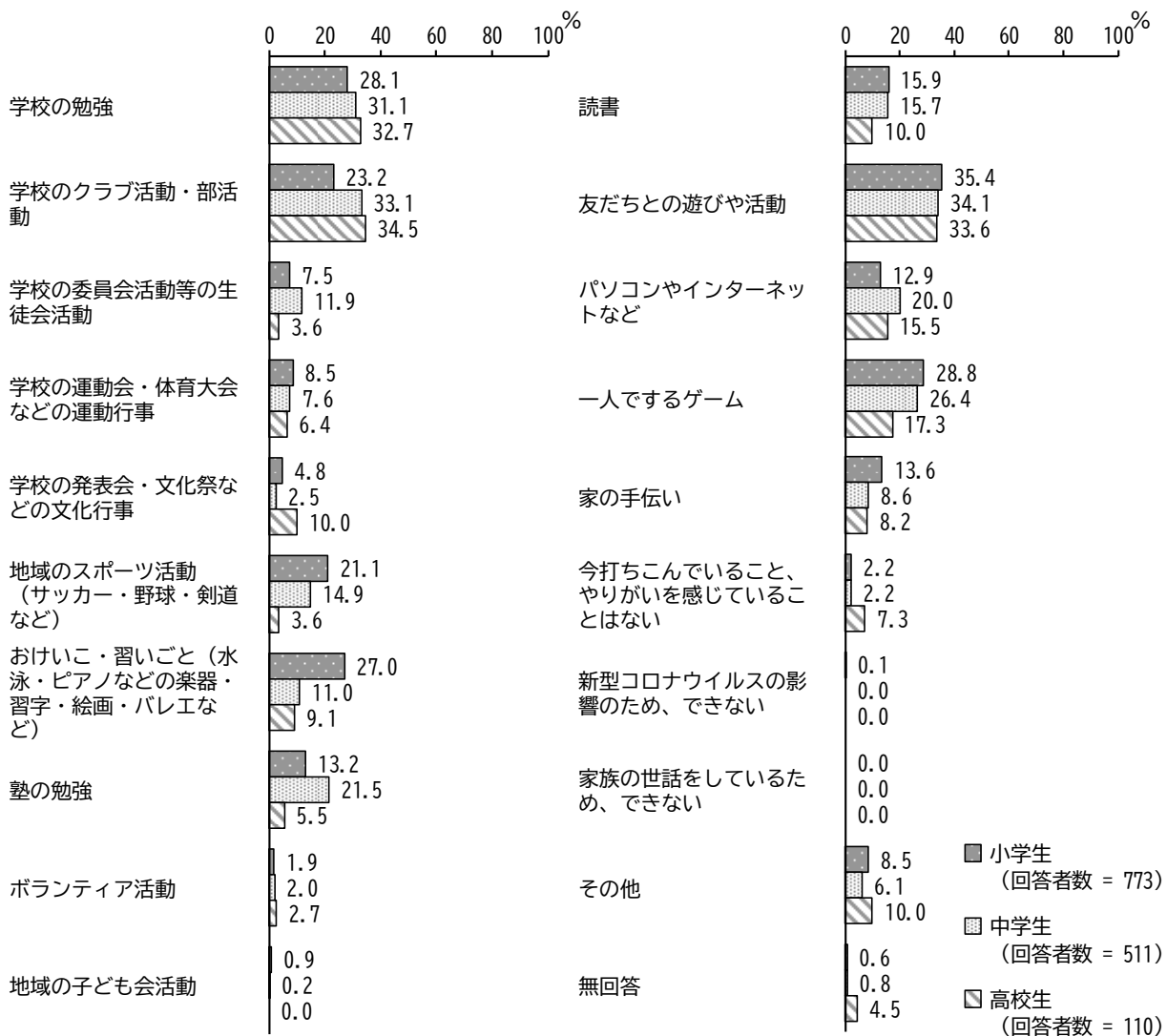


問7 あなたが、「今打ちこんでいること」や「やりがいを感じていること」は何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

小学生では、「友だちとの遊びや活動」の割合が35.4%と最も高く、次いで「一人でするゲーム」の割合が28.8%、「学校の勉強」の割合が28.1%となっています。

中学生では、「友だちとの遊びや活動」の割合が34.1%と最も高く、次いで「学校のクラブ活動・部活動」の割合が33.1%、「学校の勉強」の割合が31.1%となっています。

高校生では、「学校のクラブ活動・部活動」の割合が34.5%と最も高く、次いで「友だちとの遊びや活動」の割合が33.6%、「学校の勉強」の割合が32.7%となっています。



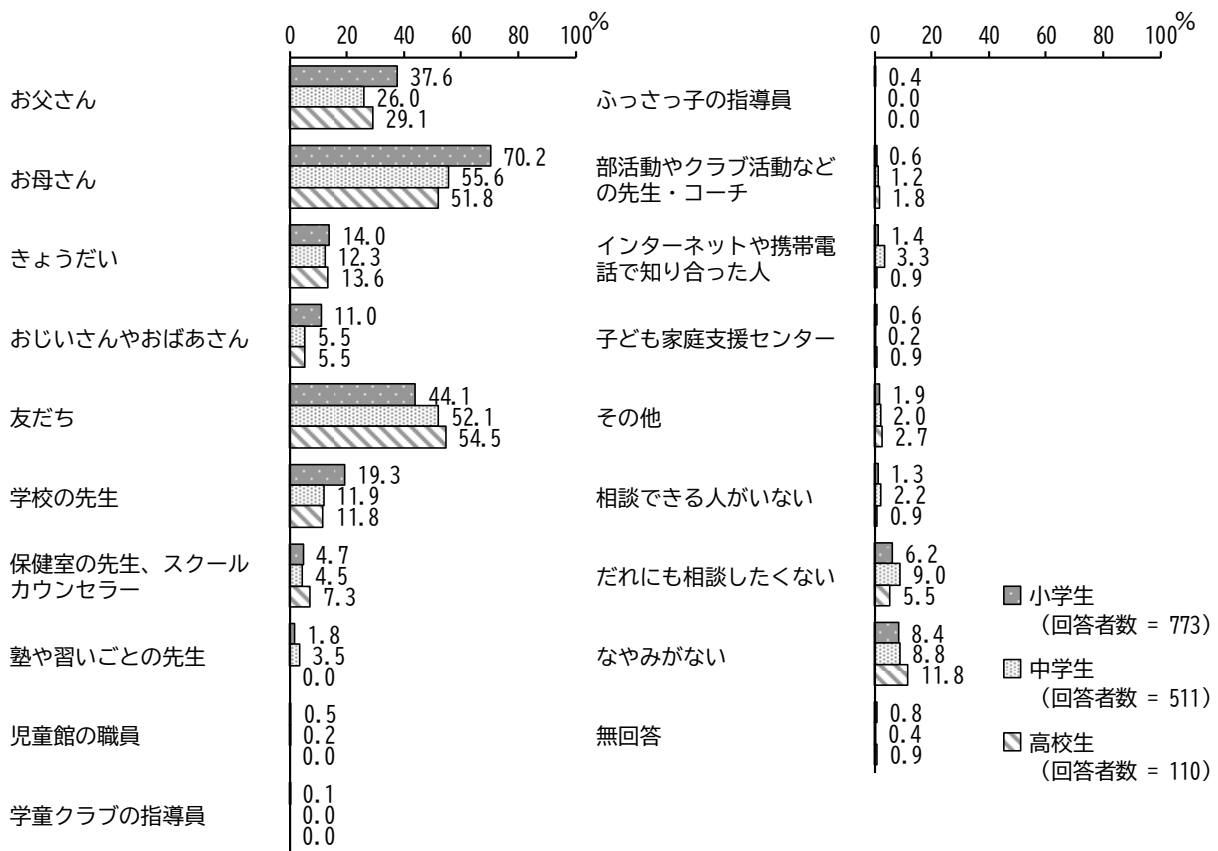
(3) 困っていること、つらいことの相談について

問8 困ったとき、つらいとき、だれに相談しますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

小学生では、「お母さん」の割合が70.2%と最も高く、次いで「友だち」の割合が44.1%、「お父さん」の割合が37.6%となっています。

中学生では、「お母さん」の割合が55.6%と最も高く、次いで「友だち」の割合が52.1%、「お父さん」の割合が26.0%となっています。

高校生では、「友だち」の割合が54.5%と最も高く、次いで「お母さん」の割合が51.8%、「お父さん」の割合が29.1%となっています。



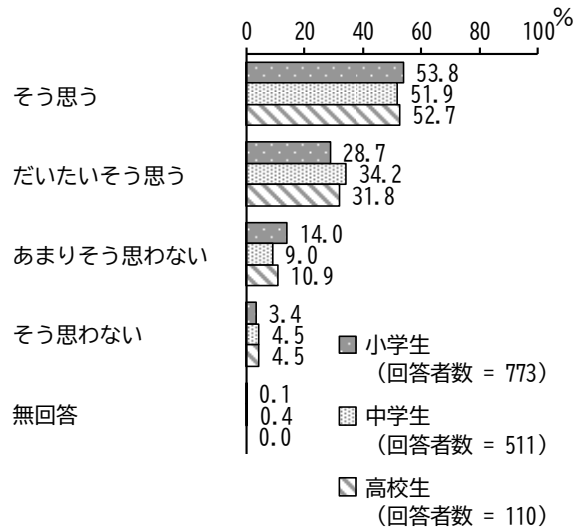
(4)「あなたの意見を言ったりする機会」について

問9 家庭で、あなたの考えや思っていることを聞いてもらっていると思いますか。

小学生では、「そう思う」の割合が53.8%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が28.7%、「あまりそう思わない」の割合が14.0%となっています。

中学生では、「そう思う」の割合が51.9%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が34.2%となっています。

高校生では、「そう思う」の割合が52.7%と最も高く、次いで「だいたいそう思う」の割合が31.8%、「あまりそう思わない」の割合が10.9%となっています。



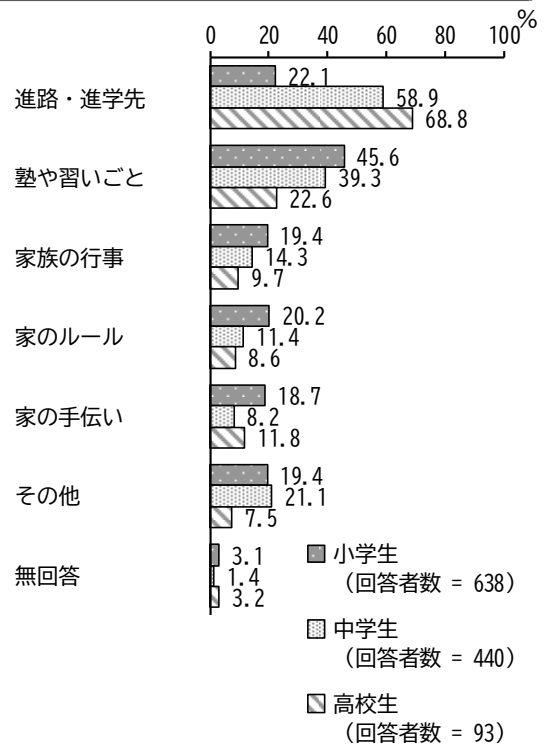
問9で、1、2に○をつけた人にお聞きします。

問10 聞いてもらった内容は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

小学生では、「塾や習いごと」の割合が45.6%と最も高く、次いで「進路・進学先」の割合が22.1%、「家のルール」の割合が20.2%となっています。

中学生では、「進路・進学先」の割合が58.9%と最も高く、次いで「塾や習いごと」の割合が39.3%、「家族の行事」の割合が14.3%となっています。

高校生では、「進路・進学先」の割合が68.8%と最も高く、次いで「塾や習いごと」の割合が22.6%、「家の手伝い」の割合が11.8%となっています。

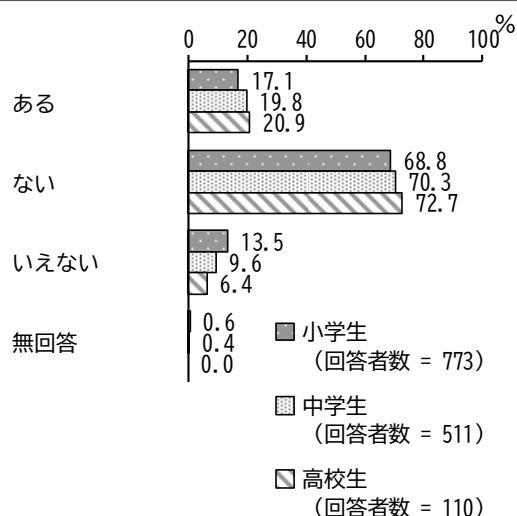


問11 あなたは、親や家族の人がもっとあなたの意見を聞いてほしいと思うことはありますか。

小学生では、「ない」の割合が68.8%と最も高く、次いで「ある」の割合が17.1%、「いえない」の割合が13.5%となっています。

中学生では、「ない」の割合が70.3%と最も高く、次いで「ある」の割合が19.8%となっています。

高校生では、「ない」の割合が72.7%と最も高く、次いで「ある」の割合が20.9%となっています。



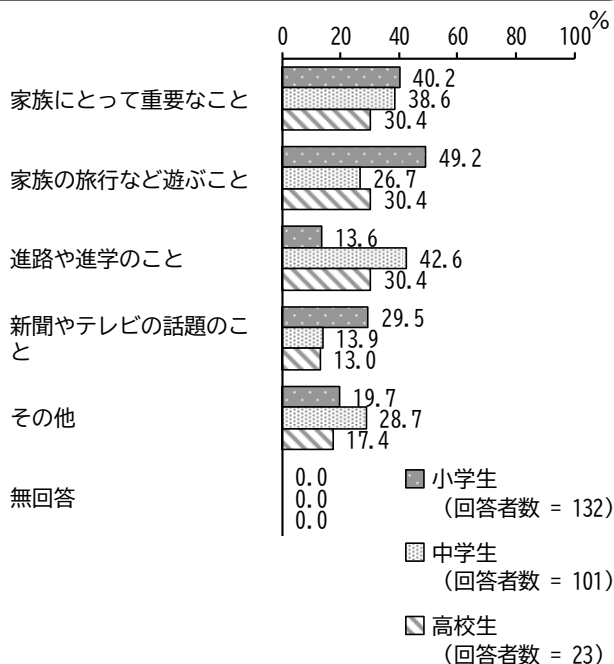
問11で、1に○をつけた人にお聞きします。

問12 それはどんなことですか。下の中からあてはまるものがあれば全部に○をしてください。

小学生では、「家族の旅行など遊ぶこと」の割合が49.2%と最も高く、次いで「家族にとって重要なこと」の割合が40.2%、「新聞やテレビの話題のこと」の割合が29.5%となっています。

中学生では、「進路や進学のこと」の割合が42.6%と最も高く、次いで「家族にとって重要なこと」の割合が38.6%、「家族の旅行など遊ぶこと」の割合が26.7%となっています。

高校生では、「家族にとって重要なこと」、「家族の旅行など遊ぶこと」、「進路や進学のこと」の割合が30.4%と最も高くなっています。

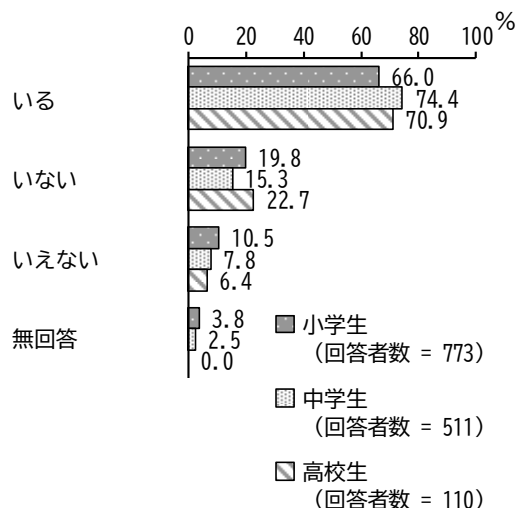


問13 学校で、あなたの考えや思っていることを伝えられる人がいますか。

小学生では、「いる」の割合が66.0%と最も高く、次いで「いない」の割合が19.8%、「いない」の割合が10.5%となっています。

中学生では、「いる」の割合が74.4%と最も高く、次いで「いない」の割合が15.3%となっています。

高校生では、「いる」の割合が70.9%と最も高く、次いで「いない」の割合が22.7%となっています。



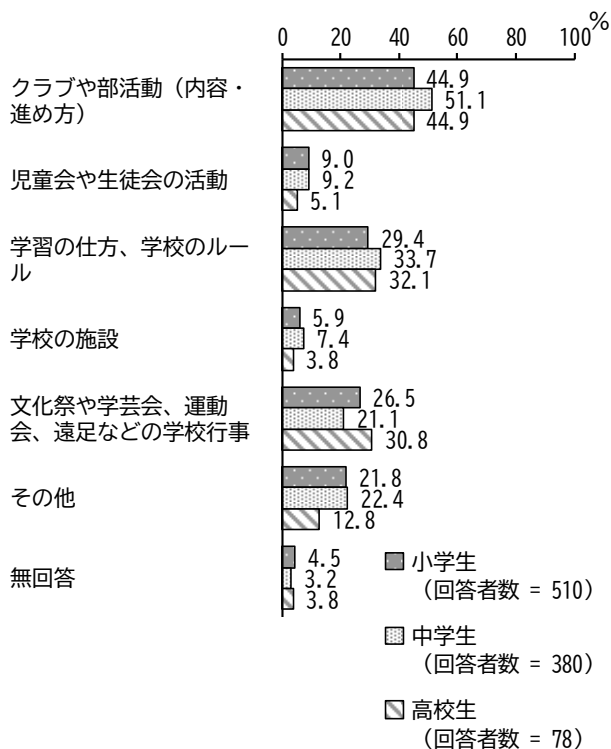
問13で、1に○をつけた人にお聞きします。

問14 伝えた内容は何か。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

小学生では、「クラブや部活動(内容・進め方)」の割合が44.9%と最も高く、次いで「学習の仕方、学校のルール」の割合が29.4%、「文化祭や学芸会、運動会、遠足などの学校行事」の割合が26.5%となっています。

中学生では、「クラブや部活動(内容・進め方)」の割合が51.1%と最も高く、次いで「学習の仕方、学校のルール」の割合が33.7%、「文化祭や学芸会、運動会、遠足などの学校行事」の割合が21.1%となっています。

高校生では、「クラブや部活動(内容・進め方)」の割合が44.9%と最も高く、次いで「学習の仕方、学校のルール」の割合が32.1%、「文化祭や学芸会、運動会、遠足などの学校行事」の割合が30.8%となっています。

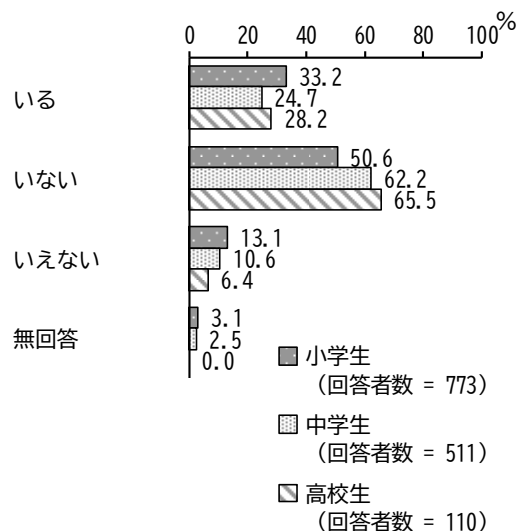


問15 地域で、あなたの考えや思っていることを伝えられる人はいますか。

小学生では、「いない」の割合が50.6%と最も高く、次いで「いる」の割合が33.2%、「いえない」の割合が13.1%となっています。

中学生では、「いない」の割合が62.2%と最も高く、次いで「いる」の割合が24.7%、「いえない」の割合が10.6%となっています。

高校生では、「いない」の割合が65.5%と最も高く、次いで「いる」の割合が28.2%となっています。



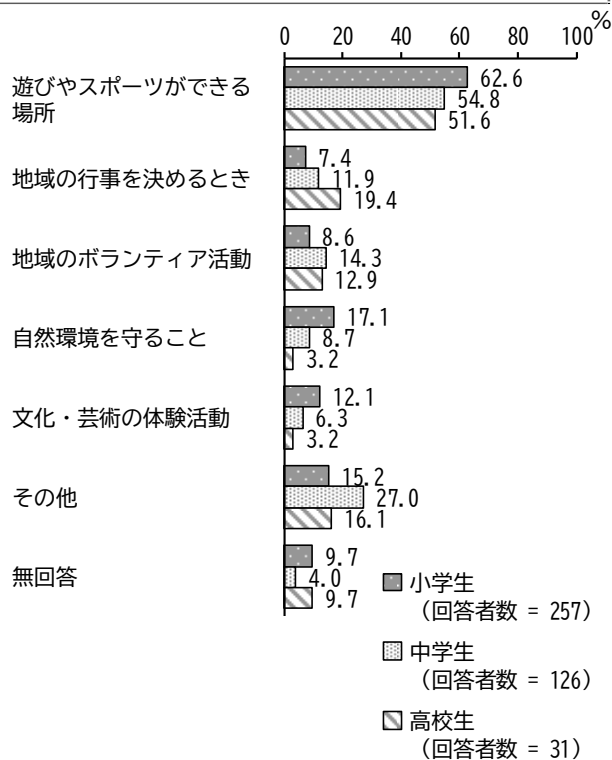
問15で、1に○をつけた人にお聞きします。

問16 伝えた内容は何か。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

小学生では、「遊びやスポーツができる場所」の割合が62.6%と最も高く、次いで「自然環境を守ること」の割合が17.1%、「文化・芸術の体験活動」の割合が12.1%となっています。

中学生では、「遊びやスポーツができる場所」の割合が54.8%と最も高く、次いで「地域のボランティア活動」の割合が14.3%、「地域の行事を決めるとき」の割合が11.9%となっています。

高校生では、「遊びやスポーツができる場所」の割合が51.6%と最も高く、次いで「地域の行事を決めるとき」の割合が19.4%、「地域のボランティア活動」の割合が12.9%となっています。



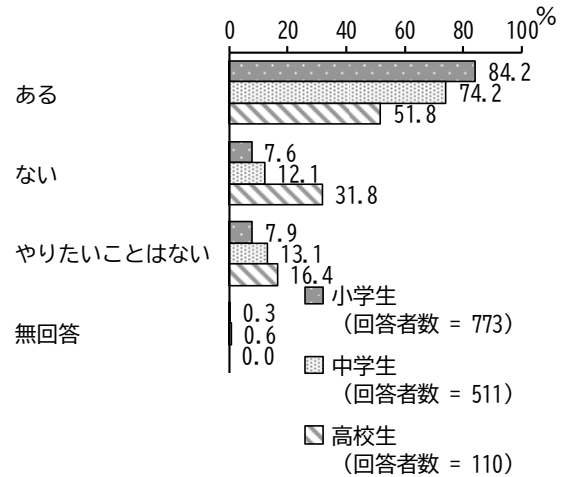
(5) あなたの生活のことについて

問17 地域の中で、遊んだりスポーツをしたり、やりたいことができる場所がありますか。

小学生では、「ある」の割合が84.2%と最も高くなっています。

中学生では、「ある」の割合が74.2%と最も高く、次いで「やりたいことはない」の割合が13.1%、「ない」の割合が12.1%となっています。

高校生では、「ある」の割合が51.8%と最も高く、次いで「ない」の割合が31.8%、「やりたいことはない」の割合が16.4%となっています。

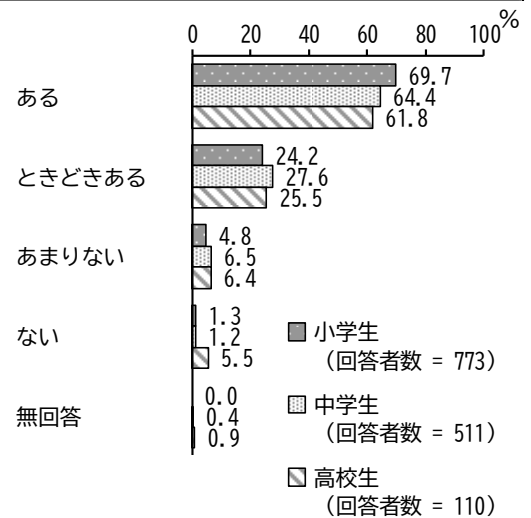


問18 あなたには、遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にありますか。

小学生では、「ある」の割合が69.7%と最も高く、次いで「ときどきある」の割合が24.2%となっています。

中学生では、「ある」の割合が64.4%と最も高く、次いで「ときどきある」の割合が27.6%となっています。

高校生では、「ある」の割合が61.8%と最も高く、次いで「ときどきある」の割合が25.5%となっています。



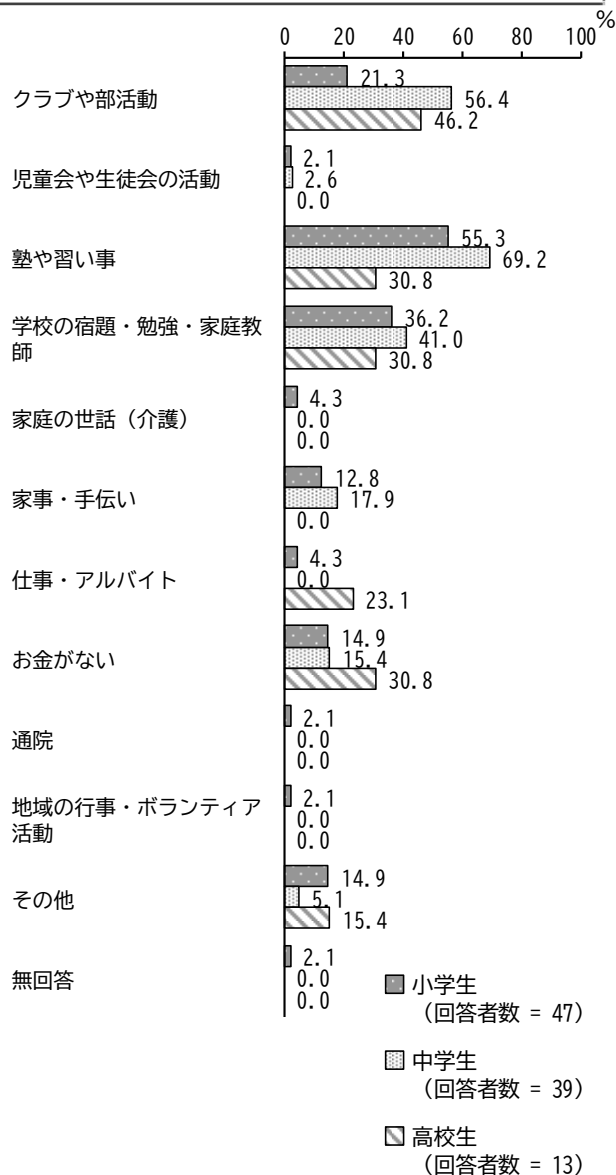
問 18 で、3、4 に○をつけた人にお聞きします。

問 19 遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間が十分ない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

小学生では、「塾や習い事」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「学校の宿題・勉強・家庭教師」の割合が 36.2%、「クラブや部活動」の割合が 21.3%となっています。

中学生では、「塾や習い事」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「クラブや部活動」の割合が 56.4%、「学校の宿題・勉強・家庭教師」の割合が 41.0%となっています。

高校生では、「クラブや部活動」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「塾や習い事」、「学校の宿題・勉強・家庭教師」、「お金がない」の割合が 30.8%となっています。

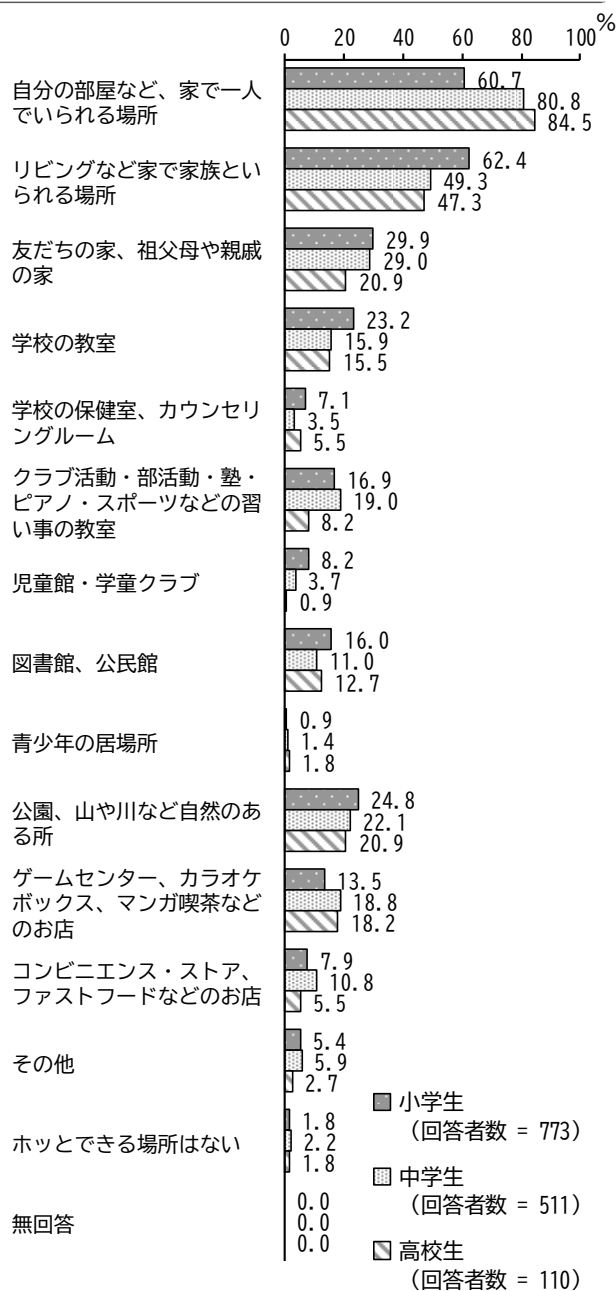


問 20 あなたにとって、ホッとできる場所はどこですか。あてはまるものにもいくつかでも○をつけてください。

小学生では、「リビングなど家で家族といられる場所」の割合が62.4%と最も高く、次いで「自分の部屋など、家で一人でいられる場所」の割合が60.7%、「友だちの家、祖父母や親戚の家」の割合が29.9%となっています。

中学生では、「自分の部屋など、家で一人でいられる場所」の割合が80.8%と最も高く、次いで「リビングなど家で家族といられる場所」の割合が49.3%、「友だちの家、祖父母や親戚の家」の割合が29.0%となっています。

高校生では、「自分の部屋など、家で一人でいられる場所」の割合が84.5%と最も高く、次いで「リビングなど家で家族といられる場所」の割合が47.3%、「友だちの家、祖父母や親戚の家」、「公園、山や川など自然のある所」の割合が20.9%となっています。



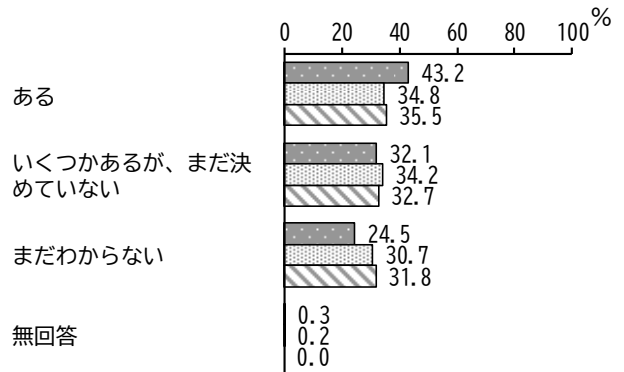
(6) あなたの将来について

問21 あなたは、将来、つきたい仕事はありますか。

小学生では、「ある」の割合が43.2%と最も高く、次いで「いくつかあるが、まだ決めていない」の割合が32.1%、「まだわからない」の割合が24.5%となっています。

中学生では、「ある」の割合が34.8%と最も高く、次いで「いくつかあるが、まだ決めていない」の割合が34.2%、「まだわからない」の割合が30.7%となっています。

高校生では、「ある」の割合が35.5%と最も高く、次いで「いくつかあるが、まだ決めていない」の割合が32.7%、「まだわからない」の割合が31.8%となっています。

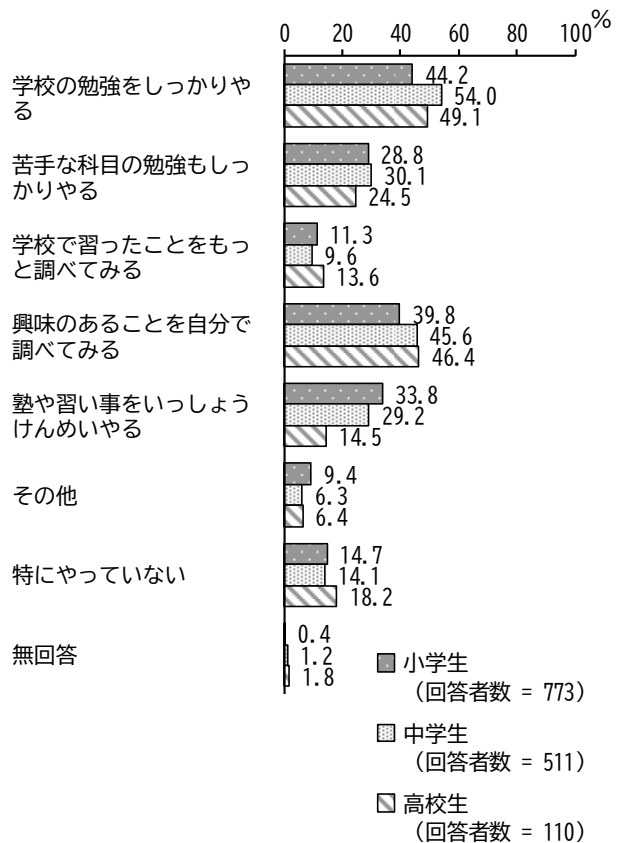


問22 そのために、やっていることはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

小学生では、「学校の勉強をしっかりとやる」の割合が44.2%と最も高く、次いで「興味のあることを自分で調べてみる」の割合が39.8%、「塾や習い事をいっしょうけんめいやる」の割合が33.8%となっています。

中学生では、「学校の勉強をしっかりとやる」の割合が54.0%と最も高く、次いで「興味のあることを自分で調べてみる」の割合が45.6%、「苦手な科目の勉強もしっかりとやる」の割合が30.1%となっています。

高校生では、「学校の勉強をしっかりとやる」の割合が49.1%と最も高く、次いで「興味のあることを自分で調べてみる」の割合が46.4%、「苦手な科目の勉強もしっかりとやる」の割合が24.5%となっています。

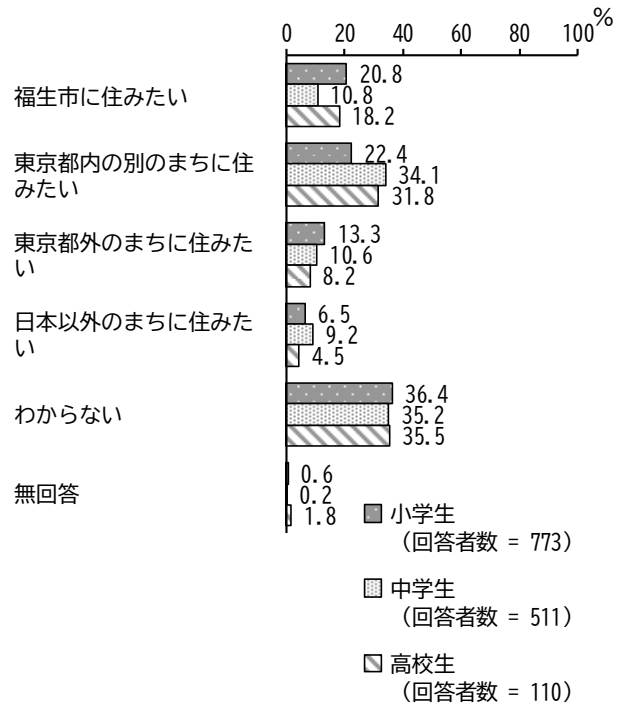


問23 おとなになって住みたいまちはどこですか。

小学生では、「わからない」の割合が36.4%と最も高く、次いで「東京都内の別のまちに住みたい」の割合が22.4%、「福生市に住みたい」の割合が20.8%となっています。

中学生では、「わからない」の割合が35.2%と最も高く、次いで「東京都内の別のまちに住みたい」の割合が34.1%、「福生市に住みたい」の割合が10.8%となっています。

高校生では、「わからない」の割合が35.5%と最も高く、次いで「東京都内の別のまちに住みたい」の割合が31.8%、「福生市に住みたい」の割合が18.2%となっています。



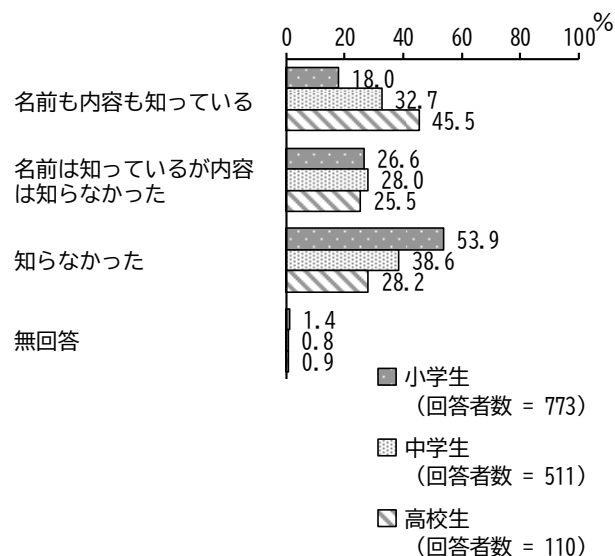
(7) その他について

問 24 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。

小学生では、「知らなかった」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 26.6%、「名前も内容も知っている」の割合が 18.0%となっています。

中学生では、「知らなかった」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が 32.7%、「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 28.0%となっています。

高校生では、「名前も内容も知っている」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が 28.2%、「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 25.5%となっています。



自由回答

子どもの権利

分類回答	件数
1. イベントについて	36
2. 公園・遊びの場について	95
3. 美しい街作りについて	14
4. 学校生活について	36
5. 生活について	42
6. 安全・相談できる場所について	37
7. 子どもの権利について	5
8. その他	22

【分類別の主な意見】

1 イベントについて

- ・ 蛸祭りなどの、祭りを、復旧して欲しい。【小学4年生】
- ・ ジャズフェスを作って欲しい。【小学4年生】
- ・ 福生市でもっと楽しいイベントや大会などを開いて欲しい。楽しい施設や娯楽施設が欲しい。図書館の数を増やして欲しい。【小学5年生】
- ・ ヤマメ、ニジマス、イワナ釣りの期間を延ばす。【小学6年生】
- ・ 新しいゲームセンターや色々な遊び場所をたくさん作って欲しい。【中学1年生】

2 公園・遊びの場について

- ・ 公園を増やして欲しい。【小学4年生】
- ・ 子供が遊ぶ場所を増やして欲しい。(スポーツができる)【小学5年生】
- ・ 野球ができる公園を増やして欲しい。【中学1年生】
- ・ 子供が楽しく遊べる施設(市民プールで流れるプールなどがほしいなど)を作って欲しい。【中学1年生】
- ・ 大型ショッピングモールが欲しい「映画も」市民プールを大きくしてサマーランド級にして欲しい。子供2人以上の家庭に1人50万円の給付金。大型ショッピングモールや大きなプール色々な遊び場があれば福生市を知ってもらえるきっかけになるし福生市でお金を落とす人が多くなる。【中学2年生】

3 美しい街作りについて

- ・ ポイ捨てをしないで欲しい。【小学5年生】
- ・ 町が汚れないようにキレイにして欲しい。【小学5年生】
- ・ 横田基地の近くの落書きやゴミを少なくして欲しい。【小学6年生】
- ・ 地域の清掃や通学路の見守り。【小学6年生】
- ・ 環境についてやってみて欲しい。【小学6年生】

4 学校生活について

- ・ 理不尽な先生をつくらない。【小学6年生】
- ・ 福生市にやって欲しいのは、福生市の魅力の向上（福生駅西口再開発事業、子育てランキングの五位奪還を目指すなど）や教育の質の向上、治安の向上などを行なって欲しいが、まずは市の実行力を強化してほしい、一般人視点だが、福生市は色々なものを計画しているようで実行してなさそうに思えるのでどうにかしてほしい。これでもし、実際に実行しているようなのであれば、広報に大きく乗せるなどもう少しアピールしたほうが良いと思う。【小学6年生】
- ・ 学校対抗の大会、レジャー施設の充実、中央体育館の改修（窓が開かないことやエアコンがないことを改善）【中学1年生】
- ・ 給食が美味しくなったらいい！【中学1年生】
- ・ もっと専門的なことを教えて欲しい。【中学2年生】

5 生活について

- ・ 家族や友達やいろんな人を助けたい。【小学4年生】
- ・ 物価高をなくして欲しい。【小学6年生】
- ・ 学費や学校の物を買うときの金額を下げて。【中学1年生】
- ・ 福生図書館を開けて欲しい。勉強できるスペースを増やして欲しい。【中学3年生】
- ・ 高校、大学の無償化、インターネット回線をもっと良くして欲しい。【中学3年生】

6 安全・安心・相談できる場所について

- ・ 福生市の不審者の割合が多いので、警察のパトロールを毎回するとか、横断歩道に信号がないときに車が通り過ぎて歩行者優先なのに通りすぎていくから、まあ自分は声で「はい違反！」とか言っているのに信号がない所に警察が立っていて欲しい。
【小学6年生】
- ・ ちょっとした願いですが、狭い道路や歩道は車が近く、自転車や歩きでもぶつかってしまうのではないかと怖いので、道をもう少しだけ広げられたらな、と思う。
【小学6年生】
- ・ 何かに困っている人が気軽に相談できる場所。【中学1年生】
- ・ 道路の整備。歩道を広くして欲しい。【高校1年生】
- ・ もっと治安を改善して欲しい、声をかけられたこともあったしとても怖い。【不明】

7 子どもの権利について

- ・ 大人には、ちゃんと子供の理由もわかって欲しい。【小学4年生】
- ・ 子供の考えに耳を傾けて欲しい。【小学6年生】
- ・ 子供だけの権利(自分の気持ち)などのことを大人に知って欲しい。【中学1年生】
- ・ 子供の意見が自由に発言することのできる福生市づくり。【中学2年生】
- ・ 子どもの権利についてもっと教えて欲しい。【高校3年生】

8 その他

- ・ ゲームの世界に入ってみたい。【小学4年生】
- ・ 動物も一緒に避難できる避難所が欲しい。【小学6年生】
- ・ 野球がうまくてメジャーの挑戦できる人間。【中学1年生】
- ・ 今以上に総理そして今の日本への不満をネットにブチまけてみて欲しい。【中学1年生】
- ・ 減税。【中学1年生】